第77回一般社団法人日本循環器学会社員総会のご案内

第77回一般社団法人日本循環器学会社員総会を下記のとおり開催いたしますので，ご案内申し上げます.

記

日時：2013年４月26日（金）　15時～16時
会場：東京国際フォーラム　５階　ホール B5
議長：永井　良三（一般社団法人日本循環器学会代表理事）

（注）
社員（代議員）には，４月初め頃に社員総会開催のご案内（メール・希望者は郵送）を別途お送りします.

以上

第77回日本循環器学会学術集会（JCS2013）

第77回日本循環器学会学術集会

参加者へのご案内

■学術集会の参加受付

※参加費は下記の通りです。

参加区分	参加費（事前）	参加費（当日）	必要な提示物	配布物	備　考
日本循環器学会会員	15,000円	20,000円	—	プログラム、抄録CD	プログラム、抄録CDは本会より事前配布
非会員の医師および医療関係者	15,000円	20,000円	—	—	
コメディカル	—	7,000円	所定の証明書	プログラム、コメディカル セッションプログラム抄録集	コメディカルセッション以外のセッションも聴講可能
研修医（前期）	—	無料	所定の証明書	プログラム	
学部学生（医学部・薬学部・工学部等含む）	—	無料	学生証	プログラム	
海外参加者	—	5,000円	—	プログラム、抄録CD	
在日留学生	—	5,000円	所定の証明書	プログラム、抄録CD	

・事前参加登録（プレレジストレーション）は終了しております。
・コメディカル、研修医（前期）、在日留学生は所定の証明書の提示が必要です。証明書はホームページよりダウンロードしてください。
・責任者署名欄は、証明者となる責任者の記載・捺印を得てください。
・参加区分「日本循環器学会会員」の参加費（15,000円、20,000円）に消費税はかかりません（不課税）。
・参加証（ネームカード）は領収書及び参加証明書を兼ねて発行されます。
本学会学術集会参加を他学会の専門医/認定医/指導医の資格更新単位に申請される場合は、参加証をご利用頂いております。**会期終了後は参加証の再発行及び事後の参加証明書の発行はしておりません。**申請時までご自身で保管頂きますようお願い致します。
・教育セッションは別途2,000円の参加費が必要です。
・参加受付は会期前日および当日に「参加費受付」にて行ってください。
・参加費受付の時間と場所は次のとおりです。第１日目の午前中は参加受付が非常に混雑いたします。会期前日にパシフィコ横浜 会議センター 2Fにて参加受付を行いますのでご利用ください。

日程（月日）	パシフィコ横浜 会議センター 2F	パシフィコ横浜 展示ホール A
前　　日（3月14日・木）	14:00～21:00	—
第1日目（3月15日・金）	—	7:00～18:00
第2日目（3月16日・土）	—	7:00～18:50
第3日目（3月17日・日）	—	7:00～18:00

※前日は、「会員、非会員受付」のみになります。

《プレレジストレーションをお済ませの方》
・プレレジストレーション後に届く「プレレジストレーション完了自動配信メール」に登録内容の確認画面・登録確認書ダウンロード画面のログインURLが記載されております。登録確認書をプリントアウトのうえ、プレレジストレーション参加受付までお持ちください。参加受付で参加証（ネームカード）の発行を行います。

《当日参加受付の方》
・当日参加受付は自動参加登録機にて行います。画面の表示に従い参加費をお支払いのうえ、参加証兼領収証（ネームカード）をお受け取りください。クレジットカードでのお支払いはできません。

《コングレスバッグについて》
・ネームカードと同時に発券されますコングレスバッグ引換券を、コングレスバッグ引換所（パシフィコ横浜 展示ホール A）にお持ちください。なお、コングレスバッグの数には限りがありますので、お早めにお引き換えください。

《ネームカード着用のお願い》
・会場内では必ず参加証（ネームカード）をつけてください。なお、会期中および会期終了後は、参加証兼領収証（ネームカード）の再発行はいたしかねますので、ご了承ください。

■教育セッションの参加受付

・参加費は2,000円です。参加受付後、教育セッション参加証と教育セッションテキスト（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ共通、「循環器専門医」サプルメント）をお渡しします。

・第77回学術集会では、教育セッションのプレレジストレーション（2月28日木曜日締切）を行っています。

《プレレジストレーションをお済ませの方》

・教育セッションテキスト引換券は、参加証兼領収証（ネームカード）と同時に発行されます。会期当日はセッションテキスト引換所（パシフィコ横浜 2F シーサイドロビー）にテキスト引換券をお持ちください。テキストをお渡しします。

《当日受付をされる方》

・会期当日の教育セッション参加受付は学術集会の参加受付時にあわせて行っていただくか、「循環器教育セッション参加受付」（パシフィコ横浜 2F シーサイドロビー）にて行ってください。

・循環器教育セッション参加受付の時間は次のとおりです。

第1日目　（3月15日・金）　7：00～18：00
第2日目　（3月16日・土）　7：00～18：50
第3日目　（3月17日・日）　7：00～15：20

※専門医の単位登録については本ページ記載の単位登録受付時間内のみとなりますのでご注意ください。

■循環器専門医資格更新に必要な研修単位の登録

学術集会

・研修単位の登録は、「専門医研修単位登録受付」（パシフィコ横浜 展示ホール A）にて行ってください。

・研修単位の登録受付時間は、次のとおりです。

第1日目（3月15日・金）　7：00～18：00
第2日目（3月16日・土）　7：00～18：50
第3日目（3月17日・日）　7：00～18：00

・研修単位は、参加日数に関わらず10単位です。

教育セッション

・研修単位の登録は、「教育セッション専門医研修単位登録受付」（パシフィコ横浜 2F シーサイドロビー）前にて行ってください。

・研修単位の登録受付時間は、教育セッション開始の１時間前から、終了30分前までとなりますのでご注意ください。

第1日目（3月15日・金）　7：30～12：10
第2日目（3月16日・土）　7：30～10：00
第3日目（3月17日・日）　12：50～15：20

・研修単位は、参加日数に関わらず5単位です。

医療安全・医療倫理に関する講演会

・研修単位の登録は「医療安全・医療倫理に関する講演会専門医研修単位登録受付」（パシフィコ横浜会議センター 1F メインホール 第2会場前）にて行ってください。

・研修単位の登録受付時間は、セッション開始の30分前から終了30分前までとなりますのでご注意ください。
3月17日（日）10：40～12：10

・研修単位は2単位です。

研修単位に関する注意事項

・研修単位の登録は学術集会会期中、研修単位登録受付において「循環器専門医カード」を提示することにより、単位を登録する方式です。

・**会期中に登録を忘れた場合、会期後にプログラム・参加証等の他書類で研修単位を申告されても受付いたしません。**

・ご本人による登録のみが認められます。虚偽による登録が判明した場合には、専門医制度規則第10条により専門医資格の取消となりますのであらかじめご了承ください。

・65歳以上の取得単位の提出免除制度は、2008年3月31日をもって廃止となりましたので、年齢に関わらず、単位の取得が必要です。更新を希望される場合は、研修単位登録受付において単位の登録をお願いいたします。

■抄録CD、プログラム

会期中、下記の製作物をパシフィコ横浜 展示ホールAにて販売いたします。

冊　　子	金　額
抄録CD	3,000円
プログラム	3,000円
抄録CD・プログラムのセット	5,000円

■日本循環器学会の登録事項変更

会期中に国内住所、送付先等の学会に登録している事項の変更を行う場合は、「展示会場内の日本循環器学会広報ブース」又は「年会費納入問い合わせ（パシフィコ横浜 展示ホールA）」までお越しください。

■展示会場 総合受付

学会広報ブース内に出展者向けの「展示会場 総合受付」を設置します。
展示者サイドからの問題点、課題の把握に努め、今後の改善に結びつけてまいります。

■インターネットからのプログラム検索・オリジナル抄録集の作成

プログラムの中から、ご希望の演題だけを収録したオリジナル抄録集、およびオリジナル日程表の作成が行える「My Abstracts」がご利用いただけます。以下のURLにアクセスしてご利用ください。

http://www.myabstracts.jp/jcs2013/

学術集会ホームページ（http://www2.convention.co.jp/jcs2013/）のメニューからもアクセスできます。

〔MyAbstractsの諸機能〕

・登録演題だけを収録したオリジナル抄録集（My Abstracts）をPDFで作成できます。
・キーワードや演者名などでプログラムを検索できます。
・会期中のご自身のスケジュール（日程表）を作成できます。

オリジナル抄録集および日程表は、PDFファイルで生成されますので、勤務先や自宅のプリンターから出力をお願いします。

■電子抄録アプリ

iPhoneやAndroid等に対応した電子抄録アプリ（演題検索＆スケジュール登録等ができます）をご利用いただけます。

【便利な機能】

・セッション、演題の検索ができます。
・気になるセッションをブックマーク登録することができます。
・ブックマーク登録したセッションまたは演題をマイスケジュールで確認することができます。
・ブックマーク登録したセッションまたは演題の10分前にお知らせを表示します。

アプリ名	JCS2013
公開日	2013年3月上旬
ご利用方法	App Store、Google Playより「日本循環器学会」または「JCS2013」で検索し、ダウンロードしてください。
利用料	無料（アプリのダウンロードに別途通信料が発生します）
対応機種	iPhone、iPod touch、iPad、iPad mini、Androidスマートフォン、Androidタブレット

抄録の閲覧にはパスワードの入力が必要です。

抄録の閲覧用パスワード
【jcs2013】

会場内の無線LANコーナーと併せて是非ご活用ください。

■ランチョンセミナー、ファイアサイドセミナー

・ランチョンセミナー、ファイアサイドセミナーへの参加には、セミナーチケット（無料）が必要です。
・第77回学術集会では、ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナーのプレレジストレーション（2月28日・木締切）を行っています。

・プレレジストレーションをお済ませの場合、ランチョン･ファイアサイドセミナーのチケットは、参加証兼領収証（ネームカード）と同時に発行されます。
・開催当日も下記受付にてチケットの発行を行いますが、数に限りがございますので、ご了承ください。なお、当日受付には参加証兼領収証（ネームカード）が必要になります。当日受付の時間と場所は下記の通りです。
《ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナー当日受付》
　　〇パシフィコ横浜 展示ホールＡ
《受付時間》

日程（月日）	ランチョンセミナー	ファイアサイドセミナー
第1日目(3月15日･金)	7:00～12:20	7:00～17:50
第2日目(3月16日･土)	7:00～12:20	7:00～18:30
第3日目(3月17日･日)	7:00～12:20	―

※チケットがなくなり次第締め切らせていただきます。

■モーニングレクチャー
ご参加の方には、軽食をご用意しております。

■展示会
・第77回日本循環器学会総会・学術集会　附設展示会を展示会場（パシフィコ横浜 展示ホールＢＣＤ）にて行います。
・開催日時は次のとおりです。
　　3月15日（金）　8：30～18：00
　　3月16日（土）　8：30～18：50
　　3月17日（日）　8：30～18：00
・展示会のガイドブックは展示受付（パシフィコ横浜 展示ホールＢ入口前）にて配布いたします。

■会場内の呼び出し
原則として、会場内の呼び出しはいたしません。総合受付、各施設内に設置します「会員連絡板」をご利用ください。

■ドリンクコーナー
パシフィコ横浜 展示ホール内の休憩コーナーにて、ドリンクサービスを設置いたします。

■コピー・ファックス
パシフィコ横浜 会議センター 1F 、展示ホール 2F ビジネスセンターにて有料で可能です。

■インターネットコーナー
パシフィコ横浜 展示ホール内のインターネットコーナーに自由にご利用いただけるPC端末を設置いたします。ご利用は無料です。

■携帯電話無料充電コーナー
パシフィコ横浜 展示ホール内に携帯電話無料充電コーナーを設置いたします。

■無線LAN
パシフィコ横浜 会議センター内の各フロアロビーにて会議常設の無線LANを利用することが可能です。また、パシフィコ横浜 展示ホール内の休憩コーナーにも無線LANを設置します。
無線LAN機能のあるPCをお持ちであれば、自由にインターネットを利用いただけます。

■トラベルデスク
パシフィコ横浜 展示ホール Aに設置します。

■プレスルーム
［時　間］ 9：00～18：00
［場　所］ パシフィコ横浜 展示ホール 1F「D11」
［設　備］ インターネット回線
　　※PC本体の貸し出しはいたしませんので、ご自身で準備ください。

■無料託児室
会期中、無料託児室をご用意いたします。ご利用は第77回日本循環器学会の参加者に限ります。お子様を託児室にお連れになった際に「受領確認書」および「申込書（捺印済みの原本）」をご持参いただき、参加証をご提示くださいますようお願いいたします。

利用ご希望の方は、ホームページより申し込み用紙をダウンロードし、メールまたはFAXにてお申し込みください

［申込み締切］ 3月8日（金）
［お問合せ先］ アルファ・コーポレーション
担当：小滝（こたき）・佐藤
TEL：0120-086-720　　FAX：03-5722-1224
E-mail：yoyaku@alpha-co.com

■口演会場・ポスター会場とも会場内での撮影はすべて禁止です。

■禁煙のお願い

日本循環器学会は禁煙宣言をしています。それに伴い、会場内ならびに各会場の敷地内は全て**禁煙**とさせていただきます。

■ DVD-ROMの販売

恒例になりました学術集会DVD-ROMを今年も販売いたします。当日会場（パシフィコ横浜 展示ホール A）にて予約申込を受付いたします。収録講演は決定次第ホームページ上にてご案内いたします。
なお、視聴者は専門医研修単位を3単位申請できます。

■授賞式のご案内

学術集会2日目3月16日（土）14:00～15:00 第1会場（国立大ホール）にて行います。

■会長懇親会

［日　時］ 2013年3月15日（金）20:00～22:00
［会　場］ 大桟橋ホール
［参加費］ 3,000円

■医務室

パシフィコ横浜 会議センター 1Fに設置しております。利用が必要な場合は学会本部（パシフィコ横浜 会議センター 2F「211」）までご連絡ください。状況により近隣の病院をご紹介いたします。

■駐車場

会期中、会場内に参加者向け駐車場はございませんので、公共の交通機関にてご来場ください。

■AED

パシフィコ横浜
会議センター内：1F 救護室前、B1F警備室
国立大ホール内：1Fエントランス
展示ホール内：1F救護室前、B1F 警備室
合計5ヵ所に設置しております。設置場所については、学会当日会場に設置されたフロア図にてご確認ください。

■落し物

落し物は、パシフィコ横浜 展示ホール ホール Aにてお預かりいたします。

口述発表（Oral Presentation）に関するご案内

■座長の方へ

・セッションの**開始時刻の20分前**までに必ず会場右手前方の次座長席にお着きください。
・進行は、時間厳守にてお願いいたします。
・Featured Research Session、一般口述（英語・日本語）、コメディカルセッション一般口述は1演題15分（発表時間10分＋討論時間5分）です。その他のセッションについては事前にご案内いたします。
・Featured Research SessionのKeynote Lectureは質疑応答を入れて20分です。
・質疑応答の発言者には、予めマイク付近で待機するよう注意を促してください。
・不測の事態により座長をお務めいただけない場合は、代理を立てていただいた上で、セッション開始時刻の30分前までに「学会本部」（パシフィコ横浜 会議センター 2F「211」 TEL：045-228-6425）までご連絡ください。

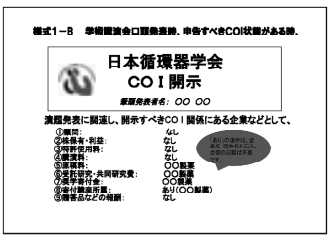
■発表者の方へ

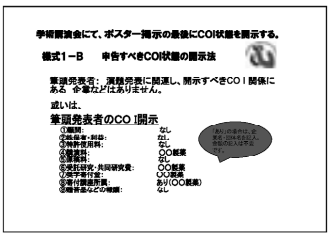
・全ての口述発表はWindows機によるPC発表（1面映写）のみといたします。スライドは使用できません。
・Macintoshを使用される場合、PC本体をお持ち込みください。
・発表データの作成の際には、次の点にご留意ください。
　１）発表データのうち1枚は「結論（Conclusion）」に当ててください。
　２）民間との共同研究あるいは補助を受けた研究については、可能な限り発表データ上で開示してください。
　３）英語発表セッションの発表データは英語で作成してください。日本語発表セッションの場合は、タイトルは英語で表記してください。タイトル以外は日本語、英語いずれの表記でも可能です。ただし、コメディカルセッションに関しては、タイトルも日本語表記で結構です。
・発表予定時刻の1時間前（午前の最初のセッションは30分前）までに発表会場がある施設のスピーカー・レディ・ルームにて、発表データを試写確認のうえご提出ください。
・ただしプレナリーセッション、シンポジウム、一般演題口述発表（Featured Research Session含む）ならびにコメディカルセッション一般口述演題では、発表データの事前登録を行います。

【利益相反（COI）の申告にご協力ください】

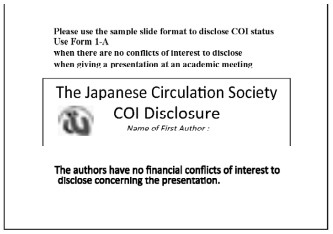
口述発表又はポスターセッションで発表されます方は、利益相反の申告にご協力をお願いします。http://www.j-circ.or.jp/coi/coi index.htmに掲載されております＜一般社団法人　日本循環器学会「臨床研究の利益相反に関する共通指針」の細則＞をご確認いただき、申請見本をダウンロード又は同様式で作成のうえ、スライドの1枚目又はポスターの最後にご提示いただきますようご協力をお願いいたします。

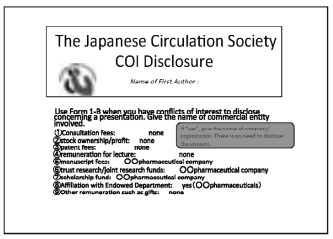
利益相反スライド例1

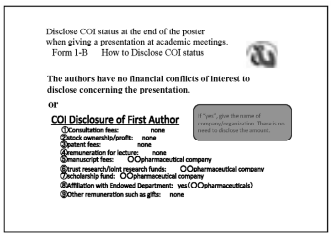




利益相反スライド例2







【発表データの作成】

・OSはWindowsXP/Vista/7、アプリケーションはMicrosoft PowerPoint 2003/2007/2010、文字は以下のOS標準フォントをご使用ください。

［日本語］ **MSゴシック・MSPゴシック**・MS明朝・MSP明朝

［英　語］ Times New Roman・Arial・**Arial Black**・
Arial Narrow・Century・Century Gothic・Courier・Courier New・Georgia

・画面サイズはXGA（1,024×768）に統一します。

・ファイル名は「演題番号（半角）発表者名（漢字）.ppt(x)」としてください。「.ppt（または.PPT）」は半角です。（例：OE-001日循太郎.ppt）

・データの容量には特に制限はありませんが、容量が1GBを超える場合はPC本体をお持ち込みください。

・音声や動画の使用は可能です。動画を使用される場合、PC本体を持ち込まれることを推奨いたします。動画ファイルは、Windows Media Player 11 の初期状態に含まれるコーデックで再生できるよう作成してください。（WMV形式での作成をお勧めします。）

・動画などの参照ファイルがある場合は、全てのデータを同じフォルダに格納してください。

【発表データの事前登録】

・プレナリーセッション、シンポジウム、Featured Research Session、一般口述演題（英語・日本語）、コメディカルセッション一般口述演題の発表データは事前登録を行います。ただし、対象セッションのうち、**演題登録時に日本語の画面から応募された演題（登録番号10,000台、30,000台、50,000台および70,000台）のみを対象**としております。英語画面から登録された演題（登録番号20,000台、40,000台および60,000台）は対象としておりません。

・インターネットでご登録いただきます。登録サイトのURLは、演題応募時に登録されたE-mailアドレス宛てに、2月中旬にご通知いたします。

・**登録期限は3月13日(水) 17：00**です。期限内にご登録いただけなかった場合は、従来どおり会場内のスピーカー・レディ・ルームにてご提出ください。また、事前登録された発表データはスピーカー・レディ・ルームにて確認・修正ができます。

・登録可能な発表データ（PowerPoint）は１演題につき1ファイルです（再登録すると上書き保存されます）。それ以外の動画ファイルについては登録できるファイル数に制限はありません。

・登録データのファイルサイズの上限は、発表データ(PowerPoint)と動画ファイルを合計して、1演題につき10MB以内です。10MBを超える場合は従来どおり会場内のスピーカー・レディ・ルームにてご提出ください。

・発表データ事前登録についての通知メールが2月になっても届かない場合は、演題登録時のE-mailアドレスが変更になっているか、入力ミスがあった可能性がございます。5桁の演題登録番号を添えて下記までお問い合わせください。

（一社）日本循環器学会事務局　西口・山下・新井
E-mail：meeting@j-circ.or.jp

・発表データを事前登録された場合でも、万が一の事態に備え、バックアップデータを持参してください。

【スピーカー・レディ・ルーム】

・スピーカー・レディ・ルームは会期中、パシフィコ横浜 展示ホール Aに設置します。

・**前日14日（木）のみパシフィコ横浜 会議センター 2Fに臨時のスピーカー・レディ・ルームを設置します。**

・受付時間は次の通りです。

日程（月日）	開設時間
前　　日（3月14日・木）	14：00～21：00
第1日目（3月15日・金）	7：00～18：00
第2日目（3月16日・土）	7：00～18：50
第3日目（3月17日・日）	7：00～18：00

・朝10時までは、午前中のセッションの方を優先的に受付させていただきます。

・お持ち込みいただけるメディアは**USBフラッシュメモリ**または**CD-R**に限ります。
※CD-Rへの書き込みはハイブリット（ISO9660）をお使いください。
※パケットライトなど特殊な機能は読めない原因になりますのでご使用にならないでください。
※メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルスチェックソフトでスキャンしてからご使用ください。

・コピーミスを防ぐため、メディアに発表データを格納した後、他のPCでも正常に作動するかをご確認くだ

さい。
・発表データは学術集会終了後、事務局で責任をもって消去します。
・スムーズな進行をするために「発表者ツール」の使用はお控えください。発表原稿が必要な方は、予めプリントアウトをお持ちください。
・上記の内容で発表に支障がある場合は予め運営準備室までご相談ください。

第77回日本循環器学会学術集会　運営準備室
日本コンベンションサービス株式会社内
TEL：03-3508-1726　FAX：03-3508-1302
E-mail：jcs2013@convention.co.jp

【発表時のご注意】
・次演者は会場左手前方の次演者席にお着きください。
・発表時は演台上のマウスとキーボードをご自身で操作してください。

【Featured Research Session・一般口述（英語・日本語）の発表者の方へ】
・一般口述演題は、Featured Research Session、一般口述（英語・日本語）の3種類のセッションで発表されます。

□発表言語
・Featured Research Session、一般口述（英語）の発表は英語です。

□発表時間
・Featured Research Session、一般口述（英語・日本語）ともに1演題15分（発表時間10分、討論時間5分）です。Featured Research SessionのKeynote Lectureは質疑応答を含めて20分です。
・発表時間の終了2分前に黄ランプ、発表時間終了時に赤ランプにて時間をお知らせいたします。くれぐれも時間厳守でお願いいたします。

【特別セッションの発表者の方へ】

□発表言語
・特別セッションの発表言語は「発表言語と同時通訳のご案内」をご参照ください。

□発表時間
・発表時間、総合討論の有無については事前にご案内いたします。
・発表時間の終了2分前に緑ランプ、発表時間終了時に赤ランプにて時間をお知らせいたします。くれぐれも時間厳守でお願いいたします。

■発言者の方へ
・発言を希望される方は、あらかじめマイク付近で待機してください。
・発言者は座長の指名順とし、発言の前にまず所属、氏名を名乗ってください。
・発言者は発表データを提示できません。

ポスターセッションに関するご案内

・ポスターセッションの発表形式は英語セッションと日本語セッションに分かれています。
・ポスター会場は、パシフィコ横浜 展示ホールＢＣＤに設置します。

■座長の方へ

・1人座長制です。
・セッション**開始時刻の20分前**までに、ポスターセッション受付にお越しください。座長用リボンをお渡しします。
・進行は**時間厳守**でお願いします。
・ポスター発表は1演題7分（発表時間4分＋討論時間3分）です。
・不測の事態により座長をお務めいただけない場合は、代理を立てていただいたうえで、セッション開始時刻の30分前までに「学会本部」（パシフィコ横浜 会議センター 2F「211」 TEL：045-228-6425）までご連絡ください。

■発表者の方へ

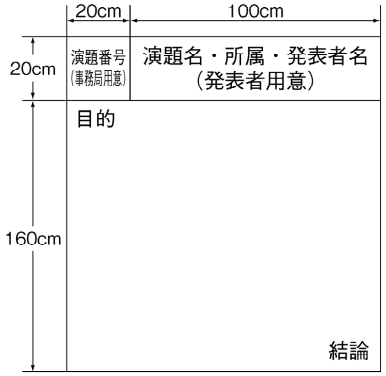
・ポスターセッション受付にて発表者用リボンをお受け取りください。
・ポスターの掲示時間は1日です。
・掲示および撤去は以下の時間に行ってください。撤去時間を過ぎても掲示されているポスターは事務局で処分いたしますので、予めご了承ください。

日程（月日）	掲　示	午前の発表	午後の発表	撤　去
第1日目（3月15日・金）	8:00～9:00	10:10～11:00	15:30～16:20	16:20～18:00
第2日目（3月16日・土）	8:00～9:00	10:10～11:00	16:30～17:20	17:20～18:50
第3日目（3月17日・日）	8:00～9:00	10:10～11:00	15:30～16:20	16:20～18:00

・発表予定時刻の20分前までにご自身のポスターの前で待機してください。
・セッションの進行に関しては座長の指示に従ってください。
・ポスター発表は1演題7分（発表時間4分＋討論時間3分）です。

■ポスター作成要領

・パネルのサイズは縦180cm×横120cmです。演題番号は予め表示されています（下図参照）。タイトルは演者ご自身でご用意ください。



※タイトルは演者ご自身でご用意ください。

・文字や図表のサイズ、レイアウトを工夫し、離れたところからでもわかりやすいポスターを作成してください。なお、「目的」「方法」「結果」「結論」などを明確にし、目的は左上部に、結論は右下部になるようにレイアウトしてください。
・発表言語に関わらずタイトルは英語で表記してください（コメディカルセッションは日本語）。
・日本語発表の場合、内容は日本語、英語いずれの表記でも可能です。
・**【利益相反(COI)の申告にご協力ください】**民間との共同研究、あるいは補助を受けた研究については、可能な限りポスター上で開示するようお願いします。

発表言語と同時通訳のご案内

第77回日本循環器学会学術集会での発表言語と同時通訳のあるセッションは次のとおりです。

セッション名	発表言語	同時通訳
美甘レクチャー	英語	英 ⇒ 日
真下記念講演	日本語	日 ⇒ 英
百一賀記念特別講演	日本語	なし
会長講演	日本語	日 ⇒ 英
特別講演 1-10	英語	英 ⇒ 日
会長特別企画（International Imaging Conference）	英語	なし
会長特別企画（The challenges of translation from discovery to therapy in 21st century cardiovascular medicine（JCS/ISHR joint symposium））	英語	なし
会長特別企画 （世界へ翔く循環器医学の発見･発明“メイド･イン･ジャパン”）	日本語	なし
会長特別企画（症例から学ぶ）	日本語	なし
会長特別企画	日本語	なし
プレナリーセッション 1, 4, 6, 7	日本語	なし
プレナリーセッション 2, 3, 5	英語	英 ⇒ 日
シンポジウム 1, 4, 6-9, 11-13, 15, 16, 18, 20-23	日本語	なし
シンポジウム 14	日本語	英 → 日
シンポジウム 2, 3, 5, 10, 17, 19	英語	なし
ジョイント・シンポジウム	英語	なし
ラウンドテーブルディスカッション 1-6, 8-12	日本語	なし
ラウンドテーブルディスカッション 7	英語	なし
トピックス 3-6, 9, 10, 12, 14, 16-18 トピックス 1, 2, 7, 8, 11, 13, 15	日本語 英語	なし なし
コントロバーシー 1-4	日本語	なし
ミート・ザ・エキスパート 1-3, 5-7, 9, 11-13	日本語	なし
ミート・ザ・エキスパート 4, 8, 10	英語	なし
モーニングレクチャー 1-33	日本語	なし
Late Breaking Clinical Trials	日本語	なし
Late Breaking Cohort Studies	日本語	なし
佐藤賞記念講演	英語	なし
Young Investigator's Award審査講演	英語	なし
国際留学生YIA審査講演	英語	なし
International Honorary Members' Memorial Lecture	英語	なし
教育セッション Ⅰ-Ⅲ	日本語	なし
Featured Research Session	英語	なし
一般口述（英語）	英語	なし
一般口述（日本語）	日本語	なし
ポスターセッション（英語）	英語	なし
ポスターセッション（日本語）	日本語	なし
コメディカルセッション（シンポジウム）	日本語	なし
コメディカルセッション（教育講演）	日本語	なし
コメディカル賞審査講演会	日本語	なし
コメディカルセッション（口述）	日本語	なし
コメディカルセッション（ポスター）	日本語	なし

第１日　３月 15 日（金）午前／March 15（Fri）AM

★マークは英語セッション、🎧 マークは同時通訳があるセッション

会場		8:00 8:30 9:00 9:30 10:00 10:30 11:00 11:40 12:00 12:40 13:00 13:40
国立大ホール	第１会場（国立大ホール）	E1-1 ビデオセッションⅠ-1 心臓CT/MRIの最新動向 尾崎 行男 吉岡 邦浩 E1-2 ビデオセッションⅠ-2 閉塞性肥大型心筋症に対するPTSMA 一色 高明 11:10 E1-3 ビデオセッションⅠ-3 心房細動アブレーションにおける三次元マッピングの活用 熊谷 浩一郎・神重 薫 12:50
パシフィコ横浜 会議センター	第２会場（1F メインホール）	SL01 ★🎧 Narula, J Kihara, Y SL02 ★🎧 Jang, I Murohara, T SL03 ★🎧 Fuster, V Komuro, I SL04 ★🎧 White, HD Isobe, M LS1 Common disease としての心房細動と蓄積される新規経口抗凝固薬のエビデンス
	第３会場（3F 301）	C01 CABG vs. PCI 競争と協調 天野 篤 宮崎 俊一 TP01 Sympathetic Nervous System and Brain-cardio-renal Interaction: Lessons from Renal Denervation Sunagawa, K・Asanoi, H LS2 CURRENT AND FUTURE DEVELOPMENTS IN PROMOTING CARDIOVASCULAR HEALTH AT 3 DIFFERENT AGES
	第４会場（3F 302）	ME01 アブレーションにおける合併症を予防するために 野上 昭彦 宮内 靖史 SY19 ★ The Potential Cardiovascular Effects of New Anti-diabetic Drugs Saito, Y Drucker, D LS3 Addressing CV Challenges in Type 2 DM
	第５会場（3F 303）	ME02 ゲノム研究最前線：循環器領域でのオーダーメイド医療は可能か？ 田中 敏博・清水 渉 SY03 ★ Genetic Background of Inherited Arrhythmias in Asia Horie, M Guicheney, P LS4 見直しが迫られる交感神経と血圧－脳を標的にした新たな治療戦略－
	第６会場（3F 304）	RT01 性差医学を循環器診療にどういかすか 中川 幹子 鄭 忠和 TP02 ★ Calcium Handling and Cardiac Arrhythmia Chen, P Ono, K LS5 条件付きMRI対応ペースメーカの院内導入の実際
	第７会場（3F 311+312）	OJ01 Arrhythmia, Others (Clinical/Diagnosis/Treatment) 1 OJ05 Atrial/Supraventricular Arrhythmia (Clinical/Treatment) LS6 心原性脳塞栓症予防の再考：J-RHYTHM Registry からの考察
	第８会場（3F 313+314）	FRS01 ★ Cardiomyopathy/Hypertrophy/Vascular Biology FRS03 ★ Valvular Heart Disease LS7 Clinical Impact of Stent Platform
	第９会場（3F 315）	FRS02 ★ Hypertension FRS04 ★ Pathophysiology and Novel Biomarkers of ACS LS8 ★ IMPELLAによる経皮的左室補助の実績
	第10会場（4F 411+412）	OE01 ★ Atrial Fibrillation / Ablation 1 10:10 11:00 OE05 ★ Ventricular Arrhythmia (Clinical/Diagnosis/Treatment) LS9 抗血栓療法における消化管傷害
	第11会場（4F 413）	YIA ★ YIA Finalists Lectures Nagai, R I-YIA ★ YIA for International Students Finalists Lectures Murohara, T LS10 心血管疾患における食後血糖管理の意義
	第12会場（4F 414+415）	OJ02 Heart Failure (Non-pharmacology) 10:30 10:40 OJ06 Cardiac Function (Clinical) LS11 僧帽弁疾患と三尖弁疾患：手術の適応と至適時期
	第13会場（4F 416+417）	OE02 ★ ACS/AMI (Clinical/Pathophysiology) OJ07 Exercise Test/Cardiac Rehabilitation LS12 循環器疾患におけるSAS診療の重要性
	Time	8:00 8:30 9:00 10:00 11:00 11:10 12:00 12:40 12:50 13:00 13:40

SL：特別講演
PL：プレナリーセッション
SY：シンポジウム
JS：ジョイントシンポジウム
SS：会長特別企画
RT：ラウンドテーブルディスカッション
TP：トピックス
C ：コントロバーシー

ME：ミート・ザ・エキスパート
ML：モーニングレクチャー
E ：教育セッション
FRS：Featured Research Session
OE：一般口述(英語)
OJ：一般口述(日本語)

コメディカルセッション
CE：教育講演
CS：シンポジウム
CA：コメディカル賞審査講演会
CO：一般演題(口述)
LS：ランチョンセミナー
FS：ファィアサイドセミナー

会場		8:00 8:30 9:00 10:00 11:00 11:10 12:00 12:40 12:50 13:00 13:40			
パシフィコ横浜 会議センター	第14会場 (4F 418)		OE03 ★ Coronary Circulation/Chronic Coronary Disease (Basic/Clinical)	OE06 ★ Angina Pectoris (Clinical) 1	LS13 「血圧」「脂質」「血糖」は、いかに介入すべきか？
	第15会場 (4F 419)		OJ03 Thromboembolism/ Antithrombotic Therapy/ Thrombolysis	OE07 ★ Atherosclerosis 1	LS14 高血圧治療における直接的レニン阻害薬(DRI)の使い方：ALTITUDE試験の結果を踏まえて
	第16会場 (5F 501)		SS4-1 症例から学ぶ 1) ＥＢＭの実践：この心不全症例にどのように対応するか？ 平山 篤志・佐藤 直樹	SS4-2 症例から学ぶ 2) この冠動脈疾患をどうする？ 一色 高明・吉野 秀朗	LS15 動脈硬化性疾患の予防に関する新たな知見
	第17会場 (5F 502)		SY16 弁膜症治療のニューパラダイム —内科と外科の協調— 赤阪 隆史 澤 芳樹	GL 学 1 ガイドラインに学ぶ1 宮崎 俊一	LS16 拡張機能障害に対するβ遮断薬療法
	第18会場 (5F 503)		LBCS1 Late Breaking Cohort Studies 1 池田 康夫 上松瀬 勝男	SY23 大災害と心血管病 下川 宏明 竹石 恭知	LS17 新世代DES：Nobori
	第19会場 (5F 511+512)		OE04 ★ Intravascular Imagings 1 (10:10)	OE08 ★ Intravascular Imagings 2	LS18 心臓核医学の未来を拓く新世代の半導体カメラ A New Generation of High Definition, High Sensitivity Cardiac imaging
パシフィコ横浜 アネックスホール	第20会場 (F201+F202)		CO1 循環器疾患の臨床検査	CE1 画像診断の最新テクノロジー	LS19 血圧変動性
	第21会場 (F203+F204)		ME03 関連学会のガイドラインに学ぶⅠ（消化器内視鏡学会、腎臓病学会、糖尿病学会） 伊藤 宏	TP03 ハートチームによる心血管治療の向上 高山 守正 夜久 均	LS20 変貌する心血管病の危険因子：久山町研究
	第22会場 (F205)		OJ04 Kidney/Renal Circulation/CKD 1	OE09 ★ Hypertension (Basic)	LS21 降圧目標値達成までもう一歩
	第23会場 (F206)		RT02 ３Ｄ心エコーの進歩 竹中 克 岩永 史郎	OE10 ★ Lipid Disorders (Basic)	LS22 日常医療まで浸透してきたCT利用の循環器診断
展示会ホール	ポスター会場 (1F 展示ホールB・C・D)	掲示 (10:00)	ポスター発表	11:10 12:40 12:50 13:40 コメディカルセッション 一般演題（ポスター）	
Time		8:00 9:00 10:00 10:10 11:00 12:00 13:00			

第１日　３月 15 日（金）午後／March 15（Fri）PM

★マークは英語セッション、🎧 マークは同時通訳があるセッション

会場		13:50 14:00	14:35 15:00	15:20 16:00	16:30 17:00	18:00 19:00	20:00
国立大ホール	第１会場（国立大ホール）	SL05 ★🎧 Zipes, DP Atarashi, H	SL06 ★🎧 Geczy, CL Node, K		SY01 重症冠動脈疾患患者の冠動脈血行再建：PCI と CABG の進歩 一色 高明 坂田 隆造	18:20	19:20
パシフィコ横浜 会議センター	第２会場（1F メインホール）	PL05 ★🎧 New Advance in Cardiac Regenerative Medicine -Basic Research and Clinical Trial- Matsubara, H・Bruneau, BG			PL02 ★🎧 Frontier of the Treatment of Atrial Fibrillation Okumura, K Zipes, DP	FS1 持続血糖モニター (continuous glucose monitoring:CGM) を用いた糖尿病治療の最適化～ DPP-4 阻害薬の可能性を含めて～	
	第３会場（3F 301）	RT03 循環器救急・集中治療の現状と新たなる期待：今後の CCU はどうあるべきか？ 田中 啓治 横山 広行			PL07 成人期の川崎病の実態と管理 濱岡 建城 上野 高史	FS2 更なる予後改善を目指した肺高血圧症治療	
	第４会場（3F 302）	TP04 未来へ向けて心エコー図法の進化 吉田 清 尾辻 豊			TP07 ★ Prevention of Cardiac Remodeling in Heart Failure: Present Status and Future Perspectives Zannad, F Komuro, I	FS3 内皮機能検査 (Flow-Mediated Vasodilatation:FMD) の臨床応用検査の普遍性を高めるために	
	第５会場（3F 303）	心臓移植委員会 第９回心臓移植セミナー 磯部 光章 佐野 俊二			健保対策委員会 保険医療セミナー 川名 正敏 小川 久雄	FS4 心筋病理とバイオマーカー	
	第６会場（3F 304）	ME04 ★ Hypertrophic Cardiomyopathy: An Update Doi, Y Seggewiss, H			RT04 包括的心疾患治療としての心臓リハビリテーションの新展開 野原 隆司 折口 秀樹	FS5 🎧 心臓突然死と着用型除細動器	
	第７会場（3F 311+312）	OJ08 Arrhythmia, Others (Clinical/Diagnosis/Treatment) 2			OJ12 Atrial/Supraventricular Arrhythmia (Clinical) 1	FS6 Marshall 静脈のすべて－解剖から心房細動アブレーションまで－	
	第８会場（3F 313+314）	FRS05 ★ CRT/ICD			FRS07 ★ State of the Art: Arrhythmia in Genetic and Systemic Disease	FS7 ★ Therapeutic Hypothermia and PCI for Cardiac Arrest Patients	
	第９会場（3F 315）	FRS06 ★ Antithrombotic Therapy			FRS08 ★ Nuclear Cardiology (Coronary, Myocardium)	FS8 全国急性冠症候群コホート研究シンポジウム本邦における National Registry の実現に向けて	
	第10会場（4F 411+412）	OE11 ★ Ventricular Arrhythmia (Clinical)	15:30		OE15 ★ Atrial/Supraventricular Arrhythmia (Basic)	18:10 FS9 血管内視鏡をめぐる最新のトピックス	19:50
	第11会場（4F 413）	OJ09 Cardiomyopathy/Hypertrophy (Basic) 1			OE16 ★ Cardiomyopathy/Hypertrophy (Clinical) 1	FS10 デクスメデトミジンの循環器集中治療における ユニークな鎮静効果	
	第12会場（4F 414+415）	OE12 ★ Translational Science			OE17 ★ Heart Failure (Pathophysiology) 1	FS11 心不全管理における Adaptive Servo Ventilation の有用性 -ASV が奏功する症例とは？-	
	第13会場（4F 416+417）	OJ10 Nuclear Cardiology (PET)			OE18 ★ ACS/AMI (Clinical/Diagnosis) 1	FS12 HDL を標的にした心血管病治療－ iCE ペプチドの可能性－	
Time		13:50 14:00	15:00 15:20	16:00 16:30	17:00 18:00	18:20 19:00 19:20	20:00

SL：特別講演
PL：プレナリーセッション
SY：シンポジウム
JS：ジョイントシンポジウム
SS：会長特別企画
RT：ラウンドテーブルディスカッション
TP：トピックス
C ：コントロバーシー

ME：ミート・ザ・エキスパート
ML：モーニングレクチャー
E ：教育セッション
FRS：Featured Research Session
OE：一般口述(英語)
OJ：一般口述(日本語)

コメディカルセッション
CE：教育講演
CS：シンポジウム
CA：コメディカル賞審査講演会
CO：一般演題(口述)
LS：ランチョンセミナー
FS：ファィアサイドセミナー

会場		13:50 14:00 15:00 15:20 16:00 16:30 17:00 18:00 18:20 19:00 19:20 20:00			
パシフィコ横浜 会議センター	第14会場 (4F 418)	OE13 ★ Coronary Revascularization/ PCI (Restenosis/ Others) 1		OE19 ★ Coronary Revascularization/ PCI (Restenosis/ Others) 2	FS13 CKD（慢性腎臓病）の疾患管理～尿中バイオマーカーL-FABP（L型脂肪酸結合蛋白）の可能性～
	第15会場 (4F 419)	OE14 ★ ACS/AMI (Basic)		OE20 ★ Atherosclerosis 2	FS14 RA系のProtective Arm ～高血圧治療のNew Paradigm Shift ～
	第16会場 (5F 501)	SS4-3 症例から学ぶ 3) 心房細動に対するTotal Management 三田村 秀雄 小林 義典		SS4-4 症例から学ぶ 4) 治療抵抗性高血圧へのアプローチ 苅尾 七臣 安東 克之	FS15 BNP測定の特徴と値の見方 ～J-ABS研究の結果を含めて
	第17会場 (5F 502)	GL 学 2 ガイドラインに学ぶ2 筒井 裕之		RT05 器質的心疾患における心室性不整脈のカテーテルアブレーション 青沼 和隆 小林 義典	FS16 高血圧治療の進歩 ～エピジェネティクス～
	第18会場 (5F 503)	LBCS2 Late Breaking Cohort Studies 2 望月 正武 和泉 徹		SY18 重症下肢虚血に対する治療戦略 古森 公浩 横井 宏佳	FS17 抗血小板療法と薬剤起因性消化管傷害の治療戦略
	第19会場 (5F 511+512)	OJ11 CT/MRI (Myocardium)	15:30	OE21 ★ Echo/Doppler (New Technology) 1	FS18 新技術 “Activation Imaging” で非同期を診る
パシフィコ横浜 アネックスホール	第20会場 (F201 F202)	CA 第3回コメディカル賞審査講演会 伊藤 浩 荒井 秀典		CO2 循環器疾患の治療	FS19 レニン・アンジオテンシン（RA）系抑制薬による降圧療法と新規ARBへの期待
	第21会場 (F203 F204)	TP05 本邦から発信するPCIの新たなエビデンス 木村 剛 中村 正人		AHA-JCS JS ★ Heart Failure Update 2013 Tsutsui, H Arnett, D	FS20 心・腎保護に対するニコランジルの最新の知見
	第22会場 (F205)	TP06 冠動脈疾患治療：バイオマーカーと先端画像で迫る 清野 精彦 安斉 俊久		OE22 ★ Hypertension (Clinical) 1	FS21 Congenital / Structural Heart Disease のカテーテル治療 (ASD/PFO)
	第23会場 (F206)	13:50 15:20		OJ13 Diabetes (DPP4 GLP1)	FS22 Revealing the New Technology of Imaging Modality -OFDI- OFDIテクノロジー－病理との比較及び臨床経験－
展示会ホール	ポスター会場 (1F 展示ホール B・C・D)	コメディカルセッション 一般演題（ポスター）	ポスター発表	撤去	18:20 19:20
Time		14:00 15:00 15:30 16:00 16:20 17:00 18:00 19:00 20:00			

第２日　３月 16 日（土）午前／March 16（Sat）AM

★マークは英語セッション、🎧 マークは同時通訳があるセッション

会場		8:00 8:30 9:00 10:00 10:30 11:00 11:10 11:55 12:00 12:40 13:00 13:40
国立大ホール	第１会場（国立大ホール）	E2 冠動脈血行再建術—診療ガイドラインを実臨床にいかに活かすか？ 落　雅美 住吉 徹哉 Mashimo 🎧 遠藤　章 / 矢崎 義雄 Mikamo ★🎧 Bolli, R / Hori, M
パシフィコ横浜 会議センター	第２会場（1F メインホール）	世界へ翔く循環器医学の発見・発明 "メイド・イン・ジャパン" 福田 恵一 7:35　8:15 SS3-1 / SS5 理想的な医療現場とは？—各界からの提言— 永井　良三 上田 真喜子 SY05 ★ Novel Treatment Targets of Heart Failure Komuro, I Molkentin, JD LS23 抗凝固療法の歴史を追いかけるダビガトラン
	第３会場（3F 301）	ML01 経カテーテル大動脈弁植え込み術（TAVI）の現状と将来 P.372 ★ / SL07 ★🎧 Fujita, T / Masuyama, T Katus, H / Hayashi, H 10:30 International Honorary Member's Memorial Lecture TP09 持続性心房細動に対するカテーテルアブレーション 中川　博 山根 禎一 LS24 ★ Clinical use of speckle tracking echocardiography
	第４会場（3F 302）	ML02 Biomarker Guided Therapy: Beyond BNP ME05 不全心筋：病態解明への挑戦（心筋生検研究会ジョイントセッション） 竹村 元三 髙野 博之 C02 急性心不全：強心薬は善か悪か？ 安村 良男 浅井 邦也 LS25 ★ Relationship between cardio-ankle vascular index(CAVI) and left ventricular hypertrophy in hypertensive subjects
	第５会場（3F 303）	ML03 若手循環器研究者育成セミナー２ ME06 加齢と循環器疾患：分子メカニズムから臨床へ 佐渡島 純一 筒井　裕之 SY15 離職リスクを避けるための課題と解決法 平田 健一 本江 純子 LS26 ２型糖尿病治療の現状と将来への展望 新たな糖尿病治療戦略：beyond glucose
	第６会場（3F 304）	ML04 CT-MRI による心筋 Perfusion Imaging TP08 ★ Role of Cardiac Images in Transcatheter Therapy for Valvular Disease Takayama, M Shiota, T TP10 循環器再生医療の Needs と Seeds とは？ 田畑 泰彦 福田 恵一 LS27 虚血を見極め、PCI を極める！！
	第７会場（3F 311+312）	ML05 OCT ガイドの PCI SS1-1 ★ 1) Why do We Use Imaging Device after PCI? Jang, Y Hirayama, A SS1-2 ★ 2) How do We Use Imaging Device Before PCI? Lee, SWL Park, S LS28 循環器領域におけるエキシマレーザの役割と可能性
	第８会場（3F 313+314）	ML06 失神の診断と鑑別 FRS09 ★ Recent Advances in AF Ablation and Surgery FRS11 ★ Exercise Test/Cardiac Rehabilitation LS29 血管内皮機能障害の予防と治療を考える　エビデンスからみた血管内皮機能検査 -FMD の新たな知見
	第９会場（3F 315）	ML07 循環器疾患リスク評価における「相対評価」と「絶対評価」を考える FRS10 ★ Topics of Angina Pectoris FRS12 ★ Echo/Doppler (New Technology) LS30 ★ Diagnosis & New Treatment Strategies for Severe Pulmonary Hypertension
	第10会場（4F 411+412）	ML08 薬剤性不整脈の診断と対処 OE23 ★ 10:10　11:00 Arrhythmia, Others (Basic) 1 OE30 ★ Atrial Fibrillation / Ablation 2 LS31 心房細動アブレーションにおける薬物治療 —抗不整脈薬、抗凝固薬、抗炎症薬をいかに使用すべきか—
	第11会場（4F 413）	ML09 植え込み型 VAS の進歩と本邦における役割 OE24 ★ Cardiomyopathy/ Hypertrophy (Clinical) 2 OE31 ★ Valvular Heart Disease/ Pericarditis/Cardiac Tumor 1 LS32 血圧変動性を考える
	第12会場（4F 414+415）	ML10 心サルコイドーシス Update OE25 ★ Heart Failure (Pharmacology) 1 OE32 ★ Molecular Biology/ Genetics/ Myocardium/ Vascular LS33 ARB のドラッグエフェクトを探る
	第13会場（4F 416+417）	ML11 心臓リハビリによる慢性心不全患者の外来管理 OE26 ★ Ischemic Heart Disease (Basic) OE33 ★ Atherosclerosis 3 LS34 心・腎保護のための高血圧治療戦略
Time		7:35 8:00 8:15 8:30 9:00 10:00 11:00 11:10 12:00 12:40 13:00 13:40

SL：特別講演
PL：プレナリーセッション
SY：シンポジウム
JS：ジョイントシンポジウム
SS：会長特別企画
RT：ラウンドテーブルディスカッション
TP：トピックス
C ：コントロバーシー

ME：ミート・ザ・エキスパート
ML：モーニングレクチャー
E ：教育セッション
FRS：Featured Research Session
OE：一般口述(英語)
OJ：一般口述(日本語)

コメディカルセッション
CE：教育講演
CS：シンポジウム
CA：コメディカル賞審査講演会
CO：一般演題(口述)
LS：ランチョンセミナー
FS：ファィアサイドセミナー

会場		7:35 8:00 8:15 8:30 9:00 10:00 11:00 11:10 12:00 12:40 13:00 13:40					
パシフィコ横浜 会議センター	第14会場 (4F 418)	ML12 日常臨床で大動脈解離を見落とさないための工夫	OE27 ★ Coronary Revascularization/ PCI (DES) 1		OE34 ★ Coronary Revascularization/ PCI (New Devices/ New Technology)	LS35 オートセットCSによる新たな心不全治療－Real Worldからの考察－
	第15会場 (4F 419)	ML13 PCIにおける冠血流予備量定量の意義	OJ14 ACS/AMI (Clinical/Diagnosis) 2		OE35 ★ Vascular Disease 1	LS36 循環器診断・治療で求められるCTとは～心臓CT課題点の克服に向け～
	第16会場 (5F 501)	ML14 アブレーションに役立つ心臓の解剖学	ME07 関連学会のガイドラインに学ぶII（透析学会、動脈硬化学会、老年病学会） 湊口 信也		SY17 ★ Recent Progress in Pulmonary Hypertension -From Bench to Bed- Takihara, K Voelkel, NF	LS37 Catheter Ablation of Atrial Fibrillation …Lesson from The Re-, Re-, Re-do Procedure
	第17会場 (5F 502)	ML15 Speckle Tracking Strain と Tissue Doppler Strain の使い分け	GL 学 3 ガイドラインに学ぶ3 小川 久雄		GL 学 4 ガイドラインに学ぶ4 平山 篤志	LS38 Dreams Become Reality: Abbott Vascular New-Generation DES and BVS Update
	第18会場 (5F 503)	ML16 うつは心疾患に如何なる影響を及ぼすか	LBCS3 Late Breaking Cohort Studies 3 清原 裕 島本 和明		SY11 循環器分野の医療経済評価と政策課題 永井 良三 田倉 智之	LS39 血流速度ベクトルを測って活かす！
	第19会場 (5F 511+512)	7:35 8:15	OE28 ★ Echo/Doppler (Myocardium)	10:10	男女共同参画委員会 第3回男女共同参画委員会セッション 上田 真喜子 平田 恭信	LS40 血管の機能～生体イメージングそして血管内皮～
パシフィコ横浜 アネックスホール	第20会場 (F201+F202)		CE2 臨床試験の基礎知識		CS1 循環器疾患患者への服薬指導・服薬管理	LS41 若手インターベンショナリストのためのMedtronic DES講座
	第21会場 (F203+F204)		SY09 観血的画像診断のUp Date 安武 正弘 濱崎 秀一		RT06 学校心臓検診は潜在的な心疾患の診断に有用か 小川 俊一 市田 蕗子	LS42 ★ Heart Team Approach for TAVI
	第22会場 (F205)		国際交流委員会 海外留学生セミナー 室原 豊明		編集委員会 Circulation Journal Award Session 下川 宏明	LS43 ★ Treatment of Obstructive and Central Sleep Apnea in Heart Failure：The ADVENT-HF Trial
	第23会場 (F206)		OE29 ★ Lipid Disorders (Clinical)		OE36 ★ Metabolic Syndrome/Obesity (Basic)	LS44 急性心筋梗塞における治療効果の判定
展示会ホール	ポスター会場 (1F 展示ホールB・C・D)	掲示	10:00	ポスター発表	11:10 12:40 13:40 コメディカルセッション 一般演題（ポスター）	
Time		8:00	9:00 10:00	10:10	11:00 12:00	13:00

第２日　３月 16 日（土）午後／March 16（Sat）PM

★マークは英語セッション、🎧 マークは同時通訳があるセッション

会場		14:00	15:00	15:45 16:00	16:30 16:50 17:00	18:00	18:50 19:00	20:00 21:00 22:00
国立大ホール	第１会場（国立大ホール）	14:40	百一賀記念 医療プロフェッショナルの育成 日野原 重明 河合　忠一	会長講演 🎧 水野 杏一 高野 照夫	SS2 ★ The Challenges of Translation from Discovery to Therapy in 21st Century Cardiovascular Medicine Hori, M Avkiran, M		20:30	
パシフィコ横浜会議センター	第２会場（1F メインホール）		PL04 治療抵抗性高血圧を克服する 木村玄次郎 長谷部直幸		PL03 ★🎧 To Improve Outcomes of Acute Heart Failure Patients: Lessons from Asian and Western Registries Sato, N Gheorghiade, M		FS23 🎧 急性心不全治療におけるサムスカの役割	
	第３会場（3F 301）		SY08 循環器画像診断は臨床にいかに役立っているか 尾崎 行男 望月 輝一		佐藤賞 ★ Satoh Memorial Award Lecture Mizuno, K 18:00 SL08 ★🎧 Virmani, R Ueda, M 18:05		FS24 4th MGH OCT Registry Symposium	
	第４会場（3F 302）		TP11 ★ Cardiac Protection in Metabolic Syndrome Miura, T Gottlieb, R	17:10	TP13 ★ Bioresorbable Vascular Scaffold Technology: Its Current Status and Future Prospects Saito, S Morino, Y		FS25 第 74 回冠循環談話会「心血管疾患における交感神経の役割 revisited」	22:00
	第５会場（3F 303）		ME08 ★ Inflammation, Atherosclerosis and Coronary Artery Disease Nakamura, H Shepherd, J		C03 下大静脈フィルターは原則使用すべきか 丹羽 明博 孟　　真		FS26 ★ THE NATRIURETIC PEPTIDE SYSTEM AND THE ROLE OF NEPRILYSIN AS A THERAPEUTIC TARGET IN CARDIOVASCULAR DISEASE	20:30
	第６会場（3F 304）		SY07 心血管系再生医療の最前線 —臨床研究に学ぶ— 宮本 正章 福田　昇		TP14 非侵襲的検査による Coronary Plaque Imaging Update 栗林 幸夫 山科　章		19:00 20:00	
	第７会場（3F 311+312）		SS1-3 ★ 3) Clinical Application of Future Imaging Technology Akasaka, T Jang, I		FRS15 ★ Obesity/Metabolic Syndrome/Lipid Disorder		FS27 動脈硬化予防のための糖尿病治療～メトホルミンへの新たな期待を含めて～	
	第８会場（3F 313+314）		FRS13 ★ Heart Failure (Clinical)		FRS16 ★ Heart Failure (Basic)		FS28 虚血性心疾患の長期予後改善効果 脂質低下療法の意義と残存リスク	
	第９会場（3F 315）		FRS14 ★ Diabetes		FRS17 ★ Vascular Disease		FS29 冠攣縮の最新知見	
	第10会場（4F 411+412）		OE37 ★ Atrial Fibrillation / Ablation 3	16:20 17:10	OJ16 Atrial Fibrillation / Ablation 4		FS30 心不全における利尿薬の使い方	
	第11会場（4F 413）		OE38 ★ Cardiomyopathy/ Hypertrophy (Basic) 2		OJ17 Vascular Biology 1		19:00 20:00	
	第12会場（4F 414+415）		OJ15 Heart Failure (Laboratory/ Biomarkers) 1		OE44 ★ Heart Failure (Basic)		FS31 変革する糖尿病薬物治療におけるSU薬の位置づけ～大血管イベント管理を踏まえた血糖管理～	
	第13会場（4F 416+417）		OE39 ★ Autonomic Nervous System		OE45 ★ CT/MRI (Coronary/ Vascular)		FS32 PAD（末梢動脈疾患）Update	
	Time	14:00	14:40 15:00	16:00 16:10	17:00 17:20	18:00	18:50 19:00	20:00 21:00 22:00

SL：特別講演
PL：プレナリーセッション
SY：シンポジウム
JS：ジョイントシンポジウム
SS：会長特別企画
RT：ラウンドテーブルディスカッション
TP：トピックス
C ：コントロバーシー

ME：ミート・ザ・エキスパート
ML：モーニングレクチャー
E ：教育セッション
FRS：Featured Research Session
OE：一般口述(英語)
OJ：一般口述(日本語)

コメディカルセッション
CE：教育講演
CS：シンポジウム
CA：コメディカル賞審査講演会
CO：一般演題(口述)
LS：ランチョンセミナー
FS：ファィアサイドセミナー

会場		14:00	14:40	15:00	16:00	16:10	17:00	17:20	18:00	18:50	19:00	20:00	20:30
パシフィコ横浜 会議センター	第14会場 (4F 418)			OE40 ★ Coronary Revascularization/ PCI (Complex Lesions) 1				OE46 ★ Cardiovascular Surgery/CABG			FS33 心不全と呼吸器感染症のクロストーク		
	第15会場 (4F 419)			OE41 ★ ACS/AMI (Clinical/ Treatment) 1				OE47 ★ Regeneration			FS34 心血管病におけるサプリメントの有効性について		
	第16会場 (5F 501)			TP12 重症心室性不整脈の緊急治療 平尾 見三 三田村 秀雄				SY12 新たな抗血栓療法の EBM 島田 和幸 小川 久雄			FS35 What we have found from high-sensitivity cardiac Troponin T measurements		
	第17会場 (5F 502)			SY10 ★ New Biomarkers for Cardiovascular Disease Prevention Iso, H Folsom, AR				SY14 成人先天性心疾患の診療体制の確立 八尾 厚史 丹羽 公一郎			FS36 REVEAL: Registry to Evaluate Early and Long-Term PAH Disease Management		
	第18会場 (5F 503)			LBCT1 Late Breaking Clinical Trials 1 篠山 重威 藤田 敏郎				SY04 低心機能例における突然死回避のための集学的治療戦略 青沼 和隆 杉 薫			FS37 血管内脳神経外科医の CAS ～最新のデバイス＆テクニック～		
	第19会場 (5F 511+512)			OE42 ★ Echo/Doppler (Others) 1				OJ18 Nuclear Cardiology (Coronary, Myocardium) 1			Anti-Smoking 第 12 回禁煙推進セミナー		
パシフィコ横浜 アネックスホール	第20会場 (F201 F202)			CS2 心臓リハビリテーションにおける運動療法の効果判定				CE3 震災慢性期—復興期の心不全予防介入の緊急性・重要性			FS38 心臓血管病の residual risk を考える：境界型と糖尿病		
	第21会場 (F203 F204)			ACC-JCS JS ★ Cardiac Rehabilitation as Cardiovascular Therapy Goto, Y Norine, MN				SY22 禁煙を科学する 室原 豊明 朔 啓二郎			FS39 脂質異常症治療の最新の動向 - 映像でみる動脈硬化の新知見と異所性脂肪 -		
	第22会場 (F205)			OE43 ★ Congenital Heart Disease/Kawasaki Disease				OE48 ★ Kidney/Renal Circulation/CKD 2			FS40 Assessment of Endothelial Function in clinical practice.		
	第23会場 (F206)			学術委員会 Translational Research 振興事業最終報告会 小室 一成		16:30	17:20	OJ19 Lipid Disorders (ω 3PUFA)			FS41 虚血性心筋症における hANP の役割		
展示会ホール	ポスター会場 (1F 展示ホールB・C・D)		14:40	コメディカルセッション 一般演題（ポスター）	16:10	ポスター発表		撤去			19:00	20:30	
ランドマークプラザ	ランドマークホール (5F)		第 11 回 禁煙のための 市民公開講座	第 11 回心肺蘇生法 市民公開講座						18:50			
Time		14:00		15:00	16:00		17:00	17:30	18:00		19:00	20:00	

第３日　３月 17 日（日）午前／March 17（Sun）AM

★マークは英語セッション、🎧 マークは同時通訳があるセッション

	会場	8:00 8:30 9:00 10:00 10:30 11:00 11:10 11:55 12:00 12:40 13:00 13:40				
国立大ホール	第１会場（国立大ホール）		SS3-2 世界へ翔く循環器医学の発見・発明“メイド・イン・ジャパン” 山口 徹 小川 聡		SL09 ★🎧 Libby, P Kim-Mitsuyama, S / SL10 ★🎧 Cox, JL Hayakawa, H	12:50
パシフィコ横浜 会議センター	第２会場（1F メインホール）	7:35 8:15	PL01 Beyond LDL：残存リスクを考える 山岸 正和 代田 浩之		医療倫理委員会 第 12 回医療安全・医療倫理に関する講演会 奥村 謙 近森 大志郎	LS45 Residual Risk を考慮した治療とは？～EPA・DHA への期待～
	第３会場（3F 301）	ML17 臨床と研究における冠動脈光干渉断層法（coronary-OCT）の活用法	SY02 ★ Molecular Mechanism of Plaque Destabilization Sata, M Yoshida, M		SY13 Structural Heart Disease のカテーテルインターベンションの進歩 中西 敏雄 高山 守正	LS46 循環器医に必要な血液凝固の知識と抗血栓療法
	第４会場（3F 302）	ML18 食塩と循環器疾患に関する最新の話題	SY21 心室細動に対する心脳蘇生と救急心血管治療 野々木 宏 長尾 建		TP15 ★ Recent Topics on Pathophysiology of Atrial Fibrillation Nattel, S Yamashita, T	LS47 ★ Statin on Atherosclelosis
	第５会場（3F 303）	ML19 重症心不全に対する心臓リハビリテーション	ME09 急性心不全薬物療法の展望 北風 政史 山本 一博		循環器救急医療委員会 日本循環器学会蘇生科学シンポジウム 長尾 建 朔 啓二郎	LS48 「パーフェクト 24 時間血圧コントロール」～ACHIEVE-ONE の最新成績と交感神経 Up-To-Date～
	第６会場（3F 304）	ML20 心臓手術後に新たに出現する不整脈への対応	RT07 ★ Long-term Outcome after the Maze Procedure Cox, JL Nitta, T		ME11 心肺運動負荷試験から見た心疾患 伊東 春樹 安達 仁	LS49 ～心不全治療 Update～アルドステロン受容体拮抗薬に期待される役割とは
	第７会場（3F 311+312）	ML21 特発性心室細動の最新の知見	OJ20 ECG/Body Surface Potential Mapping/ Holter		OJ23 Cerebrovascular Circulation/Stroke	LS50 ★ Fabry Cardiomyopathy: Early Detection and Intervention
	第８会場（3F 313+314）	ML22 臨床における血管機能検査の重要性	FRS18 ★ Pulmonary Circulation		FRS20 ★ Heart Failure (Basic/ Clinical)	LS51 Updated ！血管内視鏡
	第９会場（3F 315）	ML23 右心機能評価から何が見えるか？	FRS19 ★ CT/MRI (Coronary/ Vascular)		FRS21 ★ New Insights in Drug Eluting Stent	LS52 心不全患者に対する新しい治療の可能性
	第10会場（4F 411+412）	ML24 CRTD 植え込みの工夫	OE49 ★ Atrial/ Supraventricular Arrhythmia (Clinical) 2	10:10 11:00	OE56 ★ Atrial Fibrillation / Ablation 5	LS53 臨床研究から考える循環器バイオマーカー活用術
	第11会場（4F 413）	ML25 難治性心不全の薬物治療に関して	OE50 ★ Vascular Biology 2		OJ24 Valvular Heart Disease/ Pericarditis/Cardiac Tumor 2	LS54 “最初のインスリン”から考える 2 型糖尿病の治療戦略～非専門医が活かす持効型インスリンの長所～
	第12会場（4F 414+415）	ML26 心筋炎：拡張型心筋症とその関連	OE51 ★ Heart Failure (Laboratory/ Biomarkers) 2		OJ25 Heart Failure (Pathophysiology) 2	LS55 Cardio-Renal Anemia Syndrome
	第13会場（4F 416+417）	ML27 がん化学療法の進歩と心血管合併症	OE52 ★ Vascular Disease 2		OJ26 Cardiomyopathy/ Hypertrophy (Clinical) 3	LS56 大血管疾患予防を目的とした、脂質および血糖に対する包括的な管理
	Time	7:35 8:00 8:15 8:30 9:00 10:00 11:00 11:10 12:00 12:40 12:50 13:00 13:40				

SL：特別講演
PL：プレナリーセッション
SY：シンポジウム
JS：ジョイントシンポジウム
SS：会長特別企画
RT：ラウンドテーブルディスカッション
TP：トピックス
C ：コントロバーシー

ME：ミート・ザ・エキスパート
ML：モーニングレクチャー
E ：教育セッション
FRS：Featured Research Session
OE：一般口述(英語)
OJ：一般口述(日本語)

コメディカルセッション
CE：教育講演
CS：シンポジウム
CA：コメディカル賞審査講演会
CO：一般演題(口述)
LS：ランチョンセミナー
FS：ファィアサイドセミナー

会場		7:35 8:00 8:15 8:30 9:00 10:00 11:00 11:10 12:00 12:40 12:50 13:00 13:40				
パシフィコ横浜 会議センター	第14会場 (4F 418)	ML28 エキシマレーザー治療による冠動脈形成術	OJ21 Coronary Revascularization/ PCI (DES) 2		OJ27 Coronary Revascularization/ PCI (Complex Lesions) 2	LS57 「Cardio Renal Syndrome の病態に迫る」 ～インドキシル硫酸を知って心腎連関を断つ～
	第15会場 (4F 419)	ML29 心疾患と呼吸管理	OE53 ★ ACS/AMI (Clinical/ Treatment) 2		OJ28 Atherosclerosis 4	LS58 心血管イベント抑制のための糖尿病治療戦略
	第16会場 (5F 501)	ML30 若手循環器研究者育成セミナー 1	SS4-5 症例から学ぶ 5) この弁膜症：あなたならどうする？ 山﨑 純一・高山 守正		SS4-6 症例から学ぶ 6) 非心臓手術の術前リスク評価と対応 山科 章・代田 浩之	LS59 スタチンを改めて考える Vascular protection と Cardio protection
	第17会場 (5F 502)	ML31 経食道心エコーによる成人先天性心疾患の評価	GL 解説 1 ガイドライン解説 1 奥村 謙		GL 解説 2 ガイドライン解説 2 佐地 勉	LS60 心房細動管理における抗凝固療法の最新の話題
	第18会場 (5F 503)	ML32 女性の心疾患の徴候を見逃さないために	ME10 ★ The Trialist Tells Evidence of New Anticoagulants Maruyama, I Goto, S		RT08 心疾患増悪因子としての高血圧関連病態を考える 楽木 宏実 今泉 勉	LS61 ★ Apixaban for Stroke Prevention in Patients with AF
	第19会場 (5F 511+512)	ML33 慢性血栓性肺高血診療における up to date	OJ22 Nuclear Cardiology (Coronary, Myocardium) 2		OE57 ★ Intravascular Imagings 3	LS62 心臓血管病リスクを減らす糖尿病・食後高血糖の治療：最近の考え方
パシフィコ横浜 アネックスホール	第20会場 (F201+F202)	7:35 8:15	CE4 遠隔モニタリングの可能性・自己管理への支援		CE5 血管疾患診療に活かす超音波検査	LS63 冠攣縮性狭心症の診断と治療 その課題と展望まで
	第21会場 (F203+F204)		ESC-JCS JS ★ Recent Progress in the Understanding, Management and Prevention of Sudden Cardiac Death Shimokawa, H Vardas, P		心臓核医学会 心サルコイドーシスの画像診断—疾患活動性の評価 磯部 光章 石田 良雄	LS64 日本人に適した降圧薬とは？～食塩感受性を考慮した高血圧治療の考え方～
	第22会場 (F205)		OE54 ★ Hypertension (Clinical) 2		CO3 循環器疾患のリハビリテーション	LS65 New generation of Irrigated Radiofreguency Ablation Catheter
	第23会場 (F206)	8:30	OE55 ★ Climatological Medicine/Disaster/ Preventive Medicine		OJ29 Metabolic Syndrome (Basic)	LS66 β遮断薬の魅力を探る A Keen Impact of Beta-blocker Therapy for the Reduction of Cardiovascular Burden
展示会ホール	ポスター会場 (1F 展示ホールB・C・D)	掲示	10:00 ポスター発表		11:10 12:40 12:50 13:40 コメディカルセッション 一般演題（ポスター）	
Time		8:00	9:00 10:00 10:10		11:00 12:00	13:00

第 3 日　3 月 17 日（日）午後／March 17（Sun）PM

★マークは英語セッション、🎧 マークは同時通訳があるセッション

会場		13:50–15:50	15:50–16:30	16:30–18:00	18:00–20:00
国立大ホール	第 1 会場（国立大ホール）	E3 新しい抗凝固薬の臨床 後藤 信哉 山下 武志		SY06 新しい高血圧治療ガイドライン JSH2014 はいかに進化すべきか 島本 和明 檜垣 實男	
パシフィコ横浜 会議センター	第 2 会場（1F メインホール）	13:50–15:00	市民公開講座 「知って得する生活習慣病対策のコツ」	17:35–18:00	
	第 3 会場（3F 301）	RT09 2 型 DM による大血管障害と早期介入法 綿田 裕孝 植木 浩二郎	15:20	PL06 心臓と他臓器のコミュニケーションを探る —臓器連関から考える新しい循環器病治療戦略— 筒井 裕之 吉村 道博	
	第 4 会場（3F 302）	ME12 非侵襲的検査による心臓突然死予測 新 博次 池田 隆徳		ME13 弁膜症治療の最近の動向と治療指針 大北 裕 中谷 敏	
	第 5 会場（3F 303）	TP16 ステント留置後の血管治癒反応を診る 南都 伸介 井上 勝美		RT10 循環器疾患に合併する睡眠時呼吸障害の機序と治療 —新たな概念・新たな介入法— 百村 伸一 安藤 真一	
	第 6 会場（3F 304）	SY20 大動脈疾患の治療ストラテジーを考える —ステントか外科治療か— 髙本 眞一 倉谷 徹		RT11 大動脈解離はなぜ起こるか？ 加地 修一郎 荻野 均	
	第 7 会場（3F 311+312）	OJ30 Arrhythmia, Others (Basic) 2		OJ35 Atrial Fibrillation / Ablation 6	
	第 8 会場（3F 313+314）	FRS22 ★ Kidney/Renal Circulation/CKD		FRS24 ★ ECG/Body Surface Potential Mapping/ Holter	
	第 9 会場（3F 315）	FRS23 ★ Chronic Total Occlusion		FRS25 ★ Atherosclerosis	
	第10会場（4F 411+412）	OE58 ★ Atrial/ Supraventricular Arrhythmia (Clinical) 3	15:30–16:20	OE62 ★ Arrhythmia, Others (Clinical/Diagnosis/ Treatment) 3	
	第11会場（4F 413）	OE59 ★ Pulmonary Circulation		OJ36 Infection/ Inflammation/ Immunity	
	第12会場（4F 414+415）	OE60 ★ Heart Failure (Diagnosis)		OJ37 Heart Failure (Pharmacology) 2	
	第13会場（4F 416+417）	OE61 ★ Cardiac Arrest		OJ38 Echo/Doppler (Others) 2	
Time		13:50 14:00 15:00 15:20	16:00	16:30 17:00	18:00 19:00 20:00

SL：特別講演
PL：プレナリーセッション
SY：シンポジウム
JS：ジョイントシンポジウム
SS：会長特別企画
RT：ラウンドテーブルディスカッション
TP：トピックス
C　：コントロバーシー

ME：ミート・ザ・エキスパート
ML：モーニングレクチャー
E　：教育セッション
FRS：Featured Research Session
OE：一般口述（英語）
OJ：一般口述（日本語）

コメディカルセッション
CE：教育講演
CS：シンポジウム
CA：コメディカル賞審査講演会
CO：一般演題（口述）
LS：ランチョンセミナー
FS：ファィアサイドセミナー

会場		13:50 14:00 15:00 15:20 16:00 16:30 17:00 18:00 19:00 20:00			
パシフィコ横浜 会議センター	第14会場（4F 418）	OJ31 Angina Pectoris (Clinical) 2		OJ39 Coronary Revascularization/ PCI (Restenosis/ Others) 3	
	第15会場（4F 419）	OJ32 Vascular Disease 3		OJ40 ACS/AMI (Clinical/ Treatment) 3	
	第16会場（5F 501）	SS4-7 症例から学ぶ 7) 失神・めまいへのアプローチ 小林 洋一・吉村 道博		SS4-8 症例から学ぶ 8) 成人先天性心疾患へのアプローチ 丹羽 公一郎・小川 俊一	
	第17会場（5F 502）	TP17 新しい時代を迎えた心原性脳塞栓の予防と治療（心と脳からなる新たなる展開） 早川 弘一 片山 泰朗		C04 デバイス治療に関するコントロバーシー 松本 万夫 中里 祐二	
	第18会場（5F 503）	LBCT2 Late Breaking Clinical Trials 2 横山 光宏 鄭　忠和		RT12 難治性冠攣縮へのアプローチ 下川 宏明 小川 久雄	
	第19会場（5F 511+512）	OJ33 Echo/Doppler (New Technology) 2		OJ41 Intravascular Imagings 4	
パシフィコ横浜 アネックスホール	第20会場（F201 F202）	CS3 PAD 末梢血管疾患の治療と管理		CS4 ハイブリッド治療時代のコメディカルのコラボレーション	
	第21会場（F203 F204）	KSC-JCS JS ★ Diabetic Coronary Artery Disease in Asia Sata, M Park, S		TP18 さまざまな心電情報を日常生活に活かす 加藤 貴雄 樗木 晶子	
	第22会場（F205）	CO4 循環器疾患の看護		OJ42 Hypertension (Clinical) 3	
	第23会場（F206）	OJ34 Stress-psychosomatic Medicine	16:30	18:00	
展示会ホール	ポスター会場（1F 展示ホールB・C・D）	13:50 15:20 コメディカルセッション 一般演題（ポスター）	ポスター発表	撤去	
Time		14:00 15:00 15:30 16:00 16:20 17:00 18:00 19:00 20:00			

ポスター発表
第１日　３月 15 日（金）／March 15（Fri）

AM				
ポスター掲示　8:00～ 9:00				
ポスター発表　10:10～11:00				
ポスター会場（パシフィコ横浜　１Ｆ　展示ホール）	**PE（ポスターセッション 英語）1～16**		**PJ004**	ACS/AMI (Basic) PJ-022 ～ PJ-028
	PE001	Arrhythmia (Basic) PE-001 ～ PE-007	**PJ005**	ACS/AMI (Clinical/Diagnosis) 2 PJ-029 ～ PJ-035
	PE002	Arrhythmia, Others (Clinical) 1 PE-008 ～ PE-014	**PJ006**	Angina Pectoris (Clinical) 1 PJ-036 ～ PJ-042
	PE003	Atrial/Supraventricular Arrhythmia (Clinical) 1 PE-015 ～ PE-021	**PJ007**	Atherosclerosis 2 PJ-043 ～ PJ-049
	PE004	Atrial Fibrillation / Ablation 1 PE-022 ～ PE-028	**PJ008**	Coronary Revascularization/PCI (DES) 2 PJ-050 ～ PJ-056
	PE005	ACS/AMI (Clinical/Diagnosis) 1 PE-029 ～ PE-035	**PJ009**	Coronary Revascularization/PCI (Restenosis/Others) 2 PJ-057 ～ PJ-063
	PE006	Atherosclerosis 1 PE-036 ～ PE-042	**PJ010**	Thromboembolism/Antithrombotic Therapy/Thrombolysis 1 PJ-064 ～ PJ-070
	PE007	Coronary Revascularization/PCI (DES) 1 PE-043 ～ PE-049	**PJ011**	ACLS PJ-071 ～ PJ-077
	PE008	Coronary Revascularization/PCI (Restenosis/Others) 1 PE-050 ～ PE-056	**PJ012**	Cardiac Arrest PJ-078 ～ PJ-084
	PE009	Cardiomyopathy/Hypertrophy (Clinical) 1 PE-057 ～ PE-063	**PJ013**	Heart Failure (Laboratory/Biomarkers) 2 PJ-085 ～ PJ-091
	PE010	Heart Failure (Diagnosis) 1 PE-064 ～ PE-070	**PJ014**	Heart Failure (Pathophysiology) 1 PJ-092 ～ PJ-098
	PE011	Heart Failure (Laboratory/Biomarkers) 1 PE-071 ～ PE-077	**PJ015**	Heart Failure (Pharmacology) 1 PJ-099 ～ PJ-105
	PE012	Hypertention (Clinical) 1 PE-078 ～ PE-084	**PJ016**	Pulmonary Circulation 1 PJ-106 ～ PJ-112
	PE013	CT/MRI (Coronary/Vascular) 1 PE-085 ～ PE-091	**PJ017**	Valvular Heart Disease/Pericarditis/ Cardiac Tumor 1 PJ-113 ～ PJ-119
	PE014	Intravascular Imagings 1 PE-092 ～ PE-098	**PJ018**	Kidney/Renal Circulation/CKD 1 PJ-120 ～ PJ-126
	PE015	Diabetes (Glycemic Variability) PE-099 ～ PE-105	**PJ019**	CT/MRI (Coronary/Vascular) 2 PJ-127 ～ PJ-133
	PE016	Congenital Heart Disease PE-106 ～ PE-112	**PJ020**	Echo/Doppler (Others) 1 PJ-134 ～ PJ-140
	PJ（ポスターセッション 日本語）1～24		**PJ021**	Intravascular Imagings 2 PJ-141 ～ PJ-147
	PJ001	Atrial Fibrillation / Ablation 2 PJ-001 ～ PJ-007	**PJ022**	Nuclear Cardiology (PET, BMIPP) PJ-148 ～ PJ-154
	PJ002	Atrial/Supraventricular Arrhythmia (Basic) PJ-008 ～ PJ-014	**PJ023**	Diabetes (Basic) PJ-155 ～ PJ-161
	PJ003	Calcium Handling PJ-015 ～ PJ-021	**PJ024**	Lipid Disorders 1 PJ-162 ～ PJ-168

PM				
ポスター発表　15:30〜16:20				
ポスター会場（パシフィコ横浜　1F　展示ホール）	PE（ポスターセッション 英語）17〜31		PJ029	ACS/AMI (Clinical/Pathophysiology) 2 PJ-197 〜 PJ-203
	PE017	Atrial Fibrillation / Ablation 3 PE-113 〜 PE-119	PJ030	Angina Pectoris (Clinical) 2 PJ-204 〜 PJ-210
	PE018	Atrial/Supraventricular Arrhythmia 1 PE-120 〜 PE-126	PJ031	Atherosclerosis 3 PJ-211 〜 PJ-217
	PE019	ECG/Body Surface Potential Mapping/ Holter 1 PE-127 〜 PE-133	PJ032	Coronary Revascularization/PCI (DES) 3 PJ-218 〜 PJ-224
	PE020	ACS/AMI (Clinical/Pathophysiology) 1 PE-134 〜 PE-140	PJ033	Coronary Revascularization/PCI (Restenosis/Others) 4 PJ-225 〜 PJ-231
	PE021	Coronary Circulation/Chronic Coronary Disease (Basic/Clinical) 1 PE-141 〜 PE-146	PJ034	Myocardial Ischemia-reperfusion (Clinical) PJ-232 〜 PJ-238
	PE022	Coronary Revascularization/PCI (Restenosis/Others) 3 PE-147 〜 PE-153	PJ035	Cardiac Function (Basic) PJ-239 〜 PJ-245
	PE023	Vascular Disease 1 PE-154 〜 PE-160	PJ036	Cardiomyopathy/Hypertrophy (Clinical) 2 PJ-246 〜 PJ-252
	PE024	Exercise Test/Cardiac Rehabilitation 1 PE-161 〜 PE-167	PJ037	Cardiovascular Pharmacology (Clinical) PJ-253 〜 PJ-259
	PE025	Infection/Inflammation/Immunity PE-168 〜 PE-174	PJ038	Heart Failure (Laboratory/Biomarkers) 3 PJ-260 〜 PJ-266
	PE026	Hypertention (Clinical) 2 PE-175 〜 PE-181	PJ039	Heart Failure (Non-pharmacology) 1 PJ-267 〜 PJ-273
	PE027	Kidney/Renal Circulation/CKD 2 PE-182 〜 PE-188	PJ040	Heart Failure (Pathophysiology) 2 PJ-274 〜 PJ-280
	PE028	Echo/Doppler (New Technology) 1 PE-189 〜 PE-195	PJ041	Pulmonary Circulation 2 PJ-281 〜 PJ-287
	PE029	Nuclear Cardiology (Coronary, Myocardium) 1 PE-196 〜 PE-202	PJ042	Valvular Heart Disease/Pericarditis/ Cardiac Tumor 2 PJ-288 〜 PJ-294
	PE030	Lipid Disorders 2 PE-203 〜 PE-209	PJ043	Kidney/Renal Circulation/CKD 3 PJ-295 〜 PJ-301
	PE031	Metabolic Syndrome (Clinical) PE-210 〜 PE-215	PJ044	CT/MRI (Coronary/Vascular) 3 PJ-302 〜 PJ-308
	PJ（ポスターセッション 日本語）25〜48		PJ045	Echo/Doppler (New Technology) 2 PJ-309 〜 PJ-315
	PJ025	Arrhythmia, Others 1 PJ-169 〜 PJ-175	PJ046	Intravascular Imagings 3 PJ-316 〜 PJ-322
	PJ026	Atrial Fibrillation / Ablation 4 PJ-176 〜 PJ-182	PJ047	Obesity/SAS/Metabolic Syndrome (Clinical) 1 PJ-323 〜 PJ-329
	PJ027	Atrial/Supraventricular Arrhythmia 2 PJ-183 〜 PJ-189	PJ048	Cerebrovascular Circulation/Stroke 1 PJ-330 〜 PJ-336
	PJ028	ACS/AMI (Clinical/Diagnosis) 3 PJ-190 〜 PJ-196		
ポスター撤去　16:20〜18:00				

ポスター発表
第２日　３月 16 日（土）／March 16（Sat）

AM				
ポスター掲示　8:00～ 9:00				
ポスター発表　10:10～11:00				
ポスター会場（パシフィコ横浜　１Ｆ　展示ホール）	**PE（ポスターセッション 英語）32～48**		PJ051	CRT/ICD 2 PJ-351 ～ PJ-357
	PE032	Arrhythmia, Others (Clinical) 2 PE-216 ～ PE-222	PJ052	ACS/AMI (Clinical/Treatment) 1 PJ-358 ～ PJ-364
	PE033	Atrial Fibrillation / Ablation 5 PE-223 ～ PE-229	PJ053	Atherosclerosis 5 PJ-365 ～ PJ-371
	PE034	CRT/ICD 1 PE-230 ～ PE-236	PJ054	Atherosclerosis 6 PJ-372 ～ PJ-378
	PE035	ECG/Body Surface Potential Mapping/ Holter 2 PE-237 ～ PE-243	PJ055	Coronary Circulation/Chronic Coronary Disease (Basic/Clinical) 3 PJ-379 ～ PJ-384
	PE036	Atherosclerosis 4 PE-244 ～ PE-250	PJ056	Coronary Revascularization/PCI (Complex Lesions) 1 PJ-385 ～ PJ-391
	PE037	Coronary Circulation/Chronic Coronary Disease (Basic/Clinical) 2 PE-251 ～ PE-257	PJ057	Coronary Revascularization/PCI (DES) 4 PJ-392 ～ PJ-398
	PE038	Coronary Revascularization/PCI (Restenosis/Others) 5 PE-258 ～ PE-264	PJ058	Coronary Revascularization/PCI (Restenosis/Others) 6 PJ-399 ～ PJ-405
	PE039	Vascular Disease 2 PE-265 ～ PE-271	PJ059	Vascular Disease 3 PJ-406 ～ PJ-412
	PE040	Cardiac Function (Clinical) 1 PE-272 ～ PE-278	PJ060	Cardiomyopathy/Hypertrophy (Clinical) 3 PJ-413 ～ PJ-419
	PE041	Heart Failure (Pathophysiology) 3 PE-279 ～ PE-285	PJ061	Cardiomyopathy/Hypertrophy (Clinical) 4 PJ-420 ～ PJ-426
	PE042	Vascular Biology 1 PE-286 ～ PE-292	PJ062	Exercise Test/Cardiac Rehabilitation 2 PJ-427 ～ PJ-433
	PE043	Vascular Biology 2 PE-293 ～ PE-299	PJ063	Heart Failure (Basic) 1 PJ-434 ～ PJ-440
	PE044	Hypertention (Clinical) 3 PE-300 ～ PE-306	PJ064	Transplantation/LVAD/Others PJ-441 ～ PJ-447
	PE045	Echo/Doppler (Others) 2 PE-307 ～ PE-313	PJ065	Vascular Biology 3 PJ-448 ～ PJ-454
	PE046	Intravascular Imagings 4 PE-314 ～ PE-320	PJ066	Hypertension (Basic) PJ-455 ～ PJ-461
	PE047	Intravascular Imagings 5 PE-321 ～ PE-327	PJ067	Nuclear Cardiology (Coronary, Myocardium) 2 PJ-462 ～ PJ-468
	PE048	Diabetes (Clinical) 1 PE-328 ～ PE-334	PJ068	Diabetes (Clinical) 2 PJ-469 ～ PJ-475
	PJ（ポスターセッション 日本語）49～69		PJ069	Smoking/Alcohol/Life Style PJ-476 ～ PJ-482
	PJ049	Atrial Fibrillation / Ablation 6 PJ-337 ～ PJ-343		
	PJ050	Atrial/Supraventricular Arrhythmia (Clinical) 2 PJ-344 ～ PJ-350		

PM				
ポスター発表　16:30～17:20				
ポスター会場（パシフィコ横浜　1F　展示ホール）	PE（ポスターセッション 英語）49～65		PJ072	Ventricular Arrhythmia (Clinical/ Diagnosis/Treatment) 2 PJ-497 ～ PJ-503
	PE049	Arrhythmia, Others (Clinical/Diagnosis/ Treatment) 1 PE-335 ～ PE-341	PJ073	ACS/AMI (Clinical/Pathophysiology) 3 PJ-504 ～ PJ-510
	PE050	Atrial Fibrillation / Ablation 7 PE-342 ～ PE-348	PJ074	ACS/AMI (Clinical/Treatment) 3 PJ-511 ～ PJ-517
	PE051	Atrial Fibrillation / Ablation 8 PE-349 ～ PE-355	PJ075	Atherosclerosis 8 PJ-518 ～ PJ-524
	PE052	Atrial/Supraventricular Arrhythmia 3 PE-356 ～ PE-362	PJ076	Coronary Revascularization/PCI (DES) 5 PJ-525 ～ PJ-531
	PE053	Ventricular Arrhythmia (Clinical/ Diagnosis/Treatment) 1 PE-363 ～ PE-369	PJ077	Ischemic Heart Disease (Basic) PJ-532 ～ PJ-538
	PE054	ACS/AMI (Clinical/Treatment) 2 PE-370 ～ PE-376	PJ078	Regeneration PJ-539 ～ PJ-545
	PE055	Angina Pectoris (Clinical) 3 PE-377 ～ PE-382	PJ079	Thromboembolism/Antithrombotic Therapy/Thrombolysis 2 PJ-546 ～ PJ-552
	PE056	Atherosclerosis 7 PE-383 ～ PE-389	PJ080	Cardiomyopathy/Hypertrophy (Clinical) 5 PJ-553 ～ PJ-559
	PE057	Coronary Revascularization/PCI (Restenosis/Others) 7 PE-390 ～ PE-396	PJ081	Heart Failure (Laboratory/Biomarkers) 4 PJ-560 ～ PJ-566
	PE058	Exercise Test/Cardiac Rehabilitation 3 PE-397 ～ PE-403	PJ082	Heart Failure (Non-pharmacology) 2 PJ-567 ～ PJ-573
	PE059	Heart Failure (Pharmacology) 2 PE-404 ～ PE-410	PJ083	Heart Failure (Non-pharmacology) 3 PJ-574 ～ PJ-580
	PE060	Pulmonary Circulation 3 PE-411 ～ PE-417	PJ084	Pulmonary Circulation 4 PJ-581 ～ PJ-587
	PE061	Kidney/Renal Circulation/CKD 4 PE-418 ～ PE-424	PJ085	Valvular Heart Disease/Pericarditis/ Cardiac Tumor 3 PJ-588 ～ PJ-594
	PE062	Kidney/Renal Circulation/CKD 5 PE-425 ～ PE-431	PJ086	Hypertension (Clinical) 1 PJ-595 ～ PJ-601
	PE063	Echo/Doppler (New Technology) 3 PE-432 ～ PE-438	PJ087	CT/MRI (Coronary/Vascular) 4 PJ-602 ～ PJ-608
	PE064	Nuclear Cardiology (Others) PE-439 ～ PE-445	PJ088	CT/MRI (New Technology) PJ-609 ～ PJ-615
	PE065	Preventive Medicine/Epidemiology/ Education 1 PE-446 ～ PE-452	PJ089	Echo/Doppler (Myocardium) 1 PJ-616 ～ PJ-622
	PJ（ポスターセッション 日本語）70～92		PJ090	Diabetes (Clinical) 3 PJ-623 ～ PJ-629
	PJ070	Arrhythmia, Others 2 PJ-483 ～ PJ-489	PJ091	Lipid Disorders 3 PJ-630 ～ PJ-635
	PJ071	Atrial Fibrillation / Ablation 9 PJ-490 ～ PJ-496	PJ092	Cerebrovascular Circulation/Stroke 2 PJ-636 ～ PJ-642
ポスター撤去　17:20～18:50				

ポスター発表
第３日　３月 17 日（日）／March 17（Sun）

AM				
ポスター掲示　8:00～ 9:00				
ポスター発表　10:10～11:00				
ポスター会場（パシフィコ横浜　１Ｆ　展示ホール）	**PE（ポスターセッション 英語）66～80**		PJ097	ACS/AMI (Clinical/Treatment) 5 PJ-671 ～ PJ-677
	PE066	Arrhythmia, Others (Clinical/Diagnosis/Treatment) 2 PE-453 ～ PE-459	PJ098	Angina Pectoris (Clinical) 4 PJ-678 ～ PJ-684
	PE067	Atrial Fibrillation / Ablation 10 PE-460 ～ PE-466	PJ099	Atherosclerosis 9 PJ-685 ～ PJ-691
	PE068	CRT/ICD 3 PE-467 ～ PE-473	PJ100	Atherosclerosis 10 PJ-692 ～ PJ-698
	PE069	ECG/Body Surface Potential Mapping/Holter 3 PE-474 ～ PE-480	PJ101	Cardiovascular Surgery/CABG PJ-699 ～ PJ-704
	PE070	ACS/AMI (Clinical/Treatment) 4 PE-481 ～ PE-487	PJ102	Coronary Revascularization/PCI (DES) 7 PJ-705 ～ PJ-711
	PE071	Coronary Revascularization/PCI (Complex Lesions) 2 PE-488 ～ PE-494	PJ103	Cardiomyopathy/Hypertrophy (Basic) PJ-712 ～ PJ-718
	PE072	Coronary Revascularization/PCI (DES) 6 PE-495 ～ PE-501	PJ104	Cardiovascular Pharmacology (Basic) PJ-719 ～ PJ-725
	PE073	Vascular Disease 4 PE-502 ～ PE-508	PJ105	Exercise Test/Cardiac Rehabilitation 4 PJ-726 ～ PJ-732
	PE074	Heart Failure (Non-pharmacology) 4 PE-509 ～ PE-515	PJ106	Heart Failure (Diagnosis) 2 PJ-733 ～ PJ-739
	PE075	Transplantation/LVAD PE-516 ～ PE-522	PJ107	Heart Failure (Laboratory/Biomarkers) 5 PJ-740 ～ PJ-746
	PE076	Valvular Heart Disease/Pericarditis/Cardiac Tumor 4 PE-523 ～ PE-529	PJ108	Heart Failure (Pharmacology) 3 PJ-747 ～ PJ-753
	PE077	Kidney/Renal Circulation/CKD 6 PE-530 ～ PE-536	PJ109	Pulmonary Circulation 5 PJ-754 ～ PJ-760
	PE078	Echo/Doppler (Others) 3 PE-537 ～ PE-543	PJ110	Hypertension (Clinical) 2 PJ-761 ～ PJ-767
	PE079	Echo/Doppler (Peripheral/Vascular) PE-544 ～ PE-550	PJ111	CT/MRI (Coronary/Vascular) 5 PJ-768 ～ PJ-774
	PE080	Metabolic Syndrome/Obesity/SAS (Clinical) PE-551 ～ PE-556	PJ112	Echo/Doppler (New Technology) 4 PJ-775 ～ PJ-781
	PJ（ポスターセッション 日本語）93～116		PJ113	Nuclear Cardiology (Coronary, Myocardium) 3 PJ-782 ～ PJ-788
	PJ093	Atrial Fibrillation / Ablation 11 PJ-643 ～ PJ-649	PJ114	Metabolic Syndrome (Basic) PJ-789 ～ PJ-795
	PJ094	Atrial Fibrillation / Ablation 12 PJ-650 ～ PJ-656	PJ115	Preventive Medicine/Epidemiology/Education 2 PJ-796 ～ PJ-802
	PJ095	Ventricular Arrhythmia (Clinical) PJ-657 ～ PJ-663	PJ116	Congenital Heart Disease/Kawasaki Disease PJ-803 ～ PJ-809
	PJ096	ACS/AMI (Clinical/Pathophysiology) 4 PJ-664 ～ PJ-670		

PM				
ポスター発表　15:30〜16:20				
ポスター会場（パシフィコ横浜　1F　展示ホール）	PE（ポスターセッション 英語）81〜92		PJ124	Coronary Circulation/Chronic Coronary Disease (Basic/Clinical) 4 PJ-859 〜 PJ-864
	PE081	Arrhythmia, Others (Clinical/Diagnosis/Treatment) 3 PE-557 〜 PE-563	PJ125	Coronary Revascularization/PCI (Complex Lesions) 4 PJ-865 〜 PJ-871
	PE082	Atrial/Supraventricular Arrhythmia 4 PE-564 〜 PE-570	PJ126	Coronary Revascularization/PCI (DES) 8 PJ-872 〜 PJ-878
	PE083	CRT/ICD 4 PE-571 〜 PE-577	PJ127	Coronary Revascularization/PCI (DES) 9 PJ-879 〜 PJ-885
	PE084	Atherosclerosis 11 PE-578 〜 PE-584	PJ128	Thromboembolism/Antithrombotic Therapy/Thrombolysis 3 PJ-886 〜 PJ-892
	PE085	Coronary Revascularization/PCI (Complex Lesions) 3 PE-585 〜 PE-591	PJ129	Thromboembolism/Antithrombotic Therapy/Thrombolysis 4 PJ-893 〜 PJ-899
	PE086	Vascular Disease 5 PE-592 〜 PE-598	PJ130	Autonomic Nervous System PJ-900 〜 PJ-906
	PE087	Heart Failure (Basic) 2 PE-599 〜 PE-605	PJ131	Cardiac Function (Clinical) 2 PJ-907 〜 PJ-913
	PE088	Molecular Biology/Genetics/Myocardium/Vascular PE-606 〜 PE-612	PJ132	Heart Failure (Basic) 3 PJ-914 〜 PJ-920
	PE089	Kidney/Renal Circulation/CKD 7 PE-613 〜 PE-619	PJ133	Heart Failure (Basic) 4 PJ-921 〜 PJ-927
	PE090	CT/MRI (Coronary/Vascular) 6 PE-620 〜 PE-626	PJ134	Heart Failure (Clinical) PJ-928 〜 PJ-934
	PE091	Echo/Doppler (Myocardium) 2 PE-627 〜 PE-633	PJ135	Heart Failure (Laboratory/Biomarkers) 6 PJ-935 〜 PJ-941
	PE092	Preventive Medicine/Epidemiology/Education 3 PE-634 〜 PE-640	PJ136	Valvular Heart Disease/Pericarditis/Cardiac Tumor 5 PJ-942 〜 PJ-948
	PJ（ポスターセッション 日本語）117〜142		PJ137	Hypertension (Clinical) 3 PJ-949 〜 PJ-955
	PJ117	Arrhythmia, Others 3 PJ-810 〜 PJ-816	PJ138	CT/MRI (Coronary/Vascular) 7 PJ-956 〜 PJ-962
	PJ118	Atrial Fibrillation / Ablation 13 PJ-817 〜 PJ-823	PJ139	CT/MRI (Myocardium) PJ-963 〜 PJ-969
	PJ119	CRT/ICD 5 PJ-824 〜 PJ-830	PJ140	Obesity/SAS/Metabolic Syndrome (Clinical) 2 PJ-970 〜 PJ-976
	PJ120	ACS/AMI (Clinical/Treatment) 6 PJ-831 〜 PJ-837	PJ141	Preventive Medicine/Epidemiology PJ-977 〜 PJ-983
	PJ121	ACS/AMI (Clinical/Treatment) 7 PJ-838 〜 PJ-844	PJ142	Preventive Medicine/Epidemiology/Education 4 PJ-984 〜 PJ-990
	PJ122	Atherosclerosis 12 PJ-845 〜 PJ-851		
	PJ123	Atherosclerosis 13 PJ-852 〜 PJ-858		
ポスター撤去　16:20〜18:00				

コメディカルセッション一般演題（ポスター）

第１日　３月 15 日（金）

ポスター会場（パシフィコ横浜　１F　展示ホール）	AM		PM	
	ポスター掲示　8:00～ 9:00			
	ポスター発表　10:10～11:00		ポスター発表　15:30～16:20	
	CP01	症例報告 1 CP-001 ～ CP-007	CP11	患者教育・カウンセリング 1 CP-072 ～ CP-078
	CP02	看護（急性期）1 CP-008 ～ CP-014	CP12	看護（急性期）2 CP-079 ～ CP-084
	CP03	侵襲検査 1 CP-015 ～ CP-021	CP13	非侵襲検査・エコー 3 CP-085 ～ CP-091
	CP04	非侵襲検査・エコー 1 CP-022 ～ CP-028	CP14	画像診断（CT MR RI)2 CP-092 ～ CP-098
	CP05	非侵襲検査・エコー 2 ／画像診断（CT MR RI)1 ／ その他 1 CP-029 ～ CP-036	CP15	その他 3 ／クリティカルパス／チーム医療 1 CP-099 ～ CP-106
	CP06	不整脈・アブレーション 1 CP-037 ～ CP-043		
	CP07	リハビリテーション・身体活動 1 CP-044 ～ CP-050		
	CP08	血液浄化・補助循環・呼吸管理 CP-051 ～ CP-057		
	CP09	その他 2 CP-058 ～ CP-064		
	CP10	侵襲検査 2 CP-065 ～ CP-071		
ポスター撤去　16:20～18:00				

第２日　３月 16 日（土）

ポスター会場（パシフィコ横浜　１F　展示ホール）	AM		PM	
	ポスター掲示　8:00～ 9:00			
	ポスター発表　10:10～11:00		ポスター発表　16:30～17:20	
	CP16	不整脈・アブレーション 2 CP-107 ～ CP-113	CP25	症例報告 2 CP-170 ～ CP-176
	CP17	看護（慢性期）1 CP-114 ～ CP-120	CP26	看護（急性期）3 ／看護（慢性期）2 CP-177 ～ CP-183
	CP18	患者教育・カウンセリング 2 CP-121 ～ CP-127	CP27	看護（慢性期）3 ／薬剤・薬物療法 1 CP-184 ～ CP-190
	CP19	非侵襲検査・エコー 4 CP-128 ～ CP-135	CP28	侵襲検査 3 ／その他 5 CP-191 ～ CP-198
	CP20	画像診断（CT MR RI)3 CP-136 ～ CP-142	CP29	非侵襲検査・エコー 5 CP-199 ～ CP-205
	CP21	不整脈・アブレーション 3 CP-143 ～ CP-149	CP30	画像診断（CT MR RI)4 CP-206 ～ CP-212
	CP22	リハビリテーション・身体活動 2 CP-150 ～ CP-156	CP31	不整脈・アブレーション 4 CP-213 ～ CP-219
	CP23	チーム医療 2 CP-157 ～ CP-163	CP32	リハビリテーション・身体活動 3 CP-220 ～ CP-226
	CP24	その他 4 CP-164 ～ CP-169	CP33	チーム医療 3 ／その他 6 CP-227 ～ CP-234
ポスター撤去　17:20～18:50				

第３日　３月 17 日（日）				
ポスター会場（パシフィコ横浜　１Ｆ　展示ホール）	AM		PM	
	ポスター掲示　8:00～ 9:00			
	ポスター発表　10:10～11:00		ポスター発表　15:30～16:20	
	CP34	症例報告３ CP-235 ～ CP-241	CP42	リハビリテーション・身体活動５ CP-291 ～ CP-297
	CP35	薬剤・薬物療法２ CP-242 ～ CP-248	CP43	その他９ CP-298 ～ CP-304
	CP36	患者教育・カウンセリング３ CP-249 ～ CP-255	CP44	薬剤・薬物療法３／食事・栄養管理 CP-305 ～ CP-311
	CP37	非侵襲検査・エコー６ CP-256 ～ CP-262	CP45	患者教育・カウンセリング４ CP-312 ～ CP-318
	CP38	画像診断（CT MR RI)5 CP-263 ～ CP-269	CP46	侵襲検査４／放射線防護 CP-319 ～ CP-326
	CP39	不整脈・アブレーション５／その他７ CP-270 ～ CP-276	CP47	非侵襲検査・エコー７ CP-327 ～ CP-333
	CP40	リハビリテーション・身体活動４ CP-277 ～ CP-282	CP48	画像診断（CT MR RI)6 CP-334 ～ CP-340
	CP41	医療専門職の教育／その他８ CP-283 ～ CP-290	CP49	リハビリテーション・身体活動６／心肺運動負荷試験 CP-341 ～ CP-347
			CP50	医療倫理・医療安全／救命救急・災害医療 CP-348 ～ CP-354
ポスター撤去　16:20～18:00				

第77回日本循環器学会学術集会（JCS 2013）

会期：2013年３月15日（金）～17日（日）
会長：水野　杏一（日本医科大学　医学部長）
会場：パシフィコ横浜
メインテーマ：世界へ翔く日本の循環器病学
Advancing Cardiovascular Medicine : International Harmony
Towards Global Progress

１．一般演題（口述，ポスター）

２．美甘レクチャー

Use of Stem Cells for the Treatment of Ischemic Cardiomyopathy　〈英語〉
（学会２日目　３月16日（土）　11：55～12：40　第１会場　パシフィコ横浜　国立大ホール　１F）
Roberto Bolli（University of Louisville, USA）
座長：堀　　正二（大阪府立成人病センター）

３．真下記念講演

Discovery and Development of Statins　〈日本語〉
（学会２日目　３月16日（土）　11：10～11：55　第１会場　パシフィコ横浜　国立大ホール　１F）
遠藤　　章（東京農工大学／バイオファーム研究所）
座長：矢崎　義雄（国際医療福祉大学）

４．百一賀記念特別講演

医療プロフェッショナルの育成
Education of Health Professional　〈日本語〉
（学会２日目　３月16日（土）　15：00～15：45　第１会場　パシフィコ横浜　国立大ホール　１F）
日野原重明（聖路加国際病院）
座長：河合　忠一（医仁会武田総合病院／京都大学　名誉教授）

５．会長講演

Wonderful Voyage through Intravascular Imaging　〈日本語〉
（学会２日目　３月16日（土）　15：45～16：30　第１会場　パシフィコ横浜　国立大ホール　１F）
水野　杏一（日本医科大学　循環器・肝臓・老年総合病態部門）
座長：高野　照夫（日本医科大学　名誉教授）

６．特別講演

（１）Plaque Morphology : Can We Change the (Interventional) Management Paradigms?〈英語〉
（学会１日目　３月15日（金）　８：30～９：15　第２会場　パシフィコ横浜　会議センター　１F メインホール）
Jagat Narula（Mount Sinai School of Medicine, USA）
座長：木原　康樹（広島大学　循環器内科学）

（２）OCT: 14 Years in Cardiology　〈英語〉
（学会１日目　３月15日（金）　９：15～10：00　第２会場　パシフィコ横浜　会議センター　１F

メインホール）

Ik-Kyung Jang（Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, USA）

座長：室原　豊明（名古屋大学　循環器内科学）

（３）Imaging-based Strategies for Detection and Monitoring of Subclinical Cardiovascular Diseases 〈英語〉

（学会１日目　３月15日（金）　11：10～11：55　第２会場　パシフィコ横浜　会議センター　１Ｆ　メインホール）

Valentin Fuster（The Mount Sinai Hospital, USA）

座長：小室　一成（東京大学　循環器内科学）

（４）Advances in Acute Coronary Syndromes 〈英語〉

（学会１日目　３月15日（金）　11：55～12：40　第２会場　パシフィコ横浜　会議センター　１Ｆ　メインホール）

Harvey D. White（Green Lane Cardiovascular Service, Auckland City Hospital, New Zealand）

座長：磯部　光章（東京医科歯科大学　循環制御内科学）

（５）Sudden Cardiac Death: What is New? 〈英語〉

（学会１日目　３月15日（金）　13：50～14：35　第１会場　パシフィコ横浜　国立大ホール　１Ｆ）

Douglas P. Zipes（Indiana University School of Medicine, USA）

座長：新　　博次（日本医科大学多摩永山病院　内科・循環器内科）

（６）New Mechanisms Regulating Inflammation 〈英語〉

（学会１日目　３月15日（金）　14：35～15：20　第１会場　パシフィコ横浜　国立大ホール　１Ｆ）

Carolyn L. Geczy（University of New South Wales, Australia）

座長：野出　孝一（佐賀大学　循環器内科）

（７）High Sensitivity Cardiac Troponins: From re-definition of Acute Myocardial Infarction to Risk Prediction in non-ACS Patients 〈英語〉

（学会２日目　３月16日（土）　９：15～10：00　第３会場　パシフィコ横浜　会議センター　３Ｆ　301）

Hugo Katus（Internal Medicine Ⅲ, Heidelberg University Hospital, Germany）

座長：林　　秀晴（浜松医科大学　第３内科）

（８）Difference Between Native Coronary Atherosclerosis, Vein Graft Atherosclerosis, and In-stent Neoatherosclerosis 〈英語〉

（学会２日目　３月16日（土）　18：05～18：50　第３会場　パシフィコ横浜　会議センター　３Ｆ　301）

Renu Virmani（CVPath Institute, Inc., USA）

座長：上田真喜子（大阪市立大学　病理病態学）

（９）Basic and Clinical Advances in Inflammation in Atherosclerosis 〈英語〉

（学会３日目　３月17日（日）　11：10～11：55　第１会場　パシフィコ横浜　国立大ホール　１Ｆ）

Peter Libby（Brigham and Women's Hospital and Harvard Medical School, USA）

座長：光山　勝慶（熊本大学　医学系生体機能薬理学）

(10) The Interventional Treatment of Atrial Fibrillation 〈英語〉
（学会３日目　３月17日（日）　11：55～12：40　第１会場　パシフィコ横浜　国立大ホール　１F）
James L. Cox（Evarts A. Graham Professor of Surgery Emeritus, Washington University School of Medicine, USA）
座長：早川　弘一（四谷メディカルキューブ）

７．会長特別企画

（１）International Imaging Conference

１）Why do We Use Imaging Device after PCI? 〈英語〉
（学会２日目　３月16日（土）　８：30～10：00　第７会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 311+312）
座長：Yangsoo Jang（Division of Cardiology, Severance Cardiovascular Hospital, Yonsei University Health System, Korea）
平山　篤志（日本大学医学部附属板橋病院　内科学　循環器科内科）

演　　者：

Clinical Outcomes of Deferred Coronary Lesions and Stented Coronary Lesions According to Fractional Flow Reserve
Chang-Wook Nam（Keimyung University Dongsan Medical Center, Korea）

Use of IVUS Reduces Stent Thrombosis: Results from the Prospective, Multicenter ADAPT-DES Study
前原　晶子（Columbia University Medical Center, Cardiovascular Research Foundation）

Why Do We Use an Optical Coherence Tomography after PCI?
Jung-Sun Kim（Severance Hospital, Yonsei University, Korea）

Angioscopic Observation for the Evaluation of Vascular Healing after Stent Implantation
高野　雅充（日本医科大学千葉北総病院　循環器センター）

２）How do We Use Imaging Device Before PCI? 〈英語〉
（学会２日目　３月16日（土）　11：10～12：40　第７会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 311+312）
座長：Stephen Wai Luen Lee（Division of Cardiology, Department of Medicine, The University of Hong Kong, Queen Mary Hospital, Hong Kong）
Seung-Jung Park（Department of Cardiology, University of Ulsan College of Medicine, Asan Medical Center, Korea）

演　　者：

Fractional Flow Reserve
Bon-Kwon Koo（Seoul National University Hospital, Korea）

Unprotected Left Main PCI: Integrated Use of FFR and IVUS
Seung-Jung Park（Department of Cardiology, University of Ulsan College of Medicine, Asan Medical Center, Korea）

Using Optical Coherence Tomography to Guide Percutaneous Coronary Intervention - Moving Beyond Coronary Angiography
Stanley Chia（National Heart Center, Singapore）

Coronary Endothelial Dysfunction Distal to Stent is Associated with Angioscopic Findings after Drug Eluting Stent Implantation
上野　高史（久留米大学病院　循環器病センター）

3）Clinical Application of Future Imaging Technology 〈英語〉
（学会２日目　３月16日（土）　14：40～16：10　第７会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 311+312）
座長：赤阪　隆史（和歌山県立医科大学　循環器内科）
Ik-Kyung Jang（Cardiology Division, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, USA）

演　　者：

Optical Coherence Tomography - History and Development
James G. Fujimoto（Department of Electrical Engineering and Computer Science and Research Laboratory of Electronics, Massachusetts Institute of Technology, USA）

Fluorescent Angioscopy for Molecular Imaging of Coronary Plaques
内田　康美（循環器学研究振興財団）

Clinical Application of Novel Imaging Technology: CTA, IVUS and Near-IR Spectroscopy
James E. Muller（InfraReDx, Inc, USA）

Development and Evaluation of Instant Wave-Free Ratio (iFR):
A New Adenosine Free Technique for Coronary Artery Stenosis Assessment
Justin E. Davies（Imperial College, UK）

（２）The Challenges of Translation from Discovery to Therapy in 21st Century Cardiovascular Medicine 〈英語〉
（学会２日目　３月16日（土）　16：50～18：50　第１会場　パシフィコ横浜　国立大ホール　１F）
座長：堀　　正二（大阪府立成人病センター）
Metin Avkiran（Cardiovascular Division, King's College London）

演　　者：

The Challenges of Translating Novel Pharmacology into Effective New Medicines
堀　　正二（大阪府立成人病センター）

The Challenges of Identifying Targets and Mechanisms for Novel Pharmacology
Metin Avkiran（Cardiovascular Division, King's College London, St Thomas' Hospital, UK）

Effect of Cardiac Stem Cells in Patients with Ischemic Cardiomyopathy: Interim Results of the SCIPIO Trial
Roberto Bolli（Divisions of Cardiovascular Medicine and Cardiothoracic Surgery, University of Louisville, USA）

The Cardiovascular Disease Modeling by Using Human iPS Cells
湯浅　慎介（慶應義塾大学　循環期内科）

Cardioprotection from Ischemia/Reperfusion Injury with Erythropoietin: Basic and Translational Research
南野　哲男（大阪大学　循環器内科学）

（３）世界へ翔く循環器医学の発見・発明“メイド・イン・ジャパン”

1）〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　８：30～９：00　第２会場　パシフィコ横浜　会議センター　１Ｆ　メインホール）

座長：福田　恵一（慶應義塾大学　循環器内科）

演　　者：

Multidisciplinary Research of Human Pluripotent Stem Cells: Chemical Control of Cardiomyocyte Differentiation and Novel 3D Culture System for Large-scale Production

中辻　憲夫（京都大学　物質－細胞統合システム拠点）

2）〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　８：30～10：30　第１会場　パシフィコ横浜　国立大ホール　１F）

座長：山口　　徹（虎の門病院）

小川　　聡（国際医療福祉大学三田病院）

演　　者：

Antiarrhythmic Agents Developed in Japan

加藤　貴雄（日本医科大学　循環器内科学）

Development and Clinical Application of Angioscopy Systems

内田　康美（循環器学研究振興財団研究所）

Brain Natriuretic Peptide (BNP): Its Discovery, Biochemistry, and Clinical Applications

南野　直人（国立循環器病研究センター研究所　分子薬理部）

Just Call it Tako-tsubo Cardiomyopathy

佐藤　　光（千代田中央病院）

（４）症例から学ぶ

1）ＥＢＭの実践：この心不全症例にどのように対応するか？〈日本語〉

（学会１日目　３月15日（金）　８：30～10：00　第16会場　パシフィコ横浜　会議センター　５Ｆ　501）

座長：平山　篤志（日本大学　循環器内科学）

佐藤　直樹（日本医科大学武蔵小杉病院　内科・循環器科・集中治療室）

演　　者：

起座呼吸を主訴に緊急入院した低心機能症例

加藤真帆人（日本大学　循環器内科学）

コメンテータ

坂田　泰史（大阪大学　循環器内科学）

急性心原性肺水腫例

山本　英世（日本医科大学武蔵小杉病院　循環器内科）

コメンテータ

石原　嗣郎（製鉄記念八幡病院　循環器内科）

2）この冠動脈疾患をどうする？〈日本語〉

（学会１日目　３月15日（金）　11：10～12：40　第16会場　パシフィコ横浜　会議センター　５Ｆ　501）

座長：一色　髙明（帝京大学　内科学）

吉野　秀朗（杏林大学　第二内科）

演　　者：

CABG 後・低心機能・中程度 MR、繰り返す心不全、バイパス不全に対する血行再建に検討を要した一例

桃原　哲也（榊原記念病院　循環器内科）

LMT 病変の急性心筋梗塞に対し PCI を行った後に基礎疾患が判明した一例

高昌　秀安（杏林大学　循環器内科）

3枝疾患を有する非 ST 上昇型 ACS において血行再建アプローチ（CABG or PCI）の判断に苦慮した症例

青木　二郎（三井記念病院　循環器内科）

出血が持続する胃がんを有する重症虚血性心疾患の1例

上妻　　謙（帝京大学　循環器内科）

3）心房細動に対するTotal Management　〈日本語〉

（学会１日目　３月15日（金）　13：50～15：20　第16会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 501）

座長：三田村秀雄（立川病院　循環器センター）
小林　義典（東海大学八王子病院　循環器内科）

演　　者：

心房細動が誘因となり非持続性心室頻拍が頻拍した陳旧性心筋梗塞の一例

吉岡公一郎（東海大学　循環器内科）

新規抗凝固薬（プラザキサ）内服下に左心耳内血栓を認め、ワーファリンへの変更により血栓消失を認めた一例

谷本耕司郎（慶應義塾大学　循環器内科）

少量の抗不整脈薬が初回アブレーション後の再発予防に有効であった発作性心房細動の一例

森田　典成（東海大学八王子病院　循環器内科）

慢性心房細動アブレーション後に発作性心房細動となったが、細動停止後に前失神を伴う洞停止を繰り返した一例

副島　京子（杏林大学　循環器内科）

4）治療抵抗性高血圧へのアプローチ　〈日本語〉

（学会１日目　３月15日（金）　16：30～18：00　第16会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 501）

座長：苅尾　七臣（自治医科大学　循環器内科学）
安東　克之（東京大学　分子循環代謝病学）

演　　者：

脳出血の5年後に診断された、睡眠時無呼吸症候群・心房細動・糖尿病・肥満症を伴う原発性アルドステロン症の一例

藤田　　恵（東京大学　腎臓・内分泌内科）

コメンテータ

高橋　克敏（東京大学　腎臓・内分泌内科）

腎動脈形成術施行後に追加投与せるアルドステロン拮抗薬により適正な降圧が得られた両側性腎血管性高血圧症例

雪吹　周生（日本医科大学千葉北総病院　循環器内科）

コメンテータ

川井　　真（東京慈恵会医科大学　循環器内科）

睡眠時無呼吸症候群に伴う治療抵抗性高血圧の症例
星出　　聡（自治医科大学　循環器内科学）

コメンテータ
小谷英太郎（日本医科大学多摩永山病院　循環器内科）

5）この弁膜症：あなたならどうする？　〈日本語〉
（学会３日目　３月17日（日）　８：30～10：00　第16会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 501）
座長：山﨑　純一（東邦大学医療センター大森病院　循環器内科）
高山　守正（榊原記念病院　循環器内科）

演　　者：
心不全を合併した高齢者大動脈弁狭窄症患者に対する治療法の選択
久武　真二（東邦大学医療センター大森病院　循環器内科）

長期間診断が困難であった不明熱、肺水腫を契機に感染性心内膜炎と診断された症例
木内　俊介（東邦大学医療センター大森病院　循環器内科）

重症僧坊弁逆流を伴う拡張型心筋症による心不全難治例
矢川真弓子（榊原記念病院　循環器内科）

大動脈弁狭窄と左室流出路閉塞の判別による治療法選択例
石村　昌之（千葉大学　循環器内科）

6）非心臓手術の術前リスク評価と対応　〈日本語〉
（学会３日目　３月17日（日）　11：10～12：40　第16会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 501）
座長：山科　　章（東京医科大学　第二内科（循環器内科））
代田　浩之（順天堂大学　循環器内科学）

演　　者：
70代男性のハイリスク大動脈手術：実践的な術前評価と術後管理とは？
香坂　　俊（慶應義塾大学　循環器内科）

妊娠中期に重症 PE,DVT を合併した一例
武井　康悦（東京医科大学　循環器内科）

重症大動脈弁狭窄症に進行癌を併発した症例
宮内　克己（順天堂大学　循環器内科学）

肺動脈性肺高血圧症で加療中に大腸がんを併発
佐藤　　徹（杏林大学　循環器内科）

症例から学ぶ

7）失神・めまいへのアプローチ　〈日本語〉
（学会３日目　３月17日（日）　13：50～15：20　第16会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 501）
座長：小林　洋一（昭和大学　循環器内科学）
吉村　道博（東京慈恵会医科大学　循環器内科）

演　　者：
冠攣縮性狭心症の失神例

横山　賢一（東京慈恵会医科大学　循環器内科）

Implantable Loop Recorder(ILR) で診断した VT 症例
鳴井　亮介（東京慈恵会医科大学　循環器内科）

反射性失神症例
渡辺　則和（昭和大学　循環器内科学）

Brugada 症候群を含む特発性 VF の失神症例
箕浦　慶乃（昭和大学　循環器内科学）

症例から学ぶ

８）成人先天性心疾患へのアプローチ　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　16：30～18：00　第16会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 501）

座長：丹羽公一郎（聖路加国際病院　循環器内科）
小川　俊一（日本医科大学　小児科）

演　　者：

Fontan 術後20年経過し、心房細動、肝硬変を合併した三尖弁閉鎖症例
立野　　滋（千葉県循環器病センター　成人先天性心疾患診療部）

修正大血管転位、ダブルスイッチ術後の妊娠出産
森本　康子（聖路加国際病院　循環器内科）

慢性心不全が認められる三尖弁形成術・両方向性 Glenn 術後のエプスタイン奇形の成人例
渡邉　　誠（日本医科大学　小児科）

コメンテータ
松尾　浩三（千葉県循環器病センター　心臓血管外科・成人先天性心疾患診療部）

理想的な医療現場とは？　―各界からの提言―　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　９：00～10：30　第２会場　パシフィコ横浜　会議センター　１F メインホール）

座長：永井　良三（自治医科大学）
上田真喜子（大阪市立大学　病理病態学）

演　　者：

From the Standpoint of an Administrator
村木　厚子（厚生労働省　社会・援護局）

Work-Life Balance and Time Management
佐々木常夫（株式会社 東レ経営研究所　特別顧問）

Message From Space
山崎　直子（宇宙飛行士）

８．International Honorary Members' Memorial Lecture

〈英語〉

（学会２日目　３月16日（土）　８：30～９：15　第３会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 301）

座長：藤田　敏郎（東京大学先端科学技術研究センター　臨床エピジェネティクス講座）
増山　　理（兵庫医科大学　循環器内科）

演　　者：

Perils of Ignoring Tricuspid Regurgitation
Pravin M. Shah（Hoag Heart and Vascular Institute, USA）

Preventing CVD Globally: From Research to Action
Salim Yusuf（McMaster University, Canada）

９．プレナリーセッション

（１）Beyond LDL：残存リスクを考える　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　８：30～10：00　第２会場　パシフィコ横浜　会議センター　１Ｆ　メインホール）

座長：山岸　正和（金沢大学　循環器内科）
代田　浩之（順天堂大学　循環器内科学）

演　　者：

The Hyper HDL-Cholesterolemic Patients and the Incidence of Cardiovascular and Cancer Events; The Post-Hoc Analysis of MEGA Study
中村　治雄（三越厚生事業団）

The Paradigm Shift of HDL-Targeted Therapy: HDL Functionality- Rather than Quantity-Based Approach
綾織　誠人（防衛医科大学校　抗加齢血管内科）

Risk Stratification with Serum Eicosapentaenoic and Docosahexaenoic Acids in Patients after Acute Myocardial Infarction; The Impact beyond Low-Density Lipoprotein Cholesterol
原　　正彦（大阪大学　循環器内科学）

Significance of Small Dense LDL-Cholesterol and Other Lipid or Non-Lipid Biomarkers to Predict the Long-term Outcomes of Coronary Artery Disease
木庭　新治（昭和大学　循環器内科学）

Fasting Apolipoprotein B-48 Level is a Good Marker for Detecting Postprandial Hyperlipidemia and Significantly Correlated with Carotid and Coronary Atherosclerosis
増田　大作（大阪大学　循環器内科学）

PCSK9: A Marker of Responsiveness to Statin and Atherosclerosis
川尻　剛照（金沢大学　循環器内科）

Serum High-density Lipoprotein-Associated Paraoxonase-1 Levels Predict Recurrent Cardiovascular Events after Stent Implantation in Patients with Stable Angina Pectoris
成子　隆彦（大阪市立総合医療センター　循環器内科）

（２）心房細動治療の最前線　〈英語〉

（学会１日目　３月15日（金）　16：30～18：00　第２会場　パシフィコ横浜　会議センター　１Ｆ　メインホール）

座長：奥村　　謙（弘前大学　循環呼吸腎臓内科学）
Douglas P. Zipes（Indiana University School of Medicine, USA）

演　　者：

State-of-the-Art: Autonomic Modulation of Arrhythmias: Focus on Atrial Fibrillation
Douglas P. Zipes（Indiana University School of Medicine, USA）

Cryoballon Ablation - A New and Highly Successful Strategy for Pulmonary Vein Isolation in Atrial Fibrillation

Kevin R. Wheelan（Asklepios Klinik St. Georg, Germany）

Radiofrequency Hot Balloon Catheter Ablation for the Treatment of Atrial Fibrillation
曽原　　寛（葉山ハートセンター　不整脈センター）

Stepwise Atrial Fibrillation Ablation Navigated by Non-contact Mapping Performed after Pulmonary Vein Isolation: Comparison between Paroxysmal and Persistent Atrial Fibrillation
山部　浩茂（熊本大学　不整脈先端医療講座）

Risk of Thromboembolism and Need for Oral Anticoagulation after Successful Catheter Ablation of Atrial Fibrillation
熊谷浩一郎（福岡山王病院　ハートリズムセンター）

“Blue-letter Effects”---- Lessons from Real-world Experience in 404 Japanese Patients under Dabigatran
鈴木　信也（心臓血管研究所　循環器科）

（３）急性心不全の予後改善に向けて　―アジアおよび欧米の疫学研究から見えてくるもの―〈英語〉
（学会２日目　３月16日（土）　17：20～18：50　第２会場　パシフィコ横浜　会議センター　１Ｆ　メインホール）

座長：佐藤　直樹（日本医科大学武蔵小杉病院　内科・循環器内科・集中治療室）
Mihai Gheorghiade（Northwestern University Feinberg School of Medicine, USA）

演　　者：

State-of-the-Art: Hospitalization for Heart Failure: A Global Health and Economic Issue
Mihai Gheorghiade（Northwestern University Feinberg School of Medicine, USA）

Lessons from the Japanese Hospitalized Heart Failure (ATTEND) Registry
佐藤　直樹（日本医科大学武蔵小杉病院　内科・循環器内科・集中治療室）

Lessons in Heart Failure Management ; Experience from Korea Registries
Kyu-Hyung Ryu（Hallym University Medical Center, Dongtan Sacred Heart Hospital, Korea）

Heart Failure with Preserved Ejection Fraction (HFPEF) - New Findings from Real-Life Experience
Cheuk-Man Yu（Prince of Wales Hospital, The Chinese University of Hong Kong, Hong Kong）

Prognostic Impact of Blood Urea Nitrogen Increase during Hospitalization in Patients with Acute Decompensated Heart Failure
三浦　正暢（東北大学　循環器内科学）

Unique Characteristics of Acute Heart Failure Management in Japan and Its Impact on Long-term Outcome
香坂　　俊（慶應義塾大学　呼吸循環器内科）

（４）治療抵抗性高血圧を克服する　〈日本語〉
（学会２日目　３月16日（土）　14：40～16：10　第２会場　パシフィコ横浜　会議センター　１Ｆ　メインホール）

座長：木村玄次郎（名古屋市立大学　心臓・腎高血圧内科学 (第三内科)）
長谷部直幸（旭川医科大学　循環・呼吸・神経病態内科学）

演　　者：

Current Status of Blood Pressure Control and Antihypertensive Therapy in Patients with Resistant Hypertension - Ibaraki Hypertension Assessment Trial-

佐藤　　明（筑波大学　循環器内科）

Physiological Assessment of Renal Artery Stenosis to Improve Outcome of Patients with Treatment-Resistance Hypertension

根石　陽二（川崎医科大学　循環器内科学）

Is Primary Aldosteronism the Treatment-Resistant Hypertension?

武田　仁勇（金沢大学　臓器機能制御学（内科））

The Management of Sleep Disorder Breathing-Related Resistant Hypertension

椎名　一紀（東京医科大学　循環器内科）

Percutaneous Intra-Renal Artery Ablation for the Treatment of Resistant Essential Hypertension Using Conventional 5Fr Cardiac Ablation Catheter

奥山　裕司（大阪大学　循環器内科学）

（５）心臓再生の新展開　〈英語〉

（学会１日目　３月15日（金）　13：50～15：20　第２会場　パシフィコ横浜　会議センター　１Ｆ　メインホール）

座長：五條　理志（京都府立医科大学　人工臓器・心臓移植再生医学）

Benoit G. Bruneau（Gladstone Institute of Cardiovascular Disease, UCSF USA）

演　　者：

State-of-the-Art: Epigenetic Regulation of Cardiac Lineage Development

Benoit G. Bruneau（Gladstone Institute of Cardiovascular Disease, UCSF, USA）

Direct Conversion of Fibroblasts into Cardiomyocyte-like Cells by Defined Factors

家田　真樹（慶應義塾大学　臨床分子循環器病学講座・循環器内科）

Human ES-Cell-Derived Cardiomyocytes Electrically Couple and Suppress Arrhythmias in Injured Hearts

柴　　祐司（信州大学　循環器内科学）

Integrative Approaches for Cardiac Regeneration with ES & iPS Cells, Small Molecules, and Cell Sheet Technology

山下　　潤（京都大学・iPS 細胞研究所　幹細胞分化制御学）

The Third-Generation Cardiac Stem Cells Defined by Asymmetric Chromatid Segregation as Well as -Mircrine- Mechanism Contribute to Myocardial Regeneration

細田　　徹（東海大学　創造科学技術研究機構）

Hybrid Cardiac Stem Cell Therapy : The ALCADIA（Auto Logous human CArdiac-Derived stem cell to treat Ischemic cArdiomyopathy）Trial

竹原　有史（旭川医科大学　循環・呼吸・神経病態内科学）

First-in-Man Clinical Study of Cell Sheet-based Myocardial Regeneration Therapy

宮川　　繁（大阪大学　心臓血管外科）

（６）心臓と他臓器のコミュニケーションを探る

—臓器連関から考える新しい循環器病治療戦略—　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　16：30～18：00　第３会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 301）

座長：筒井　裕之（北海道大学　循環病態内科学）
吉村　道博（東京慈恵会医科大学　循環器内科）

演　　者：

Cardiac-Adipose Vicious Cycle is Critically Involved in the Development of Heart Failure
南野　　徹（新潟大学　循環器分野）

The Mechanisms and Clinical Importance of Soluble Flt-1 for CKD-Related Atherosclerosis
竹田　征治（奈良県立医科大学　第１内科）

Cardio-adrenal Interaction: Cross-talk of Aldosterone Cascade with Akt Signaling in Cardiomyocytes
名越　智古（東京慈恵会医科大学　循環器内科）

The Role of Renin-Angiotensin System and Oxidative Stress in the Skeletal Muscle Abnormalities and Reduced Exercise Capacity in Heart Failure
絹川真太郎（北海道大学　循環病態内科学）

Intestine and Skin could be Novel Therapeutic Targets for Preventing Cardiovascular Diseases
山下　智也（神戸大学　循環器内科学）

Multi-Organ Communication in Sudden Arrhythmic Death Accompanied with Heart Failure
桑原宏一郎（京都大学　内分泌代謝内科）

（７）成人期の川崎病の実態と管理　〈日本語〉

（学会１日目　３月15日（金）　16：30～18：00　第３会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 301）

座長：濱岡　建城（京都府立医科大学　小児循環器・腎臓病学）
上野　高史（久留米大学　循環器病センター）

演　　者：

Pre-event Course of Culprit Lesions in Acute Coronary Syndrome in Adults with a History of Kawasaki Disease: A Nationwide Survey
三谷　義英（三重大学　小児科）

Significant Role of Coronary Sequelae of Kawasaki Disease in Young Adults with AMI —From the View of an Adult Cardiologist—
白石　　淳（京都第一赤十字病院　循環器科）

Long-term Follow-up of Percutaneous Coronary Intervention for Kawasaki Disease
渡部　宏俊（小倉記念病院　循環器科）

Limited Efficacy of Rotational Atherectomy to Calcified Coronary Artery Lesion in Patients with Kawasaki Disease
坂本　裕樹（国立循環器病研究センター　心臓血管内科）

Message for Adult Cardiologist; A Giant Coronary Aneurysm Hemodynamically Acts as Stenosis
村上　智明（千葉県こども病院　循環器科）

Clinical Characteristics to Get Medical Check Up Long after Last Visit in Adult Patients with Coronary Sequelae after Kawasaki Disease
神山　　浩（日本大学　小児科学）

10. シンポジウム

（１）重症冠動脈疾患患者の冠動脈血行再建：PCIとCABGの進歩　〈日本語〉

（学会１日目　３月15日（金）　16：30～18：00　第１会場　パシフィコ横浜　国立大ホール　１F）

座長：一色　高明（帝京大学　循環器内科）

坂田　隆造（京都大学　心臓血管外科）

演　　者：

Comparison of Five-year Outcomes in Patients with and without Unprotected Left Main Coronary Artery Disease after Sirolimus-Eluting Stenting

豊福　　守（和歌山医療センター　循環器科）

Prognostic Impact of Coronary Revascularization Therapy in Patients with Ischemic Heart Failure

髙橋　　潤（東北大学　循環器内科）

Impact of Coronary Artery Bypass Surgery on Long-Term Outcomes in Patients with Heart Failure: From the CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-2

丸井　　晃（京都大学　心臓血管外科学）

Modern Off-pump Coronary Artery Bypass Grafting Counteracts the Negative Impact of Diabetes Mellitus on Long-term Cardiac Death after Revascularization

梶本　　完（順天堂大学浦安病院　心臓血管外科）

Coronary Artery Bypass Grafting Versus Percutaneous Coronary Intervention with Drug-Eluting Stents for Multivessel Coronary Artery Disease in Patients with Hemodialysis

宍戸　晃基（湘南鎌倉総合病院　循環器科）

Percutaneous Coronary Intervention with Complete Revascularizaion Strategy Improves Long-term Prognosis in Patients with High SYNTAX Scores

浜中　一郎（丸太町病院、京都血管内治療センター・心臓内科）

（２）プラーク不安定化の分子機序　〈英語〉

（学会３日目　３月17日（日）　８：30～10：00　第３会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 301）

座長：佐田　政隆（徳島大学　循環器内科）

吉田　雅幸（東京医科歯科大学　先進倫理医科学開発学）

演　　者：

Pathology of Ruptured Plaques

Renu Virmani（CVPath Institute, Inc., USA）

Multimodality Imaging of Atherosclerotic Macrophages Enhanced by RGD-Targeting of Protein Cage Nanoparticles

北川　知郎（広島大学　救急医学）

The Role of Delta-like 4 in Cardiometabolic Disorders

福田　大受（徳島大学　心臓血管病態医学）

microRNA-33 Deficiency Cause Dual Nature of Macrophages in Atherosclerotic Plaque

尾野　　亘（京都大学　循環器内科学）

Inflammatory Activated Monocyte as a Therapeutic Target for Atherosclerotic Plaque Destabilization and Rupture in ApoE-Deficient Mice

的場　哲哉（九州大学　循環器内科学）

（３）アジアにおける遺伝性不整脈症候群　―人種の特性に迫る―　〈英語〉

（学会１日目　３月15日（金）　11：10～12：40　第５会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 303）

座長：堀江　　稔（滋賀医科大学内科学（循環器・呼吸器））

Pascale Guicheney（University Pierre et Marie Curie, France）

演　　者：

Ethnic Differences in Long QT Syndrome

Pascale Guicheney（University Pierre et Marie Curie, France）

Variants in SCN5A Promoters and Regulatory Regions Associated with Various Arrhythmias

渡部　　裕（新潟大学医歯学総合病院　循環器内科）

Disease Modeling in Human Induced Pluripotent Stem Cells -Catecholaminergic Polymorphic Ventricular Tachycardia-

牧山　　武（京都大学　循環器内科学）

Clinical and Genetic Features of Japanese Patient with Congenital Long QT Syndrome

相庭　武司（国立循環器病研究センター　心臓血管内科）

Clinical and Genetic Characteristics of Japanese Patients with Arrhythmogenic Right Ventricular Cardiomyopathy

中島　　忠（群馬大学　臓器病態内科学）

（４）低心機能例における突然死回避のための集学的治療戦略　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　17：20～18：50　第18会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 503）

座長：青沼　和隆（筑波大学　循環器内科学）

杉　　薫（東邦大学医療センター大橋病院　循環器内科）

演　　者：

Cardiac Rehabilitation to Prevent Sudden Cardiac Death in Patients with Left Ventricular Dysfunction

丹野　　郁（昭和大学　循環器内科学）

Current Pharmacological Strategy for Preventing Sudden Cardiac Death due to Ventricular Tachyarrhythmias in Patients with Reduced Cardiac Function

池田　隆徳（東邦大学　循環器内科学）

Treatment Target to Prevent the Occurrence of Life-Threatening Arrhythmia in Patients with Impaired Left Ventricular Function

志賀　　剛（東京女子医科大学　循環器内科）

Ventricular Arrhythmia, ICD Therapy and Sudden Cardiac Death among Patients with CRT from CUBIC Registry

岡本　陽地（倉敷中央病院　循環器内科）

Management of Cardiac Sarcoidosis -the Current Situation and Practical Update-

草野　研吾（岡山大学　循環器内科学）

（５）新たに見えてきた慢性心不全治療の標的　〈英語〉

（学会２日目　３月16日（土）　11：10～12：40　第２会場　パシフィコ横浜　会議センター　１F メインホール）

座長：小室　一成（東京大学　循環器内科学）

Jeffery D. Molkentin（Cincinnati Children's Hospital, University of Cincinnati, USA）

演　　者：

Keynote Lecture: A Novel TRPC6-dependent Pathway for Myofibroblast Transdifferentiation and Wound Healing in vivo

Jeffery D. Molkentin（Cincinnati Children's Hospital, University of Cincinnati, USA）

Redefining Snake Oil: Cardioprotective Mechanisms in Pythons Applied to Mammals

Leslie A. Leinwand（University of Colorado, USA）

Ablation of C/EBP Homologous Protein Attenuates Endoplasmic Reticulum-Mediated Apoptosis and Cardiac Dysfunction Induced by Pressure Overload

南野　哲男（大阪大学　循環器内科学）

P53-Mediated Regulation of Mitophagy Rescued Heart Failure in Mouse Model

的場　聖明（京都府立医科大学　循環器内科）

Heart Failure-Inducible Gene Therapy for Phospho-Regulatome in Failing Hearts

池田　安宏（山口大学　器官病態内科学）

（６）新しい高血圧治療ガイドラインJSH2014はいかに進化すべきか　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　16：30～18：00　第１会場　パシフィコ横浜　国立大ホール　１F）

座長：島本　和明（札幌医科大学）

檜垣　實男（愛媛大学　病態情報内科学）

演　　者：

ARB-Based Antihypertensive Therapy in Elderly High-risk Hypertensive Patients: Impact of the OSCAR Study on JSH2014

光山　勝慶（熊本大学　生体機能薬理学）

Reappraisal of the Recommendation on Calcium Channel Blocker-based Combination Therapy in Japanese Hypertensive Patients- The COPE Trial

梅本　誠治（山口大学　臨床試験支援センター）

The Role of the Aldosterone Blocker in the Guideline of JSH201X

米田　　隆（金沢大学　臓器機能制御学（内科））

Is There a Need for a Reappraisal of Blood Pressure Goal in the Hypertensive Patients with Diabetes?

保野　慎治（京都大学　EBM 研究センター）

Normalization of Sleep BP Values (＜120/70mmHg) as Well as 24-hour BP Control is a Required Therapeutic Strategy in Hypertensive Patients

久保田香菜（自治医科大学　循環器内科学）

（７）心血管系再生医療の最前線　―臨床研究に学ぶ―　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　14：40～16：10　第６会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 304）

座長：宮本　正章（日本医科大学　循環器内科）

福田　　昇（日本大学　生命科学）

演　　者：

Development of Non-Invasive Regenerative Therapies for Cardiovascular Disorders -Low-Energy

Shock Wave Therapy and Low-Intensity Pulsed Ultrasound Therapy-
伊藤　健太（東北大学　循環器内科）

Clinical and Regulatory Strategy for Pharmaceutical Approval of GCSF-Mobilized CD34+ Cell Therapy in Patients with Critical Limb Ischemia
川本　篤彦（先端医療センター　再生治療ユニット　血管再生科）

10-year Prognosis of Therapeutic Vascular Angiogenesis for Peripheral Artery Disease -Principle Indication and Limitation-
高木　　元（日本医科大学　循環器内科・再生医療科）

Myocardial Regenerative Therapy Using Scaffold-free Skeletal-muscle-derived Cell Sheet in Patients with End-stage Heart Failure
吉川　泰司（大阪大学　心臓血管外科）

The Impact of Mesenchymal Stem Cells Transplantation on Long-term Prognosisin Patients with Non-Ischemic/Ischemic Cardiomyopathy
安田　　聡（国立循環器病研究センター　心臓血管内科）

（８）循環器画像診断は臨床にいかに役立っているか　〈日本語〉
（学会２日目　３月16日（土）　14：40～16：10　第３会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 301）
座長：尾崎　行男（藤田保健衛生大学　循環器内科）
望月　輝一（愛媛大学　放射線科学）

演　　者：

Late Gadolinium Enhancement in Cardiomyopathy Comparing to Its Histopathology
橋村　宏美（国立循環器病研究センター　臨床検査部　病理）

Analysis of Left Ventricular Late Gadolinium Enhancement Distribution is Valuable for Differential Diagnosis and Prediction of Reverse Remodeling and Outcome
佐藤　　洋（浜松医科大学　第三内科）

Role of Plaque Assessment by Coronary Computed Tomography Angiography in a Long Term Prognosis of Coronary Artery Disease
元山　貞子（藤田保健衛生大学　循環器内科）

Possibility of Non-invasive Coronary Plaque Characterization with Dual Source Computed Tomography: Assessment Based on Optical Coherence Tomography Findings
上村　史朗（奈良県立医科大学　第一内科）

Role of Cardiac Imaging in the Diagnosis and Treatment of Heart Disease
上田　恭敬（大阪警察病院　循環器内科）

Gated Single-photon Emission Computed Tomography (GSPECT) Imaging beyond as Conventional Tool
髙橋　直人（日本医科大学武蔵小杉病院　循環器内科）

Clinical Efficacy of Gray-scale Intravascular Ultrasound for Comprehensive Treatment of Coronary Artery Disease: A Conventional but Yet a Novel Modality
高山　忠輝（日本大学　循環器内科）

（９）観血的画像診断のUp Date　〈日本語〉
（学会２日目　３月16日（土）　８：30～10：00　第21会場　パシフィコ横浜　アネックスホール

２F　F203+F204）

座長：安武　正弘（日本医科大学　循環器内科）

濱崎　秀一（鹿児島大学　循環器・呼吸器・代謝内科学）

演　　者：

Impact of Out-stent Plaque Evaluation after Drug-eluting Stents Implantation Using Integrated Backscatter Intravascular Ultrasound

園田　信成（産業医科大学　循環器内科、腎臓内科）

Did Different Angioscopic Finding Reflect Clinical Outcomes Between Gen 1st DESs?: Subanalysis from J-DESsERT

小谷　順一（国立循環器病研究センター　心臓血管内科）

The Potential and Limitations of Optical Coherence Tomography (OCT) - From MGH OCT Registry -

加藤　浩司（マサチューセッツ総合病院、ハーバード大学　循環器）

Assessment of Atherosclerotic Lesions Using Integrated Backscatter Ultrasound and Comparison with Optical Coherence Tomography

川崎　雅規（岐阜大学　再生医科学循環・呼吸病態学）

Three-dimensional Intravascular Plaque Imaging: Update and Future Perspectives

廣　　高史（日本大学　循環器内科学）

Analysis of Coronary Vulnerable Plaques Using Intracoronary Imaging Modalities: Histopathological Validation of Intravascular Ultrasound, Optical Coherence Tomography, and Coronary Angioscopy

藤井　健一（兵庫医科大学　循環器内科）

(10)心血管疾患予防のための新しいバイオマーカー　〈英語〉

（学会２日目　３月16日（土）　14：40～16：10　第17会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 502）

座長：磯　　博康（大阪大学　社会環境医学講座公衆衛生学）

Aaron R. Folsom（Division of Epidemiology University of Minnesota, USA）

演　　者：

Keynote Lecture: New Biomarkers for Prediction and Prevention of Cardiovascular Diseases

Aaron R. Folsom（Division of Epidemiology, University of Minnesota, USA）

Plasma Cyclophilin A Is a Novel Biomarker for Oxidative Stress and Coronary Artery Disease

佐藤　公雄（東北大学　循環器内科学分野）

Circulating Des-acyl Ghrelin is a Useful Biomarker for Predicting Cardiovascular Disease Events in Older Hypertensive Patients

矢野裕一朗（自治医科大学　循環器内科）

Plasma C-type Natriuretic Peptide is a Novel Endothelial Cell Biomarker That Predicts Mortality and Myocardial Infarction in the General Population

S. Jeson Sangaralingham（Mayo Clinic, USA）

Soluble Vascular Endothelial Growth Factor Receptor-1 is a Predictor of Cardiovascular Events in Stable Outpatients with Chronic Kidney Disease

和田　啓道（国立病院機構京都医療センター　展開医療研究部）

Organ Dysfunction/Damage Markers to Improve Cardiovascular Risk Prediction in Chronic Kidney Disease: the Atherosclerosis Risk in Communities (ARIC) Study
Kunihiro Matsushita（Johns Hopkins Bloomberg School of Public Health, USA）

(11)循環器分野の医療経済評価と政策課題　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　11：10～12：40　第18会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 503）

座長：永井　良三（自治医科大学）
田倉　智之（大阪大学　医療経済産業政策学）

演　　者：

How Should We Manage the Patients with Heart Failure-From DPC Analysis
谷口　泰代（兵庫県立姫路循環器病センター　循環器科）

Mental Care should be Important to Reduce Cardiovascular Care Cost
石藏　文信（大阪大学　保健学科）

Cost and Effectiveness of Cardiac Rehabilitation after Acute Myocardial Infarction in Japan
後藤　葉一（循環器病委託研究（15指 -2)、「わが国における心疾患リハビリテーションの実態調査と普及促進に関する研究」班）

Fundamental Economic Loss, Marked Reduction of Functional Capacity and Circulatory Impairment in Patients with Chronic Fatigue Syndrome and Orthostatic Intolerance
三羽　邦久（ミワ内科クリニック）

(12)新たな抗血栓療法のEBM　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　17：20～18：50　第16会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 501）

座長：島田　和幸（小山市民病院）
小川　久雄（熊本大学　循環器病態学）

演　　者：

Efficacy and Safety of Dabigatran in Clinical Practice for Japanese Patients with Atrial Fibrillation
宮本　康二（国立循環器病研究センター　心臓血管内科）

Incidence and Characteristics of Patients Unsuitable for Dabigatran Etexilate in Clinical Practice -A Report from the STACIN Registry-
南口　　仁（大阪大学　循環器内科学）

Clinical Efficacy and Safety of Dabigatran Use for Patients with Atrial Fibrillation Using Activated Partial Thromboplastin Time Check
田坂　浩嗣（倉敷中央病院　循環器内科）

On-clopidogrel Platelet Aggregation, but Not Coagulation and Inflammatory Biomarkers, Predict CYP2C19 Gene Variants in Patients Undergoing Elective Percutaneous Coronary Intervention
海北　幸一（熊本大学　循環器内科学）

Impact of Cytochrome P450 2C19 Polymorphism on Drug-eluting Stent Failure in Patients Receiving Clopidogrel: A Potential Role of Paraoxonase-1 Activity
新家　俊郎（神戸大学　循環器内科）

(13)Structural Heart Diseaseのカテーテルインターベンションの進歩　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　11：10～12：40　第３会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 301）

座長：中西　敏雄（東京女子医科大学　循環器小児科）
高山　守正（榊原記念病院　循環器内科）

演　　者：

Percutaneous Transluminal Septal Myocardial Ablation in Hypertrophic Obstructive Cardiomyopathy : Acute Result and 1-year Follow-Up in 100 Patients
高見澤　格（榊原記念病院　循環器内科）

Evolving Roles of Balloon Aortic Valvuloplasty (BAV) in the Era of Transcatheter Aortic Valve Replacement (TAVR) for Non-surgical Aortic Stenosis
坂田　芳人（池上総合病院　循環器科）

Transcatheter Aortic Valve Replacement for Severe Aortic Valve Stenosis in Japan
倉谷　　徹（大阪大学　低侵襲循環器医療学）

Special Remarks：

Transcatheter Aortic Valve Implantation Translating European Experience to Japanese Cohort
林田健太郎（慶應義塾大学　循環器内科、Institut Cardiovascular Paris Sud, France）

Progress of Transcatheter Atrial Septal Defect Closure among Patients with Comorbidities: Results of Multicenter Registry in CVIT Institutions
原　　英彦（東邦大学医療センター大橋病院　循環器内科）

Catheter Closure of Patent Foramen Ovale in Patients with Cryptogenic Cerebrovascular Accident: Initial Case Series in Japan
木島　康文（岡山大学　循環器内科）

Transcatheter Closure of Patent Ductus Arteriosus in Adults
矢崎　　諭（国立循環器病研究センター　小児循環器科）

(14)成人先天性心疾患の診療体制の確立　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　17：20～18：50　第17会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 502）

座長：八尾　厚史（東京大学　循環器内科）
丹羽公一郎（聖路加国際病院　心血管センター　循環器内科）

演　　者：

The Global Growth of ACHD Care
Gary D. Webb（Cincinnati Children's Hospital Medical Center, USA）

Features and Issues of Echocardiographic Examination in Managing Patients with Adult Congenital Heart Disease for Adult Cardiologists and Sonographers
堀端　洋子（九州厚生年金病院　循環器科）

Current Status of Chronic Heart Failure with Adult Congenital Heart Disease in Japan
建部　俊介（東北大学　循環器内科学）

Adult Congenital Heart Disease Team at Fukuoka City and Yokohama City: Role of Cardiac Surgeons
益田　宗孝（横浜市立大学　外科治療学・心臓血管外科）

Involvement of Adult Cardiologists for Management of Adult Congenital Heart Disease: Human Resource and Educational System
杜　　徳尚（岡山大学　循環器内科学）

Now Cardiologists are being Involved in the Caring System for the Adult Patients with Congenitally Structural Heart Diseases in Japan
八尾　厚史（東京大学　保健・健康推進本部）

(15)離職リスクを避けるための課題と解決法　〈日本語〉
（学会２日目　３月16日（土）　11：10～12：40　第５会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 303）
座長：平田　健一（神戸大学　循環器内科学）
本江　純子（府中恵仁会病院　心臓血管病センター）

演　　者：

Gender Equality in Hospital Management
友池　仁暢（榊原記念病院　循環器内科）

Support for Continuous Career of Women Doctors Considering Regional Characteristics
哲翁 - 塚田弥生（日本医科大学　循環器内科）

Contribution of the Japanese Women's Interventional Conference (J-WINC)
本江　純子（府中恵仁会病院　心臓血管病センター）

The Supporting Project -SAGA JOY- in Saga Prefecture and Saga University Hospital - Challenge to Reduce the Risk of Quitting
吉田　和代（佐賀大学　卒後臨床研修センター）

A Case of Ehime University Hospital
檜垣　實男（愛媛大学　循環器・呼吸器・腎高血圧内科（第二内科））

(16)弁膜症治療のニューパラダイム —内科と外科の協調—　〈日本語〉
（学会１日目　３月15日（金）　８：30～10：00　第17会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 502）
座長：赤阪　隆史（和歌山県立医科大学　循環器内科）
澤　　芳樹（大阪大学　心臓血管外科）

演　　者：

Martyn Thomas（Guy's and St Thomas' Hospital, UK）

Impact of Transesophageal Three Dimensional Echocardiography on Procedural Success for Mitral Valve Plasty: Results from Pre and Postsurgical Observation
森　　三佳（金沢大学　循環器内科）

Early Surgical Strategy for Native Valve Endocarditis: Results of CArdiac Disease Registration (CADRE), a Nation-Wide Survey in Japan
大原　貴裕（国立循環器病研究センター　心臓血管内科）

The New Generation Suture Less Aortic Valve, In The TAVI Moment -Partnership Between Cardiologist And Cardiac Surgeon-
氏家　敏巳（新百合ケ丘総合病院　心臓血管外科）

Collaboration among Cardiologists, Cardiovascular Surgeons and Anesthesiologists in Performing Transcatheter Aortic Valve Replacement(TAVR)

桃原　哲也（榊原記念病院　循環器内科）

An Important Role of TAVR Team
前田　孝一（大阪大学　心臓血管外科）

(17)肺高血圧症　-From Bench to Bed-　〈英語〉

（学会２日目　３月16日（土）　11：10～12：40　第16会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 501）

座長：瀧原　圭子（大阪大学保健センター）
Norbert F. Voelkel（Virginia Commonwealth University, USA）

演　　者：

Keynote Lecture: Severe Pulmonary Hypertension: The Focus is on the Right Ventricle
Norbert F. Voelkel（Victoria Johnson Laboratory and Pulmonary and Critical Care Medicine Division, Virginia Commonwealth University, USA）

Molecular Dissection of Pathophysiological Roles of the Endothelin System in Pulmonary Arterial Hypertension: Lessons from Genetically Modified Mice
江本　憲昭（神戸大学　循環器内科学分野）

Balancing Act by Prostacyclin Analogues in BMP/TGF-β Signaling: Novel Antiproliferative Mechanisms of PGI2 in Pulmonary Arterial Hypertension
大郷　　剛（国立循環器病研究センター　心臓血管内科）

Recent Research Progress on the Role of Rho-kinase Pathway in the Pathogenesis of Pulmonary Arterial Hypertension-From Bench to Bedside-
福本　義弘（東北大学　循環器内科）

Bosentan Ameliorates Pulmonary Hypertension in Mice by Modulating Stem Cells Kinetics and Related Gene Expression: A New Therapeutic Target
加藤　太一（三重大学　小児科）

Blockade of Interleukin-6 (IL-6) Signaling by Anti-IL-6 Monoclonal Antibody might be a Promising Therapeutic Strategy for Pulmonary Arterial Hypertension
中岡　良和（大阪大学　循環器内科学）

Additional Remarks：

Involvement of Inflammatory Cytokines in Idiopathic Pulmonary Arterial Hypertension: Elevated Circulating Levels of MCP-1 and Activated PDGF-BB-induced Inflammatory Signaling
中村　一文（岡山大学　循環器内科学）

(18)重症下肢虚血に対する治療戦略　〈日本語〉

（学会１日目　３月15日（金）　16：30～18：00　第18会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 503）

座長：古森　公浩（名古屋大学　血管外科）
横井　宏佳（小倉記念病院　循環器科）

演　　者：

The Efficacy of Endovascular Treatment for Hemodialysis Patients with Critical Limb Ischemia
宮本　　明（菊名記念病院　心臓血管センター　循環器科）

Long-term Outcomes of Contemporary Endovascular Therapy for Critical Limb Ischemia with Tissue Loss

河原田修身（国立循環器病研究センター　心臓血管内科）

Mid-term Outcome of Bypass Surgery for Fontaine IV Critical Limb Ischemia
辻　　義彦（新須磨病院　外科）

Clinical Outcomes and Risk Stratification after Endovascular Therapy by Angioplasty-only of Patients with Tissue Loss due to Isolated Below-the-Knee Lesions
岡本　　慎（関西労災病院　循環器内科）

Nanotechnology-based Endothelial Cell-Selective Delivery of Pitavastatin for Therapeutic Arteriogenesis in Patients with Critical Limb Ischemia
江頭　健輔（九州大学　循環器内科学）

Midterm Outcome of Infrainguinal Bypasses for Critical Limb Ischemia in Kokura Memorial Hospital
隈　　宗晴（小倉記念病院　血管外科）

(19)新しい抗糖尿病薬は循環器疾患予防に貢献できるか？　〈英語〉
（学会１日目　３月15日（金）　11：10～12：40　第４会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 302）

座長：斎藤　能彦（奈良県立医科大学　第一内科）
Daniel Drucker（Samuel Lunenfeld Research Institute Mt. Sinai Hospital, Canada）

演　　者：

Keynote Lecture: Incretin Therapies and the Heart: Evolving Cardiovascular Complexity
Daniel Drucker（Samuel Lundenfeld Research Institute, Mt. Sinai Hospital, Canada）

Renal and Cardiac Effects of DPP-4 Inhibitors - From Preclinical Development to Clinical Research
Berthold Hocher（Institute of Nutritional Science, University of Potsdam, Germany）

Effects of New Drugs for Glycemic Control on the Clinical Outcome in Diabetic Patients with PCI: From the FU-Registry
池　　周而（福岡大学　心臓血管内科学）

Cardioprotective Effects of DPP-4 Inhibitors in Mouse Models of Heart Failure
高野　博之（千葉大学　分子心血管薬理学）

Dipeptidylpeptidase-4 Modulates Left-Ventricular Diastolic Dysfunction in Chronic Heart Failure via Angiogenesis-dependent and -Independent Actions
坂東　泰子（名古屋大学　循環器内科学）

A Dipeptidyl Peptidase-4 Inhibitor Exhibited Beneficial Effects on Endothelial Functions and Atherogenesis -From Bench to Bedside-
松原　純一（熊本大学　循環器内科学）

(20)大動脈疾患の治療ストラテジーを考える
—ステントか外科治療か—　〈日本語〉
（学会３日目　３月17日（日）　13：50～15：20　第６会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 304）

座長：髙本　眞一（三井記念病院）
倉谷　　徹（大阪大学　低侵襲循環器医療学）

演　　者：

Perioperative Risk Evaluation and Clinical Decision Support: Lessons from the Local Database for Elective Abdominal Aortic Aneurysm Repair
原田光一郎（国立循環器病研究センター　心臓血管内科）

The Efficacy and Long-term Results of Hybrid TEVAR into the Zone Zero for Aortic Arch Pathologies
白川　幸俊（大阪大学　低侵襲循環器医療学）

The Treatment Strategies for Complicated Aortic Aneurysm
本郷　哲央（大分大学　放射線医学）

Open, Endovascular and Hybrid Repair of Aortic Arch Pathology
志水　秀行（慶應義塾大学　外科学）

The Role of the Endovascular Stent-grafting in Treating Patients with Aortic Aneurysm : Vague Skepticisms Still Around
大北　　裕（神戸大学　心臓血管外科）

(21)心室細動に対する心脳蘇生と救急心血管治療　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　８：30～10：00　第４会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 302）

座長：野々木　宏（静岡県立総合病院　循環器内科）
長尾　　建（駿河台日本大学病院　循環器科、蘇生・救急心血管治療）

演　　者：

Results from a Statewide Effort to Implement and Measure Minimally Interrupted Cardiac Resuscitation in Arizona
Bentley J. Bobrow（Arizona Department of Health Services, USA）

The Effect of Emergency Coronary Reperfusion Therapy for Survivors After Out-of-Hospital Shockable Cardiac Arrest Due to Acute Myocardial Infarction
立花　栄三（東京都 CCU ネットワーク学術委員会）

Investigation of Factors for Successful Resuscitation from Collapse in School Students by AED
鮎沢　　衛（日本大学　小児科）

In Hospital Cardio-cerebral Resuscitation & Emergency Cardiovascular Care for Ventricular Fibrillation
横山　広行（国立循環器病研究センター　心臓血管内科）

Efficacy of Combination Therapy for Patients with Out-of-hospital Cardiac Arrest Caused by Ventricular Fibrillation Due to Acute Coronary Syndromes
田原　良雄（SAVE-J Study Group）

Noninvasive Regional Cerebral Oxygen Saturation for Neurological Prognostication of Patients with Out-of-Hospital Cardiac Arrest: A Multicenter Prospective Cohort Study
伊藤　賀敏（大阪府済生会千里病院　心臓血管センター　循環器内科）

(22)禁煙を科学する　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　17：20～18：50　第21会場　パシフィコ横浜　アネックスホール

２Ｆ　F203+F204）

座長：室原　豊明（名古屋大学　循環器内科学）
朔　啓二郎（福岡大学　心臓・血管内科学）

演　　者：

Nicotine Dependency, Obesity and Cardiovascular Risk Biomarkers
長谷川浩二（国立病院機構京都医療センター）

Impact of Smoking and Smoking Cessation on Cardiovascular Disease
近藤　隆久（名古屋大学　肺高血圧先端医療学寄附講座）

Smoking Duration Governs Subclinical Atherosclerotic Progression Stronger than Duration of Smoking Cessation in Apparent Healthy Men: Two Years Ultrasonographic Follow-up
真田　昌爾（大阪大学　循環器内科学）

The Identification of the Genetic Determinants for Nicotine Dependence and Smoking Cessation Behavior by the Pharmacogenomics Clinical Trial
東　　純一（兵庫医療大学　臨床ゲノム薬理学）

Tobacco Consumption and Out-of-Hospital Cardiac Arrest (OHCA) of Cardiac Origin: From All-Japan Utstein Registry Data (JCS-ReSS)
上原　吉就（福岡大学　心臓血管内科学）

(23)大災害と心血管病　〈日本語〉

（学会１日目　３月15日（金）　11：10～12：40　第18会場　パシフィコ横浜　会議センター　５Ｆ　503）

座長：下川　宏明（東北大学　循環器内科学）
竹石　恭知（福島県立医科大学　循環器・血液内科）

演　　者：

Impact of Great East Japan Earthquake on Cardiovascular Diseases
小田　雅人（新潟大学　循環器分野）

Comprehensive Management with Multidisciplinary Cooperation Utilizing Remote Blood Pressure Control for Elderly Evacuees: Learn from the Great East Japan Earthquake
飯島　勝矢（東京大学　高齢社会総合研究機構）

Different Trends in Increased Incidence of Myocardial Infarction and Heart Failure after 2011 Earthquake and Tsunami Disaster in Iwate
髙橋　智弘（岩手医科大学　心血管・腎・内分泌内科）

Impact of the Great East Japan Earthquake Disaster on Cardiovascular Diseases
青木　竜男（東北大学　循環器内科学）

Triple Disasters in Fukushima Induced High Incidence of Deep Vein Thrombosis Associated with Shelter Quality
高瀬　信弥（福島県立医科大学　心臓血管外科学）

プレナリーセッション・シンポジウム・一般演題・特別企画要項

プレナリーセッション，シンポジウム，一般演題，特別企画の開催要領は原則として下記の通りです(ただし一部の日本語発表セッションを除く).

1）**プレナリーセッション：**

- 招請外国人による講演(state-of-the-art)を行う．その後，招請外国人及び指定または公募通過者の計５名程度による発表．ただし一部の日本語発表セッションを除く.
- 発表者は各専門領域における各自のデータに加え，現況と将来の方向について講演(オーバービュー)する.
- 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする(同時通訳をつけます).
- 総合討論は行わない.

2）**シンポジウム：**

- 招請外国人による講演(keynote lecture)を行う．その後，招請外国人及び指定または公募通過者の計５名程度による発表．ただし一部の日本語発表セッションを除く.
- 各自の最先端の研究について発表し，自由な討論を行う.
- 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする(同時通訳はつけません).

3）**一般演題：**

- 発表者は原則として，応募時に選択した日本語または英語で行う(同時通訳なし).
- 一般演題の発表形式は，以下のように分けられます.
  - ① Featured Research Sessions in English(英語発表希望者抄録のうち比較的高得点の演題から構成)
  - ② 一般演題口述発表(発表希望言語により日本語または英語セッションに分けられる)
  - ③ ポスター発表(発表希望言語により日本語または英語セッションに分けられる)

4）**特別企画：**

- 真下記念講演，トピックス(＊)，コントロバーシー，ミートザエキスパート(＊)，ラウンドテーブルディスカッション，モーニングレクチャー，教育セッションは日本語で行われます.
  ＊一部セッションは英語で行われます.
- 美甘レクチャー，特別講演は英語で行われ，同時通訳付きとなります.

11. ジョイントシンポジウム

（1）KSC-JCS Joint Symposium

Diabetic Coronary Artery Disease in Asia 〈英語〉

（学会３日目　３月17日（日）　13：50～15：20　第21会場　パシフィコ横浜　アネックスホール２F　F203+F204）

座長：佐田　政隆（徳島大学 循環器内科）
Seung-Jung Park（Ulsan University, Korea）

演　　者：

PCI Outcomes in Patients With Diabetes Mellitus: Is There any Difference From Western Trials?
Seung-Jung Park（Ulasan University, Korea）

Effect of Diabetic Agent on Cardiovasuclar Failure in Japanese Patients
白木　　綾（佐賀大学　循環器内科学）

Macrovascular Complications in Patients with Diabetes in Korea
Soo Lim（Division of Endocrinology and Metabolism,Seoul National University College of Medicine, Seoul National University Bundang Hospital, Korea）

Ectopic Fat Depositions and Diabetic Vascular Disease
島袋　充生（徳島大学　心臓血管病態医学）

（2）ESC-JCS Joint Symposium

Recent Progress in the Understanding, Management and Prevention of Sudden Cardiac Death〈英語〉

（学会３日目　３月17日（日）　８：30～10：00　第21会場　パシフィコ横浜　アネックスホール２F　F203+F204）

座長：下川　宏明（東北大学　循環器内科学）
Panos Vardas（Heraklion University Hospital, Greece）

演　　者：

Economic Issues Related to Sudden Cardiac Death in Europe and Beyond
Panos Vardas（Heraklion University Hospital, Greece）

Out-of-hospital Cardiac Arrest and Cardiopulmonary Resuscitation: The European Perspective on New Guidelines and Challenges for the Cardiologist
Rudolph W. Koster（Academic Medical Center, University of Amsterdam, The Netherlands）

Outcomes and Characteristics of Out-of-hospital Cardiac Arrest in Japan: Data from Population-based Registries of Cardiac Arrests
石見　　拓（京都大学　健康科学）

Coronary Artery Spasm and Out-of-Hospital Cardiac Arrest
安田　　聡（国立循環器病研究センター　心臓血管内）

（3）AHA-JCS Joint Symposium

Heart Failure Update 2013 〈英語〉

（学会１日目　３月15日（金）　16：30～18：00　第21会場　パシフィコ横浜　アネックスホール２F　F203+F204）

座長：筒井　裕之（北海道大学　循環病態内科学）
Donna Arnett（University of Alabama - Birmingham）

演　　者：

Clinical Characteristics, Prognosis, and Management of Heart Failure in Japan
絹川真太郎（北海道大学　循環病態内科学）

Epidemiology of Heart Failure: How the Epidemic Began and Where is It Going?
Donna Arnett（University of Alabama - Birmingham, USA）

Heart Failure in 2013: Drugs, Devices and Transplantation
Mariell Jessup（Hospital of the University of Pennsylvania, USA）

HFpEF: What can We Do Now?
山本　一博（鳥取大学　病態情報内科）

What to Do When Heart Failure Complicates an Myocardial Infarction
Robert Harrington（Stanford University, USA）

（４）ACC-JCS Joint Symposium

Cardiac Rehabilitation as Cardiovascular Therapy　〈英語〉

（学会２日目　３月16日（土）　14：40～16：10　第21会場　パシフィコ横浜　アネックスホール２F　F203+F204）

座長：後藤　葉一（国立循環器病研究センター　心臓血管内科／循環器病リハビリテーション部）
Mary Norine Walsh（St Vincent Heart Center of Indiana, USA）

演　　者：

Cardiac Rehabilitation in Post CABG Patients with Coronary Risk Factors
島田　和典（順天堂大学　循環器内科学）

Safety of Moderate Exercise After Coronary Stenting
曽我　芳光（小倉記念病院　循環器内科）

Cardiac Rehabilitation in Patients with Chronic Heart Failure
Mary Norine Walsh（St Vincent Heart Center of Indiana）

Current Status of Cardiac Rehabilitation in Japan
後藤　葉一（国立循環器病研究センター　心臓血管内科／循環器病リハビリテーション部）

Current Status of Cardiac Rehabilitation in USA
Noel Bairey Merz（Cedars-Sinai Heart Institute, USA）

12. ラウンドテーブルディスカッション

（１）性差医学を循環器診療にどういかすか　〈日本語〉

（学会１日目　３月15日（金）　８：30～10：00　第６会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 304）

座長：中川　幹子（大分大学　臨床検査診断学）
鄭　　忠和（和温療法研究所）

演　　者：

Ionic Mechanism for Sex Difference in Cardiac Arrhythmias
古川　哲史（東京医科歯科大学　生体情報薬理学）

Cardiovascular Effects of Sex Hormones and Hormone Replacement Therapy
秋下　雅弘（東京大学　加齢医学）

The Clinical Feature of Coronary Artery Disease in Women
河野　宏明（熊本大学　循環器内科）

Gender Differences in Clinical Characteristics, Treatment, and Long-Term Outcomes in Patients Hospitalized with Heart Failure
眞茅みゆき（北里大学　看護学部）

（２）３Ｄ心エコーの進歩　〈日本語〉
（学会１日目　３月15日（金）　８：30～10：00　第23会場　パシフィコ横浜　アネックスホール２Ｆ　F206）
座長：竹中　　克（東京大学　検査部）
岩永　史郎（東京医科大学八王子医療センター　循環器内科）

演　　者：

Evaluation of Mitral Regurgitation Using 3D Echocardiography
竹内　正明（産業医科大学　第二内科学）

Impact of Intraoperative Real-Time Three-Dimensional Echocardiography on the Surgical Correction of the Congenital Heart Disease
瀧聞　浄宏（長野県立こども病院　循環器小児科）

Evaluation of Myocardial Ischemic Memory Using 3-Dimensional Speckle Tracking Echocardiography
浅沼　俊彦（大阪大学　先進心血管治療学寄附講座）

Left Ventricular Activation Imaging by 3D-Speckle Tracking Echocardiography
瀬尾　由広（筑波大学　循環器内科）

Three Dimensional Transesophageal Echocardiography for Catheter-Based Treatments for Structural Heart Disease
中谷　　敏（大阪大学　機能診断科学）

（３）循環器救急・集中治療の現状と新たなる期待：今後のCCUはどうあるべきか？　〈日本語〉
（学会１日目　３月15日（金）　13：50～15：20　第３会場　パシフィコ横浜　会議センター　３Ｆ　301）
座長：田中　啓治（日本医科大学　集中治療室）
横山　広行（国立循環器病研究センター　医療安全管理部）

演　　者：

Introduction of Emergency Cardiovascular Care System in Japan
横山　広行（国立循環器病研究センター　医療安全管理部）

Present Situation of Emergency Cardiovascular Care in Japan
田原　良雄（横浜市立大学市民総合医療センター　心臓血管センター）

Beyond CCU
西上　和宏（済生会熊本病院　集中治療室）

Invasive Cardiac Life Support Can Improve Clinical Outcomes in Patients with Out-of-hospital Cardiac Arrest
長谷　　守（札幌医科大学　救急・集中治療医学）

The Current Action of Tokyo CCU Network and the Vision for the Future
宮地　秀樹（日本医科大学　集中治療室）

Impella: A Percutaneous Intra-cardiac Heart Pump Catheter for Heart Recovery and Myocardial Protection

George W. Vetrovec（VCU Pauley Heart Center, USA）

（４）包括的心疾患治療としての心臓リハビリテーションの新展開　〈日本語〉

（学会１日目　３月15日（金）　16：30～18：00　第６会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 304）

座長：野原　隆司（北野病院　心臓センター）
折口　秀樹（九州厚生年金病院　循環器科）

演　　者：

Exercise-based Cardiac Rehabilitation can Markedly Ameliorate Atherogenic Lipoprotein Profiles in Patients with Coronary Artery Diseases

木庭　新治（昭和大学　循環器内科学）

Importance of Management of Salt Intake and Hypertension as a Comprehensive Cardiac Rehabilitation in Patients with Myocardial Infarction

福間　長知（日本医科大学　内科学第一）

Pharmacologic Treatments of Chronic Heart Failure and its Limitation

安村　良男（国立病院機構大阪医療センター　循環器内科）

Multidisciplinary Approach for Providing Cardiac Rehabilitation Programs to Facilitate a Cooperation in the Hospital and Local Medical Network

高永　康弘（九州厚生年金病院　リハビリテーション室）

Innovative Diabetes Management Using Electric Health Records by Interprofessional Work

勝木　達夫（やわたメディカルセンター　循環器内科）

From -Adding Life to Years - to - Adding Life to Years and Years to Life -

上月　正博（東北大学　内部障害学）

（５）器質的心疾患における心室性不整脈のカテーテルアブレーション　〈日本語〉

（学会１日目　３月15日（金）　16：30～18：00　第17会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 502）

座長：青沼　和隆（筑波大学　循環器内科）
小林　義典（東海大学八王子病院　循環器内科）

演　　者：

Catheter Ablation of Ventricular Tachycardia in Patients with Ischemic Cardiomyopathy

吉田健太郎（茨城県立中央病院　循環器内科）

His-Purkinje System Related Ventricular Tachyarrhythmias in Patients with Structural Heart Disease

林　　明聡（日本医科大学　循環器内科）

Late Potentials and Pace-Mapping as Guides for Ablation of Ventricular Tachycardia in Patients with Nonischemic cardiomyopathy

中原　志朗（獨協医科大学越谷病院　循環器内科）

Radiofrequency Catheter Ablation of Ventricular Tachycardia in Arrhythmogenic Right Ventricular Cardiomyopathy

夛田　　浩（福井大学　循環器内科）

Ventricular Tachycardia Associated with Cardiac Sarcoidosis -Its Characteristics, Prognostic Factor, and Usefulness of Catheter Ablation-
古嶋　博司（新潟大学　循環器内科）

（６）学校心臓検診は潜在的な心疾患の診断に有用か　〈日本語〉
（学会２日目　３月16日（土）　11：10～12：40　第21会場　パシフィコ横浜　アネックスホール２F　F203+F204）
座長：小川　俊一（日本医科大学　小児科）
市田　蕗子（富山大学　小児科）

演　　者：

School Heart Examination
高橋　良明（たかはし小児科循環器科医院）

Availability of Cardiovascular Screenings in Junior High School Pupils
田内　宣生（大垣市民病院　小児循環器新生児科）

Usefulness of Heart Disease Screening of High School Students in Tokyo
泉田　直己（曙町クリニック　小児科）

Is the School-based Cardiovascular Screening Program an Effective Way to Screen and to Predict Lethal Arrhythmias?
吉永　正夫（国立病院機構鹿児島医療センター　小児科）

Long QT Syndrome Mutation Carriers in Japanese School Children and their Clinical Course
林　　研至（金沢大学　臓器機能制御学・循環器内科）

（７）メイズ手術の遠隔成績　〈英語〉
（学会３日目　３月17日（日）　８：30～10：00　第６会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 304）
座長：James L. Cox（Emeritus Evarts A. Graham Professor of Surgery at Washington University, USA）
新田　　隆（日本医科大学　心臓血管外科）

演　　者：

Long-term Outcome after the Maze Procedure
James L. Cox（Evarts A. Graham Professor of Surgery Emeritus, Washington University, School of Medicine, USA）

Long-term Outcome of Cryo-Maze Procedure for Atrial Fibrillation
藤田　知之（国立循環器病研究センター　心臓血管外科）

Long Term Results of Af Surgeries
末田泰二郎（広島大学　心臓血管外科）

Does the Maze Procedure Prevent Stroke for the Long Term after Surgery?
石井　庸介（日本医科大学千葉北総病院　心臓血管外科）

Long-term Efficacy of BAP Maze Procedure for Atrial Fibrillation
磯部　文隆（愛知医科大学　心臓外科）

（８）心疾患増悪因子としての高血圧関連病態を考える　〈日本語〉
（学会３日目　３月17日（日）　11：10～12：40　第18会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 503）

座長：楽木　宏実（大阪大学大学院　老年・腎臓内科学）
今泉　　勉（久留米大学　心臓・血管内科）

演　　者：

Impact of Hypertension on the Pathogenesis of Atherosclerosis
佐田　政隆（徳島大学　循環器内科学）

Transition from Adaptive Cardiac Hypertrophy to Heart Failure is Mediated by Impaired Coronary Angiogenesis
塩島　一朗（関西医科大学　第二内科）

How to Treat Hypertension Associated with Heart Disease
甲斐　久史（久留米大学　心臓・血管内科）

New Parameters to Treat Hypertension
大石　　充（大阪大学　老年・腎臓内科学）

Promising Effect of Device-based Therapeutic Approach for Cardiovascular Protection
苅尾　七臣（自治医科大学　循環器内科学）

（９）2型DMによる大血管障害と早期介入法　〈日本語〉
（学会３日目　３月17日（日）　13：50～15：20　第３会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 301）

座長：綿田　裕孝（順天堂大学　代謝内分泌学）
植木浩二郎（東京大学　糖尿病・代謝内科）

演　　者：

Cardiovascular Risk in Subjects with Pre- and Early Diabetes:
An Overview
曽根　博仁（新潟大学　血液・内分泌・代謝内科学）

Optimal Management of Diabetes Mellitus to Prevent Cardiovascular Events: Choice of Anti-diabetic Drugs
伊藤　　浩（岡山大学　循環器内科学）

The Choice of Oral Hypoglycemic Agents for the Early Stage of Diabetic Patients -From the Standpoint of Diabetologist-
西尾　善彦（鹿児島大学　糖尿病・内分泌内科学）

Diabetes and Cardiovascular Disease: Current Strategy on Comprehensive Management and Coronary Revascularization to Improving Long-Term Outcomes
宮内　克己（順天堂大学　循環器内科）

How to Reduce Residual Risk in Patients with DM in the Statin-Era?
-Utility of Anti-platelet Agents, Fibrates, and Eicosapentaenoic Acid-
杉山　正悟（熊本大学　循環器内科学）

(10)循環器疾患に合併する睡眠時呼吸障害の機序と治療 —新たな概念･新たな介入法—〈日本語〉
（学会３日目　３月17日（日）　16：30～18：00　第５会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 303）

座長：百村　伸一（自治医科大学さいたま医療センター　循環器科）
安藤　真一（九州大学　睡眠時無呼吸センター）

演　　者：

Mechanisms of Atrial Fibrillation in Animal Model of Obesity and Acute Obstructive Sleep

Apnea
岩崎　雄樹（日本医科大学　循環器内科）

Sympathetic Nervous Activation in Sleep Disordered Breathing
田村　　彰（大分大学　総合内科学第二講座）

Sleep Disordered Breathing and Aldosterone Antagonists: Rationality for Managing Sodium, Fluid and Aldosterone Breakthrough as Treatment Targets in Cardiovascular Diseases
西坂　麻里（九州大学　睡眠時無呼吸センター）

Adaptive Servo Ventilation Improves Renal Function in Heart Failure Patients with Chronic Kidney Disease and Sleep-disordered Breathing
義久　精臣（福島県立医科大学　心臓病先進治療学、循環器・血液内科学）

Rostral Fluid Shift -New Concept in the Pathogenesis of Sleep Disordered Breathing in Hear Failure-
葛西　隆敏（順天堂大学　循環器内科学・循環呼吸睡眠医学）

(11)大動脈解離はなぜ起こるか？　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　16：30～18：00　第６会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 304）

座長：加地修一郎（神戸市立医療センター中央市民病院　循環器内科）
荻野　　均（東京医科大学　心臓血管外科）

演　　者：

Pathogenesis of Aortic Dissection: An Insight from Morphological Studies of the Elastic Tissue in the Aortic Media
中島　　豊（福岡赤十字病院　病理診断科）

Clinico-pathological Consideration for Acute Aortic Dissection
村井　達哉（榊原記念病院　病理）

Evolving Concepts in Acute Aortic Syndromes
西上　和宏（済生会熊本病院　集中治療室）

Untreated Obstructive Sleep Apnoea as a Therapeutic Target in Acute Aortic Dissection
稲見　　徹（日本医科大学千葉北総病院　循環器センター）

Genetic Mutation as a Cause of Acute Aortic Dissection
坏　　宏一（日本医科大学　集中治療室）

(12)難治性冠攣縮へのアプローチ　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　16：30～18：00　第18会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 503）

座長：下川　宏明（東北大学　循環器内科学）
小川　久雄（熊本大学　循環器内科学）

演　　者：

Nitrates as a Concomitant Therapy in Patients with Vasospastic Angina -A Report from the Japanese Coronary Spasm Association-
高木　祐介（東北大学　循環器内科）

Spasm Provocation Tests under the Medical Therapy in Patients with Resistant VSA
末田　章三（愛媛県立新居浜病院　循環器科）

Coronary Artery Spasm and Recurrent Cardiovascular Complication
海北　幸一（熊本大学　循環器内科学）

Left Ventricular Dysfunction Due to Diffuse Multiple Vessel Coronary Artery Spasm
吉野　秀朗（杏林大学　第二内科）

Drug-on Acetylcholine Provocation Test for Assessment of Therapeutic Efficacy in Patients with Refractory Vasospastic Angina -Importance of CCB Combination Therapy-
村上　大介（日本医科大学　循環器内科）

13. トピックス

（1）Sympathetic Nervous System and Brain-cardio-rental Interaction : Lessons from Renal Denervation 〈英語〉

（学会１日目　３月15日（金）　11：10～12：40　第３会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 301）

座長：砂川　賢二（九州大学　循環器内科学）
麻野井英次（富山県射水市民病院）

演　　者：

Renal Denervation - Tools, Technique and Evidence
Sharad V Shetty（Department of Cardiology , Royal Perth Hospital, Australia）

Roles of Renal Sympathetic Nerves in Normal Kidney Function and Chronic Kidney Diseases
熊谷　裕生（防衛医科大学校）

Abnormal Sympathoexcitation Caused by Brain in Cardiovascular Diseases -Brain is a Novel Therapeutic Target in Cardiovascular Diseases-
岸　　拓弥（九州大学　先端心血管治療学）

Sympathetic Arterial Pressure Regulation in Normotensive and Spontaneously Hypertensive Rats
川田　　徹（国立循環器病研究センター　循環動態制御部）

Respiratory Modulation of Sympathetic Nerve Activity in Patients with Heart Failure
城宝　秀司（富山大学　第二内科）

（2）Calcium Handling and Cardiac Arrhythmia 〈英語〉

（学会１日目　３月15日（金）　11：10～12：40　第６会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 304）

座長：Peng-Sheng Chen（Krannert Institute of Cardiology, Indiana University School of Medicine, USA）
小野　克重（大分大学　病態生理学）

演　　者：

Small Conductance Calcium Activated Potassium Current and Ventricular Arrhythmogenesis
Peng-Sheng Chen（Krannert Institute of Cardiology, Indiana University School of Medicine, USA）

Ca2+/Calmodulin-dependent Protein Kinase II and Arrhythmogenesis
辻　　幸臣（エッセン大学　薬理学研究所）

Spatial Nonuniformity-Induced Ca2+ Waves and Arrhythmias
三浦　昌人（東北大学　臨床生理検査学）

Arrhythmogenic Intracellular Calcium Waves in the Heart Imaged by Rapid-scanning Confocal Microscopy
田中　秀央（京都府立医科大学　細胞分子機能病理学）

Role of Intracellular Calcium Dynamics in Triggered Activities
丸山　光紀（日本医科大学千葉北総病院　循環器内科）

（３）ハートチームによる心血管治療の向上　〈日本語〉
（学会１日目　３月15日（金）　11：10～12：40　第21会場　パシフィコ横浜　アネックスホール２F　F203+F204）
座長：高山　守正（榊原記念病院　循環器内科）
夜久　　均（京都府立医科大学　心臓血管外科）

演　　者：

Welcome to the Hybrid Era for Minimally Invasive Cardiovascular Treatment
倉谷　　徹（大阪大学　低侵襲循環器医療学）

Heart-team Approach in Managing Patients with Coronary Artery Disease
The Present Condition in Kokura Memorial Hospital
岩淵　成志（小倉記念病院　循環器内科）

"Heart Team" in Specialized Cardiovascular Center;
Consideration of Management
高山　守正（榊原記念病院　循環器内科）

Management of Hospital Team without a Cardiac Surgical Unit
岡田　　隆（京都市立病院　循環器内科）

Heart Team for Percutaneous Transcatheter Procedures
塩田　隆弘（Cedars-Sirai Heart Institute, UCLA School of Medicine, USA）

（４）未来へ向けて心エコー図法の進化　〈日本語〉
（学会１日目　３月15日（金）　13：50～15：20　第４会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F　302）
座長：吉田　　清（川崎医科大学　循環器内科）
尾辻　　豊（産業医科大学　第２内科学）

演　　者：

Up-to-date Assessment of Left Ventricular Systolic Function
Thor Edvardsen（Oslo University Hospital, Rikshospitalet, Norway）

Stress Echocardiography
竹内　正明（産業医科大学　第二内科学）

Present and Future of 3D Echocardiography
林田　晃寛（川崎医科大学　循環器内科）

Speckle Tracking Echocardiography in Assessing Vulnerable Myocardial Characteristics
瀬尾　由広（筑波大学　循環器内科）

（５）本邦から発信するPCIの新たなエビデンス　〈日本語〉
（学会１日目　３月15日（金）　13：50～15：20　第21会場　パシフィコ横浜　アネックスホール２F　F203+F204）
座長：木村　　剛（京都大学　循環器内科）

中村　正人（東邦大学医療センター大橋病院　循環器内科）

演　　者：

Endovascular Treatment for Infrainguinal Vessels in Patients with Critical Limb Ischemia: OLIVE Registry, a Prospective, Multicenter Study in Japan

飯田　　修（関西ろうさい病院　循環器内科）

Cilostazol Reduces Angiographic Restenosis after Endovascular Therapy for Femoropopliteal Lesions in the Sufficient Treatment of Peripheral Intervention by Cilostazol (STOP-IC) Study

横井　宏佳（小倉記念病院　循環器内科）

Randomized Comparison of Everolimus-Eluting and Sirolimus-Eluting Coronary Stents: 2-Year Clinical Follow-Up from the Randomized Evaluation of the RESET Trial

上妻　　謙（帝京大学　循環器内科）

One-year Outcome of the NOBORI Biolimus-Eluting versus XIENCE/PROMUS Everolimus-eluting Stent Trial (NEXT)

夏秋　政浩（京都大学　循環器内科学）

CREDO-Kyoto Registry Cohort-2: A Large-scale Multicenter Registry of Coronary Revascularization in Japan

塩見　紘樹（京都大学　循環器内科学）

（６）冠動脈疾患治療：バイオマーカーと先端画像で迫る　〈日本語〉

（学会１日目　３月15日（金）　13：50～15：20　第22会場　パシフィコ横浜　アネックスホール２F　F205）

座長：清野　精彦（日本医科大学千葉北総病院　循環器センター　循環器内科）

安斉　俊久（国立循環器病研究センター　心臓血管内科）

演　　者：

Coronary Plaque Composition and Cardiac Troponin Elevation after Percutaneous Coronary Intervention: Multidetector Computed Tomography

佐藤　　明（筑波大学　循環器内科）

Detection of Vulnerable Plaque by Intravascular Ultrasound: Look beyond the Vessel Wall

大倉　宏之（川崎医科大学　循環器内科学）

Pre- and Post-procedural Cardiac Biomarker Elevation in Patients with Stable Angina Pectoris Undergoing Elective Stenting and OCT-derived Lesion Characteristics

角田　恒和（土浦協同病院　循環器内科）

Identification of High-Risk Plaques Associated with Peri-procedural Myocardial Injury Following Elective Percutaneous Coronary Intervention

山本　真功（日本医科大学千葉北総病院　循環器内科）

（７）Prevention of Cardiac Remodeling in Heart Failure: Present Status and Future Perspectives　〈英語〉

（学会１日目　３月15日（金）　16：30～18：00　第４会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 302）

座長：Faiez Zannad（University of Nancy, Inserm Hopital Central, Nancy, France）

小室　一成（東京大学　循環器内科学）

演　　者：

The Role of Mineralocortocoid Receptor Antagonists for Reduced Ejection Fraction Heart

Failure

Faiez Zannad（Inserm Universite de Lorraine and CHU de Nancy, France）

Impact of Sympathoexcitation and Sympathoinhibition on Heart Failure

砂川　賢二（九州大学　循環器内科学）

Erythropoetin Prevents Cardiac Remodeling after Myocardial Infarction

南野　哲男（大阪大学　循環器内科学）

Cardioprotective Effects of Combination Therapy with G-CSF and DPP-4 Inhibition

高野　博之（千葉大学薬学研究院　分子心血管薬理学）

（８）Role of Cardiac Images in Transcatheter Therapy for Valvular Disease　〈英語〉

（学会２日目　３月16日（土）　８：30～10：00　第６会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 304）

座長：塩田　隆弘（Cedars-Sinai Heart Institute, UCLA School of Medicine, USA）

高山　守正（榊原記念病院　循環器内科）

演　　者：

Role of Cardiac Images in Transcatheter Therapy for Valvular Disease

塩田　隆弘（Cedars-Sinai Heart Institute, UCLA School of Medicine, USA）

Saibal Kar（Cedars-Sinai Heart Institute, UCLA School of Medicine, USA）

Favorable Outcomes of Mitral Valve Surgery Following the MitraClip Procedure

Alfredo Trento（Cedars-Sinai Heart Institute, UCLA School of Medicine, USA）

CT Imaging for TAVR

Rajendra Makkar（Cedars-Sinai Heart Institute, UCLA School of Medicine, USA）

The Role of Echocardiography for TAVR

渡辺　弘之（東京ベイ市川浦安医療センター　ハートセンター）

（９）持続性心房細動に対するカテーテルアブレーション　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　11：10～12：40　第３会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 301）

座長：中川　　博（Heart Rhythm Institute University of Oklahoma Health Science Center, USA）

山根　禎一（東京慈恵会医科大学　循環器内科）

演　　者：

Long-term Outcome of Catheter Ablation for Non-Paroxysmal Atrial Fibrillation

Shih-Ann Chen（Department & Institute of Physiology, National Yang-Ming University, Taiwan）

Which Indicators Predict Successful Ablation of Persistent Atrial Fibrillation Based on Outcomes Following Sequential Bi-Atrial Linear Defragmentation Approach?

蜂谷　　仁（土浦協同病院　循環器センター内科）

Supplemental Ablation for Substrate Modification in Patients with Persistent Atrial

Fibrillation:Who Needs Both Linear and Electrogram-based Ablation?
松尾征一郎（東京慈恵会医科大学　循環器内科）

The Effect of Ganglionated Plexi Ablation in Patients with Non-Paroxysmal Atrial Fibrillation
山城　荒平（豊橋ハートセンター　循環器内科）

Effect of Sinus Rhythm Restoration by Extensive Antiarrhythmic Drugs in Predicting Results of Catheter Ablation of Persistent Atrial Fibrillation
五十嵐　都（筑波大学　循環器内科）

(10)循環器再生医療のNeedsとSeedsとは？　〈日本語〉
（学会２日目　３月16日（土）　11：10～12：40　第６会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 304）
座長：福田　恵一（慶應義塾大学　循環器内科）
田畑　泰彦（京都大学再生医科学研究所　生体材料学）

演　　者：

The Possibility of Novel Adult Human Pluripotent Stem Cell Type, Muse Cell, for Regenerative Medicine
出澤　真理（東北大学　細胞組織学）

Cardiac Regenerative Medicine from Metabolic Approaches
遠山　周吾（慶應義塾大学　循環器内科）

Cell Resources for Vascular Medicine
浅原　孝之（東海大学　再生医療科学）

Current Status of Tissue Engineered Vascular Graft in Cardiac Surgery
新岡　俊治（オハイオ州立大学、Nationwide Children's 病院　胸部心臓外科）

Biomaterial-Based Regenerative Medicine in Cardiovascular Field
丸井　　晃（京都大学　心臓血管外科学）

(11)Cardiac Protection in Metabolic Syndrome　〈英語〉
（学会２日目　３月16日（土）　14：40～16：10　第４会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 302）
座長：三浦　哲嗣（札幌医科大学　内科学第二講座）
Roberta Gottlieb（Donald P. Shiley BioScience Center, San Diego State University, USA）

演　　者：

Molecular Basis of Cardioprotection by Statins
Roberta Gottlieb（Donald P. Shiley BioScience Center, San Diego State University, USA）

Development of Cardiac Insulin Resistance in the Metabolic Syndrome
Gary Lopaschuk（University of Alberta, Canada）

Myocardial Protection, Autophagy and the Metabolic Syndrome
Robert M. Mentzer, Jr.（Departments of Cardiothoracic Surgery and Physiology, Wayne State School of Medicine, USA）

Modulation of Cardiac Energy Metabolism during Caloric Restriction: Possible Roles of AMP-activated Protein Kinase and Sirt1

新村　　健（慶應義塾大学　内科学（老年））

(12)重症心室性不整脈の緊急治療　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　14：40～16：10　第16会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 501）

座長：平尾　見三（東京医科歯科大学　不整脈センター）
三田村秀雄（立川病院　循環器センター）

演　　者：

Antiarrhythmic Drug Therapy in the ACLS Setting
志賀　　剛（東京女子医科大学　循環器内科学）

Pharmacological Management of Electrical Storm
木村　正臣（弘前大学　循環呼吸腎臓内科学）

How Can We Find a Way to Control Electrical Storm in Patients with the Implantable Cardiac Shock Devices?
栗田　隆志（近畿大学　循環器内科学）

Recent Therapeutic Strategy to Resolve Drug Refractory Electrical Storm - Combination of Catheter Ablation, Antiarrhythmic Drug, and Mechanical Support-
里見　和浩（国立循環器病研究センター　心臓血管内科）

(13)Bioresorbable Vascular Scaffold Technology: Its Current Status and Future Prospects〈英語〉

（学会２日目　３月16日（土）　17：20～18：50　第４会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 302）

座長：齋藤　　滋（湘南鎌倉総合病院　循環器科）
森野　禎浩（岩手医科大学　内科学講座　循環器内科分野）

演　　者：

Current Status and My Experience of Everolimus-Eluting Bioresorbable Scaffold
田邉　健吾（三井記念病院　循環器内科）

Bioresorbable Vascular Scaffold Technology: Its Current Status and Future Prospects
Stephen Lee（Queen Mary Hospital, University of Hong Kong, Hong Kong）

Bioresorbable Vascular Scaffold Technology: Its Current Status and Future Prospects
Marco Costa（Case Western Reserve University School of Medicine, USA）

Bioresorbable Vascular Scaffold Technology: Its Current Status and Future Prospects
Juan F. Granada（Skirball Research Center, Cardiovascular Research Foundation. Columbia University Medical Center, USA）

(14)非侵襲的検査によるCoronary Plaque Imaging Update　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　17：20～18：50　第６会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 304）

座長：栗林　幸夫（慶應義塾大学　放射線診断科）
山科　　章（東京医科大学　第二内科）

演　　者：

High-Risk Plaque Morphology by Coronary CT Angiography
元山　貞子（藤田保健衛生大学　循環器内科）

Coronary Plaque Imaging on MRI

川崎　友裕（新古賀病院　心臓血管センター）

Imaging of Inflamed Coronary Artery and Myocardium with F-18-FDG PET/CT
汲田伸一郎（日本医科大学　放射線科）

(15)Recent Topics on Pathophysiology of Atrial Fibrillation　〈英語〉
（学会３日目　３月17日（日）　11：10～12：40　第４会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 302）
座長：Stanley Nattel（Montreal Heart Institute Research Center, University of Montreal, Canada）
山下　武志（心臓血管研究所）

演　　者：

Atrial Fibrillation Pathophysiology Research: Does it Have Clinical Management Implications?
Stanley Nattel（Montreal Heart Institute, Canada）

Connexin Gene Transfer Preserves Conduction Velocity and Prevents Atrial Fibrillation
五十嵐友紀（九州労災病院門司メディカルセンター　循環器内科）

Mechanisms of Atrial Fibrillation Promotion with Long-term Repetitive Obstructive Sleep Apnea in a Rat Model
岩崎　雄樹（日本医科大学　循環器内科）

Pathophysiologic Basis of Autonomic Ganglionated Plexi Ablation in Patients with Atrial Fibrillation
中川　　博（Heart Rhythm Institute and Department of Medicine, University of Oklahoma Health Sciences Center, USA）

Trigger-based Mechanism of Atrial Fibrillation Persistence and Its Impact on the Strategy of Catheter Ablation for Persistent/Long-standing Atrial Fibrillation
井上　耕一（桜橋渡辺病院　心臓・血管センター）

(16)ステント留置後の血管治癒反応を診る　〈日本語〉
（学会３日目　３月17日（日）　13：50～15：20　第５会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 303）
座長：南都　伸介（大阪大学　先進心血管治療学寄付講座）
井上　勝美（小倉記念病院　検査部）

演　　者：

Histopathology of Post-Stenting in Coronary Arteries — Do You Know What Happens in Artery after Stenting?
植田　初江（国立循環器病研究センター　病理部）

The Vascular Healing Response after Stenting from Angiographic Observation
今井　逸雄（京都大学　循環器内科）

Angioscopic Examination of Arterial Repair Following Drug-Eluting Stent Implantation in Patients
粟田　政樹（関西ろうさい病院　循環器内科）

Insights from IVUS and OCT Imagings
藤井　健一（兵庫医科大学　循環器内科）

(17)新しい時代を迎えた心原性脳塞栓の予防と治療（心と脳からなる新たなる展開）　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　13：50～15：20　第17会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 502）

座長：早川　弘一（四谷メディカルキューブ）
片山　泰朗（日本医科大学　神経内科学）

演　　者：

Clinical Pictures of Cardiogenic Brain Embolism
峰松　一夫（国立循環器病研究センター　脳血管内科）

Guidelines on the Stroke Prevention in Atrial Fibrillation: A Role of Novel Oral Anticoagulants
奥村　　謙（弘前大学　循環呼吸腎臓内科学）

Points and Future Prospects of the Treatment of Acute Cardioembolic Stroke
大久保誠二（日本医科大学　神経内科）

Coagulopathic Significance of CHADS2 Score in the Coa
丸山　征郎（鹿児島大学　システム血栓制御学）

(18) さまざまな心電情報を日常生活に活かす　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　16：30～18：00　第21会場　パシフィコ横浜　アネックスホール　２F　F203+F204）

座長：加藤　貴雄（日本医科大学　名誉教授）
樗木　晶子（九州大学　保健学）

演　　者：

Heart Check System by Using Integrated Information of Electrocardiogram and Plethysmogram outside the Driver's Awareness from an Automobile Steering Wheel
大坂　元久（日本獣医生命科学大学　獣医保健看護学）

Daily Monitoring of Electrocardiograms by Unobtrusive Approaches
石島　正之（東京都市大学　生体医工学科）

Development of a New Type of Electrode and Lead System Enabling Measurement While Wearing Clothes
原　　正壽（聖マリアンナ医科大学　循環器内科）

Simple Heart Examination with Pocket Size Event ECG on That Day of the Citizen's Marathon Rally
笠巻　祐二（日本大学　総合内科学）

Clinical Significance of Synthesized Posterior/Right-Sided Chest Lead Electrocardiograms in Patients with Acute Chest Pain
加藤　貴雄（日本医科大学　循環器内科）

14. コントロバーシー

（１）CABG vs. PCI　競争と協調　〈日本語〉

（学会１日目　３月15日（金）　８：30～10：00　第３会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 301）

座長：天野　　篤（順天堂大学　心臓血管外科）
宮崎　俊一（近畿大学　循環器内科）

演　　者：

Cooperation or Competition
道井　洋吏（札幌心臓血管クリニック　心臓血管外科）

Our Selection of the Strategies for the Patient of Ischemic Heart Disease in Sapporo Heart Center
藤田　　勉（札幌心臓血管クリニック　循環器科）

PCI and CABG; the Real World From the Shinken Database 2004-2011
田邉　大明（心臓血管研究所　心臓血管外科）

Long-term Prognosis of PCI for Multi-vessel Disease and Left Main Trunk Disease
矢嶋　純二（心臓血管研究所　循環器内科）

OPCAB over 10 Years
羽生　道弥（小倉記念病院　心臓血管外科）

Long-term Outcomes after Percutaneous Coronary Intervention with Bare-Metal Stent and Drug-Eluting Stent for Non-protected Left Main Coronary Artery Disease
岩淵　成志（小倉記念病院　心臓病センター）

（２）急性心不全：強心薬は善か悪か？　〈日本語〉
（学会２日目　３月16日（土）　11：10～12：40　第４会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 302）
座長：安村　良男（国立病院機構大阪医療センター　循環器内科）
浅井　邦也（日本医科大学　循環器内科）

演　　者：

Delayed Initiation of Inotropic Therapy is Associated with Increased In-hospital Mortality in Patents with Acute Decompensated Heart Failure
坂田　泰史（大阪大学　循環器内科学）

Inotropes in Patients with Acutely Decompensated Heart Failure
佐藤　幸人（兵庫県立尼崎病院　循環器内科）

The Inotropic Agency may be a Harmful Drug for the Patients with Acute Decompensated Heart Failure
横山　広行（国立循環器病研究センター　医療安全管理部）

（３）下大静脈フィルターは原則使用すべきか　〈日本語〉
（学会２日目　３月16日（土）　17：20～18：50　第５会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 303）
座長：丹羽　明博（平塚共済病院　循環器科）
孟　　真（横浜南共済病院　心臓血管外科）

演　　者：

Excessive Use of Inferior Vena Cava Filter in Japan for Venous Thromboembolism
中村　真潮（三重大学　臨床心血管病解析学）

The Routine Use of IVC Filter in Non-massive Pulmonary Embolism is Not Recommended
田邉　信宏（千葉大学　呼吸器内科学）

Utility of Inferior Vena Cava Filters in Treatment of Acute Pulmonary Embolism
猿渡　　力（済生会横浜市南部病院　循環器内科）

Inferior Vena Cava Filter Indication Impact of the Emergence of t new Tissue Plasminogen Activator and Anticoagulant Drug
近藤　克洋（小倉記念病院　循環器内科）

（4）デバイス治療に関するコントロバーシー　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　16：30～18：00　第17会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 502）

座長：松本　万夫（埼玉医科大学国際医療センター　心臓内科）
中里　祐二（順天堂大学浦安病院　循環器内科）

演　　者：

CRTP is Preferable than CRTD in Older Patients with Heart Failure
副島　京子（杏林大学　第二内科学（循環器内科））

Cardiac Resynchronization Therapy with Defibrillator is Desirable to All the Patients Who Wish to Live!
中井　俊子（日本大学　循環器内科学）

Clinical Implications of ICD in Patients with Life-threatening Ventricular Arrhythmias due to Vasospastic Angina
西崎　光弘（横浜南共済病院　循環器内科）

Clinical Implication of an Implantable Cardioveter-defibrillator in Patients with Vasospastic Angina
八木　哲夫（仙台市立病院　循環器内科）

15. ミート・ザ・エキスパート

（1）アブレーションにおける合併症を予防するために　〈日本語〉

（学会１日目　３月15日（金）　８：30～10：00　第４会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 302）

座長：野上　昭彦（横浜労災病院　不整脈科）
宮内　靖史（日本医科大学　循環器内科）

演　　者：

Prevention of Esophagus-Related Complications in Catheter Ablation of Atrial Fibrillation
高橋　　淳（横須賀共済病院　循環器センター）

How to Prevent the Thromboembolic Events Around the Catheter Ablation for Atrial Fibrillation
山根　禎一（東京慈恵会医科大学　循環器内科）

Tips of the Catheter Ablation of the Tachycardia with Epicaidial Origin
合屋　雅彦（小倉記念病院　循環器内科）

Diagnosis and Management of Cardiac Tamponade as a Complication of Catheter Ablation for Atrial Fibrillation
松井由美恵（大阪府済生会泉尾病院　循環器科）

（2）ゲノム研究最前線：循環器領域でのオーダーメイド医療は可能か？　〈日本語〉

（学会１日目　３月15日（金）　８：30～10：00　第５会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 303）

座長：田中　敏博（理化学研究所　ゲノム医科学研究センター）
清水　　渉（国立循環器病研究センター　心臓血管内科）

演　　者：

Genetic Variations and Heart Diseases
尾崎　浩一（理化学研究所　ゲノム医科学研究センター）

Genotype-Phenotype Correlation in Inherited Cardiac Arrhythmias from Japanese Multicenter Registry of Congenital Long QT Syndrome and Brugada Syndrome
清水　　渉（国立循環器病研究センター　心臓血管内科）

The Potential of Personalized Medicine in Cardiovascular Care
中谷　　中（三重大学　オーダーメイド医療部・中央検査部）

（３）関連学会のガイドラインに学ぶⅠ　（消化器内視鏡学会、腎臓病学会、糖尿病学会）　〈日本語〉
（学会１日目　３月15日（金）　８：30～10：00　第21会場　パシフィコ横浜　アネックスホール２F　F203+F204）
座長：伊藤　　宏（秋田大学　循環器内科学・呼吸器内科学）

演　　者：

Guideline for Antithrombotic Drugs and Gastrointestinal Endoscopy: Japan Gastroenterological Endoscopy Society
藤本　一眞（佐賀大学　内科）

CKD Guidelines and Guidebook by Japanese Society of Nephrology
安田　宜成（名古屋大学　腎臓内科学）

Treatment Guide for Diabetes, 2012-2013 from the Japan Diabetes Society (JDS)
荒木　栄一（熊本大学　代謝内科学）

（４）Hypertrophic Cardiomyopathy : An Update　〈英語〉
（学会１日目　３月15日（金）　13：50～15：20　第６会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 304）
座長：土居　義典（高知大学　老年病・循環器・神経内科学）
Hubert Seggewiss（Leopoldina-Krankenhaus der Stadt Schweinfurt, Germany）

演　　者：

Update on Percutaneous Septal Ablation in HOCM
Hubert Seggewiss（Leopoldina-Krankenhaus der Stadt Schweinfurt, Germany）

Clinical Significance of Biomarkers in Hypertrophic Cardiomyopathy
久保　　亨（高知大学　老年病科・循環器科）

Effect of Cibenzoline on LV Pressure Gradient, LV Diastolic Function and LV Hypertrophy in Patients with Hypertrophic Obstructive Cardiomyopathy
濱田　希臣（市立宇和島病院　循環器内科）

Non-pharmacologic Antiarrhythmic Therapy in Patients with Hypertrophic Cardiomyopathy
宮内　靖史（日本医科大学　循環器内科）

Septal Reduction Therapy for Hypertrophic Obstructive Cardiomyopathy in Japan
高山　守正（榊原記念病院　循環器内科）

（５）不全心筋：病態解明への挑戦（心筋生検研究会ジョイントセッション）　〈日本語〉
（学会２日目　３月16日（土）　８：30～10：00　第４会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 302）
座長：竹村　元三（岐阜大学　循環器内科）
高野　博之（千葉大学　分子心血管薬理学）

演　　者：

The Gross and Microscopic Pathologic Appearance of the Various Forms of Heart Failure due to Specific Heart Diseases and Cardiomyopathies
池田　善彦（国立循環器病研究センター　臨床検査部・臨床病理科）

Ultrastructural Findings of Cardiomyocytes in Early Phase of Dilated Cardiomyopathy
齋藤　恒徳（日本医科大学　循環器内科）

Molecular Mechanism of Cardiomyocyte Death; Necrosis, Aapoptosis and Autophagy
山口　　修（大阪大学　循環器内科学）

Critical Role of Ultrastructural Assessment for Cell Death and Degeneration
金森　寛充（岐阜大学　病態情報解析医学）

Metabolism and Cardiovascular Disease
佐野　元昭（慶應義塾大学　循環器内科）

Adaptive and Maladaptive Roles of Chronic Inflammation in the Development of Heart Failure
真鍋　一郎（東京大学　循環器内科）

（６）加齢と循環器疾患：分子メカニズムから臨床へ　〈日本語〉
（学会２日目　３月16日（土）　８：30～10：00　第５会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 303）
座長：佐渡島純一（ニュージャージー医科大学　細胞生物学　分子医学、心臓血管研究所）
筒井　裕之（北海道大学　循環病態内科学）

演　　者：
Cellular Aging Signal Network and Lifestyle-related Disease
南野　　徹（新潟大学　循環器分野）

Caloric Restriction-based Therapeutic Strategy for Treating Cardiovascular Diseases
新村　　健（慶應義塾大学　内科学（老年））

The Role of Sirt1 in Mediating Anti-aging and Stress Resistance in the Heart
佐渡島純一（ニュージャージー医科大学　細胞生物学　分子医学、心臓血管研究所）

（７）関連学会のガイドラインに学ぶ II　（透析学会、動脈硬化学会、老年病学会）　〈日本語〉
（学会２日目　３月16日（土）　８：30～10：00　第16会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 501）
座長：湊口　信也（岐阜大学　循環器内科）

演　　者：
Guidelines for Management of Cardiovascular Disease in Chronic Hemodialysis Patients
新田　孝作（東京女子医科大学　第4内科）

Major points of revised Japan Atherosclerosis Society (JAS) Guidelines for Prevention of Ahterosclerotic Cardiovascular Diseases
寺本　民生（帝京大学　内科）

Guidelines for Medical Care Providers (MCP) and Non-MCP to Manage the First Steps of Emergency Triage of Elderly Evacuees
森本　茂人（金沢医科大学　高齢医学）

（８）Inflammation, Atherosclerosis and Coronary Artery Disease　〈英語〉

（学会２日目　３月16日（土）　14：40～16：10　第５会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 303）

座長：中村　治雄（財団法人三越厚生事業団）
James Shepherd（Emeritus Professor of Vascular Medicine, Institute of Biochemistry, Royal Infirmary, UK）

演　　者：

Inflammation, Atherosclerosis and Coronary Artery Disease (CAD)
Carolyn L. Geczy（Inflammatory Disease Research Unit, University of New South Wales, Australia）

Unappreciated Role of Fatty Acid-binding Proteins in Linking Inflammatory Response and Atherosclerosis
倉林　正彦（群馬大学　循環器内科）

Testing the Inflammation Hypothesis: The CIRT and CANTOS Trials
Paul M. Ridker（Harvard Medical School / Center for Cardiovascular Disease Prevention, Brigham and Women's Hospital, USA）

Cardiovascular Risk Assessment. Can We Screen for Atherosclerosis Yet?
James Shepherd（Emeritus Professor of Vascular Medicine, Institute of Biochemistry, Royal Infirmary, UK）

（９）急性心不全薬物療法の展望　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　８：30～10：00　第５会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 303）

座長：北風　政史（国立循環器病研究センター　臨床研究部・心臓血管内科）
山本　一博（鳥取大学　病態情報内科）

演　　者：

Future of Medical Management in Acute Heart Failure
John R. Teerlink（University of California, San Francisco, Heart Failure Program, Clinical Echocardiography, San Francisco VA Medical Center, USA）

Reconsideration of Diuresis in Acute Heart Failure Syndromes
佐藤　直樹（日本医科大学武蔵小杉病院　循環器内科）

Inotorpic Drugs
百村　伸一（自治医科大学さいたま医療センター　循環器内科）

(10) New Generation of Oral Anticoaqulant : View from Clinical Trialists and Real World Clinical Practioners　〈英語〉

（学会３日目　３月17日（日）　８：30～10：00　第18会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 503）

座長：丸山　征郎（鹿児島大学　システム血栓制御学）
後藤　信哉（東海大学　循環器内科）

演　　者：

Dabigatran Etexilate: A RELY-ABLE New Oral Anticoagulant
Stuart J. Connolly（Division of Cardiology, McMaster University, Canada）

ROCKET AF and J-ROCKET AF

堀　　正二（大阪府立成人病センター）

Apixaban for Stroke Prevention in Patients with ATRIAL Fibrillation: Lessons from ARISTOTLE and AVERROES

John Alexander（Duke University Medical Center, USA）

(11)心肺運動負荷試験から見た心疾患　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　11：10～12：40　第６会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 304）

座長：伊東　春樹（榊原記念病院・榊原記念クリニック）

安達　　仁（群馬県立心臓血管センター　循環器内科）

演　　者：

Grading Heart Failure and Predicting Future Prognosis with Cardiopulmonary Exercise Testing in Cardiac Patients

小池　　朗（心臓血管研究所　循環器内科）

Cardiopulmonary Exercise Test is the Best Modality to Determine the Severity of Myocardial Ischemia

安達　　仁（群馬県立心臓血管センター　循環器内科）

Significance of Cardiopulmonary Exercise Testing（CPX）to Understand the Pathophysiology of Chronic Heart Failure

伊東　春樹（榊原記念病院・榊原記念クリニック）

(12)非侵襲的検査による心臓突然死予測　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　13：50～15：20　第４会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 302）

座長：新　　博次（日本医科大学多摩永山病院　内科・循環器内科）

池田　隆徳（東邦大学　循環器内科学）

演　　者：

An Overview of Current Risk Assessment Using Electrocardiographic Markers for Sudden Cardiac Death

池田　隆徳（東邦大学　循環器内科）

Predictive Marker of Sudden Death in the Brugada Syndrome

吉岡公一郎（東海大学　循環器内科学）

Detection of Repolarization Abnormalities Using Ambulatory Electrocardiogram-based TWA Analysis in Patients with Vasospastic Angina during Asymptomatic Periods

西崎　光弘（横浜南共済病院　循環器内科）

Role of Provocative Testing in Inherited Cardiac Arrhythmia Syndromes - Congenital Long QT Syndrome and Brugada Syndrome

清水　　渉（国立循環器病研究センター　心臓血管内科）

(13)弁膜症治療の最近の動向と治療指針　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　16：30～18：00　第４会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 302）

座長：大北　　裕（神戸大学　心臓血管外科学）

中谷　　敏（大阪大学　保健学科）

演　　者：

Surgical Indication for Valvular Heart Disease: An Update
大門　雅夫（順天堂大学　循環器内科学）

Current Trend in Transcatheter Aortic Valve Replacement for Severe Aortic Stenosis
澤　　芳樹（大阪大学　心臓血管外科学）

Recent Trends in Mitral and Aortic Valvular Surgery
橋本　和弘（東京慈恵会医科大学　心臓外科）

Importance of Long-term Follow-up and Managements in Patients with Valvular Heart Disease after Surgery
泉　　知里（天理よろづ相談所病院　循環器内科）

16. モーニングレクチャー

（1）経カテーテル大動脈弁植え込み術（TAVI）の現状と将来　〈日本語〉
（学会２日目　３月16日（土）　７：35～８：15　第３会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 301）
座長：山岸　正和（金沢大学　臓器機能制御学・循環器内科）
演　　者：
Transcatheter Aortic Valve Implantation. Current Status in Europe and Future Perspectives
林田健太郎（慶應義塾大学　循環器内科、Institut Cardiovasculaire Paris Sud, France）

（2）Biomarker Guided Therapy: Beyond BNP　〈日本語〉
（学会２日目　３月16日（土）　７：35～８：15　第４会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 302）
座長：吉村　道博（東京慈恵会医科大学　循環器内科）
演　　者：
Troponin and BNP: Beyond Diagnostic Tool
佐藤　幸人（兵庫県立尼崎病院　循環器内科）

（3）若手循環器研究者育成セミナー2.「臨床研究をデザインする」　〈日本語〉
（学会２日目　３月16日（土）　７：35～８：15　第５会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 303）
座長：畑　　典武（日本医科大学千葉北総病院　集中治療室）
演　　者：
How to Design High-Quality Clinical Studies
山崎　　力（東京大学　臨床研究支援センター）

（4）CT-MRIによる心筋 Perfusion Imaging　〈日本語〉
（学会２日目　３月16日（土）　７：35～８：15　第６会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 304）
座長：林　　宏光（日本医科大学　放射線医学）
演　　者：
CT Perfusion Imaging
城戸　輝仁（愛媛大学　放射線医学）

（5）OCTガイドのPCI　〈日本語〉
（学会２日目　３月16日（土）　７：35～８：15　第７会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 311+312）

座長：稲見　茂信（日本医科大学　循環器内科）

演　　者：

OCT Guidance in Percutaneous Coronary Intervention

久保　隆史（和歌山県立医科大学　循環器内科学）

（６）失神の診断と鑑別　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　７：35～８：15　第８会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 313+314）

座長：小林　洋一（昭和大学　循環器内科学）

演　　者：

Differential Diagnosis in Syncope

安部　治彦（産業医科大学　不整脈先端治療学）

（７）循環器疾患リスク評価における「相対評価」と「絶対評価」を考える　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　７：35～８：15　第９会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 315）

座長：大塚　俊昭（日本医科大学　衛生学公衆衛生学）

演　　者：

Relative Risk and Absolute Risk in Guidelines on Preventing Cardiovascular Disease

岡村　智教（慶應義塾大学　衛生学公衆衛生学）

（８）薬剤性不整脈の診断と対処　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　７：35～８：15　第10会場　パシフィコ横浜　会議センター　４F 411+412）

座長：堀江　　稔（滋賀医科大学　内科学（循環器・呼吸器））

演　　者：

Drug-Induced Lethal Ventricular Tachyarrhythmias - Acquired Form of Congenital Long QT Syndrome and Brugada Syndrome

清水　　渉（国立循環器病研究センター　心臓血管内科）

（９）植え込み型VASの進歩と本邦における役割　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　７：35～８：15　第11会場　パシフィコ横浜　会議センター　４F 413）

座長：山科　　章（東京医科大学　第二内科）

演　　者：

Recent Progress of LVAD Therapy and Its Clinical Importance for End-stage Heart Failure in Japan

許　　俊鋭（東京都健康長寿医療センター、東京大学　重症心不全治療開発講座）

(10)心サルコイドーシスUpdate　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　７：35～８：15　第12会場　パシフィコ横浜　会議センター　４F 414+415）

座長：廣江　道昭（国立国際医療研究センター　腎臓循環器科）

演　　者：

Cardiac Sarcoidosis —Update

森本紳一郎（藤田保健衛生大学　循環器内科）

(11)心臓リハビリによる慢性心不全患者の外来管理　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　７：35～８：15　第13会場　パシフィコ横浜　会議センター　４F 416+417）

座長：上月　正博（東北大学　内部障害学）

演　　者：

Cardiac Rehabilitation as a Disease Management System for Patients with Heart Failure

眞茅みゆき（北里大学　看護学部）

Cardiac Rehabilitation as a Disease Management Method for Chronic Heart Failure

長山　雅俊（榊原記念病院　循環器内科）

(12)日常臨床で大動脈解離を見落とさないための工夫　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　７：35～８：15　第14会場　パシフィコ横浜　会議センター　４F 418）

座長：西上　和宏（済生会熊本病院　集中治療室）

演　　者：

Clinical Assessment and Diagnosis of Acute Aortic Dissection

新沼　廣幸（聖路加国際病院　循環器内科）

Ingenuity not to Overlook Acute Aortic Dissection in Daily Medical Practice

坪　　宏一（日本医科大学　集中治療室）

(13)PCIにおける冠血流予備量定量の意義　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　７：35～８：15　第15会場　パシフィコ横浜　会議センター　４F 419）

座長：勝木　孝明（自治医科大学　循環器内科学）

演　　者：

Essence of Fractional Flow Reserve Based Intervention

田中　信大（東京医科大学　循環器内科）

(14)アブレーションに役立つ心臓の解剖学　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　７：35～８：15　第16会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 501）

座長：副島　京子（杏林大学　循環器内科）

演　　者：

Useful Anatomical Information for Cardiologists

井川　　修（日本医科大学多摩永山病院　循環器科）

(15)Speckle Tracking Strain とTissue Doppler Strain の使い分け　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　７：35～８：15　第17会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 502）

座長：本間　　博（日本医科大学　循環器内科）

演　　者：

How to Use Tissue Doppler Strain and Speckle Tracking Strain

山田　　聡（北海道大学　循環病態内科学）

(16)うつは心疾患に如何なる影響を及ぼすか　―心疾患軽症患者から終末期患者に合併するうつの病態と対策―　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　７：35～８：15　第18会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 503）

座長：伊藤　弘人（国立精神・神経医療研究センター　精神保健研究所　社会精神

保健研究部）

演　　者：

Depression could be the Next Target to Improve the Prognosis of Cardiovascular Disease

安井　博規（大阪大学　循環器内科学）

Management of Depression in Patients with Advanced Heart Failure

西村　勝治（東京女子医科大学　神経精神科）

(17)臨床と研究における冠動脈光干渉断層法（coronary-OCT）の活用法：OCT画像をどう解釈・解析するか？　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　７：35～８：15　第３会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 301）

座長：上村　史朗（奈良県立医科大学　第一内科学）

演　　者：

Utilization of Optical Coherence Tomography in Clinical Practice and Research Setting: How to Analyze OCT Images

米津　太志（マサチューセッツ総合病院　循環器科）

(18)食塩と循環器疾患に関する最新の話題　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　７：35～８：15　第４会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 302）

座長：河野　雄平（国立循環器病研究センター　高血圧・腎臓科）

演　　者：

New Perspective of Aldosterone Research to Sodium Balance and Unknown Effects

吉村　道博（東京慈恵会医科大学　循環器内科）

(19)重症心不全に対する心臓リハビリテーション　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　７：35～８：15　第５会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 303）

座長：後藤　葉一（国立循環器病研究センター　心臓血管内科・循環器病リハビリテーション部）

演　　者：

Exercise Training and Comprehensive Cardiac Rehabilitation for Severe Heart Failure Patients with Left Ventricular Assist Device

牧田　　茂（埼玉医科大学国際医療センター　心臓リハビリテーション科）

Unsolved Issues and Perspective of Cardiac Rehabilitation/Exercise Training for Heart Failure

後藤　葉一（国立循環器病研究センター　心臓血管内科・循環器病リハビリテーション部）

(20)心臓手術後に新たに出現する不整脈への対応
—薬物および非薬物治療の実際—　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　７：35～８：15　第６会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 304）

座長：今井　克彦（広島大学　心臓血管外科）

演　　者：

Pharmacologic and Non-pharmacologic Treatment of Newly Developed Tachyarrhythmias after Cardiac Surgery

宮内　靖史（日本医科大学　循環器内科）

(21)特発性心室細動の最新の知見　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　７：35～８：15　第７会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 311+312）

座長：西﨑　光弘（横浜南共済病院　循環器内科）

演　　者：

Idiopathic Ventricular Fibrillation -Tricks and Tips for Diagnosis-

草野　研吾（岡山大学　循環器内科学）

(22)臨床における血管機能検査の重要性　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　７：35～８：15　第８会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 313+314）

座長：山科　　章（東京医科大学　循環器内科）

演　　者：

A Novel Treatment Strategy for Heart Failure with Preserved Ejection Fraction Patients by Introducing Cardiac Rehabilitations

高橋　　啓（日本医科大学　循環器内科）

Assessment of Endothelial Function: Clinical Perspective

東　　幸仁（広島大学原爆放射線医科学研究所　ゲノム障害医学研究センター・心血管再生医科学）

(23)右心機能評価から何が見えるか？　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　７：35～８：15　第９会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 315）

座長：草間　芳樹（日本医科大学多摩永山病院　循環器内科）

演　　者：

Practical Assessment of Right Ventricular Function by Echocardiography

村田　光繁（慶應義塾大学　臨床検査医学）

(24)CRTD植え込みの工夫　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　７：35～８：15　第10会場　パシフィコ横浜　会議センター　４F 411+412）

座長：石川　利之（横浜市立大学　循環器内科）

演　　者：

To Implant, or Not to Implant the CRT-D Device in All Symptomatic Patients with Electrical LV Dyssynchrony

庄田　守男（東京女子医科大学　循環器内科）

(25)難治性心不全の薬物治療に関して　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　７：35～８：15　第11会場　パシフィコ横浜　会議センター　４F 413）

座長：木原　康樹（広島大学　循環器内科学）

演　　者：

How to Treat Refractory Heart Failure? From the View Point of Medical Therapy

絹川弘一郎（東京大学）

(26)心筋炎：拡張型心筋症とその関連　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　７：35～８：15　第12会場　パシフィコ横浜　会議センター　４F 414+415）

座長：吉川　　勉（榊原記念病院　循環器内科）

演　　者：

Myocarditis as a Cause of Inflammatory Cardiomyopathy

猪又　孝元（北里大学　循環器内科学）

(27)がん化学療法の進歩と心血管合併症　分子標的治療時代の循環器マネージメントのありかた〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　７：35～８：15　第13会場　パシフィコ横浜　会議センター　４F 416+417）

座長：大江裕一郎（国立がん研究センター東病院　呼吸器内科）

演　　者：

Cardiovascular Side Effects of Modern Cancer Therapy

南　　学（京都大学　臨床創成医学）

(28)エキシマレーザー治療による冠動脈形成術　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　７：35～８：15　第14会場　パシフィコ横浜　会議センター　４F 418）

座長：阿部　七郎（獨協医科大学　心臓・血管内科）

演　　者：

Excimer Laser Coronary Atherectomy (ELCA) for the Primary Percutaneous Coronary Intervention (PCI) in Patients with Acute Coronary Syndrome

緒方　信彦（東海大学　循環器内科学）

(29)心疾患と呼吸管理　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　７：35～８：15　第15会場　パシフィコ横浜　会議センター　４F 419）

座長：竹田　晋浩（日本医科大学　集中治療室）

演　　者：

Ventilatory Management for Patients with Heart Diseases

今中　秀光（徳島大学　ER・災害医療診療部）

(30)若手循環器研究者育成セミナー1.「アクセプトされる論文の条件」　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　７：35～８：15　第16会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 501）

座長：下川　宏明（東北大学　循環器内科学）

演　　者：

How to Write an Unbeatable Manuscript after Good Science

北風　政史（国立循環器病研究センター　臨床研究部）

(31)経食道心エコーによる成人先天性心疾患の評価　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　７：35～８：15　第17会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 502）

座長：赤木　禎治（岡山大学　循環器疾患集中治療）

演　　者：

Evaluation of Adult Congenital Heart Disease by Transesophageal Echocardiography

富松　宏文（東京女子医科大学　循環器小児科）

(32)女性の心疾患の徴候を見逃さないために　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　７：35～８：15　第18会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 503）

座長：松田　昌子（山口大学　女性診療外来）

演　　者：

Not to Pass Up Female-specific Symptoms Suffering from Cardiovascular Disease

嘉川亜希子（鹿児島大学　循環器・呼吸器・代謝内科学）

(33)慢性血栓性肺高血診療におけるup to date　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　７：35～８：15　第19会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 511+512）

座長：中村　真潮（三重大学　臨床心血管病解析学）

演　　者：

Management of Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension

杉村宏一郎（東北大学　循環器内科学）

17. 心臓核医学ジョイントシンポジウム

心サルコイドーシスの画像診断―疾患活動性の評価

（学会３日目　３月17日（日）　11：10～12：40　第21会場　パシフィコ横浜　アネックスホール 2F　F203+F204）

座長：磯部　光章（東京医科歯科大学　循環器内科）

石田　良雄（関西ろうさい病院　核医学診断科　循環器内科）

Keynote Lecture: 1. Pathogenesis and Pathophysiology of Cardiac Sarcoidosis and Diagnostic Guidelines

森本 紳一郎（藤田保健衛生大学　循環器内科）

Keynote Lecture: 2. CMR Assessment of Cardiac Sarcoidosis

佐久間 肇（三重大学　放射線医学）

Keynote Lecture: 3. Usefulness of 67Ga Scintigraphy for the Diagnosis of Cardiac Sarcoidosis and Approach to Improve its Diagnostic Accuracy

木曽 啓祐（国立循環器病研究センター　放射線部）

Keynote Lecture: 4. F-18 FDG PET/CT for Detection and Follow-up of Cardiac Sarcoidosis

宮川 正男（愛媛大学　放射線医学）

Keynote Lecture: 5. Diagnosis and Management of Cardiac Sarcoidosis in the Era of New Imaging Modalities

矢崎 善一（まつもと医療センター松本病院　循環器科）

18. Late Breaking Clinical Trials

LBCT（１）　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　14：40～16：10　第18会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 503）

座長：篠山　重威（同志社大学　生命医科学部）

藤田　敏郎（東京大学　先端科学技術研究センター）

演　　者：

PRASugrel Compared to Clopidogrel for Japanese PatIenTs with ACS Undergoing PCI: PRASFIT-ACS

齋藤　　滋（湘南鎌倉総合病院　循環器内科）

コメンテータ

山崎　　力（東京大学附属病院　臨床研究支援センター）

Candesartan-based Treatment for Variability Lowering of Individual Blood Pressure and Heart

Rate at Home Study: CAVALIER at HOME
甲斐　久史（久留米大学　心臓・血管内科）
コメンテータ
上嶋　健治（京都大学 EBM 研究センター）

Home-Based Disease Management Program to Improve Psychological Status in Patients with Heart Failure: Results from the J-HOMECARE Trial
眞茅みゆき（北里大学　看護学部）
コメンテータ
伊藤　弘人（国立精神・神経医療研究センター　精神保健研究所　社会精神保健研究部）

LBCT（２）〈日本語〉
（学会３日目　３月17日（日）　13：50～15：20　第18会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 503）
座長：横山　光宏（兵庫県立姫路循環器病センター）
鄭　　忠和（和温療法研究所）
演　　者：
Effects of Carvedilol on Heart Failure with Preserved Ejection Fraction - the Japanese Diastolic Heart Failure Study (J-DHF) -
山本　一博（鳥取大学　病態情報内科）
コメンテータ
佐藤　直樹（日本医科大学武蔵小杉病院　内科・循環器内科）

Effects of Pitavastatin on Japanese Patients With Chronic Heart Failure -The Pitavastatin Heart Failure Study (PEARL Study)-
小室　一成（東京大学　循環器内科学）
コメンテータ
大内　尉義（東京大学　加齢医学）

Emergency Management of Atrial Fibrillation and Atrial Flutter in Left Ventricular Dysfunction: Japan Landiolol Versus Digoxin Study (J-Land Study)
永井　良三（自治医科大学）
コメンテータ
磯部　光章（東京医科歯科大学）

19. Late Breaking Cohort Studies

LBCS（１）〈日本語〉
（学会１日目　３月15日（金）　８：30～10：10　第18会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 503）
座長：池田　康夫（早稲田大学理工学術院　先進理工学研究科　生命医科学）
上松瀬勝男（東京ハートセンター）
演　　者：
Association Between Lifestyle and Out-of-Hospital Cardiac Arrest of Cardiac Origin: from All-Japan Utstein Registry Data
朔　啓二郎（福岡大学　心臓血管内科学）
コメンテータ
笠貫　　宏（早稲田大学理工学術院　先進理工学研究科　生命理工学）

Interim Analysis of a Special Drug Use Investigation on a Direct Factor Xa Inhibitor, Rivaroxaban (1st Report)
小川　　聡（国際医療福祉大学三田病院　循環器内科）
コメンテータ

山下　武志（心臓血管研究所　循環器内科）

Impact of AF and Concomitant Oral Anticoagulation on Long-term Clinical Outcome Undergoing PCI: Insight from the CREDO-Kyoto PCI Registry Cohort-2

後藤　貢士（京都大学　循環器内科学）

コメンテータ

後藤　信哉（東海大学　循環器内科）

Noninvasive Regional Cerebral Oxygen Saturation for Neurological Prognostication of Patients with Out-of-Hospital Cardiac Arrest: A Multicenter Prospective Cohort Study

伊藤　賀敏（大阪府済生会千里病院　心臓血管センター　循環器内科）

コメンテータ

長尾　　建（駿河台日本大学病院　循環器科）

LBCS（２）　〈日本語〉

（学会１日目　３月15日（金）　13：50～15：30　第18会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 503）

座長：山口　　徹（虎の門病院）

和泉　　徹（恒仁会　新潟南病院）

演　　者：

Real World Patient Characteristics and Outcome of Acute Heart Failure in Japan: From ATTEND Registry

佐藤　直樹（日本医科大学武蔵小杉病院　内科・循環器内科）

コメンテータ

百村　伸一（自治医科大学さいたま医療センター）

Evaluation of Impacts of Genetic Background on Cardiovascular Mortality and Mobidity in Patients with Acute Myocardial Infarction:The OACIS Genome Study

砂　真一郎（大阪大学　循環器内科学）

コメンテータ

檜垣　實男（愛媛大学　病態情報内科学）

Management and Two-year Long-term Clinical Outcomes of Patients with Acute Coronary Syndrome in Japan: The PACIFIC Registry

代田　浩之（順天堂大学　循環器内科）

コメンテータ

吉野　秀朗（杏林大学　第二内科）

Different Impact of Elevated Baseline Heart Rate on Outcomes in Patients with HFrEF vs. HFpEF : The CHART-2 Study

高田　剛史（東北大学　循環器内科）

コメンテータ

杉　　薫（東邦大学医療センター大橋病院　循環器内科）

LBCS（３）　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　８：30～10：10　第18会場　パシフィコ横浜　会議センター　５F 503）

座長：清原　　裕（九州大学　環境医学）

島本　和明（札幌医科大学）

演　　者：

New Findings from the Cohort Studies of the National Surveys of Circulatory Disorders of Japan: NIPPON DATA80/90/2010

三浦　克之（滋賀医科大学　社会医学講座公衆衛生学）

コメンテータ
杉　　薫（東邦大学医療センター大橋病院　循環器内科）

Chronic Kidney Disease Japan Cohort (CKD-JAC) study
渡辺　　毅（福島県立医科大学　腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学）
コメンテータ
伊藤　　浩（岡山大学　生体制御学）

The Lipoprotein Cholesterol Ratio is a Significant Marker for Predicting Acute Coronary Syndrome in the Japanese General Population with Normocholesterolemia
田中　文隆（岩手医科大学　心血管・腎・内分泌内科）
コメンテータ
池脇　克則（防衛医科大学校　神経・抗加齢血管内科）

Long-term Durability of Tissue Valves in Aortic Position in Japanese Population - A Large Scale Multi-center Study
南方　謙二（京都大学　心臓血管外科学）
コメンテータ
髙本　眞一（三井記念病院）

20. Featured Research Session

（１）Cardiomyopathy/Hypertrophy/Vascular Biology　〈英語〉
（学会１日目　３月15日（金）　８：30～10：10　第８会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 313+314）
座長：筒井　正人（琉球大学　薬理学）
大津　欣也（Cardiovascular Division, King's College London, UK）
Keynote Lecture: Inflammation in Heart Failure: How is Occurs?
大津　欣也（Cardiovascular Division, King's College London, UK）

（２）Hypertension　〈英語〉
（学会１日目　３月15日（金）　８：30～10：10　第９会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 315）
座長：伊藤　貞嘉（東北大学　腎・高血圧・内分泌学）
廣岡　良隆（九州大学　先端循環制御学）
Keynote Lecture: Renal Medulla and Salt-sensitivity of Blood Pressure
伊藤　貞嘉（東北大学　腎・高血圧・内分泌学）

（３）Valvular Heart Disease　〈英語〉
（学会１日目　３月15日（金）　11：00～12：40　第８会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 313+314）
座長：荻野　　均（東京医科大学　心臓血管外科）
磯村　　正（葉山ハートセンター　心臓血管外科）
Keynote Lecture
Martyn Thomas（Guy's and St Thomas' Hospital, UK）

（４）Pathophysiology and Novel Biomarkers of ACS　〈英語〉
（学会１日目　３月15日（金）　11：00～12：40　第９会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 315）
座長：村上　達明（福井循環器病院　循環器科）
鈴木　　洋（昭和大学藤が丘病院　循環器内科）
Keynote Lecture: Novel Biomarkers of ACS: Troponins and More
Hugo Katus（Internal Medicine, Heidelberg University, Germany）

（５）CRT/ICD 〈英語〉

（学会１日目　３月15日（金）　13：50～15：30　第８会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 313+314）

座長：清水　昭彦（山口大学　保健学）
石川　利之（横浜市立大学　循環器内科）

Keynote Lecture: Actual Condition and Subjects in Patients with Implantable Devices
清水　昭彦（山口大学　保健学）

（６）Antithrombotic Therapy 〈英語〉

（学会１日目　３月15日（金）　13：50～15：30　第９会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 315）

座長：後藤　信哉（東海大学　循環器内科学）
坂本　知浩（済生会熊本病院心臓血管センター　循環器内科）

Keynote Lecture: Future Perspective of Antithrombotic Therapy in the Field of Cardiology: How can We Select Suitable Patients for Potentially Harmful Intervention?
後藤　信哉（東海大学　循環器内科学）

（７）State of the Art: Arrhythmia in Genetic and Systemic Disease 〈英語〉

（学会１日目　３月15日（金）　16：30～18：10　第８会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 313+314）

座長：蒔田　直昌（長崎大学　分子生理学）
草野　研吾（岡山大学　循環器内科）

Keynote Lecture: Genetic and Acquired Background of Fatal Arrhythmias
堀江　　稔（滋賀医科大学　内科学（循環器・呼吸器））

（８）Nuclear Cardiology (Coronary, Myocardium) 〈英語〉

（学会１日目　３月15日（金）　16：30～18：10　第９会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 315）

座長：玉木　長良（北海道大学　核医学）
近森大志郎（東京医科大学　循環器内科）

Keynote Lecture: Clinical Value of Nuclear Cardiology in the Era of Radiation Scrutiny
近森大志郎（東京医科大学　循環器内科）

（９）Recent Advances in AF Ablation and Surgery 〈英語〉

（学会２日目　３月16日（土）　８：30～10：10　第８会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 313+314）

座長：家坂　義人（土浦協同病院　循環器センター内科）
土谷　　健（EP Expert Doctors-Team Tsuchiya）

Keynote Lecture: What is the Mechanism of Chronic Atrial Fibrillation: Rotors or Macro-reentrant Wavelets?
家坂　義人（土浦協同病院　循環器センター内科）

（10）Topics of Angina Pectoris 〈英語〉

（学会２日目　３月16日（土）　８：30～10：10　第９会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 315）

座長：宮内　克己（順天堂大学　循環器内科）
吉村　道博（東京慈恵会医科大学　循環器内科）

Keynote Lecture: Significance of Monitoring Potassium Level in Parallel with Glucose Level in Acute Coronary Syndrome
吉村　道博（東京慈恵会医科大学　循環器内科）

(11) Exercise Test/Cardiac Rehabilitation 〈英語〉

（学会２日目　３月16日（土）　11：00～12：40　第８会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 313+314）

座長：Mary Norine Walsh（St Vincent Heart Center of Indiana, USA）
牧田　　茂（埼玉医科大学国際医療センター　心臓リハビリテーション科）

Keynote Lecture
Mary Norine Walsh（St. Vincent Heart Center of Indiana, USA）

(12) Echo/Doppler (New Technology) 〈英語〉

（学会２日目　３月16日（土）　11：00～12：40　第９会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 315）

座長：尾辻　　豊（産業医科大学　第2内科学）
中谷　　敏（大阪大学　保健学科）

Keynote Lecture: Global Strain, Mechanical Dispersion and Ventricular Arrhythmias
Thor Edvardsen（Department of Cardiology, Oslo University Hospital, Norway）

(13) Heart Failure (Clinical) 〈英語〉

（学会２日目　３月16日（土）　14：40～16：20　第８会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 313+314）

座長：吉川　　勉（榊原記念病院　循環器内科）
葭山　　稔（大阪市立大学　循環器病態内科学）

Keynote Lecture: New Insights into Transcriptional Regulation of Cardiomyocyte Hypertrophy
Metin Avkiran（Cardiovascular Division, King's College London, St Thomas' Hospital, London, UK）

(14) Diabetes 〈英語〉

（学会２日目　３月16日（土）　14：40～16：20　第９会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 315）

座長：南野　　徹（新潟大学　循環器内科）
山岸　昌一（久留米大学　糖尿病性血管合併症病態・治療学）

Keynote Lecture: Fetal Programming of Diabetes and Cardiovascular Diseases? From Epidemiology to Epigenetics
Berthold Hocher（Universitaet Potsdam, Germany）

(15) Obesity/Metabolic Syndrome/Lipid Disorder 〈英語〉

（学会２日目　３月16日（土）　17：10～18：50　第７会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 311+312）

座長：吉永　正夫（国立病院機構鹿児島医療センター　小児科）
池脇　克則（防衛医科大学校　神経・抗加齢血管内科）

Keynote Lecture: Inflammation: the Link between Obesity and Atherosclerosis
Peter Libby（Brigham and Women's Hospital and Harvard Medical School, USA）

(16) Heart Failure (Basic) 〈英語〉

（学会２日目　３月16日（土）　17：10～18：50　第８会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 313+314）

座長：石川　義弘（横浜市立大学　循環制御医学）
朝倉　正紀（国立循環器病研究センター　臨床研究部）

Keynote Lecture: Thrombosponin-4 Functions in Endoplasmic Reticulum Adaptation and is

Cardioprotective

Jeffery D. Molkentin（Cincinnati Children's Hospital Medical Center and the Howard Hughes Medical Institute, USA）

(17) Vascular Disease 〈英語〉

（学会２日目　３月16日（土）　17：10～18：50　第９会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 315）

座長：辻　　義彦（新須磨病院　外科）

鈴木　　亨（東京大学　循環器内科・ユビキタス予防医学）

Keynote Lecture: New Mechanisms Modulating Inflammation and Vascular Injury

Carolyn Geczy（Department of Pathology, Faculty of Medicine, The University of New South Wales, Australia）

(18) Pulmonary Circulation 〈英語〉

（学会３日目　３月17日（日）　８：30～10：10　第８会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 313+314）

座長：佐藤　　徹（杏林大学　循環器内科）

八尾　厚史（東京大学　保健・健康推進本部）

Keynote Lecture: Role of Nocturnal Rostral Fluid Shift on the Pathogenesis and Treatment of Sleep Apnea

T. Douglas Bradley（University of Toronto, Canada）

(19) CT/MRI (Coronary/Vascular) 〈英語〉

（学会３日目　３月17日（日）　８：30～10：10　第９会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 315）

座長：野口　暉夫（国立循環器病研究センター　心臓内科）

尾崎　行男（藤田保健衛生大学　循環器内科）

Keynote Lecture: Plaque Rupture, Erosion and Stable Lesion Characteristics Assessed by Multiple Imaging Modalities

尾崎　行男（藤田保健衛生大学　循環器内科）

(20) Heart Failure (Basic/Clinical) 〈英語〉

（学会３日目　３月17日（日）　11：00～12：40　第８会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 313+314）

座長：池田　宇一（信州大学　循環器内科）

佐藤　幸人（兵庫県立尼崎病院　循環器内科）

Keynote Lecture: Mitochondria as a Therapeutic Target in Heart Failure

Mihai Gheorghiade（Northwestern University Feinberg School of Medicine, USA）

(21) New Insights in Drug Eluting Stent 〈英語〉

（学会３日目　３月17日（日）　11：00～12：40　第９会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 315）

座長：木村　一雄（横浜市立大学市民総合医療センター　循環器内科）

上妻　　謙（帝京大学　循環器内科）

Keynote Lecture: New Insights in Drug Eluting Stent Development

Juan F. Granada（Skirball Research Center, Cardiovascular Research Foundation, Columbia University Medical Center, USA）

(22) Kidney/Renal Circulation/CKD 〈英語〉

（学会３日目　３月17日（日）　13：50～15：30　第８会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 313+314）

座長：Gary Lopaschuk（Mazankowski Alberta Heart Institute, University of Alberta, Canada）
石坂　信和（大阪医科大学　循環器内科）

Keynote Lecture: Angiotensin Ⅱ Inhibition of Cardiac Carbohydrate Metabolism Contributes to the Cardiorenal Syndrome
Gary Lopaschuk（Mazankowski Alberta Heart Institute, University of Alberta, Canada）

(23) Chronic Total Occlusion　〈英語〉

（学会３日目　３月17日（日）　13：50～15：30　第９会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 315）

座長：齋藤　　滋（湘南鎌倉総合病院　心臓センター循環器科）
中村　正人（東邦大学医療センター大橋病院　循環器内科）

Keynote Lecture: Angioplasty for Chronic Total Occlusion Overview
齋藤　　滋（湘南鎌倉総合病院　心臓センター循環器科）

(24) ECG/Body Surface Potential Mapping/Holter　〈英語〉

（学会３日目　３月17日（日）　16：20～18：00　第８会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 313+314）

座長：鎌倉　史郎（国立循環器病研究センター　心臓血管内科）
志賀　　剛（東京女子医科大学　循環器内科）

Keynote Lecture: Unsolved Issues in J-wave and Inferolateral Early Repolarization Syndrome
鎌倉　史郎（国立循環器病研究センター　心臓血管内科）

(25) Atherosclerosis　〈英語〉

（学会３日目　３月17日（日）　16：20～18：00　第９会場　パシフィコ横浜　会議センター　３F 315）

座長：山科　　章（東京医科大学　循環器内科）
大内　乗有（名古屋大学　分子循環器学）

Keynote Lecture: The Lipid Hypothesis: Proven beyond Reasonable Doubt?
James Shepherd（Emeritus Professor of Vascular Medicine, Institute of Biochemistry, Royal Infirmary, UK）

21. 第41回循環器教育セッション

教育セッションⅠ（ビデオセッション）

１）心臓CT/MRIの最新動向　〈日本語〉

（学会１日目　３月15日（金）　８：30～９：30　第１会場　パシフィコ横浜　国立大ホール　１F）

座長：尾崎　行男（藤田保健衛生大学　循環器内科）
吉岡　邦浩（岩手医科大学　放射線科）

演　　者：

１．最新の３テスラ MRI 装置による心臓 MRI 検査
佐久間　肇（三重大学　放射線医学教室）
高瀬　伸一（三重大学　中央放射線部）

２．心臓 CT を用いた虚血性心疾患の診断
安野　泰史（藤田保健衛生大学　放射線科）
元山　貞子（藤田保健衛生大学　循環器内科）

教育セッションⅠ（ビデオセッション）

２）閉塞性肥大型心筋症に対するPTSMA　〈日本語〉

（学会１日目　３月15日（金）　９：30〜10：30　第１会場　パシフィコ横浜　国立大ホール　１F）

座長：一色　高明（帝京大学）

演　　者：

閉塞性肥大型心筋症に対する PTSMA

高山　守正（榊原記念病院）

教育セッションⅠ（ビデオセッション）

３）心房細動アブレーションにおける三次元マッピングの活用　〈日本語〉

（学会１日目　３月15日（金）　11：40〜12：40　第１会場　パシフィコ横浜　国立大ホール　１F）

座長：熊谷浩一郎（福岡山王病院　ハートリズムセンター）

沖重　　薫（横浜みなと赤十字病院）

演　　者：

１．最新 CARTO システムを用いた心房細動アブレーション

高月　誠司（慶應義塾大学）

２．EnSite NavX の特長を活かした Steerable Sheath サポート下の心房細動アブレーション

土谷　　健（EP Expert Team-Tsuchiya）

教育セッションⅡ

冠動脈血行再建術—診療ガイドラインを実臨床にいかに活かすか？　〈日本語〉

（学会２日目　３月16日（土）　８：30〜10：30　第１会場　パシフィコ横浜　国立大ホール　１F）

座長：落　　雅美（日本医科大学　心臓血管外科）

住吉　徹哉（榊原記念病院　循環器内科）

演　　者：

１．医療訴訟と診療ガイドライン

桑原　博道（仁邦法律事務所）

２．保険診療と診療ガイドライン

松本　晴樹（厚生労働省保険医療企画調査室）

３．冠動脈血行再建術ガイドライン作成班員の立場から

夜久　　均（京都府立医科大学　心臓血管外科）

４．診療ガイドラインの成立ちおよび実践からみた欧米との比較

中川　義久（天理よろづ相談所病院　循環器内科）

５．診療ガイドライン実践のためのハートチームとは

浅井　　徹（滋賀医科大学　心臓血管外科）

６．実臨床における診療ガイドラインの位置づけと今後の課題

代田　浩之（順天堂大学　循環器内科）

教育セッションⅢ

新しい抗凝固薬の臨床　〈日本語〉

（学会３日目　３月17日（日）　13：50〜15：50　第１会場　パシフィコ横浜　国立大ホール　１F）

座長：後藤　信哉（東海大学　循環器内科）

山下　武志（心臓血管研究所付属病院）

演　　者：

１．新規経口抗凝固薬の考え方

後藤　信哉（東海大学　循環器内科）

２．ダビガトラン使用のコツ

草野　研吾（岡山大学　循環器内科）

３．リバーロキサバン使用のこつ

渡邉　英一（藤田保健衛生大学　循環器内科）

4．新規抗凝固薬におけるモニタリング：必要か否か
高橋　尚彦（大分大学　循環器内科）
5．周術期・大出血時の対策
庭野　慎一（北里大学　循環器内科）
6．NVAF 患者への新規経口抗凝固薬：オーストラリアの使用実態
富田　愛子（東海大学　循環器内科）

22. 日本心臓財団佐藤賞記念講演

（学会２日目　３月16日（土）17：10～18：00　第３会場　パシフィコ横浜　会議センター　3F　301）

座長：水野　杏一（日本医科大学医学部長）

心血管ホルモンの発現調節及び作用機構の解明に基づく心血管病新規治療標的の探索

演者：桑原宏一郎（京都大学内分泌代謝内科）

23. 審査講演会

（１）Young Investigator's Award 審査講演

（学会１日目　３月15日（金）８：30～10：30　第11会場　パシフィコ横浜　会議センター　4F　413）

座長：永井　良三（自治医科大学）

演者：

1．G0/G1 Switch Gene 2 Promotes Mitochondrial ATP Production and Protects Cardiomyocytes from the Energy Crisis under Hypoxia
　木岡　秀隆（大阪大学循環器内科学）

2．Neural Crest-Derived Resident Cardiac Cells Contribute to the Restoration of Adrenergic Function of Transplanted Heart in Rodent
　田村　雄一（慶應義塾大学循環器内科）

3．Preotic Neural Crest Cells Contribute to Coronary Artery Smooth Muscle Involving Endothelin Signaling
　有馬勇一郎（東京大学代謝生理化学）

4．Oct4 Redirection by Wnt Signaling Regulates Cardiac Mesoderm Specification
　野村征太郎（千葉大学循環器内科学）

5．A Critical Role for the Vascular Endothelial Cell-Derived Angiopoietin-Like Protein ANGPTL2 in Endothelial Dysfunction and Atherosclerosis
　堀尾　英治（熊本大学循環器内科学）

（２）国際留学生 Young Investigator's Awards 審査講演

（学会１日目　３月15日（金）10：40～12：40　第11会場　パシフィコ横浜　会議センター　4F　413）

座長：室原　豊明（名古屋大学循環器内科学）

演者：

1．Spontaneous Development of Arrhythmogenic Right Ventricular Cardiomyopathy in Mice Overexpressing Dominant-Negative Rho-Kinase in Cardiovascular System
　Alia Ellawindy（東北大学循環器内科学）

2．The Omega-3 Fatty Acid, Eicosapentaenoic Acid, Attenuates Abdominal Aortic Aneurysm Formation via Suppression of Matrix Destruction
　Jack H Wang（東京大学循環器内科）

3．Therapeutic Angiogenesis by Cell Transplantation: A Comparative Study of Adipose Derived Regenerative Cells versus Bone Marrow Mononuclear Cells
　Chang-ning Hao（名古屋大学循環器内科）

4．Mechanisms Underlying the Impairment of Ischemia-Induced Nevascularization in Cathepsin K-Deficient Mice: Impact on Noich1 Activation
　Haiying Jiang（名古屋大学老年科）

（３）第３回コメディカル賞審査講演会

（学会１日目　３月15日（金）13：50～15：20　第20会場　パシフィコ横浜　アネックスホール　2F　F201+F202）

座長：伊藤　　浩（岡山大学大学院循環器内科学）

荒井　秀典（京都大学人間健康科学系専攻）

演者：

1．ICD 患者の QOL と患者属性との関係性
　宮園　真美（九州大学保健学部門）

2．心不全患者の生命予後と栄養関連指標（GNRI）の関係について
　櫻田　弘治（心臓血管研究所リハビリテーション室）

3．心不全入院患者の再入院を予測する因子の検討～CONUT を用いた栄養評価の重要性～
　田中　佑樹（徳島県立中央病院医療技術局検査技術科）

4．流体解析ソフトを用いたFFR CTおよび血流解析の基礎検討
高橋　正司（県立広島病院放射線診断科）
5．心室期外収縮(VPC)の3方向心磁図パターンの検討
稲葉　武（筑波大学検査部）
6．肺動脈性肺高血圧症患者のボセンタン治療評価に対する心肺運動負荷試験の有用性
～投与開始1週間後の運動耐容能評価の検討～
坪井　康典（神戸大学リハビリテーション部）

24. 委員会セッション

（1） 国際交流委員会

第3回海外留学生セミナー

(学会2日目　3月16日(土) 8：30～10：00　第22会場　パシフィコ横浜　アネックスホール　2F　F205)

座長：室原　豊明（名古屋大学循環器内科学）

演者：

1．不全心心筋リモデリング発症を規定する炎症反応・線維化反応前段階の解明・制御
田中　孔明（新潟大学医学部第一内科）
2．アメリカ研究留学で学んだこと
松島　将士（University of Medicine and Dentistry of New Jersey, Department of Cell Biology and Molecular Medicine）
3．ロンドン留学のすゝめ
高岡　　稔（King's College London Cardiovascular Division）

（2） 学術委員会

ガイドラインに学ぶ1

2011-2012年度活動ガイドライン作成班報告

(学会1日目　3月15日(金)11：10～12：40　第17会場　パシフィコ横浜　会議センター　5F　502)

座長：宮崎　俊一（近畿大学循環器内科）

演者：

1．血管機能の非侵襲的評価法に関するガイドライン
山科　　章（東京医科大学循環器内科）
2．重症心不全に対する植込み型補助人工心臓治療ガイドライン
許　　俊鋭（東京都健康長寿医療センター心臓外科）

ガイドラインに学ぶ2

2011年度活動ガイドライン改訂版作成班報告

(学会1日目　3月15日(金)13：50～15：20　第17会場　パシフィコ横浜　会議センター　5F　502)

座長：筒井　裕之（北海道大学循環病態内科学）

演者：

1．QT延長症候群(先天性・二次性)とBrugada症候群の診療に関するガイドライン(2012年改訂版)
青沼　和隆（筑波大学循環器内科）
2．失神の診断・治療ガイドライン(2012年改訂版)
井上　　博（富山大学第二内科）
3．心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン(2012年改訂版)
野原　隆司（(公財)田附興風会医学研究所北野病院心臓センター）

ガイドラインに学ぶ3

2011年度活動ガイドライン改訂版作成班報告

(学会2日目　3月16日(土) 8：30～10：00　第17会場　パシフィコ横浜　会議センター　5F　502)

座長：小川　久雄（熊本大学循環器内科学）

演者：

1．先天性心疾患術後遠隔期の管理・侵襲的治療に関するガイドライン(2012年改訂版)
越後　茂之（えちごクリニック）
2．肥大型心筋症の診療に関するガイドライン(2012年改訂版)
土居　義典（高知大学老年病科循環器科）

３．非 ST 上昇型急性冠症候群の診療に関するガイドライン（2012年改訂版）
木村　　剛（京都大学医学部附属病院循環器内科）

ガイドラインに学ぶ４
2011年度活動ガイドライン改訂版作成班報告
（学会２日目　３月16日（土）11：10～12：40　第17会場　パシフィコ横浜　会議センター　5F　502）
座長：平山　篤志（日本大学循環器内科）
演者：
１．弁膜疾患の非薬物治療に関するガイドライン（2012年改訂版）
大北　　裕（神戸大学心臓血管外科）
２．虚血性心疾患の一次予防ガイドライン（2012年改訂版）
島本　和明（札幌医科大学）
３．肺高血圧症治療ガイドライン（2012年改訂版）
中西　宣文（国立循環器病研究センター心臓内科）

ガイドライン解説１
2010-2011年度活動ガイドライン作成班報告
（学会３日目　３月17日（日）８：30～10：00　第17会場　パシフィコ横浜　会議センター　5F　502）
カテーテルアブレーションの適応と手技に関するガイドライン
座長：奥村　　謙（弘前大学循環呼吸腎臓内科学）
演者：
１．総　　論
相原　直彦（千里中央病院内科）
２．上室頻拍
平尾　見三（東京医科歯科大学医学部附属病院不整脈センター）
３．心房細動（病態生理とアブレーション法）
山根　禎一（東京慈恵会医科大学循環器内科）
４．心房細動（周術期管理と合併症）
高橋　　淳（横須賀共済病院循環器内科）
５．心室頻拍
野上　昭彦（横浜労災病院不整脈科）
６．小　　児
住友　直方（日本大学小児科学）

ガイドライン解説２
2010-2011年度活動ガイドライン作成班報告
（学会３日目　３月17日（日）11：10～12：40　第17会場　パシフィコ横浜　会議センター　5F　502）
小児期心疾患における薬物療法ガイドライン
座長：佐地　　勉（東邦大学医療センター大森病院小児科）
演者：
１．はじめに―子ども達に使える薬を安全に使うために―
Right drug for right patients at right time
佐地　　勉（東邦大学医療センター大森病院小児科）
２．Overview，降圧薬，心筋症・心筋炎治療薬
中川　雅生（滋賀医科大学小児科）
３．抗不整脈薬，高脂血症治療薬
住友　直方（日本大学小児科学）
４．抗心不全薬，末梢血管拡張薬，利尿薬
村上　智明（千葉県こども病院 循環器科）
５．川崎病後遺症治療薬，抗血小板薬・抗凝固薬
深澤　隆治（日本医科大学付属病院 小児科）

（３） 2010年度採択 Translational Research 振興事業最終報告会
(学会２日目　３月16日(土)14：40～16：10　第23会場　パシフィコ横浜　アネックスホール　2F　F206)
座長：小室　一成（大阪大学／東京大学循環器内科学）
演者：
１．急性心筋梗塞に対するエリスロポエチンによる慢性期心機能改善効果に関する研究―Ⅱ
小室　一成（大阪大学／東京大学循環器内科学）
相澤　義房（新潟大学器官制御医学）
２．ヒト皮下脂肪組織由来間葉系前駆細胞を用いた重症虚血肢に対する血管新生療法
室原　豊明（名古屋大学循環器内科学）

（４） 健保対策委員会
保険医療セミナー
(学会１日目　３月15日(金)16：30～18：00　第５会場　パシフィコ横浜　会議センター　3F　303)
座長：川名　正敏（東京女子医科大学附属青山病院循環器内科）
小川　久雄（熊本大学生命科学研究部）
演者：
１．循環器検査コスト調査の結果
及川　惠子（東海大学八王子病院循環器内科）
２．医療技術の費用対効果評価の活用
田倉　智之（大阪大学大学院医療経済産業政策学）
３．外保連の技術評価に関する活動
西田　　博（東京女子医科大学心臓病センター心臓血管外科）
４．循環器領域における DPC について
松木　高雪（社会医療法人製鉄記念室蘭病院病院長）

（５） 心臓移植委員会
第９回心臓移植セミナー
(学会１日目　３月15日(金)13：50～15：20　第５会場　パシフィコ横浜　会議センター　3F　303)
テーマ：我が国の小児心臓移植の発展に向けて
座長：磯部　光章（東京医科歯科大学循環制御内科学）
佐野　俊二（岡山大学心臓血管外科）
演者：
１．心臓移植の現況：
西垣　和彦（岐阜大学医学部附属病院第二内科）
２．世界から見た日本の小児心臓移植の現状
布田　伸一（東京女子医科大学東医療センター心臓血管診療部）
３．小児における機械的循環補助
小野　　稔（東京大学心臓外科）
４．小児臓器提供の経験
芦刈淳太郎（社団法人日本臓器移植ネットワーク医療本部）
５．日本小児科学会の立場から
細谷　亮太（聖路加国際病院小児科）
６．我々ができること
中西　敏雄（東京女子医科大学循環器小児科）

（６） 医療倫理委員会
第12回医療安全・医療倫理に関する講演会
(学会３日目　３月17日(日)11：10～12：40　第２会場　パシフィコ横浜　会議センター　1F　メインホール)
テーマ：「医療安全へのアプローチ」
座長：奥村　　謙（弘前大学循環呼吸腎臓内科学）
近森大志郎（東京医科大学第二内科）
演者：
「医療チームの安全を支えるノンテクニカルスキル」
中島　和江（大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部）

「実効ある医療安全活動に向けて：ヒューマンエラー防止の基礎知識
～人間生活工学の立場から～」
小松原明哲（早稲田大学理工学術院）

（７） 禁煙推進委員会
第12回禁煙推進セミナー
（学会２日目　３月16日（土）19：00～20：30　第19会場　パシフィコ横浜　会議センター　5F　511＋512）
座長：飯田　真美（岐阜県総合医療センター）
瀧原　圭子（大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学）
演者：
１．「日本のタバコ消費の経時変化と心疾患死亡率の関係」
張　　波（福岡大学医学部生化学）
２．「健康日本21におけるたばこ対策」
野田　博之（厚生労働省健康局がん対策・健康増進課たばこ対策専門官）
３．「わが国の受動喫煙対策に関わる法改正の動きとその課題」
大和　　浩（産業医科大学産業生態科学研究所健康開発科学研究室）
４．「行政としての禁煙推進（毎月22日を名古屋市の禁煙の日とし，禁煙推進）」
山田　育弘（名古屋市健康福祉局健康部健康増進課長）

（８） 循環器救急医療委員会
日本循環器学会蘇生科学シンポジウム
（学会３日目　３月17日（日）11：10～12：40　第５会場　パシフィコ横浜　会議センター　3F　303）
座長：朔　啓二郎（福岡大学医学部心臓・血管内科学講座）
長尾　　建（駿河台日本大学病院循環器科，心肺蘇生・救急心血管治療）
演者：
１．Key note：「EMS responder CPR」
Ben Bobrow（Arizona Department of Health Service, USA）
２．「世界に類を見ない All-Japan Ustein Registry」
⑴ Bystander Chest compression only CPR &PAD
石見　　拓（京都大学健康科学センター）
⑵ コメンテーター：統計解析の重要性
米本　直裕（国立精神・神経医療研究センター生物統計解析室）
３．「多施設共同試験（科学研究班）」
⑴ J-PULSE Hypothermia　Non-VF
蘇我　孟群（駿河台日本大学病院救命救急センター）
⑵ SAVE- J（ECPR）
長谷　　守（札幌医科大学救急医学講座）
⑶ コメンテーター：厚生労働省
梶野健太郎（厚生労働省医政局指導課）

（９） 第11回禁煙推進・心肺蘇生法合同市民公開講座
（学会２日目　３月16日（土）14：00～17：30　ランドマークホール（ランドマークプラザ５階））
主　　催：禁煙推進委員会／循環器救急医療委員会
総合司会：野々木　宏（静岡県立総合病院循環器内科）
構　　成：木村　一雄（横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター）
心肺蘇生法公開講座
司会：長尾　　建（駿河台日本大学病院循環器科）
田原　良雄（横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター）
１．「心肺蘇生法公開講座開会の辞」
森村　尚登（横浜市立大学大学院医学研究科）
２．「心肺蘇生法；あなたの手で救える命」
横山　広行（国立循環器病研究センター医療安全管理部・心臓血管内科）
３．「コールアンドプッシュ体操」
森山　暎子／すわん君（スタディオ PARADISO）
４．「簡易心肺蘇生法講習」

禁煙推進公開講座

司会：朔　啓二郎（福岡大学心臓・血管内科学）

海老名俊明（横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター）

1．「喫煙と健康被害―愛する人を守りたい―」

瀧原　圭子（大阪大学保健センター）

2．「禁煙による社会的利益と私達の取り組み」

藤原　久義（兵庫県立尼崎病院・塚口病院）

3．禁煙体操

森山　暎子／すわん君（スタディオ PARADISO）

特別講演

松沢　成文（前神奈川県知事）・唐橋　ユミ（フリーキャスター）

(10)　男女共同参画委員会

第3回男女共同参画委員会セッション

(学会2日目　3月16日(土)11：10～12：40　第19会場　パシフィコ横浜　会議センター　5F　511＋512)

座長：上田真喜子（大阪市立大学病理病態学）

平田　恭信（東京大学循環器内科）

演者：

1．循環器学分野における Gender Equality の推進：委員会のアクションプラン

上田真喜子（大阪市立大学病理病態学）

2．地区アンケートからみた女性循環器医師キャリアアップの現状と問題点

土橋　和文（札幌医科大学附属病院経営・管理学）

3．東海地区における循環器医男女共同参画支援の取り組み―Preliminary Survey―

平井　真理（名古屋大学保健学科）

曾根　孝仁（大垣市民病院）

4．循環器医療における四国地方の女性医師の現状と問題点

日浅　芳一（徳島赤十字病院）

5．男女共同参画―国立病院機構と福岡県医師会の取り組み―

冷牟田浩司（九州医療センター）

(11)　Circulation Journal Award Session

(学会2日目　3月16日(土)11：10～12：40　第22会場　パシフィコ横浜　アネックスホール　2F　F205)

座長：下川　宏明（東北大学循環器内科学）

25. 市民公開講座

(学会3日目　3月17日(日)15：00～17：35(開場14：30予定)　パシフィコ横浜　会議センター　1F　メインホール)

『知って得する生活習慣病対策のコツ』

主　　催：第77回日本循環器学会学術集会，日本心臓財団，朝日新聞社

後　　援：神奈川県，横浜市健康福祉局，日本医師会，神奈川県医師会

協　　賛：第一三共株式会社

プログラム(予定)

開会挨拶：水野　杏一（第77回日本循環器学会学術集会会長／日本医科大学医学部長）

第1部　講演会

座長：齋藤　　康（千葉大学長）

中村　治雄（三越厚生事業団顧問／防衛医科大学校名誉教授）

講演①　心臓を長持ちさせるための食事とは？

講師：中村　治雄（三越厚生事業団顧問／防衛医科大学校名誉教授）

講演②　隠れ肥満の恐怖？

講師：下村伊一郎（大阪大学大学院医学系研究科内分泌・代謝内科学教授）

講演③　塩は高血圧の敵？

講師：藤田　敏郎（東京大学名誉教授／東京大学先端科学技術研究センター特任教授）

講演④　甘いもの嫌いな私がなぜ糖尿病？

講師：河盛　隆造（順天堂大学大学院医学研究科スポートロジーセンターセンター長）

講演⑤　血液がどろどろってどう言う事？
講師：寺本　民生（帝京大学医学部長）
第２部　パネルディスカッション
座長：齋藤　　康（千葉大学長）
水野　杏一（第77回日本循環器学会学術集会会長／日本医科大学医学部長）
パネリスト：
中村　治雄（三越厚生事業団　顧問／防衛医科大学校名誉教授）
下村伊一郎（大阪大学大学院医学系研究科内分泌・代謝内科学教授）
藤田　敏郎（東京大学名誉教授／東京大学先端科学技術研究センター特任教授）
河盛　隆造（順天堂大学大学院医学研究科スポートロジーセンターセンター長）
寺本　民生（帝京大学医学部長）
司会：大宮杜喜子（日経ラジオ社アナウンサー）

ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナー

学会１日目　３月15日（金）　12：50～13：40

LS-01　Common diseaseとしての心房細動と蓄積される新規経口抗凝固薬のエビデンス　〈日本語〉
第２会場（パシフィコ横浜　会議センター　１Ｆ　メインホール）
座長：小川　久雄（熊本大学生命科学研究部循環器内科学、国立循環器病研究センター）
演者：平山　篤志（日本大学　内科系循環器内科）

LS-02　CURRENT AND FUTURE DEVELOPMENTS IN PROMOTING CARDIOVASCULAR HEALTH AT 3 DIFFERENT AGES　〈日本語〉
第３会場（パシフィコ横浜　会議センター　３Ｆ　301）
座長：小室　一成（東京大学　循環器内科学）
演者：Valentin Fuster（The Mount Sinai Hospital, USA）

LS-03　Addressing CV Challenges in Type 2 DM　〈日本語〉
第４会場（パシフィコ横浜　会議センター　３Ｆ　302）
座長：代田　浩之（順天堂大学　循環器内科学講座）
演者：Gary D. Lopaschuk, Mazankowski（Alberta Heart Institute, University of Alberta, Edmonton, Alberta Canada）
小田原雅人（東京医科大学　内科学第三講座）

LS-04　見直しが迫られる交感神経と血圧－脳を標的にした新たな治療戦略－　〈日本語〉
第５会場（パシフィコ横浜　会議センター　３Ｆ　303）
座長：藤田　敏郎（東京大学先端科学技術研究センター）
演者：砂川　賢二（九州大学　循環器内科学）

LS-05　条件付きMRI対応ペースメーカの院内導入の実際　〈日本語〉
第６会場（パシフィコ横浜　会議センター　３Ｆ　304）
座長：新田　　隆（日本医科大学　心臓血管外科）
演者：副島　京子（杏林大学　循環器内科）

LS-06　心原性脳塞栓症予防の再考：J-RHYTHM Registryからの考察　〈日本語〉
第７会場（パシフィコ横浜　会議センター　３Ｆ　311+312）
座長：奥村　　謙（弘前大学　循環呼吸腎臓内科学）
演者：井上　　博（富山大学　内科学第二）

LS-07　Clinical Impact of Stent Platform　〈日本語〉
第８会場（パシフィコ横浜　会議センター　３Ｆ　313+314）
座長：上野　高史（久留米大学）
演者：Renu Virmani（CV Path Institute, Inc. USA）
岩﨑　清隆（早稲田大学　理工学術院）
横井　宏佳（小倉記念病院）

LS-08　IMPELLAによる経皮的左室補助の実績　〈日本語〉
第９会場（パシフィコ横浜　会議センター　３Ｆ　315）
座長：永井　良三（自治医科大学）
演者：George W. Vetrovec（VCU Pauley Heart Center, USA）

LS-09　抗血栓療法における消化管傷害　〈日本語〉
第10会場（パシフィコ横浜　会議センター　４Ｆ　411+412）
座長：杉　　薫（東邦大学医療センター大橋病院　循環器内科）

演者：山下　武志（心臓血管研究所）

LS-10　心血管疾患における食後血糖管理の意義　〈日本語〉
第11会場（パシフィコ横浜　会議センター　4Ｆ　413）
座長：平田　健一（神戸大学　内科学講座　循環器内科学）
演者：島袋　充生（徳島大学　ヘルスバイオサイエンス研究部　心臓血管病態医学分野）
塩谷　英之（神戸大学　保健学研究科）

LS-11　僧帽弁疾患と三尖弁疾患：手術の適応と至適時期　〈日本語〉
第12会場（パシフィコ横浜　会議センター　4Ｆ　414+415）
座長：小宮　達彦（倉敷中央病院　心臓血管外科）
演者：大門　雅夫（東京大学　検査部・循環器内科）

LS-12　循環器疾患におけるSAS診療の重要性　〈日本語〉
第13会場（パシフィコ横浜　会議センター　4Ｆ　416+417）
座長：萩原　誠久（東京女子医科大学　循環器内科）
演者：弓野　　大（ゆみのハートクリニック、東京女子医科大学　循環器内科）
苅尾　七臣（自治医科大学　循環器内科学）

LS-13　「血圧」「脂質」「血糖」は、いかに介入すべきか？ ～糖尿病専門医の立場から～　〈日本語〉
第14会場（パシフィコ横浜　会議センター　4Ｆ　418）
座長：吉田　雅幸（東京医科歯科大学先進倫理医科学）
演者：犬飼　浩一（杏林大学　糖尿病・内分泌・代謝内科）

LS-14　高血圧治療における直接的レニン阻害薬(DRI)の使い方：ALTITUDE試験の結果を踏まえて〈日本語〉
第15会場（パシフィコ横浜　会議センター　4Ｆ　419）
座長：伊藤　　浩（岡山大学　循環器内科学）
演者：片山　茂裕（埼玉医科大学　内分泌・糖尿病内科）

LS-15　動脈硬化性疾患の予防に関する新たな知見　〈日本語〉
第16会場（パシフィコ横浜　会議センター　5Ｆ　501）
座長：下川　宏明（東北大学　循環器病態学分野）
演者：廣畑　　敦（心臓病センター榊原病院　循環器内科）
James Shepherd（Emeritus Professor of Vascular Medicine Institute of Biochemistry Royal Infirmary, UK）

LS-16　拡張機能障害に対するβ遮断薬療法　〈日本語〉
第17会場（パシフィコ横浜　会議センター　5Ｆ　502）
座長：筒井　裕之（北海道大学　循環病態内科学）
演者：山本　一博（鳥取大学　病態情報内科学）

LS-17　新世代DES：Nobori　〈日本語〉
第18会場（パシフィコ横浜　会議センター　5Ｆ　503）
座長：水野　杏一（日本医科大学　内科学講座）
演者：木村　　剛（京都大学　循環器内科）

LS-18　心臓核医学の未来を拓く 新世代の半導体カメラ A New Generation of High Definition, High Sensitivity Cardiac imaging　〈日本語〉
第19会場（パシフィコ横浜　会議センター　5Ｆ　511+512）
座長：住吉　徹哉（榊原記念病院　循環器内科）
松本　直也（駿河台日本大学　循環器科）
演者：井口　信雄（榊原記念病院　循環器内科）
Shlomo Ben-Haim（Spectrum Dynamics）

LS-19　血圧変動性　〈日本語〉
第20会場（パシフィコ横浜　アネックスホール　２Ｆ　F201+F202）
座長：檜垣　實男（愛媛大学　病態情報内科学）
演者：長谷部直幸（旭川医科大学　内科学講座　循環・呼吸・神経病態内科学分野）

LS-20　変貌する心血管病の危険因子：久山町研究　〈日本語〉
第21会場（パシフィコ横浜　アネックスホール　２Ｆ　F203+F204）
座長：井上　晃男（獨協医科大学　心臓・血管内科）
演者：清原　　裕（九州大学　環境医学）

LS-21　降圧目標値達成までもう一歩　〈日本語〉
第22会場（パシフィコ横浜　アネックスホール　２Ｆ　F205）
座長：島田　和幸（小山市民病院）
演者：齊藤　郁夫（慶應義塾大学保健管理センター）
久代登志男（日本大学総合健診センター）

LS-22　日常医療まで浸透してきたCT利用の循環器診断　〈日本語〉
第23会場（パシフィコ横浜　アネックスホール　２Ｆ　F206）
座長：山科　　章（東京医科大学　内科学第二講座）
演者：宮本　忠司（兵庫県立尼崎病院　循環器内科）
平野　雅春（東京医科大学　内科学第二講座）

学会１日目　３月15日（金）　18：20〜19：20

FS-01　持続血糖モニター(continuous glucose monitoring:CGM)を用いた糖尿病治療の最適化
〜DPP-4阻害薬の可能性を含めて〜　〈日本語〉
第２会場（パシフィコ横浜　会議センター　１Ｆ　メインホール）
座長：代田　浩之（順天堂大学　循環器内科学）
演者：西村　理明（東京慈恵会医科大学　糖尿病・代謝・内分泌内科）

FS-02　更なる予後改善を目指した肺高血圧症治療　〈日本語〉
第３会場（パシフィコ横浜　会議センター　３Ｆ　301）
座長：福田　恵一（慶應義塾大学　内科学教室　循環器内科）
演者：松原　広己（国立病院機構岡山医療センター　循環器科　臨床研究部）

FS-03　内皮機能検査(Flow-Mediated Vasodilatation:FMD)の臨床応用
検査の普遍性を高めるために　〈日本語〉
第４会場（パシフィコ横浜　会議センター　３Ｆ　302）
座長：高瀬　凡平（防衛医科大学校）
演者：冨山　博史（東京医科大学）

FS-04　心筋病理とバイオマーカー　〈日本語〉
第５会場（パシフィコ横浜　会議センター　３Ｆ　303）
座長：布田　伸一（東京女子医科大学東医療センター　心臓血管診療部）
寺﨑　文生（大阪医科大学　教育機構）
演者：今中　恭子（三重大学マトリックスバイオロジー研究センター）
佐藤　幸人（兵庫県立尼崎病院　循環器内科）

FS-05　心臓突然死と着用型除細動器　〈日本語〉
第６会場（パシフィコ横浜　会議センター　３Ｆ　304）
座長：木村　　剛（京都大学　循環器内科）
演者：安藤　献児（小倉記念病院　循環器内科）
Michael Mirro（Parkview Research Center）

FS-06　Marshall 静脈のすべて— 解剖から心房細動アブレーションまで —　〈日本語〉
第７会場（パシフィコ横浜　会議センター　３F　311+312）
座長：沖重　　薫（横浜市立みなと赤十字病院　心臓不整脈先進診療部）
演者：井川　　修（日本医科大学多摩永山病院　内科・循環器内科）
慶田　毅彦（江戸川病院　循環器内科）
青柳　秀史（横浜市立みなと赤十字病院　心臓不整脈先進診療部）

FS-07　Therapeutic Hypothermia and PCI for Cardiac Arrest Patients　〈日本語〉
第８会場（パシフィコ横浜　会議センター　３F　313+314）
座長：野々木　宏（静岡県立総合病院）
演者：Michael R. Mooney（Interventional Cardiology, Minneapolis Heart Institute at Abbott Northwestern Hospital, USA）

FS-09　血管内視鏡をめぐる最新のトピックス　〈日本語〉
第10会場（パシフィコ横浜　会議センター　４F　411+412）
座長：齋藤　　穎（日本大学、敬愛病院）
演者：上田　恭敬（大阪警察病院　循環器内科）
石原　正治（国立循環器病研究センター　心臓血管内科部門）
松岡　　宏（愛媛県立今治病院　循環器科）

FS-10　デクスメデトミジンの循環器集中治療におけるユニークな鎮静効果　〈日本語〉
第11会場（パシフィコ横浜　会議センター　４F　413）
座長：山科　　章（東京医科大学　内科学第二講座）
演者：山本　　剛（日本医科大学　集中治療室）

FS-11　心不全管理における Adaptive Servo Ventilation の有用性 -ASV が奏功する症例とは？ -〈日本語〉
第12会場（パシフィコ横浜　会議センター　４F　414+415）
座長：野出　孝一（佐賀大学　循環器内科）
演者：義久　精臣（福島県立医科大学　循環器・血液内科学講座　心臓病先進治療学講座）

FS-12　HDL を標的にした心血管病治療－ iCE ペプチドの可能性－　〈日本語〉
第13会場（パシフィコ横浜　会議センター　４F　416+417）
座長：下川　宏明（東北大学　循環器内科学）
演者：上原　吉就（福岡大学　循環器内科）

FS-13　CKD（慢性腎臓病）の疾患管理～尿中バイオマーカーL-FABP（L 型脂肪酸結合蛋白）の可能性～　〈日本語〉
第14会場（パシフィコ横浜　会議センター　４F　418）
座長：永井　良三（自治医科大学）
演者：木村健二郎（聖マリアンナ医科大学　腎臓・高血圧内科）

FS-14　RA 系の Protective Arm～高血圧治療の New Paradigm Shift～　〈日本語〉
第15会場（パシフィコ横浜　会議センター　４F　419）
座長：光山　勝慶（熊本大学　生命科学研究部　生体機能薬理学）
演者：堀内　正嗣（愛媛大学　分子心血管生物・薬理学）

FS-15　BNP 測定の特徴と値の見方　〈日本語〉
第16会場（パシフィコ横浜　会議センター　５F　501）
座長：吉村　道博（東京慈恵会医科大学　内科学講座　循環器内科）
演者：川井　　真（東京慈恵会医科大学　内科学講座　循環器内科）
錦見　俊雄（京都大学　内科学講座　内分泌代謝内科）

FS-16　高血圧治療の進歩 ～エピジェネティクス～　〈日本語〉
第17会場（パシフィコ横浜　会議センター　５Ｆ　502）
座長：木原　康樹（広島大学　循環器内科学）
演者：藤田　敏郎（東京大学先端科学技術研究センター　臨床エピジェネティクス講座）

FS-17　抗血小板療法と薬剤起因性消化管傷害の治療戦略　〈日本語〉
第18会場（パシフィコ横浜　会議センター　５Ｆ　503）
座長：小室　一成（東京大学　循環器内科学）
上村　直美（国立国際医療研究センター　国府台病院）
演者：後藤　信哉（東海大学　内科学系（循環器内科学））
平石　秀幸（獨協医科大学　消化器内科）

FS-18　新技術 “Activation Imaging” で非同期を診る　〈日本語〉
第19会場（パシフィコ横浜　会議センター　５Ｆ　511+512）
座長：田邊　一明（島根大学　内科学第四）
演者：大西　俊成（桜橋渡辺病院　循環器内科）
瀬尾　由広（筑波大学　医学医療系）

FS-19　レニン・アンジオテンシン（RA）系抑制薬による降圧療法と新規 ARB への期待　〈日本語〉
第20会場（パシフィコ横浜　アネックスホール　２Ｆ　F201+F202）
座長：石光　俊彦（獨協医科大学　循環器内科学）
演者：佐藤　敦久（国際医療福祉大学三田病院　内科）

FS-20　心・腎保護に対するニコランジルの最新の知見　〈日本語〉
第21会場（パシフィコ横浜　アネックスホール　２Ｆ　F203+F204）
座長：伊藤　　浩（岡山大学　循環器内科学）
演者：芹澤　賢一（中外製薬株式会社　育薬研究部）
丹野　雅也（札幌医科大学　内科学第二講座）
西垣　和彦（岐阜大学　循環・呼吸病態学・第二内科）

FS-21　Congenital / Structural Heart Disease のカテーテル治療 (ASD/PFO)　〈日本語〉
第22会場（パシフィコ横浜　アネックスホール　２Ｆ　F205）
座長：中西　敏雄（東京女子医科大学　循環器小児科）
原　　英彦（東邦大学　内科学講座　循環器内科）
演者：富田　　英（昭和大学横浜市北部病院　小児循環器センター）
赤木　禎治（岡山大学　循環器疾患集中治療部）

FS-22　Revealing the New Technology of Imaging Modality -
OFDI-OFDI テクノロジー　－病理との比較及び臨床経験－　〈日本語〉
第23会場（パシフィコ横浜　アネックスホール　２Ｆ　F206）
座長：赤阪　隆史（和歌山県立医科大学）
演者：Renu Virmani（CV Path Institute）
Guillermo J. Tearney（Massachusetts General Hospital）
久保　隆史（和歌山県立医科大学）

学会１日目　３月15日（金）　18：20～19：50

FS-08　全国急性冠症候群コホート研究シンポジウム
本邦における National Registry の実現に向けて
〈日本語〉
第９会場（パシフィコ横浜　会議センター　３Ｆ　315）
座長：木村　一雄（横浜市立大学市民総合医療センター　心臓血管センター）
小島　　淳（熊本大学高度医療開発センター　心不全先端医療寄附講座）

高山　守正（東京都 CCU 連絡協議会、榊原記念病院　循環器内科）
安田　　聡（国立循環器病研究センター　心臓血管内科部門）
演者：坂田　泰彦（東北大学　循環器 EBM 開発学寄附講座、大阪大学　先進心血管治療学講座）
髙橋　　潤（東北大学　循環器内科学）
高山　守正（東京都 CCU 連絡協議会）
小島　　淳（熊本大学高度医療開発センター　心不全先端医療寄附講座）
Closing Remarks：住吉　徹哉（榊原記念病院　循環器内科）

学会２日目　３月16日（土）　12：50～13：40

LS-23　抗凝固療法の歴史を追いかけるダビガトラン　〈日本語〉
第２会場（パシフィコ横浜　会議センター　１F　メインホール）
座長：井上　　博（富山大学　第2内科）
演者：山下　武志（心臓血管研究所）

LS-24　Clinical use of speckle tracking echocardiography　〈日本語〉
第３会場（パシフィコ横浜　会議センター　３F　301）
座長：瀬尾　由広（筑波大学　人間総合科学研究科　循環器内科）
演者：Thor Edvardsen（Department of Cardiology, University of Oslo, Norway）

LS-25　Relationship between cardio-ankle vascular index(CAVI) and left ventricular hypertrophy in hypertensive subjects　〈日本語〉
第４会場（パシフィコ横浜　会議センター　３F　302）
座長：堀中　繁夫（獨協医科大学　循環器内科）
演者：Giuseppe Schillaci（Head of Internal Medicine, University of Perugia, Italy）

LS-26　２型糖尿病治療の現状と将来への展望
新たな糖尿病治療戦略：beyond glucose　〈日本語〉
第５会場（パシフィコ横浜　会議センター　３F　303）
座長：野出　孝一（佐賀大学　循環器内科）
演者：伊藤　　浩（岡山大学　循環器内科学）

LS-27　虚血を見極め、PCI を極める！！　〈日本語〉
第６会場（パシフィコ横浜　会議センター　３F　304）
座長：平山　篤志（日本大学　循環器内科学分野）
演者：田中　信大（東京医科大学　循環器内科）
仁科　秀崇（筑波メディカルセンター病院　循環器内科）

LS-28　循環器領域におけるエキシマレーザの役割と可能性　〈日本語〉
第７会場（パシフィコ横浜　会議センター　３F　311+312）
座長：水野　杏一（日本医科大学　循環器内科）
演者：庄田　守男（東京女子医科大学　循環器内科）
西野　雅巳（大阪労災病院　循環器内科）

LS-29　血管内皮機能障害の予防と治療を考える
エビデンスからみた血管内皮機能検査 -FMD の新たな知見　〈日本語〉
第８会場（パシフィコ横浜　会議センター　３F　313+314）
座長：山科　　章（東京医科大学）
演者：東　　幸仁（広島大学原爆放射線医科学研究所）

LS-30　Diagnosis & New Treatment Strategies for Severe Pulmonary Hypertension　〈日本語〉
第９会場（パシフィコ横浜　会議センター　３F　315）

座長：瀧原　圭子（大阪大学保健センター、大阪大学　循環器内科学）
演者：Norbert F. Voelkel（The E. Raymond Fenton Pulmonary Research, Victoria Johnson Center for Obstructive Lung Diseases, Virginia Commonwealth University, USA）

LS-31　心房細動アブレーションにおける薬物治療
—抗不整脈薬、抗凝固薬、抗炎症薬をいかに使用すべきか—　〈日本語〉
第10会場（パシフィコ横浜　会議センター　4F　411+412）
座長：奥村　謙（弘前大学　循環呼吸腎臓内科学講座）
演者：合屋　雅彦（小倉記念病院　循環器内科　アブレーション部）

LS-32　血圧変動性を考える　〈日本語〉
第11会場（パシフィコ横浜　会議センター　4F　413）
座長：苅尾　七臣（自治医科大学　内科学講座　循環器内科部門）
演者：阿部　雅紀（日本大学　腎臓高血圧内分泌内科）
梅本　誠治（山口大学　臨床試験支援センター）

LS-33　ARB のドラッグエフェクトを探る　〈日本語〉
第12会場（パシフィコ横浜　会議センター　4F　414+415）
座長：光山　勝慶（熊本大学　生命科学研究部　医学系生体機能薬理学）
演者：浦　信行（手稲渓仁会病院）

LS-34　心・腎保護のための高血圧治療戦略　〈日本語〉
第13会場（パシフィコ横浜　会議センター　4F　416+417）
座長：斎藤　能彦（奈良県立医科大学　第１内科学）
演者：田村　功一（横浜市立大学　循環器・腎臓内科学）
三浦伸一郎（福岡大学　心臓・血管内科学）

LS-35　オートセット CS による新たな心不全治療－ Real World からの考察－　〈日本語〉
第14会場（パシフィコ横浜　会議センター　4F　418）
座長：木原　康樹（広島大学　循環器内科学）
百村　伸一（自治医科大学さいたま医療センター　循環器科）
演者：安達　仁（群馬県立心臓血管センター　循環器内科、東京医科大学茨城医療センター　リハビリテーション科）
安斉　俊久（国立循環器病研究センター病院　心臓血管内科部門　心不全科）
岡山　英樹（愛媛県立中央病院　循環器病センター）

LS-36　循環器診断・治療で求められる CT とは～心臓 CT 課題点の克服に向け～　〈日本語〉
第15会場（パシフィコ横浜　会議センター　4F　419）
座長：栗林　幸夫（慶應義塾大学　放射線科学教室）
演者：吉岡　邦浩（岩手医科大学　放射線医学講座）
Joao A C Lima（Johns Hopkins Hospital）

LS-37　Catheter Ablation of Atrial Fibrillation …Lesson from The Re-, Re-, Re-do Procedure　〈日本語〉
第16会場（パシフィコ横浜　会議センター　5F　501）
座長：青沼　和隆（筑波大学　循環器内科学）
演者：Shih-Ann Chen（Department & Institute of Physiology, National Yang-Ming University, Taiwan）

LS-38　Dreams Become Reality: Abbott Vascular New-Generation DES and BVS Update　〈日本語〉
第17会場（パシフィコ横浜　会議センター　5F　502）
座長：木村　剛（京都大学　循環器内科）

演者：Marco Costa（Case Western Reserve University School of Medicine, USA）
田邉　健吾（三井記念病院　循環器内科）

LS-39　血流速度ベクトルを測って活かす！　〈日本語〉
第18会場（パシフィコ横浜　会議センター　５F　503）
座長：竹中　　克（東京大学　検査部）
演者：田中　智彦（株式会社日立製作所　中央研究所）
板谷　慶一（北里大学　血流解析学講座）
上嶋　徳久（心臓血管研究所）

LS-40　血管の機能～生体イメージングそして血管内皮～　〈日本語〉
第19会場（パシフィコ横浜　会議センター　５F　511+512）
座長：小室　一成（東京大学　循環器内科学）
演者：西村　　智（東京大学　循環器内科　システム疾患生命科学による先端医療技術開発拠点）
窪田　直人（東京大学　糖尿病・代謝内科　システム疾患生命科学による先端医療技術開発拠点）

LS-41　若手インターベンショナリストのための Medtronic DES 講座　〈日本語〉
第20会場（パシフィコ横浜　アネックスホール　２F　F201+F202）
座長：中村　正人（東邦大学医療センター大橋病院）
演者：中澤　　学（東海大学）
東條　大輝（北里大学）

LS-42　Heart Team Approach for TAVI　〈日本語〉
第21会場（パシフィコ横浜　アネックスホール　２F　F203+F204）
座長：一色　高明（帝京大学　循環器内科）
演者：Martyn Thomas（Clinical Director of Cardiology and Cardiothoracic Services, Department of Cardiology, St. Thomas' Hospital）

LS-43　Treatment of Obstructive and Central Sleep Apnea in Heart Failure：The ADVENT-HF Trial　〈日本語〉
第22会場（パシフィコ横浜　アネックスホール　２F　F205）
座長：下川　宏明（東北大学　循環器病態学分野）
演者：T. Douglas Bradley（University of Toronto, Canada）

LS-44　急性心筋梗塞における治療効果の判定　〈日本語〉
第23会場（パシフィコ横浜　アネックスホール　２F　F206）
座長：代田　浩之（順天堂大学　循環器内科）
演者：塚原　玲子（済生会横浜市東部病院　心臓血管センター）
佐久間　肇（三重大学　放射線医学教室）

学会２日目　３月16日（土）　19：00～20：00

FS-26　THE NATRIURETIC PEPTIDE SYSTEM AND THE ROLE OF NEPRILYSIN AS A THERAPEUTIC TARGET IN CARDIOVASCULAR DISEASE　〈日本語〉
第５会場（パシフィコ横浜　会議センター　３F　303）
座長：三浦　哲嗣（札幌医科大学　内科学第二講座）
演者：John C Burnett Jr（Cardiorenal Research Laboratory Mayo Clinic, USA）

FS-27　動脈硬化予防のための糖尿病治療～メトホルミンへの新たな期待を含めて～　〈日本語〉
第７会場（パシフィコ横浜　会議センター　３F　311+312）
座長：井上　晃男（獨協医科大学　心臓・血管内科）

演者：横手幸太郎（千葉大学　細胞治療内科学）

FS-28　虚血性心疾患の長期予後改善効果
脂質低下療法の意義と残存リスク　〈日本語〉
第８会場（パシフィコ横浜　会議センター　３F　313+314）
座長：室原　豊明（名古屋大学　循環器内科）
演者：宮内　克己（順天堂大学　循環器内科）

FS-29　冠攣縮の最新知見　〈日本語〉
第９会場（パシフィコ横浜　会議センター　３F　315）
座長：下川　宏明（東北大学　循環器内科学）
演者：海北　幸一（熊本大学　循環器内科学）
圓谷　隆治（東北大学　循環器内科学）

FS-30　心不全における利尿薬の使い方　〈日本語〉
第10会場（パシフィコ横浜　会議センター　４F　411+412）
座長：斎藤　能彦（奈良県立医科大学　第1内科学）
演者：増山　　理（兵庫医科大学内科学　循環器内科）

FS-31　変革する糖尿病薬物治療における SU 薬の位置づけ～大血管イベント管理を踏まえた血糖管理～
〈日本語〉
第12会場（パシフィコ横浜　会議センター　４F　414+415）
座長：内潟　安子（東京女子医科大学　糖尿病センター）
演者：小田原雅人（東京医科大学　内科学第三講座）

FS-32　PAD（末梢動脈疾患）Up date　〈日本語〉
第13会場（パシフィコ横浜　会議センター　４F　416+417）
座長：倉林　正彦（群馬大学　臓器病態内科学）
演者：東　　幸仁（広島大学原爆放射線医科学研究所　ゲノム障害医学研究センター
再生医科学部門）
中村　正人（東邦大学医療センター大橋病院　循環器内科）

FS-33　心不全と呼吸器感染症のクロストーク　〈日本語〉
第14会場（パシフィコ横浜　会議センター　４F　418）
座長・Overview：吉村　道博（東京慈恵会医科大学　内科学講座　循環器内科）
演者：佐藤　圭創（九州保健福祉大学　薬学部　臨床生化学講座）
門田　淳一（大分大学　総合内科学第二講座）

FS-34　心血管病におけるサプリメントの有効性について　〈日本語〉
第15会場（パシフィコ横浜　会議センター　４F　419）
座長：山口　　徹（虎の門病院）
演者：桜田　真己（所沢ハートセンター）
西川　英郎（三重ハートセンター）

FS-36　REVEAL: Registry to Evaluate Early and Long-Term PAH Disease Management　〈日本語〉
第17会場（パシフィコ横浜　会議センター　５F　502）
座長：福田　恵一（慶應義塾大学　循環器内科）
演者：Michael D. McGoon（Division of Cardiovascular Diseases, Department of Internal Medicine, Mayo Clinic, USA）

FS-37　血管内脳神経外科医の CAS～最新のデバイス＆テクニック～　〈日本語〉
第18会場（パシフィコ横浜　会議センター　５F　503）
座長：横井　宏佳（小倉記念病院　循環器内科）

演者：松本　康史（広南病院　血管内脳神経外科）

FS-38　心臓血管病の residual risk を考える：境界型と糖尿病　〈日本語〉
第20会場（パシフィコ横浜　アネックスホール　２Ｆ　F201+F202）
座長：安武　正弘（日本医科大学　循環器内科学）
演者：島袋　充生（徳島大学　ヘルスバイオサイエンス研究部　心臓血管病態医学分野）

FS-39　脂質異常症治療の最新の動向 - 映像でみる動脈硬化の新知見と異所性脂肪 -　〈日本語〉
第21会場（パシフィコ横浜　アネックスホール　２Ｆ　F203+F204）
座長：野出　孝一（佐賀大学　循環器内科）
演者：佐田　政隆（徳島大学　ヘルスバイオサイエンス研究部　循環器内科学分野）

学会２日目　３月16日（土）　19：00～20：30

FS-23　急性心不全治療におけるサムスカの役割　〈日本語〉
第２会場（パシフィコ横浜　会議センター　１Ｆ　メインホール）
座長：筒井　裕之（北海道大学　循環病態内科学）
演者：Mihai Gheorghiade（Northwestern University Feinberg School of Medicine）
加藤真帆人（日本大学　循環器内科学分野）
梶本　克也（浅草寺病院　循環器内科）

パネルディスカッション：猪又　孝元（北里大学　循環器内科学）
梶本　克也（浅草寺病院　循環器内科）
加藤　真帆人（日本大学　循環器内科学分野）
Mihai Gheorghiade（Northwestern University Feinberg School of Medicine）

FS-25　第74回冠循環談話会「心血管疾患における交感神経の役割 revisited」　〈日本語〉
第４会場（パシフィコ横浜　会議センター　３Ｆ　302）
座長：小室　一成（東京大学　循環器内科学）
演者：熊谷　裕生（防衛医科大学校　腎臓内分泌内科）
砂川　賢二（九州大学　循環器内科学）

FS-35　What we have found from high-sensitivity cardiac Troponin T measurements　〈日本語〉
第16会場（パシフィコ横浜　会議センター　５Ｆ　501）
座長：清野　精彦（日本医科大学　循環器内科学、日本医科大学千葉北総病院　循環器センター）
演者：Hugo A. Katus（Medical Department Ⅲ, Heidelberg University Hospital, Germany）
山科　　章（東京医科大学　第二内科（循環器内科））
蔦本　尚慶（豊郷病院）
佐藤　幸人（兵庫県立尼崎病院　循環器内科）

FS-40　Assessment of Endothelial Function in clinical practice.　〈日本語〉
第22会場（パシフィコ横浜　アネックスホール　２Ｆ　F205）
座長：Hisao Ogawa（Kumamoto University, Japan）
演者：Seigo Sugiyama（Kumamoto University, Japan）
Amir Lerman（Mayo Clinic, USA）

FS-41　虚血性心筋症における hANP の役割　〈日本語〉
第23会場（パシフィコ横浜　アネックスホール　２Ｆ　F206）
Opening remarks and Introduction：児玉　和久（大阪警察病院、尼崎中央病院　心臓血管センター、日本大学）
座長：児玉　和久（大阪警察病院、尼崎中央病院　心臓血管センター、日本大学）
平山　篤志（日本大学　循環器内科学分野）

コメンテーター：安村　良男（国立病院機構大阪医療センター　循環器内科）
坂田　泰史（大阪大学　循環器内科学）
症例呈示：中村　大輔（労働者健康福祉機構　大阪労災病院　循環器内科）
山中　祐子（渡辺医学会桜橋渡辺病院　心臓・血管センター）
演者：澤　芳樹（大阪大学　心臓血管外科学）
Closing Remarks：平山　篤志（日本大学　循環器内科学分野）

学会２日目　３月16日（土）　19：00～22：00

FS-24　4th MGH OCT Registry Symposium　〈日本語〉
第３会場（パシフィコ横浜　会議センター　３F　301）
座長：水野　杏一（日本医科大学　循環器・肝臓・老年総合病態部門）
Ik-Kyung Jang（Cardiology Division, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, USA）
Opening remarks and Introduction：水野　杏一（日本医科大学　循環器・肝臓・老年総合病態部門）
演者：James G. Fujimoto（Department of Electrical Engineering and Computer Science, Massachusetts Institute of Technology, USA）
米津　太志（マサチューセッツ総合病院　循環器科）
加藤　浩司（マサチューセッツ総合病院、ハーバード大学　循環器）
李　哲民（土浦協同病院　循環器センター　内科）
Renu Virmani（CV Path Institute, Inc., USA）
Ik-Kyung Jang（Cardiology Division, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, USA）
上村　史朗（奈良県立医科大学　第一内科）
Stephen Lee（Queen Mary Hospital, University of Hong Kong, Hong Kong）
中澤　学（東海大学）
Yangsoo Jang（Division of Cardiology, Severance Cardiovascular Hospital, Yonsei University Health System, Korea）
Ik-Kyung Jang（Cardiology Division, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, USA）

学会３日目　３月17日（日）　12：50～13：40

LS-45　Residual Risk を考慮した治療とは？～EPA・DHA への期待～　〈日本語〉
第２会場（パシフィコ横浜　会議センター　１F　メインホール）
座長：山下　静也（大阪大学　循環器内科学　総合地域医療学寄附講座）
演者：小田原雅人（東京医科大学　内科学第三講座）

LS-46　循環器医に必要な血液凝固の知識と抗血栓療法　〈日本語〉
第３会場（パシフィコ横浜　会議センター　３F　301）
座長：池田　宇一（信州大学　循環器内科学講座）
演者：家子　正裕（北海道医療大学　歯学部　内科学講座）
山下　武志（心臓血管研究所）

LS-47　Statin on Atherosclerosis　〈日本語〉
第４会場（パシフィコ横浜　会議センター　３F　302）
座長：野出　孝一（佐賀大学　循環器・腎臓内科学）
演者：Paul M. Ridker（Harvard Medical School, USA）

LS-48　「パーフェクト24時間血圧コントロール」
～ACHIEVE-ONE の最新成績と交感神経 Up-To-Date～　〈日本語〉
第５会場（パシフィコ横浜　会議センター　３F　303）
座長：檜垣　實男（愛媛大学）

演者：苅尾　七臣（自治医科大学　内科学講座　循環器内科学部門）

LS-49　～心不全治療 Update～アルドステロン受容体拮抗薬に期待される役割とは　〈日本語〉
第６会場（パシフィコ横浜　会議センター　３Ｆ　304）
座長：木原　康樹（広島大学　循環器内科学）
演者：百村　伸一（自治医科大学さいたま医療センター　循環器科）

LS-50　Fabry Cardiomyopathy: Early Detection and Intervention　〈日本語〉
第７会場（パシフィコ横浜　会議センター　３Ｆ　311+312）
座長：長谷部直幸（旭川医科大学　内科学講座　循環・呼吸・神経病態内科学分野）
演者：Frank Weidemann（Medical Clinic I, Department of Cardiology, University Hospital Würzburg, Germany）

LS-51　Updated ！血管内視鏡　〈日本語〉
第８会場（パシフィコ横浜　会議センター　３Ｆ　313+314）
座長：上野　高史（久留米大学　循環器病センター）
演者：粟田　政樹（関西労災病院　循環器内科）
澤田　隆弘（兵庫県立淡路病院　内科）

LS-52　心不全患者に対する新しい治療の可能性　〈日本語〉
第９会場（パシフィコ横浜　会議センター　３Ｆ　315）
座長：福田　恵一（慶應義塾大学　循環器内科）
演者：小室　一成（東京大学　循環器内科学）

LS-53　臨床研究から考える循環器バイオマーカー活用術　〈日本語〉
第10会場（パシフィコ横浜　会議センター　４Ｆ　411+412）
座長：下川　宏明（東北大学　循環器内科学）
演者：福本　義弘（東北大学　循環器内科学）
佐藤　幸人（兵庫県立尼崎病院　循環器内科）

LS-54　“最初のインスリン”から考える2型糖尿病の治療戦略～非専門医が活かす持効型インスリンの長所～　〈日本語〉
第11会場（パシフィコ横浜　会議センター　４Ｆ　413）
座長：室原　豊明（名古屋大学　循環器内科学）
演者：江藤　一弘（帝京大学　内科学講座）

LS-55　Cardio-Renal Anemia Syndrome　〈日本語〉
第12会場（パシフィコ横浜　会議センター　４Ｆ　414+415）
座長：佐藤　直樹（日本医科大学武蔵小杉病院　内科・循環器内科）
演者：常喜　信彦（東邦大学医療センター大橋病院　腎臓内科）
梶本　克也（浅草寺病院　循環器内科）

LS-56　大血管疾患予防を目的とした、脂質および血糖に対する包括的な管理　〈日本語〉
第13会場（パシフィコ横浜　会議センター　４Ｆ　416+417）
座長：朔　啓二郎（福岡大学　心臓・血管内科学）
演者：坂本　昌也（東京慈恵会医科大学　糖尿病・代謝・内分泌内科）
島田　和典（順天堂大学　循環器内科）

LS-57　「Cardio Renal Syndrome の病態に迫る」～インドキシル硫酸を知って心腎連関を断つ～〈日本語〉
第14会場（パシフィコ横浜　会議センター　４Ｆ　418）
座長：筒井　裕之（北海道大学　循環病態内科学）
演者：佐田　政隆（徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究部　循環器内科学）

LS-58　心血管イベント抑制のための糖尿病治療戦略　〈日本語〉
第15会場（パシフィコ横浜　会議センター　4Ｆ　419）
座長：山崎　　力（東京大学　臨床研究支援センター・検診部）
演者：岡田　洋右（産業医科大学　第一内科学講座）
横井　宏佳（小倉記念病院　循環器内科）

LS-59　スタチンを改めて考える Vascular protection と Cardio protection　〈日本語〉
第16会場（パシフィコ横浜　会議センター　5Ｆ　501）
座長：山岸　正和（金沢大学　臓器機能制御学・循環器内科）
演者：石井　秀樹（名古屋大学　循環器内科学）
Roberta A. Gottlieb（Donald P. Shiley BioScience Center, Aztec Bioinnovation Institute,Frederick G. Henry Endowed Chair in the Life Sciences, San Diego State University, USA）

LS-60　心房細動管理における抗凝固療法の最新の話題　〈日本語〉
第17会場（パシフィコ横浜　会議センター　5Ｆ　502）
座長：三田村秀雄（立川病院）
演者：内藤　滋人（群馬県立心臓血管センター　循環器内科第二）
Stuart J. Connolly（McMaster University Hamilton Health Sciences Population Health Research Institute）

LS-61　Apixaban for Stroke Prevention in Patients with AF　〈日本語〉
第18会場（パシフィコ横浜　会議センター　5Ｆ　503）
座長：井上　　博（富山大学　内科学第二）
演者：John H. Alexander（Cardiology, CV Research Duke Clinical Research Institute）

LS-62　心臓血管病リスクを減らす糖尿病・食後高血糖の治療：最近の考え方　〈日本語〉
第19会場（パシフィコ横浜　会議センター　5Ｆ　511+512）
座長：平山　篤志（日本大学　循環器内科学分野）
演者：島袋　充生（徳島大学　ヘルスバイオサイエンス研究部　心臓血管病態医学分野）

LS-63　冠攣縮性狭心症の診断と治療　その課題と展望まで　〈日本語〉
第20会場（パシフィコ横浜　アネックスホール　2Ｆ　F201+F202）
座長：小川　久雄（熊本大学　生命科学研究部　循環器内科学、国立循環器病研究センター）
演者：末田　章三（愛媛県立新居浜病院　循環器科）
海北　幸一（熊本大学　生命科学研究部　循環器内科学）

LS-64　日本人に適した降圧薬とは？～食塩感受性を考慮した高血圧治療の考え方～　〈日本語〉
第21会場（パシフィコ横浜　アネックスホール　2Ｆ　F203+F204）
座長：楽木　宏実（大阪大学　老年・腎臓内科学）
演者：森下　竜一（大阪大学　臨床遺伝子治療学）

LS-65　New generation of Irrigated Radiofreguency Ablation Catheter　〈日本語〉
第22会場（パシフィコ横浜　アネックスホール　2Ｆ　F205）
座長：家坂　義人（土浦協同病院　循環器センター内科）
演者：中川　　博（Heart Rhythm Institute University of Oklahoma Health Science Center, USA）

LS-66　β遮断薬の魅力を探る
A Keen Impact of Beta-blocker Therapy for the Reduction of Cardiovascular Burden〈日本語〉

第23会場（パシフィコ横浜　アネックスホール　２Ｆ　F206）

座長：北風　政史（国立循環器病研究センター　臨床研究部・心臓血管内科）

演者：北風　政史（国立循環器病研究センター　臨床研究部・心臓血管内科）

坂本　篤裕（日本医科大学　疼痛制御麻酔科学分野）

プレレジストレーションのお知らせ

第77回学術集会では、参加登録、教育セッション、ランチョン・ファイアサイドセミナーのプレレジストレーションを行います。（国内参加者のみ）
第77回学術集会ホームページ「プレレジストレーション」ページからご登録ください。
http://www2.convention.co.jp/jcs2013/japan/prereji/index.html
教育セッション、ランチョン・ファイアサイドセミナーのみのプレレジストレーションはできません。

受付期間

参加登録 ▶ 2012年11月1日[木]～2013年2月22日[金] 17:00まで

教育セッション ▶ 2012年11月1日[木]～2013年2月28日[木] 17:00まで
※参加登録時に合わせてお申し込みください（学術集会本体の参加登録が必須となります）。
参加が未定の場合は、2013年2月28日（木）までに追加でお申し込みください。

ランチョン・ファイアサイドセミナー ▶ 2013年1月中旬～2013年2月28日[木] 17:00まで
※学術集会参加登録後、上記期間内にてお申し込みいただけます。

参加登録費

参加区分	参加費（事前）	参加費（当日）	必要な提示物	配布物	備考
日本循環器学会会員 ※	**15,000円**	20,000円	—	プログラム 抄録CD	プログラム、抄録CDは本会より事前配布
非会員医師および医療関係者	**15,000円**	20,000円	—	—	—
コメディカル	当日登録のみ	7,000円	所定の証明書	プログラム コメディカルセッションプログラム・抄録集	コメディカル以外のセッションも聴講可能
研修医（前期）		無料	所定の証明書	プログラム	—
学部学生		無料	学生証	プログラム	—
海外参加者（日本からの留学生は除く）		5,000円	—	プログラム 抄録CD	—
在日留学生		5,000円	所定の証明書	プログラム 抄録CD	—

※参加区分「日本循環器学会会員」の参加費15,000円（当日20,000円）に消費税はかかりません。（不課税）

コメディカル、研修医（前期）、留学生の登録

・プレレジストレーションは「日本循環器学会会員」、「非会員医師および医療関係者」のみを対象とさせていただきます。
コメディカル、研修医（前期）、学部学生、海外参加者、留学生は会期当日に受付を行ってください。
・コメディカル、研修医（前期）、留学生は所定の証明書の提示が必要です。証明書は下記ページよりダウンロードしてください。
http://www2.convention.co.jp/jcs2013/japan/prereji/index.html

教育セッション

・参加費は2,000円です。教育セッションは、2013年2月28日（木）17:00までお申し込みが可能です。
・お申し込み後の返金はできませんので、登録の際はご注意ください。
・教育セッションの内容については下記ページをご参照ください。
http://www2.convention.co.jp/jcs2013/japan/kyouiku/index.html

ランチョン・ファイアサイドセミナー

・プレレジストレーション後に届く「プレレジストレーション完了自動配信メール」に登録内容の確認画面・登録確認書ダウンロード画面のログインURLが記載されております。
・ログイン後、期間内（2013年1月中旬～2013年2月28日（木）17:00まで）にお申し込みください。
・プレレジストレーションをされた方のランチョン・ファイアサイドセミナーのチケットは、ネームカードと同時に発行いたします。

専門医研修単位登録

・専門医研修単位登録については、学術集会の会期中に、各単位登録受付にてご登録ください。
・プレレジストレーションを行った場合でも、必ず学術集会会場内「単位登録受付」でのご登録が必要です。

プレレジストレーション登録方法と学会当日までの流れ

学術集会HP「プレレジストレーション」にアクセス
http://www2.convention.co.jp/jcs2013/japan/prereji/index.html

▼

登録画面に必要事項を入力

▼

登録内容を確認後、オンラインにて参加費をお支払い（クレジットカードのみ）

▼

IDとしてご登録のE-mailアドレスに「プレレジストレーション完了メール」が到着
★ご案内の登録確認画面より「登録確認書」をダウンロード・印刷してください。

▼

（2月初旬）

▼

ランチョン・ファイアサイドセミナープレレジストレーション開始
★登録確認画面より、参加登録時に使用したIDとパスワードにてログインの上お申し込みください。

（学術集会当日）

学術集会当日は、ご自身でダウンロード・印刷いただいた「登録確認書」をお持ちください。
自動発券機（CARM）より、ネームカード・教育セッションチケット（お申し込みの方のみ）・領収書・ランチョン・ファイアサイドセミナーチケット（お申し込みの方のみ）が発行されます。

プレレジストレーション時の注意点

◎　プレレジストレーション完了メールの自動配信･その他のご連絡はすべてE-mailで行います。
必ず連絡先として使用されるE-mailアドレスをご入力ください。

◎　E-mailアドレスがログインIDとなります。
個人情報登録完了メールにログインIDが記載されますので、ご自身で保管してください。

◎　参加費の払い戻しはできません。二重登録にご注意ください。

◎　登録内容に変更がある場合は、下記登録事務局までE-mailまたはFAXの書面にてご連絡ください。

◎　事前の団体登録は受付いたしません。

◎　領収書は、原則、学術集会会期中に発行いたします。

プレレジストレーションに関するお問い合せ先

第77回日本循環器学会学術集会参加登録事務局

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-2 興信ビル2F
TEL：03-3508-1253（受付時間：平日10時より17時半まで）
FAX：03-5283-5952
E-mail：reg-jcs2013@convention.co.jp

コメディカルセッション開催要項

〈コメディカルセッション概要〉

第77回日本循環器学会学術集会では，コメディカルの方を対象としたセッションを会期中に３日間行います．コメディカルの方が中心となる一般演題(口述・ポスター)，４つのシンポジウム，そして専門家による５つの教育講演がございます．なお，一般演題(口述)において優秀演題を選定し，授賞式において賞の贈呈を行います．

多数のご参加をお待ち申し上げます．

参加資格

コメディカルスタッフ(看護師，薬剤師，臨床工学技士，臨床検査技師，栄養士，療法士，救急救命士，医療ソーシャルワーカー，診療放射線技師，その他)

※日本循環器学会の会員でなくても参加ができます．

参 加 費

7,000円(所定の証明書の提示が必要です)

※コメディカルセッション以外の第77回日本循環器学会学術集会のセッションにもご参加いただけます．

【教育講演】

１．画像診断の最新テクノロジー

(学会１日目　３月15日(金)11：10～12：40　第20会場　アネックス２階　F201+F202)

座長：吉岡　邦浩（岩手医科大学循環器放射線科）
本間　　博（日本医科大学循環器内科）

（１）冠動脈 CT―低侵襲診断の現状と進歩
田中　良一（岩手医科大学放射線医学講座）

（２）3D＆4D　MRI 技術を用いた心血管病変へのアプローチ
天野　康雄（日本医科大学放射線科）

（３）心臓核医学検査の動向
東野　　博（松山ハートセンターよつば循環器科クリニック画像診断センター）

（４）3D エコー update，形態から機能へ
安河内　聰（長野県立こども病院循環器小児科）

２．臨床試験の基礎知識

(学会２日目　３月16日(土) 8：30～10：00　第20会場　アネックス２階　F201+F202)

座長：楠岡　英雄（大阪医療センター循環器科）
土井　　香（国立循環器病研究センター看護部／臨床研究部）

（１）臨床試験の ABC
渡邉　裕司（浜松医科大学臨床薬理学・臨床薬理内科）

（２）人を対象とする研究における倫理
松井　健志（国立循環器病研究センター／研究倫理研究室）

（３）看護師による臨床試験の課題と展望
～高齢心不全患者を対象とした多職種による包括的ケアに関する介入研究からみえたこと～
荻田美穂子（京都光華女子大学健康科学部看護学科）

３．震災慢性期―復興期の心不全予防介入の緊急性・重要性

(学会２日目　３月16日(土)17：20～18：50　第20会場　アネックス２階　F201+F202)

座長：福本　義弘（東北大学循環器内科学）
吉田　俊子（宮城大学看護学部）

（１）心不全の増加の現状と今後の課題について
福本　義弘（東北大学循環器内科学）

（２）大震災が心血管に与える影響とリスク管理～阪神淡路の教訓から～
石田　岳史（さいたま市民医療センター内科）

（３）被災地の仮設入居者の健康課題
佐々木久美子(宮城大学看護学部地域看護学)

（4） 災害急性期から在宅へつなぐ看護支援～東日本大震災を経験して～
瀬戸　初江（東北厚生年金病院看護局）
（5） 災害復興期に向けての健康課題
酒井　明子（福井大学看護学科）

4．遠隔モニタリングの可能性・自己管理への支援
（学会３日目　３月17日（日）8：30～10：00　第20会場　アネックス２階　F201+F202）
座長：西井　伸洋（岡山大学循環器内科）
三浦稚郁子（榊原記念病院）
（1） 遠隔医療の現状と展望
酒巻　哲夫（群馬大学医療情報部）
（2） 遠隔モニタリングによる植込み型ペーシングデバイス患者管理
真中　哲之（東京女子医科大学循環器内科）
（3） 遠隔モニタリングをいかにチーム医療で運用するか？～自己管理支援に向けた課題～
前田　明子（杏林大学不整脈センター）

5．血管疾患診療に活かす超音波検査
（学会３日目　３月17日（日）11：10～12：40　第20会場　アネックス２階　F201+F202）
座長：松尾　　汎（松尾クリニック・松尾血管超音波研究室）
山本　哲也（埼玉医科大学国際医療センター）
（1） 腎動脈エコー
三木　　俊（東北大学病院生理検査センター）
（2） 腹部・下肢動脈エコー
八鍬　恒芳（東邦大学医療センター大森病院臨床生理機能検査部）
（3） 下肢静脈エコー
山本　哲也（埼玉医科大学国際医療センター）

【シンポジウム】

1．循環器疾患患者への服薬指導・服薬管理
（学会２日目　３月16日（土）11：10～12：40　第20会場　アネックス２階　F201+F202）
座長：長谷川純一（鳥取大学臨床薬理学）
谷川原祐介（慶應義塾大学臨床薬剤学教室）
（1） 薬物の特徴に応じた有害事象回避のための服薬指導
芦川　直也（岐阜ハートセンター薬局）
（2） 高血圧患者の服薬アドヒアランス尺度とアドヒアランスを規定する因子
嶌田　理佳（名古屋市立大学クリティカルケア看護学）
（3） ヘルスリテラシーに着目した新たな服薬行動支援プログラムの開発
松岡　志帆（東京女子医科大学看護学部）
（4） 災害時医療における服薬指導・服薬管理について～被災地石巻からの報告～
丹野　佳郎（石巻薬剤師会）

2．心臓リハビリテーションにおける運動療法の効果判定
（学会２日目　３月16日（土）14：40～16：10　第20会場　アネックス２階　F201+F202）
座長：大宮　一人（聖マリアンナ医科大学循環器内科）
田嶋　明彦（埼玉県立大学保健医療福祉学部）
（1） 心筋梗塞患者における運動療法効果
柳　　英利（新座志木中央総合病院リハビリテーション科）
（2） デバイス植込み術後患者の心臓リハビリにおける身体活動量評価の有用性
棟近　麻衣（京都府立医科大学附属病院リハビリテーション部）
（3） 血管リハビリテーションの効果判定
和田　敏裕（城北病院理学療法部）
（4） 慢性心不全患者の退院時における６分間歩行距離は心不全による再入院を予測する指標となる
田畑　　稔（北里大学医療系研究科）
（5） 肺高血圧症患者における６分間歩行試験の利点と問題点
安藤　可織（岡山医療センターリハビリテーション科）

（6） 運動療法の効果判定における各種心肺運動負荷試験指標の生理学的特徴とその解釈
前田　知子（榊原記念病院）

3．PAD 末梢血管疾患の治療と管理
（学会３日目　３月17日（日）13：50～15：20　第20会場　アネックス２階　F201+F202）
座長：宮本　正章（日本医科大学再生医療科）
真田　弘美（東京大学創傷看護学）
（1） レーザ血流計による下肢血流リアルタイムモニタリングを活用した CLI に対するペリフェラルインターベンション（PPI）の実際
塩田　裕啓（丸太町病院 CE 部）
（2） 糖尿病患者における深い足部亀裂に関する要因の検討
大江　真琴（東京大学老年看護学・創傷看護学）
（3） 治療抵抗性末梢動脈疾患（PAD）に対する事故骨髄幹細胞による血管再生療法の効果，適応と問題点
桐木-市川園子（日本医科大学再生医療科）
（4） 末梢動脈疾患治療におけるコメディカルの役割
芳賀沼亮二（城北病院看護部）
（5） 再生医療後のリハビリテーションの試み～運動療法・装具療法・物理療法～
山端　志保（京都府立医科大学リハビリテーション部）

4．ハイブリッド治療時代のコメディカルのコラボレーション
（学会３日目　３月17日（日）16：30～18：00　第20会場　アネックス２階　F201+F202）
座長：倉谷　　徹（大阪大学低侵襲循環器医療学）
志水　秀行（慶應義塾大学心臓血管外科）
（1） ステントグラフト手術にコメディカルがどこまで関われるか～臨床工学技士というデバイス～
北村　雅良（ツカザキ病院臨床工学科）
（2） ステント内挿術時における ME の役割について
茂田　　綾（慶應義塾大学医用工学センター）
（3） 移動型Ｃアーム装置を使用したステントグラフト内挿術における診療放射線技師の役割
濱田　智広（大分大学医療技術部放射線部門）
（4） ハイブリッド治療における臨床工学技士の役割と課題
新　美保子（帝京大学 ME 部）
（5） ハイブリット手術室での役割
渡辺　　猛（三井記念病院 ME センター）
（6） ハイブリット手術室におけるカテーテル室看護師と手術室看護師の役割と連携に関して
輪島　卓人（榊原記念病院）
（7） 経皮的大動脈弁置換術（TAVR）における放射線技師の役割
柳川　康洋（大阪大学医療技術部放射線部門）

【コメディカル賞審査講演会】

第３回コメディカル賞審査講演会
（学会１日目　３月15日（金）13：50～15：20　第20会場　アネックス２階　F201+F202）
座長：伊藤　　浩（岡山大学大学院循環器内科学）
荒井　秀典（京都大学人間健康科学系専攻）
（1） ICD 患者の QOL と患者属性との関係性
宮園　真美（九州大学保健学部門）
（2） 心不全患者の生命予後と栄養関連指標（GNRI）の関係について
櫻田　弘治（心臓血管研究所リハビリテーション室）
（3） 心不全入院患者の再入院を予測する因子の検討～CONUT を用いた栄養評価の重要性～
田中　佑樹（徳島県立中央病院医療技術局検査技術科）
（4） 流体解析ソフトを用いた FFR CT および血流解析の基礎検討
高橋　正司（県立広島病院放射線診断科）
（5） 心室期外収縮（VPC）の３方向心磁図パターンの検討
稲葉　　武（筑波大学検査部）

（６） 肺動脈性肺高血圧症患者のボセンタン治療評価に対する心肺運動負荷試験の有用性～投与開始１週間後の運動耐容能評価の検討～
坪井　康典（神戸大学リハビリテーション部）

【一般演題(口述・ポスター)】

１．事例・症例報告
２．看護(急性期)
３．看護(慢性期)
４．薬剤・薬物療法
５．食事指導・栄養管理
６．患者教育・カウンセリング
７．侵襲検査・治療
８．非侵襲検査・エコー
９．画像診断(CT, MR, RI)
10. 放射線防護
11. 不整脈・アブレーション
12. リハビリテーション・身体活動
13. 心肺運動負荷試験
14. 血液浄化・補助循環・呼吸管理
15. クリティカルパス
16. チーム医療
17. 医療倫理・医療安全
18. 医療専門職の教育
19. 救命救急・災害医療
20. その他

学術集会問合せ先のご案内

第77回日本循環器学会学術集会ホームページ **http://www2.convention.co.jp/jcs2013/** を開設しております．演題応募や学術集会プログラムの確認などにご利用ください．本会ホームページからもリンクしております．

1．採否通知

2012年11月30日（金）から，採択された演題の登録番号，採択演題名，筆頭演者：名をホームページでカテゴリー別に掲示しておりますので，各自ご確認ください．

2．国内演者の資格

国内演者は，演題応募の時点で共同演者を含む全員が本学会会員であり，かつ2012年度会費納入者であることが必要です．入会をご希望の方は，必要な書類を事務局より送付いたしますので，下記までFax又はホームページのいずれかにて請求してください．なお，入会は，入会申込書の提出と入会金2,000円，および2012年度会費15,000円（支部年会費含む）のお振込みをもって完了します．

（一社）日本循環器学会事務局
〒100-0011
東京都千代田区内幸町1-1-1
帝国ホテルタワー18F
TEL: 03-5501-0861
FAX: 03-5501-9855
E-mail: admin@j-circ.or.jp

ホームページ http://www.j-circ.or.jp の「ご入会案内」に入会申込書請求の入力フォームがありますのでご利用ください．

3．演題取り下げについて

演題の取り消しは，会期初日の２ヶ月前（2013/1/15）までに連絡があった場合に限り受理します．以後（2013/1/16～）については，発表業績として取り扱うとし，取り消しはいたしかねます．

4．その他

第77回学術集会のプログラム・運営などに関するお問い合わせは，運営準備室までE-mailまたはFaxにてご連絡ください．

第77回日本循環器学会学術集会　運営準備室
（日本コンベンションサービス株式会社）
TEL: 03-3508-1726
FAX: 03-3508-1302
E-mail: jcs2013@convention.co.jp

第78回日本循環器学会学術集会（JCS2014）

会　期：2014年３月21日（金）～23日（日）
会　長：永井　良三（自治医科大学）
会　場：東京国際フォーラム，JP タワー，東京商工会議所（東京都）

メインテーマ：情報爆発とネットワーク時代の循環器病学
Cardiology in the information era: from bench to community

1．美甘レクチャー（予定）
Eric N. Olson（UT Southwestern, USA）

2．真下記念講演（予定）
谷口　維紹（東京大学生産技術研究所）

3．特別講演（予定）
Harry Dietz（Johns Hopkins University School of Medicine, Institute of Genetic Medicine, USA）
Kenneth Walsh（Boston University, USA）
Peter Libby（Harvard Medical School, USA）
Christine Seidman（Department of Genetics, Harvard Medical School, USA）
Stefanie Dimmeler（University of Frankfurt, Germany）
Bruce Spiegelman（Harvard University, USA）
Randall S. Johnson（University of Pennsylvania, USA / Cambridge, UK）
E Dale Abel（University of Utah, USA）
Bryan Williams（Department of Cardiovascular Sciences, University of Leicester, UK）
Damien Garcia（Department Of Radiology, Faculty of Medicine, University of Montreal, Canada）
Saibal Kar（Cardiology Division, Department of Medicine, Cedars-Sinai Medical Center, USA）
Jun Wang（Beijing Genomics Institute, China）
Michel Komajda（Department of Cardiology, Pitie Salpetriere Hospital, France）
Gerd Hasenfuss（University of Goettingen, Germany）

4．会長特別企画（予定）
我が国の地域医療の新展開にむけて
　永井　良三（自治医科大学）
　尾身　　茂（年金・健康保険福祉施設整理機構）
アジアからのエビデンス
　苅尾　七臣（自治医科大学循環器内科学）
　木村　　剛（京都大学医学部附属病院循環器内科）
循環器病ナショナルデータベース
　小川　久雄（熊本大学循環器内科学）
　髙本　眞一（三井記念病院）
医療の機能分担と連携
　前原　正明（防衛医科大学校第二外科）
　山口　　徹（虎の門病院）
ゲノム科学の新展開
　油谷　浩幸（東京大学先端科学技術研究センター）
　宮野　　悟（東京大学医科学研究所）

5．市民公開講座テーマ（予定）
心臓病とともに生きる

編集委員長からのメッセージ

Circ J Vol. 77 No. 2 掲載

Editorial Statistics and Best Reviewers Award for 2012

Hiroaki Shimokawa, MD, PhD

Dear Colleagues,

On behalf of the *Circulation Journal*, I am pleased to announce the editorial statistics for 2012, and the recipients of the Best Reviewers Awards for 2012.

1. Editorial statistics for 2012

As shown in **Figure 1**, we received **1,610** manuscripts in 2012, the highest number on record, for publication in the Journal, including 1,329 original papers (1,109 clinical and 220 experimental), 40 invited review articles, 74 invited editorials, 38 rapid communications, 101 images in cardiovascular medicine, and 2 controversies in cardiovascular medicine. Among them, 44% were submitted from Japan, followed by China, Korea, Taiwan, the U.S.A. and Turkey (**Figure 2**). For the last 12 years, the number of submissions has been steadily increasing even after we terminated publication of case reports in October 2008 and the East Japan Earthquake Disaster

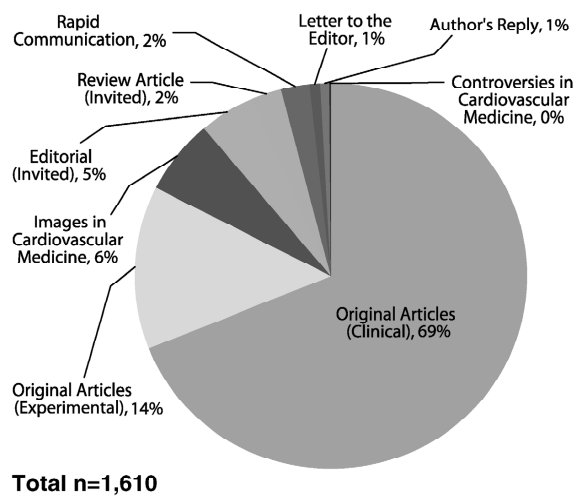


Figure 1. The details of manuscripts submitted in 2012.

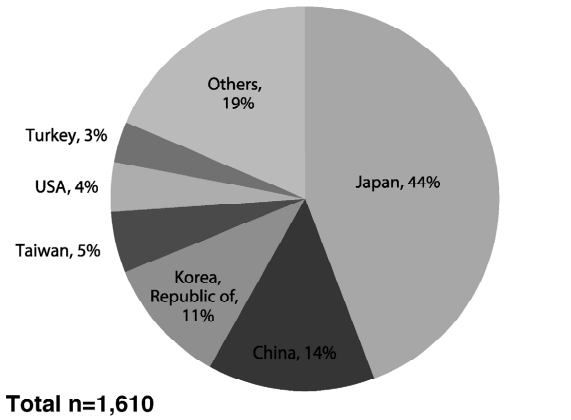


Figure 2. Countries submitting manuscripts in 2012.

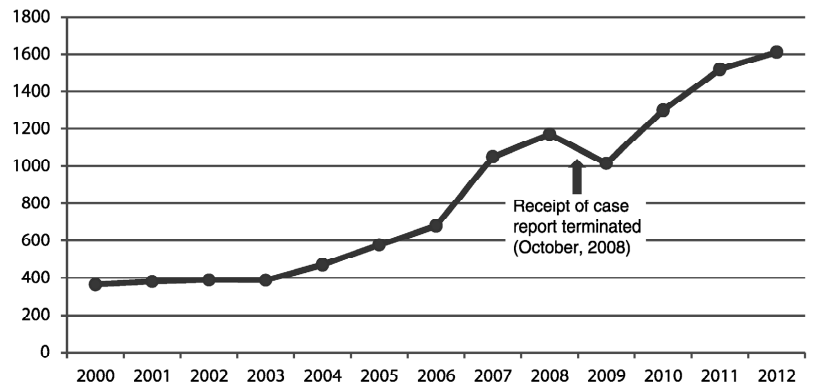


Figure 3. The total number of submissions for the last 13 years.

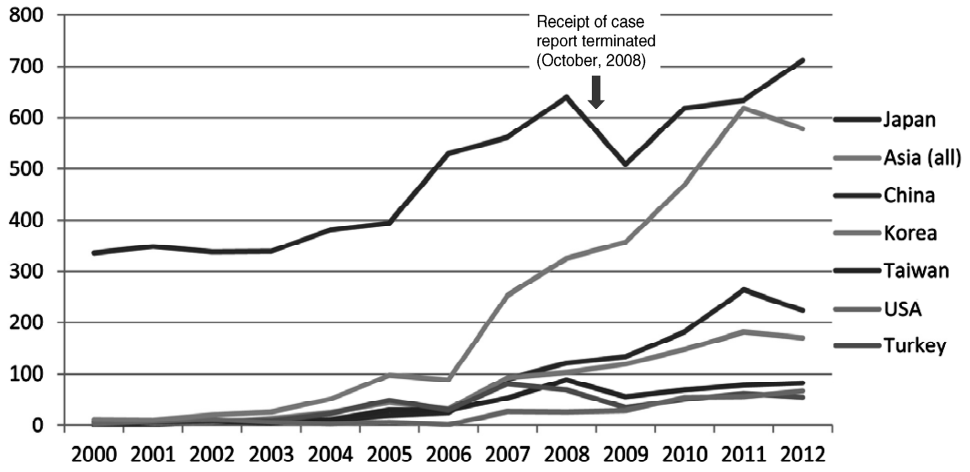


Figure 4. The number of submissions for the last 13 years in top 6 countries. Asia (All): all Asian countries except Japan.

(**Figure 3**). The abovementioned 6 countries have remained the top 6 countries in terms of paper submissions over that period (**Figure 4**). The acceptance rate for original manuscripts in 2012 was approximately **17%**.

2. Best Reviewers Awards for 2012

In 2012, a total of 1,072 reviewers kindly reviewed the manuscripts submitted. In appreciation of their valuable contributions, we have selected the 20 Best Reviewers of the Year 2012 as follows:

Osamu Tsukamoto, MD
(Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka)

Number of reviews: 47
RPS: 292.0

Hiroshi Asanuma, MD
(Kyoto Prefectural University School of Medicine, Kyoto)

Number of reviews: 41
RPS: 243.4
Previous awards: 2009, 2010, 2011

Shoji Sanada, MD
(Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka)

Number of reviews: 34
RPS: 211.6
Previous awards: 2008, 2009, 2010, 2011

Kazuhiro Yamamoto, MD
(Tottori University, Tottori)

Number of reviews: 22
RPS: 126.5
Previous awards: 2008, 2010, 2011

Hideki Ishii, MD
(Nagoya University Graduate School of Medicine, Aichi)

Number of reviews: 17
RPS: 102.0
Previous awards: 2008, 2011

Akira Fujiki, MD
(Shizuoka Red Cross Hospital, Shizuoka)

Number of reviews: 17
RPS: 100.7
Previous awards: 2009, 2010, 2011

Koichi Kaikita, MD
(Kumamoto University, Kumamoto)

Number of reviews: 15
RPS: 79.4

Paul Schoenhagen, MD
(Cleveland Clinic, USA)

Number of reviews: 11
RPS: 76.0
Previous awards: 2011

Tetsushi Furukawa, MD
(Tokyo Medical and Dental University, Tokyo)

Number of reviews: 13
RPS: 74.8
Previous awards: 2009, 2011

Shinichi Niwano, MD
(Kitasato University School of Medicine, Kanagawa)

Number of reviews: 13
RPS: 73.0
Previous awards: 2009, 2010, 2011

Toru Maruyama, MD
(Kyushu University, Fukuoka)

Number of reviews: 11
RPS: 72.3

Hisashi Kai, MD
(Kurume University, Fukuoka)

Number of reviews: 12
RPS: 71.7
Previous awards: 2011

Yoshihiro Seo, MD
(University of Tsukuba, Ibaraki)

Number of reviews: 12
RPS: 69.0

Kengo Fukushima Kusano, MD
(Okayama University, Okayama)

Number of reviews: 15
RPS: 64.3

Masafumi Takahashi, MD
(Jichi Medical University, Tochigi)

Number of reviews: 9
RPS: 64.0

Naohiko Takahashi, MD
(Oita University, Oita)

Number of reviews: 9
RPS: 64.0
Previous awards: 2011

Shin-ichi Ando, MD
(Kyushu University Hospital, Fukuoka)

Number of reviews: 11
RPS: 63.2

Masami Kosuge, MD
(Yokohama City University Medical Center, Kanagawa)

Number of reviews: 12
RPS: 61.6
Previous awards: 2008

Masato Tsutsui, MD
(University of the Ryukyus, Okinawa)

Number of reviews: 9
RPS: 61.0

Hiroshi Tada, MD
(University of Fukui, Fukui)

Number of reviews: 13
RPS: 60.0

*__The Reviewer Performance Score (RPS)__ is determined as follows for reviewers who made at least 6 reviews in 2012 (review time limit, 14 days):

*__RPS__ = [(Number of reviews completed within 1 week) × 2 + (number of reviews completed within 2 weeks) × 1 + (number of reviews completed within 3 weeks) × 0.2] × quality of review (average) − (number of declined reviews) + (number of editorial comments published in the Journal) × 10.

The review quality of reviewers was evaluated for each manuscript by an Associate Editor who was in charge of the manuscript (range: 1~3) and the average score used.

The above Reviewers will be awarded by the Japanese Circulation Society with a Certificate of Achievement and an honorarium.

In the year ahead in 2013, we expect a steady increase in the number of submissions, as well as an increase in the scientific impact of the Journal.

Hiroaki Shimokawa, MD, PhD
Editor-in-Chief
Circulation Journal
(Released online January 18, 2013)

Circ J Vol. 77 No. 3 掲載

Circulation Journal Awards for the Year 2012

Hiroaki Shimokawa, MD, PhD

Dear Colleagues,

On behalf of the Editorial Team of *Circulation Journal*, I am pleased to announce the *Circulation Journal* Awards for the Year 2012.

The aim of these Awards is to recognize papers published in 2012, both clinical and experimental studies, that were highly appreciated by the Editorial Team. The selection process comprises 2 steps. In the first step, from 290 original papers published in the Journal in 2012, our 33 Japanese Associate Editors selected papers with a high scientific level in their respective fields, and in the second step, the 2 Associate Editorial Teams (16 on 1 team and 17 on the other) further evaluated the selected papers in terms of originality, contribution to cardiovascular science, manner of paper preparation, and future possibilities.

In the year of 2012, the following 4 papers have been selected for the *Circulation Journal* Awards.

< First Place in the Clinical Investigation Section >

Neurological Benefit of Therapeutic Hypothermia Following Return of Spontaneous Circulation for Out-of-Hospital Non-Shockable Cardiac Arrest

Taketomo Soga, Ken Nagao, Hirotaka Sawano, Hiroyuki Yokoyama, Yoshio Tahara, Mamoru Hase, Takayuki Otani, Shinichi Shirai, Hiroshi Hazui, Hideki Arimoto, Kazunori Kashiwase, Shunji Kasaoka, Tomokazu Motomura, Yasuhiro Kuroda, Yuji Yasuga, Naohiro Yonemoto, Hiroshi Nonogi for the J-PULSE-Hypo Investigators

(Department of Cardiology, Cardiopulmonary Resuscitation and Emergency Cardiovascular Care, Surugadai Nihon University Hospital, Tokyo; Senri Critical Care Medical Center, Saiseikai Senri Hospital, Suita; National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita; Critical Care and Emergency Medical Center, Yokohama City University Medical Center, Yokohama; Emergency and Critical Care Center, Sapporo City University Hospital, Sapporo; Hiroshima City Hospital, Hiroshima; Division of Cardiology, Kokura Memorial Hospital, Kokura; Emergency Medicine, Osaka Mishima Emergency and Critical Care Center, Osaka; Emergency and Critical Care Medical Center, Osaka City General Hospital, Osaka; Division of Cardiology, Osaka Police Hospital, Osaka; Advanced Medical Emergency and Critical Care Center, Yamaguchi University Hospital, Ube; Department of Emergency Medicine, Saga University Hospital, Saga; Emergency and Critical Care Center, Kagawa University Hospital, Kagawa; Department of Cardiology, Sumitomo Hospital, Osaka; and Department of Epidemiology and Biostatistics, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan)

Background: Although therapeutic hypothermia is an effective therapy for comatose adults experiencing out-of-hospital shockable cardiac arrest, there is insufficient evidence that is also applicable for those with out-of-hospital non-shockable cardiac arrest.

Methods and Results: Of 452 comatose adults treated with therapeutic hypothermia after return of spontaneous circulation (ROSC) subsequent to an out-of-hospital cardiac arrest of cardiac etiology, 372 who had a bystander-witnessed cardiac arrest, target core temperature of 32–34°C and cooling duration of 12–72 h were eligible for this study (75 cases of non-shockable cardiac arrest, 297 cases of shockable cardiac arrest). The median collapse-to-ROSC interval was significantly longer in the non-shockable group than in the shockable group (30 min vs. 22 min, P=0.008), resulting in a significantly lower frequency of 30-day favorable neurological outcome in the non-shockable group compared with the shockable group (32% vs. 66%, P<0.001). However, an analysis of data in quartiles assigned to varying lengths of

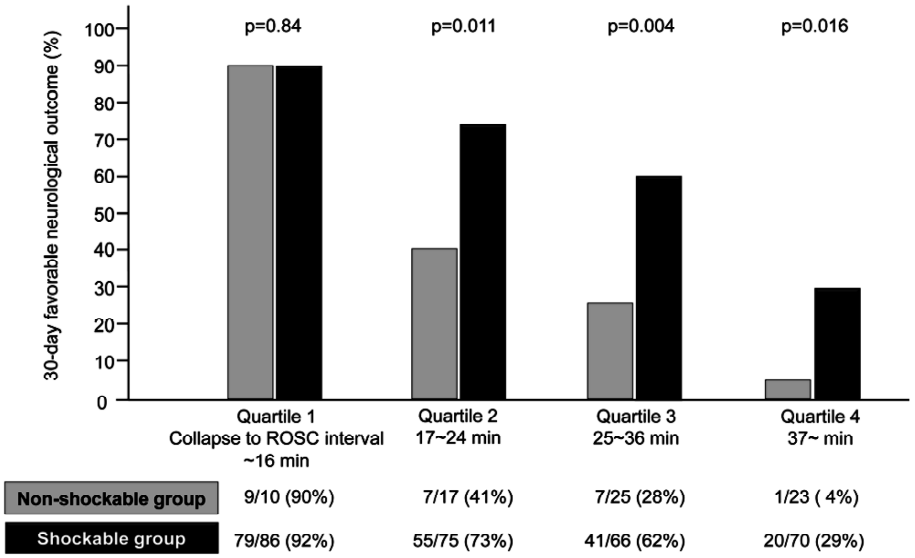


Figure 3. Association between the quartiles of the collapse-to-ROSC interval and the frequencies of 30-day favorable neurological outcome in patients who were divided into 2 groups based on the initial cardiac arrest rhythm. The non-shockable group includes pulseless electrical activity or asystole, and the shockable group includes ventricular fibrillation or pulseless ventricular tachycardia. ROSC, return of spontaneous circulation.

collapse-to-ROSC interval revealed a similar frequency of 30-day favorable neurological outcome among both groups when the collapse-to-ROSC interval was ≤16 min (90% non-shockable group vs. 92% shockable group; odds ratio 0.80, 95% confidence interval 0.09–7.24, P=0.84).

Conclusions: Post-ROSC cooling is an effective treatment for patients with non-shockable cardiac arrest when the time interval from collapse to ROSC is short.[1] (*Circ J* 2012; **76:** 2579–2585)

< Second Place in the Clinical Investigation Section >

Genetic Analysis of Essential Cardiac Transcription Factors in 256 Patients With Non-Syndromic Congenital Heart Defects

Kazuki Kodo, Tsutomu Nishizawa, Michiko Furutani, Shoichi Arai, Kazuaki Ishihara, Mayumi Oda, Shinji Makino, Keiichi Fukuda, Takao Takahashi, Rumiko Matsuoka, Toshio Nakanishi, Hiroyuki Yamagishi

(Department of Pediatrics, Division of Pediatric Cardiology, Department of Cardiology, and Center for Integrated Medical Research, Keio University School of Medicine, Tokyo; International Research and Educational Institute for Integrated Medical Sciences (IREIIMS), Division of Pediatric Cardiology and Division of Cardiovascular Surgery, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan)

Background: The genetic basis of most congenital heart defects (CHDs), especially non-syndromic and non-familial conditions, remains largely unknown.

Methods and Results: DNA samples were collected from immortalized cell lines and original genomes of 256 non-syndromic, non-familial patients with cardiac outflow tract (OFT) defects. Genes encoding NKX2.5, GATA4, GATA6, MEF2C, and ISL1, essential for heart development, were analyzed using PCR-based bidirectional sequencing. The transcriptional activity of proteins with identified sequence variations was analyzed using a luciferase assay. A novel sequence variant (A103V in *MEF2C*) was identified, in addition to 4 unreported non-synonymous sequence variants in 3 known causative genes (A6V in *NKX2.5*, T330R and S339R in *GATA4*, and E142K in *GATA6*) in 5 individuals.

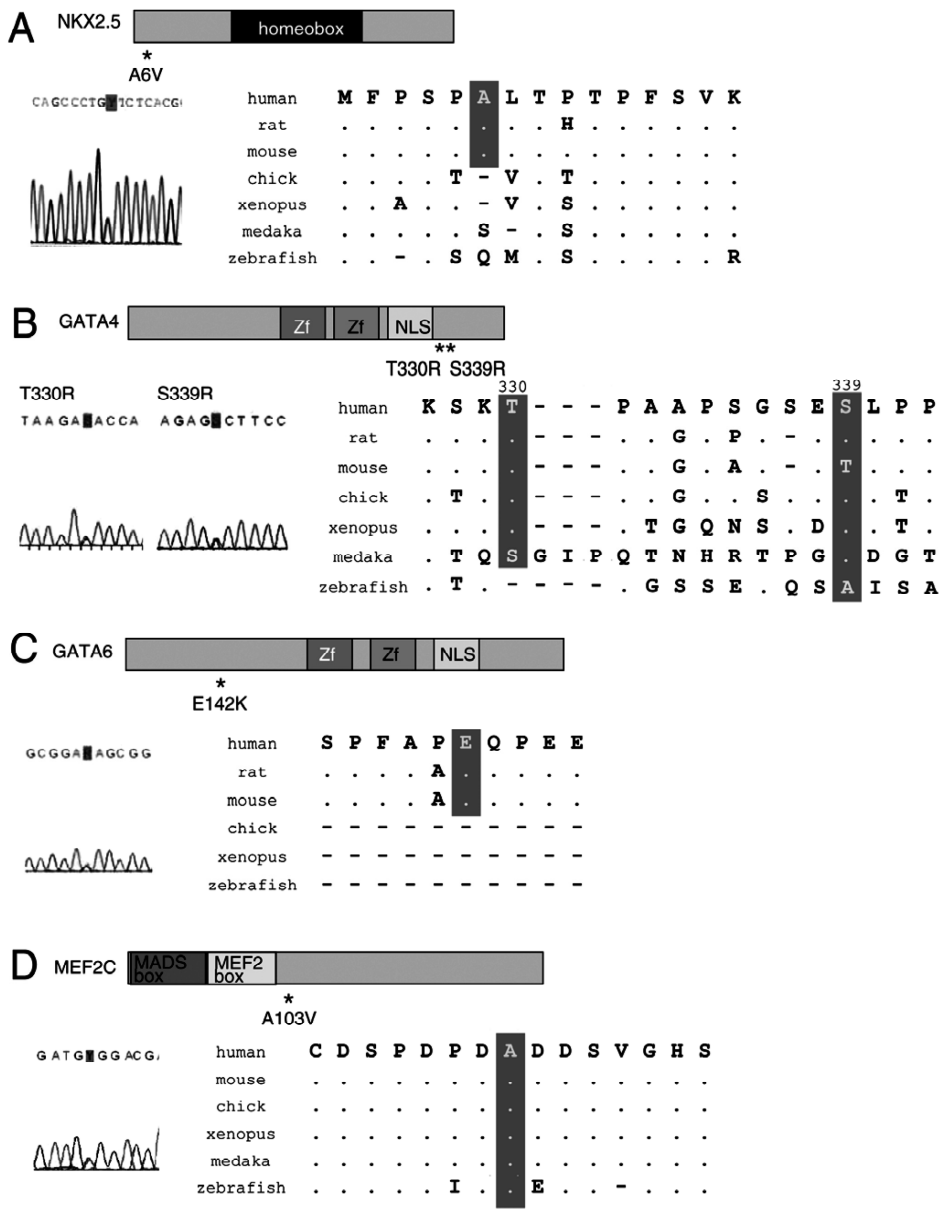


Figure 1. Identification of novel sequence variants in cardiac transcription factors in patients with outflow tract (OFT) defects. The structures of the human NKX2.5 (**A**), GATA4 (**B**), GATA6 (**C**) and MEF2C (**D**) genes, the positions of the novel variants (*), and the conservation of amino acids between species are shown. Zf, zinc finger; NLS, nuclear localization signal. Changes in amino acids are highlighted in red.

None of these was found in 500 controls without CHDs. In vitro functional assay showed that all proteins with identified sequence variations exhibited significant changes in transcriptional activity and/or synergistic activity with other transcription factors. Furthermore, overexpression of the A103V MEF2C variant in a fish system disturbed early cardiac development.

Conclusions: New mutations in the transcription factors NKX2.5, GATA4, GATA6, and MEF2C that affect their protein function were identified in 2.3% (6/256) of patients with OFT defects. Our results provide the first demonstration of *MEF2C* mutation and suggest that disturbances in the regulatory circuits involving these cardiac transcription factors may cause a subset of non-syndromic and non-familial CHDs.[2] (*Circ J* 2012; **76:** 1703–1711)

< First Place in the Experimental Investigation Section >

Electrophysiological Properties of Prion-Positive Cardiac Progenitors Derived From Murine Embryonic Stem Cells

Hiroshi Fujii, Yu Ikeuchi, Yasutaka Kurata, Nobuhito Ikeda, Udin Bahrudin, Peili Li, Yuji Nakayama, Ryo Endo, Akira Hasegawa, Kumi Morikawa, Junichiro Miake, Akio Yoshida, Kyoko Hidaka, Takayuki Morisaki, Haruaki Ninomiya, Yasuaki Shirayoshi, Kazuhiro Yamamoto, Ichiro Hisatome

(Division of Regenerative Medicine and Therapeutics, Institute of Regenerative Medicine and Biofunction, Tottori University Graduate School of Medical Science, Yonago; Division of Functional Genomics, Research Center for Bioscience and Technology, Tottori University, Yonago; Division of Cardiology, Tottori University Hospital, Yonago; Department of Biological Regulation, Tottori University Faculty of Medicine, Yonago; Department of Physiology II, Kanazawa Medical University, Ishikawa; Center for Fundamental Education, University of Kitakyushu, Kitakyushu; and Department of Bioscience and Genetics, National Cerebral and Cardiovascular Center Research Institute, Suita, Japan)

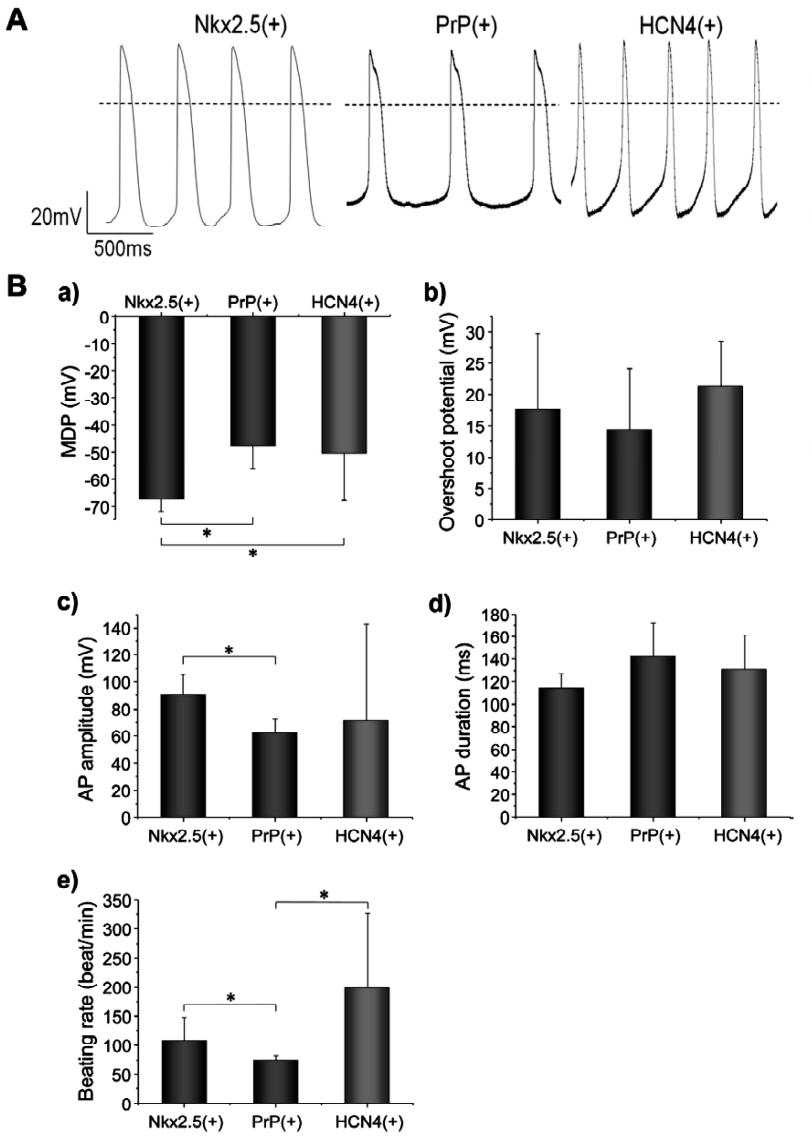


Figure 6. Comparison of electrophysiological properties during spontaneous firings of prion protein (PrP)-positive cells with those of Nkx2.5-positive cells and HCN4-positive cells. (**A**) Representative action potentials (APs) of (**Left**) an Nkx2.5-GFP-positive, (**Middle**) PrP-positive, and (**Right**) HCN4-GFP-positive cell with automaticity derived from hcgp7, AB1, and HCN4p-EGFP embryonic stem (ES) cells, respectively, on day 14 of their differentiation. (**B**) Comparisons of (**a**) averaged maximum diastolic potential (MDP), (**b**) overshoot potential, (**c**) AP amplitude, (**d**) AP duration at 50% repolarization (APD_{50}), and (**e**) beating rate in 16 Nkx2.5-positive, 7 PrP-positive, and 8 HCN4-positive cells with automaticity on day 14 of their differentiation. *P<0.05.

Background: The prion protein (PrP) has been reported to serve as a surface maker for isolation of cardiomyogenic progenitors from murine embryonic stem (ES) cells. Although PrP-positive cells exhibited automaticity, their electrophysiological characteristics remain unresolved. The aim of the present study was therefore to investigate the electrophysiological properties of PrP-positive cells in comparison with those of HCN4p- or Nkx2.5-positive cells.
Methods and Results: Differentiation of AB1, HCN5p-EGFP and hcgp7 ES cells into cardiac progenitors was induced by embryoid body (EB) formation. EBs were dissociated and cells expressing PrP, HCN4-EGFP and/or Nkx2.5-GFP were collected via flow cytometry. Sorted cells were subjected to reverse transcriptase-polymerase chain reaction, immunostaining and patch-clamp experiments. PrP-positive cells expressed mRNA of undifferentiation markers, first and second heart field markers, and cardiac-specific genes and ion channels, indicating their commitment to cardiomyogenic progenitors. PrP-positive cells with automaticity showed positive and negative chronotropic responses to isoproterenol and carbamylcholine, respectively. Hyperpolarization-activated cation current (I_f) was barely detectable, whereas Na^+ and L-type Ca^{2+} channel currents were frequently observed. Their spontaneous activity was slowed by inhibition of sarcoplasmic reticulum Ca^{2+} uptake and release but not by blocking I_f. The maximum diastolic potential of their spontaneous firings was more depolarized than that of Nkx2.5-GFP-positive cells.
Conclusions: PrP-positive cells contained cardiac progenitors that separated from the lineage of sinoatrial node cells. PrP can be used as a marker to enrich nascent cardiac progenitors.[3] (*Circ J* 2012; **76:** 2875–2883)

< Second Place in the Experimental Investigation Section >

Waon Therapy Upregulates Hsp90 and Leads to Angiogenesis Through the Akt-Endothelial Nitric Oxide Synthase Pathway in Mouse Hindlimb Ischemia

Takahiro Miyauchi, Masaaki Miyata, Yoshiyuki Ikeda, Yuichi Akasaki, Narisato Hamada, Takahiro Shirasawa, Yuko Furusho, Chuwa Tei

(Department of Cardiovascular, Respiratory and Metabolic Medicine, Graduate School of Medicine, Kagoshima University, Kagoshima, Japan)

Background: Thermal therapy, namely Waon therapy, has previously been reported to regulate nitric oxide (NO) and endothelial NO synthase (eNOS) and augment ischemia-induced angiogenesis in mice and improve limb ischemia in patients with peripheral artery disease. The aim of this study was to clarify the precise mechanism by which Waon therapy augments angiogenesis in mice with hindlimb ischemia.
Methods and Results: Unilateral hindlimb ischemia was induced in apolipoprotein E-deficient mice and Waon therapy was performed for 5 weeks. Heat shock protein 90 (Hsp90), phosphorylated-Akt, and phosphorylated-eNOS were detected in arterial endothelial cells of ischemic hindlimbs and all were upregulated by Waon therapy compared to controls. Waon therapy also increased serum concentrations of nitrite and nitrate. Capillary density and the ischemic limb/normal side blood perfusion ratio monitored by laser Doppler perfusion imaging in the Waon therapy group were significantly increased beyond those in the control group. The effect of Waon therapy on angiogenesis through the activation of the Hsp90/Akt/eNOS pathway was attenuated by the administration of a Hsp90 inhibitor.
Conclusions: It is suggested that Waon therapy upregulates Hsp90, which contributes to the activation of the Akt/eNOS/NO pathway, and induces angiogenesis in mice with hindlimb ischemia.[4] (*Circ J* 2012; **76:** 1712–1721)

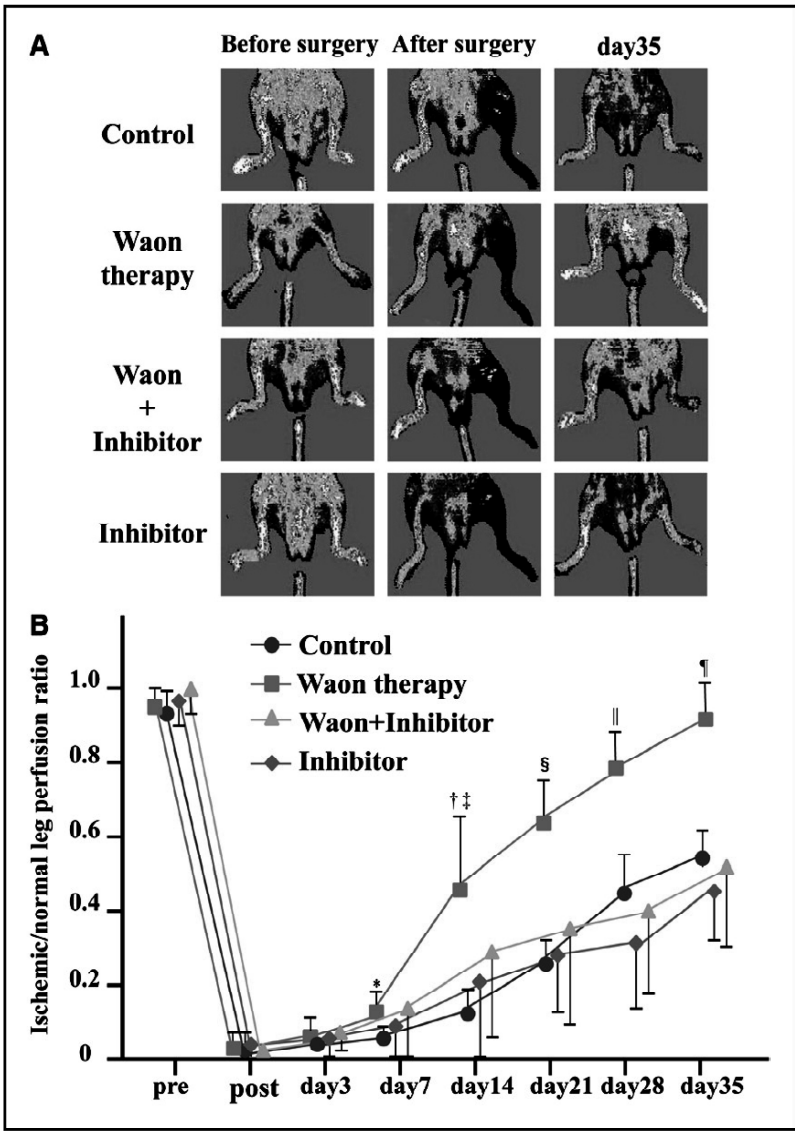


Figure 6. Hindlimb blood flow in apoE-deficient mice monitored by laser Doppler perfusion imaging. Waon therapy increased the blood flow in the ischemic hindlimb, which was reversed by the administration of the Hsp90 inhibitor, 17-DMAG (n=7 per group). * vs. control and inhibitor at day 7, P<0.01. † vs. control at day 14, P<0.01. ‡ vs. inhibitor at day 14, P<0.05. § vs. control, inhibitor and Waon + inhibitor at day 21, P<0.01. ‖ vs. control, inhibitor and Waon + inhibitor at day 28, P<0.01. ¶ vs. control, inhibitor and Waon + Inhibitor at day 35, P<0.01. Hsp90, heat shock protein 90; 17-DMAG, 17-dimethylaminoethylamino-17-demethoxygeldanamycin.

Awards will be presented to the 4 research groups during the 77th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, and will also be announced on the Society website. We look forward to receiving manuscripts with high scientific impact for publication in *Circulation Journal* in 2013.

Hiroaki Shimokawa, MD, PhD
Editor-in-Chief
Circulation Journal

(Released online February 9, 2013)

References:

1. Soga T, Nagao K, Sawano H, Yokoyama H, Tahara Y, Hase M, et al; for the J-PULSE-Hypo Investigators. Neurological benefit of therapeutic hypothermia following return of spontaneous circulation for out-of-hospital non-shockable cardiac rrrest. *Circ J* 2012; **76:** 2579–2585.
2. Kodo K, Nishizawa T, Furutani M, Arai S, Ishihara K, Oda M, et al. Genetic analysis of essential cardiac transcription factors in 256 patients with non-syndromic congenital heart defects. *Circ J* 2012; **76:** 1703–1711.
3. Fujii H, Ikeuchi Y, Kurata Y, Ikeda N, Bahrudin U, Li P, et al. Electrophysiological properties of prion-positive cardiac progenitors derived from murine embryonic stem cells. *Circ J* 2012; **76:** 2875–2883.
4. Miyauchi T, Miyata M, Ikeda Y, Akasaki Y, Hamada N, Shirasawa T, et al. Waon therapy upregulates Hsp90 and leads to angiogenesis through the Akt-endothelial nitric oxide synthase pathway in mouse hindlimb ischemia. *Circ J* 2012; **76:** 1712–1721.

2013年度 Translational Research 振興事業応募要領

1．趣　　旨

日本循環器学会は循環器領域におけるわが国の臨床研究を推進するため大規模臨床試験の支援を行ってきた．最近の再生医学の進歩も含めて臨床応用・実用化の直前にある最先端の循環器基礎的研究や Translational Research を学会の研究支援事業の一環として位置付け，わが国の先進医学研究の振興に寄与することを目的とする．

2．対象分野

下記対象分野のいずれもわが国の大学／研究・医療機関の共同研究を原則とする．

① 循環器領域における最先端の基礎的研究で臨床応用にあと一歩の段階にある独創的な研究(新規性を重視する)

② 実用化直前にある循環器領域の translational research で本振興事業による助成終了時に実用化の目途が立つことが期待される研究(実現可能性を重視する)

いずれも大学／研究・医療機関の横断的・共同研究を原則とする．

3．活動期間および採択件数

1件あたり3年間の助成とする．①，②の対象分野から各1件計2件を採択する．

4．助 成 金

① 分野については，初年度は1,000万円，次年度および次々年度は500万円とし，3年間で計2,000万円の助成を行う．

② 分野については，初年度は3,000万円，次年度および次々年度は1,500万円とし，3年間で計6,000万円の助成を行う．

5．応募資格

① わが国の大学／研究・医療機関の組織からの応募とし，多施設共同研究の場合，応募は研究代表者の機関からとする．

② 研究代表者は日本循環器学会会員(応募時点で会員であること)とする．

③ 班組織は原則として5名以上10名以下とし，日本循環器学会会員(※)より構成されるものとする．
※応募時点で非会員の場合は，採択時に入会することとする．

④ 同一研究者の複数研究課題の申請はこれをさまたげないが，選考に当っては考慮されるものとする．

⑤ 研究代表者は過去3年間に同助成金を受けていないこと．

6．応募方法

研究代表者は，研究班を構成し，所定の応募書類(※)に必要事項を記入し，原本1部とコピー20部を各セットにして，日本循環器学会事務局に送付すること．なお，応募書類は返却しない．

※学会ホームページ http://www.j-circ.or.jp ピックアップコンテンツの「Translational Research 振興事業」からダウンロードしてください．

7．応募期間

2013年3月4日(月)～4月22日(月)17時　※期日・時間厳守

※応募書類が完備していない場合は申請書が受理できない場合もありますので，提出の際は十分にご確認ください．

8．選考方法および発表

日本循環器学会学術委員会において選考し，理事会で決定する．

2013年7月中に研究代表者に対して選考結果を通知するとともに助成金を交付する．

9．助成対象研究組織の公表

助成組織の研究課題，氏名，所属を日本循環器学会会告，ホームページ等に公表する．

10. 研究成果の報告

① 研究代表者は活動年度毎に報告書および収支報告書を提出する．
② 活動最終年度の3月学術集会時に発表を行うとともに，最終報告書を提出する．
③ 最終報告書は日本循環器学会ホームページに掲載する．
④ 研究成果を論文として発表する際は「日本循環器学会 Translational Research 振興助成による」旨書き添えることとする．

11. 応募書類提出先

日本循環器学会事務局　学術委員会担当
〒604-8172　京都市中京区烏丸姉小路下る場之町599　CUBE OIKE 8 階

循環器専門医制度

専門医制度委員会

2013年度以降に「循環器専門医」受験申請者・研修施設研修関連施設の指導責任者の方へ

【注意!!】循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表の提出が必須となります

第24回(2013年度)循環器専門医試験の受験申請者より「循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表」の提出が必須となります．2013年度以降に「循環器専門医」の受験をご希望の場合は，日本循環器学会認定循環器専門医研修カリキュラムに基づく研修を循環器学会指定研修施設または関連施設にて受験申請までに行ってください．

●受験申請者の方へ

1）研修施設または研修関連施設にて，「研修カリキュラム達成度評価表」に記載されている全ての項目を受験申請時までに修了してください．
2）各項目を修了ごとに指導医(循環器専門医)に署名を依頼してください．
3）所属の施設にて研修困難な項目がある場合は，検査あるいは治療が可能な本会指定の施設にて研修を行い，その施設の指導医(循環器専門医)に署名を依頼してください．

●研修施設・研修関連施設の指導責任者の方へ

「研修カリキュラム達成度評価表」に記載されている検査法および治療法で設備状況等により施設内で実施できない項目がある場合，受験申請予定者が関連の本会指定研修施設または関連施設で研修を受けられるようご配慮をお願いします．

全ての研修項目を修了していない場合は受験申請ができませんので，関連の施設との連携も含めご協力をお願いいたします．

「研修カリキュラム達成度評価表」の詳細については下記 URL よりご確認ください．
http://www.j-circ.or.jp/information/senmoni/hyoukahyou.htm

※カリキュラム達成度評価表は，受験申請の際にご提出いただきますので，それまで大切に保管してください．責任者の捺印後の評価表を紛失・喪失されました場合には，もう一度最初から研修し直しとなることもございますので，保管には十分にご注意ください．

以上

第24回(2013年度)日本循環器学会認定循環器専門医資格認定審査について

Ⅰ．審査方法

書類審査及び筆記試験(書類審査合格者のみ筆記試験の受験資格を有する)

Ⅱ．受験資格

1．次の5項を充足していること.

1）日本国の医師免許証を有し，医師としての人格及び見識を備えていること.

2）2013年4月1日現在，内科系は認定内科医または総合内科専門医，外科系は外科学会認定登録医または外科専門医，小児科系は小児科専門医であること.

3）本学会会員であり，かつ通算して6年以上の会員歴を有すること(※1).

4）医師免許取得後，専門医試験日前日をもって満6年またはそれ以上の臨床研修歴を有すること(※2).
6年のうち3年以上は本学会指定の研修施設で研修していること.
2004年度(平成16年度)以降に医師免許を取得したものは，内科系は認定内科医，外科系は外科専門医，小児科系は小児科専門医資格取得後，専門医試験日前日をもって満3年以上本学会指定の研修施設で研修していること(※3).
(研修関連施設での研修期間は研修施設の1/2として計算する)

5） AHA BLSヘルスケアプロバイダーコースを受講修了後，AHA ACLSプロバイダーコースを受講し(※4)，2013年4月1日現在有効な認定を受けていること．AHA ACLSインストラクターコースも同等資格として認める．また小児科系に限りAHA PALSコースも同等資格として認める.

2．審査料20,000円および2013年度の年会費を2013年6月末までに完納していること(※5).

3．喫煙が心血管病の危険因子であることを認識し，自ら禁煙し且つ禁煙の啓発に努めること.

4．試験の合格後，専門医名簿への公開に同意すること.

※1　2013年4月1日時点で会員歴6年目であればよい．2009年度以降に入会した会員の方は受験できません.

※2　2003年度以前(2003年度を含む)に医師免許を取得した方は2年間のスーパーローテーションの期間を含む.

※3　2010年9月以降(2010年9月含む)に認定内科医資格を取得された方は，満3年以上の研修歴が満たないため，今回受験できません.

※4　対象コースはJCS(日本循環器学会)，JAA(日本ACLS協会)，JSISH(日本医療教授システム学会)，福井県済生会病院ITC-横浜トレーニングセンター(横浜ACLS)，その他海外団体主催でも「AHA ACLSプロバイダーコース」であればよい.
なお，AHA ACLSプロバイダーコース受講の際には，AHA BLSヘルスケアプロバイダーコースの修了が必要となります．AHA ACLSプロバイダーコースおよびAHA BLSヘルスケアプロバイダーコースの開催日程は，本学会ホームページhttp://www.j-circ.or.jp/information/acls/acls.htmを確認してください.

※5　審査料及び年会費の払込用紙は4月下旬に送付します.

Ⅲ．申請方法

以下の申請書類すべてを事務局まで郵送してください．①～⑤はWEBを介して作成し，印刷して提出してください．⑥はWEB上よりダウンロードして必要事項を記入して提出してください．⑦～⑧はコピーを提出してください.

(①～⑧まで全ての書類を同封してお送りください)

① 循環器専門医資格認定審査申請書
② 診療実績表(A)受持入院患者一覧表
③ 診療実績表(B)研修記録
④ 診療実績表(C)手術所見，(D)外科手術記録，(E)剖検記録のいずれか
⑤ 研修(研修関連)施設在籍証明書
⑥ 循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表
⑦ 基本領域の資格証書のコピー
⑧ AHA ACLSプロバイダーカード，AHA ACLSインストラクターカード，AHA PALSプロバイダーカー

ドいずれかのコピー

Ⅳ．日　　程

日　　程	内　　容
1月下旬～3月31日(日)	受験申請・申請書類作成期間(※1) この期間以後の新規受験申請は受付不可
4月1日(月)～4月12日(金)　17時必着	申請書類提出期間(※2)
4月下旬	審査料払込用紙送付(※3)
5月～7月中旬	申請書類審査期間
7月下旬	書類審査結果通知(※4)
8月25日(日)	筆記試験施行(※5) 東京国際フォーラム，梅田スカイビル
10月中旬	合否通知

※1　受験者がWEBを介して受験申請・申請書類を作成する期間.
※2　受験者が申請書類を事務局へ送付する期間.
　　この期間以後に到着した書類は一切受け付け致しません.
※3　事務局から審査料払込用紙を送付します.
※4　書類審査不合格の場合は，責任者にも判定理由を通知します.
※5　試験練習問題は学会ホームページ(一般公開)でご確認頂けます.

Ⅴ．認定について

- 試験の合格後，専門医認定申請の手続きをご案内致します.
- 認定料は30,000円です.

循環器専門医資格認定試験およびその申請書等において不正が判明した場合は専門医制度規則により厳格な処分が科せられます.

専門医認定更新の手続きの流れ

（認定４年目の８月中旬）**事務局から「単位取得状況通知書」送付**

認定期間終了時まで残り１年８ヶ月
認定更新の条件及び取得単位数の確認

（認定５年目10月）**事務局から「更新に関するご案内」を送付**
更新申請書＋基本領域の資格証明書を指定のWebページ※2から提出

認定更新の条件

次の５条件全ての手続きが完了していない場合は、資格を更新することができません。

① **更新に必要な単位の取得※1**
② **更新申請書の提出**
③ **基本領域の資格証明書提出**
④ **更新料の納入**
⑤ **年会費の納入**

［更新に必要な単位充足］
（12月中旬）**更新料払込用紙送付**

［更新に必要な単位不足］
「自己申告」をWebより申請

（12月中旬）**自己申告第1回締切**

［更新に必要な単位充足］
（１月中旬）**更新料払込用紙送付**

［更新に必要な単位不足］
（１月中旬）**「認定更新の案内」を再送付**
「自己申告」をWebより申請

（３月末）**自己申告最終締切**

［更新に必要な単位充足］
（４月中旬）**更新料払込用紙送付**

［更新に必要な単位不足］

認定更新条件
［完　備］

認定更新条件
［不　備］

認定更新完了
「専門医証」送付

循環器専門医「資格喪失」

循環器専門医「資格喪失」

注：認定更新条件の充足時期によって送付日程が変わります
１月末までに充足：３月中旬　２月末までに充足：４月上旬　３月以降に充足：４月下旬以降に送付

※1 「更新に必要な単位」については p.140 をご確認ください.
※2 インターネットによる専門医更新申請が可能となりました．更新申請の手順等の詳細は認定５年目の10月中旬頃に送付いたします「更新に関するご案内」に同封させていただきます.

専門医認定更新研修の必修化について

専門医制度委員会，理事会，2009年３月20日の評議員会の審議を経て循環器専門医認定更新の際に所定の研修が必修となりました．変更点は下記のとおりです．

専門医認定更新に必要な研修単位(**50単位**)のうち，必修研修の単位配分は下記のとおりとなります．
認定更新には下記の必修研修単位を含む**合計50単位**が必要となります．

【必修研修と単位数】

① **最新医療の知識習得に関する研修……30単位**
日本循環器学会主催の学術集会・地方会(いずれも教育セッションを含んでもよい)への参加にて単位を取得してください．

② **医療安全・医療倫理に関する研修……２単位**
学術集会および地方会(※１)開催時の「医療安全・医療倫理に関する講演会」への参加あるいはインターネット(※２)での視聴研修プログラムによる研修で単位を取得してください．

※１　各地方会での開催につきましてはDVDセッションとなり同じ講演を既に聴講されている場合には単位は重複して加算されません．
開催状況につきましては各地方会により異なります．事前に必ずご確認ください．

※２　インターネットでの視聴研修につきましては，下記からご覧いただけます．視聴にはID（会員番号)とパスワードが必要です．パスワードをお忘れの場合は下記ホームページから再発行可能です．

日本循環器学会ホームページ(http://www.j-circ.or.jp)
↓
循環器専門医制度
↓
〔専門医専用〕医療安全・医療倫理web研修

【必修研修単位の取得期間】

現在の認定期間	必修研修単位の取得期間
2008/4/1～2013/3/31	2008/4/1～2013/3/31
2009/4/1～2014/3/31	2009/4/1～2014/3/31
2010/4/1～2015/3/31	2010/4/1～2015/3/31
2011/4/1～2016/3/31	2011/4/1～2016/3/31
2012/4/1～2017/3/31	2012/4/1～2017/3/31

【留学による特別措置】

1）留学期間中の海外学会参加研修単位について

留学により，日本循環器学会主催の学術集会・地方会に参加できなかった場合は，その留学期間中に開催された海外学会(WCC，AHA，ACC，APCC，ESC)への参加を，最新医療の知識習得に関する研修を行ったとして15単位を付与します．ただし，上記５学会の内１年間に複数参加しても，１年度につき１回分の研修単位のみしか認められません．

例）2009年度に AHA と ACC に参加した場合は，どちらか一方の参加のみ「最新医療の知識習得に関する研修」15単位として認める．

※留学期間が連続して10ヶ月以上の者を対象とする．

申請方法は帰国後，２)に必要な留学単位申請書および在籍証明書に上記の海外学会参加証(ネームカード)コピーを同封してください．抄録集のコピーは不可．

2）留学期間の研修単位について

留学単位は必修研修以外の区分として現状通り１ヶ月１単位を加算します．

※帰国後，単位申請書および在籍証明書のコピーを提出すること．

3）認定更新日経過の場合について

更新日(各年度４月１日)を超えて留学中の場合は，現状通り取得単位に関わらず，所定の更新手続きを行えば更新することができます．

循環器専門医認定更新の必修研修および単位につきましてご質問などございましたら下記連絡先までお問合せください．

問い合わせ先：
一般社団法人 日本循環器学会(JCS 事務局)
専門医制度委員会　担当
TEL：075-257-5830
E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

その他専門医制度に関する手続き・問い合わせ

下記申請に関しては，学会ホームページ（http://www.j-circ.or.jp/）循環器専門医制度をご確認の上，必要書類をダウンロードしてください．

- 証明書交付申請（和文証明・英文証明書発行，循環器専門医証再発行）
- 施設証再交付申請
- 留学期間の研修単位申請
- 専門医カード再発行申請

上記の他，専門医制度に関する情報を学会ホームページ循環器専門医制度に掲載しておりますので，ご確認ください．

問い合わせ先：
一般社団法人 日本循環器学会（JCS 事務局）
専門医制度委員会　担当
TEL：075-257-5830　　FAX：075-213-1675
E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

地方会・関連学会・研究会情報

専門医研修単位認定学会情報

【お願い】
各学会情報は，申請された時点の情報を掲載していますので，開催までに情報に変更が生じることがございます．当日参加される場合は，必ず各学会・各地方会・各研究会にて情報をご確認ください．

1．日本循環器学会地方会
（単位登録票方式／
地方会：5単位．教育セッション：3単位．医療安全：2単位※）
※医療安全については各地方会により開催が異なります．各支部へ直接お問い合わせください．

《地方会当日会場での単位登録のみ受付》

第109回北海道地方会
会　期：2013年6月22日（土）
会　場：北海道大学学術交流会館（札幌市）
会　長：東　信良
（旭川医科大学外科学講座循環・呼吸・腫瘍病態外科学）

第110回北海道地方会
会　期：2013年11月23日（土）
会　場：北海道大学学術交流会館（札幌市）
会　長：岡本　洋（北海道医療センター）

第156回東北地方会
会　期：2013年6月1日（土）
会　場：岩手医科大学付属循環器医療センター（盛岡市）
会　長：奥村　謙（弘前大学循環呼吸腎臓内科学）

第157回東北地方会
会　期：2013年12月7日（土）
会　場：仙台国際センター（仙台市）
会　長：下川宏明（東北大学循環器内科学）

第228回関東甲信越地方会
会　期：2013年6月15日（土）
会　場：東京ステーションコンファレンス（千代田区）
会　長：石光俊彦（獨協医科大学循環器内科）

第229回関東甲信越地方会
会　期：2013年9月14日（土）
会　場：東京ステーションコンファレンス（千代田区）
会　長：西﨑光弘（横浜南共済病院循環器内科）

第230回関東甲信越地方会
会　期：2013年12月7日（土）
会　場：東京ステーションコンファレンス（千代田区）
会　長：松本万夫（埼玉医科大学国際医療センター心臓内科）

第231回関東甲信越地方会
会　期：2014年2月1日（土）
会　場：東京ステーションコンファレンス（千代田区）
会　長：山﨑純一
（東邦大学医療センター大森病院循環器内科）

第141回東海地方会
会　期：2013年6月22日（土）
会　場：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）
（愛知県名古屋市）
会　長：天野哲也（愛知医科大学循環器内科）

第126回北陸地方会
会　期：2013年6月16日（日）
会　場：金沢医科大学（石川県河北郡内灘町）
会　長：森本茂人（金沢医科大学高齢医学）

第142回東海・第127回北陸合同地方会
会　期：2013年11月9日（土）・10日（日）
会　場：金沢エクセルホテル東急（金沢市）
会　長：芳村直樹
（富山大学外科学（呼吸・循環・総合外科）講座）

第115回近畿地方会
会　期：2013年6月15日（土）
会　場：国立京都国際会館
会　長：木村　剛（京都大学内科学講座）

第116回近畿地方会
会　期：2013年11月30日（土）
会　場：大阪国際交流センター
会　長：増山　理（兵庫医科大学内科学循環器内科）

第117回近畿地方会
会　期：2014年7月12日（土）
会　場：コングレコンベンションセンター（大阪市）
会　長：佐賀俊彦（近畿大学心臓血管外科）

第102回中国・四国合同地方会
会　期：2013年5月10日（金），11日（土）
会　場：サンポートホール高松（高松市）
会　長：坂東重信（香川県立白鳥病院）

第103回中国地方会
会　期：2013年10月26日（土）・27日（日）
会　場：米子コンベンションセンター〈Big Ship〉
（米子市）
会　長：山本一博（鳥取大学病態情報内科学）

第103回四国地方会
会　期：2013年12月7日（土）
会　場：あわぎんホール（徳島市）
会　長：赤池雅史（徳島大学医療教育学）

第114回九州地方会
会　期：2013年６月29日（土）
会　場：アクロス福岡（福岡市）
会　長：土橋卓也（九州医療センター高血圧内科）
第115回九州地方会
会　期：2013年12月７日（土）
会　場：佐賀マリトピア（佐賀市）
会　長：森田茂樹（佐賀大学胸部心臓血管外科）

２．循環器関連学会
（自己申告方式／３単位）
※今後，会期および会場などの変更が生じる場合があります．詳しくは直接各学会事務局へお問い合わせください．

第43回日本心臓血管外科学会
会　期：2013年２月25日（月）～27日（水）
会　場：ホテルグランパシフィック LE DAIBA（港区）
会　長：小山信彌（東邦大学心臓血管外科）
第49回日本循環器病予防学会
会　期：2013年６月14日（金）～15日（土）
会　場：金沢市文化ホール（金沢市）
会　長：中川秀昭（金沢医科大学公衆衛生学）
第28回日本不整脈学会大会
会　期：2013年７月４日（木）～６日（土）
会　場：グランドプリンスホテル新高輪（港区）
会　長：杉　　薫
（東邦大学医療センター大橋病院循環器内科）
第49回日本小児循環器学会
会　期：2013年７月11日（木）～13日（土）
会　場：国立オリンピック記念青少年総合センター（渋谷区）
会　長：中西敏雄（東京女子医科大学循環器小児科）
第22回日本心血管インターベンション治療学会
会　期：2013年７月11日（木）～13日（土）
会　場：神戸国際会議場，神戸国際展示場，神戸ポートピアホテル（神戸市）
会　長：宮崎俊一（近畿大学循環器内科）
第19回日本心臓リハビリテーション学会
会　期：2013年７月13日（土）～14日（日）
会　場：仙台国際センター（仙台市）
会　長：上月正博
第45回日本動脈硬化学会
会　期：2013年７月18日（木）～19日（金）
会　場：京王プラザホテル
会　長：及川眞一（日本医科大学）
第61回日本心臓病学会
会　期：2013年９月20日（金）～22日（日）
会　場：ホテル日航熊本，他（熊本市）
会　長：小川久雄（熊本大学循環器内科）
第54回日本脈管学会
会　期：2013年10月10日（木）～12日（土）
会　場：東京ステーションコンファレンス（千代田区）
会　長：一色高明（帝京大学内科）
第30回日本心電学会
会　期：2013年10月11日（金）～12日（土）
会　場：青森市文化会館（青森市）
会　長：奥村　謙（弘前大学循環呼吸腎臓内科学）
第66回日本胸部外科学会
会　期：2013年10月16日（水）～19日（土）
会　場：仙台国際センター（仙台市）
会　長：近藤　丘
（東北大学加齢医学研究所呼吸器外科学）
第36回日本高血圧学会
会　期：2013年10月24日（木）～26日（土）予定
会　場：大阪国際会議場（大阪市）予定
会　長：河野雄平
（国立循環器センター内科高血圧腎臓部門）
第17回日本心不全学会
会　期：2013年11月28日（木）～30日（土）
会　場：大宮ソニックシティー（さいたま市）
会　長：百村伸一
（自治医科大学附属さいたま医療センター循環器科）
第27回日本冠疾患学会
会　期：2013年12月13日（金）～14日（土）
会　場：アバローム紀の国（和歌山市）
会　長：（内科系）赤阪隆史
（和歌山県立医科大学循環器内科）
（外科系）岡村吉隆
（和歌山県立医科大学第一外科）

３．関連学会
（自己申告方式／１単位）
※今後，会期および会場などの変更が生じる場合があります．詳しくは直接各学会事務局へお問い合わせください．

第40回日本集中治療医学会
会　期：2013年２月28日（木）～３月２日（土）
会　場：長野県松本文化会館，松本市総合体育館，他（松本市）
会　長：岡本和文
（信州大学高度救急医療センター集中治療部）
第90回日本生理学会
会　期：2013年３月27日（水）～29日（金）
会　場：タワーホール船掘（江戸川区）
会　長：石川義弘（横浜市立大学循環器制御医学）
第113回日本外科学会
会　期：2013年４月11日（木）～13日（土）
会　場：福岡国際会議場（福岡市）
会　長：前原喜彦
（九州大学大学院消化器・総合外科学）
第72回日本医学放射線学会
会　期：2013年４月11日（木）～14日（日）
会　場：パシフィコ横浜（横浜市）
会　長：本田　浩（九州大学）

第110回日本内科学会
会　期：2013年４月12日（金）～14日（日）
会　場：東京国際フォーラム（千代田区）
会　長：細谷龍男（東京慈恵医科大学）
第116回日本小児科学会
会　期：2013年４月19日（金）～21日（日）
会　場：広島国際会議場（広島市）・
　　広島市文化交流会館（広島市）
会　長：小林正夫
　　（広島大学医歯薬保健学研究院小児科学）
第56回日本腎臓学会
会　期：2013年５月10日（金）～12日（日）
会　場：東京国際フォーラム（千代田区）
会　長：富野康日己（順天堂大学腎臓内科）
第86回日本超音波医学会
会　期：2013年５月24日（金）～26日（日）
会　場：大阪国際会議場（大阪市）
会　長：増山　理（兵庫医科大学循環器内科）
第55回日本老年医学会
会　期：2013年６月４日（火）～６日（木）
会　場：大阪国際会議場・リーガロイヤル NCB・
　　リーガロイヤルホテル・
　　大阪大学中之島センター（大阪市）
会　長：三木哲郎（愛媛大学加齢制御内科学）
第34回日本循環制御医学会
会　期：2013年６月７日（金）～８日（土）
会　場：福井県県民ホール，AOSSA 8F（福井市）
会　長：重見研司
　　（福井大学器官制御学麻酔・蘇生領域）
第38回日本睡眠学会定期学術集会
会　期：2013年６月27日（木）～28日（金）
会　場：秋田キャッスルホテル／秋田県民会館／
　　にぎわい交流館あう（秋田市）
会　長：清水徹男（秋田大学病態制御医学系精神科学）
第23回日本心臓核医学会
会　期：2013年６月28日（金）～29日（土）
会　場：東京コンファレンスセンター・品川（品川区）
会　長：山科　章（東京医科大学内科学第二）

第52回日本生体医工学会
会　期：2013年７月３日（水）～７日（日）
会　場：大阪国際会議場（大阪市）
会　長：牧川方昭（立命館大学理工学部）
第50回記念日本臨床生理学会
会　期：2013年11月８日（金）～９日（土）
会　場：シェーンバッハ・サボー（砂防会館別館）
　　（千代田区）
会　長：坂本長逸（日本医科大学消化器内科学）
第53回日本核医学会
会　期：2013年11月８日（金）～10日（日）
会　場：福岡国際会議場（福岡市）
会　長：桑原康雄（福岡大学病院放射線第二）

４．医学会総会
（専門医単位／５単位）
第29回日本医学会総会
会　期：2015年４月10日（土）～13日（日）
会　場：国立京都国際会館，
　　グランドプリンスホテル京都，他

５．本会指定の学術集会・学術講演会（国際会議）
（自己申告方式／２単位）
上記５．および６．の「指定研修集会制度」は2012年３月をもって終了しました．
自己申告区分として単位申請可能な会については，学会 HP にてご確認ください．

６．国際学会等
（自己申告方式／２単位）
ACC Annual Meeting
AHA Scientific Sessions
APCC
ESC Congress
WCC Scientific Sessions

※詳細については海外学会情報をご覧ください．

海外学会情報

ACC Annual Scientific Session
会　期：2013年３月９日（土）～11日（月）
会　場：San Francisco（U.S.A）
ＵＲＬ：http://www.cardiosource.org/

ESC Congress 2013
会　期：2013年８月31日（土）～９月４日（水）
会　場：Amsterdam（Netherlands）
ＵＲＬ：http://www.escardio.org/

AHA Scientific Sessions 2013
会　期：2013年11月16日（土）～20日（水）
会　場：Dallas（U.S.A）
ＵＲＬ：http://www.americanheart.org/

その他の学会開催情報

KCJL（近畿心血管治療ジョイントライブ）2013
会　期：2013年４月18日（木）～４月20日（土）
会　場：メルパルク京都
代表世話人：上田欽造（洛和会丸太町病院）
問合先：KCJL 事務局
〒440-0851　愛知県豊橋市前田南町1-1-5 2E
Tel. 0532-57-1278　Fax. 0532-52-2883
Email: kcjl@kcjl.gr.jp
URL: http://www.kcjl.gr.jp

The 14th CTO Club
会　期：2013年５月９日（木）～10日（金）
会　場：ウインクあいち
問合先：〒440-0851 愛知県豊橋市前田南町1-1-5 2E
Tel. 0532-57-1276　Fax. 0532-52-2883
E-mail: cto@heartorg.gr.jp
URL: http://www.cct.gr.jp/ctoclub/index.html

研　究　助　成

公益財団法人循環器病研究振興財団
第21回（2013年度）バイエル循環器病研究助成募集要項
研究テーマ：日本人の血栓・塞栓の特異性
助成金額：500万円／１件，250万円／２件
応募資格：1969年４月１日以降に生まれた日本に在住する研究者
応募方法：ホームページから申請書および承諾書を各自入手し，推薦者および所属機関長の署名・職印捺印の上，財団まで送付のこと
応募締切：2013年１月15日～2013年３月15日（同日消印有効）
問合先：〒565-8565 吹田市藤白台5-7-1　国立循環器病センター内　公益財団法人循環器病研究振興財団「バイエル循環器病研究助成」係
Tel. 06-6872-0010　Fax. 06-6872-0009
E-mail: koubo@jcvrf.jp
URL: http://www.jcvrf.jp

公益財団法人福田記念医療技術振興財団第24回（平成25年度）研究助成等募集
（公財）福田記念医療技術振興財団では，ME を利用した医療技術に関する研究助成を行っており，４月１日より次のとおり募集を行う．
公募事業
①研究助成
１）個人研究：100万円／件を限度に計６件
２）共同研究：200万円／件を限度に計５件
②国際交流助成
１）研究留学：100万円／件を限度に計４件
２）国際会議出席：30万円／件を限度に計４件
３）海外からの研究者招聘：100万円／件を限度に計４件
③論文表彰（副賞50万円）：２件
応募締切（当日消印有効）
①については2013年４月26日
②については前期分2013年４月26日，後期分2013年12月31日
（注）国際交流前期分は，出発が2013年７月１日から2014年２月28日までの募集
③については2013年12月31日
応募方法：財団所定の申請書に記載し，書留で事務局宛に送付
問合先：〒113-8570 東京都文京区湯島2-31-20
フクダ電子（株）春木町ビル内
公益財団法人　福田記念医療技術振興財団事務局
Tel. 03-5684-0288　Fax. 03-5684-0268
URL: http://www.fukudakinen.or.jp

公益財団法人成人血管病研究振興財団平成25年度賞募集
（１）　井村臨床研究賞（第10回）
趣　旨：人，特に患者を対象とした成人血管病に関する臨床研究（patient-oriented research）で，
①基礎研究の成果の臨床への橋渡し研究（translational research）
②疾患の成因や病態生理の解明
③疾患の新しい診断・治療・予防法の開発
などの分野ですぐれた成果をあげた国内の研究者または研究グループに贈呈
贈呈数：１名または１研究グループ
内　容：①賞状
②賞牌（ゴールド・メダル）
③副賞（研究助成金300万円）
応募締切：2013年５月31日（当日消印有効）
応募規定：①他薦に限る
②研究分野：上記趣旨のとおり
③推薦書：財団規定の用紙により作成し，財団事務局に送付．規定用紙は事務局に文書によって請求．
授与式：2013年12月上旬，神戸市内．なお，同日は神戸成人血管病シンポジウムを開催し，そのプログラム中に井村賞受賞記念特別講演を予定

するとともに，医学誌「最新医学」に受賞記念論文も掲載いただく

（２） 井村臨床研究奨励賞（第10回）

趣　旨：人，特に患者を対象とした成人血管病に関する臨床研究（patient-oriented research）で，
①基礎研究の成果の臨床への橋渡し研究（translational research）
②疾患の成因や病態生理の解明
③疾患の新しい診断・治療・予防法の開発
などの分野で注目すべき優秀な研究業績をあげている国内の45歳未満の研究者に対し，その将来の発展を期待して贈呈

贈呈数：３名以内

内　容：①賞状
②賞牌（シルバー・メダル）
③副賞（研究助成金50万円）

受付期間：2013年４月１日～５月31日（当日消印有効）

応募規定：
①自薦，他薦とも可．但し自薦の場合は所属責任者の氏名，印を要す
②当財団の規定用紙を請求し，同用紙の指定する内容を記入する
③候補者は，2013年年３月31日現在で45歳未満であること

授与式：2013年12月上旬，神戸市内．また，医学誌「最新医学」に受賞記念論文も掲載いただく予定

（３） 岡村臨床研究奨励賞（第28回）

趣　旨：高血圧，動脈硬化，糖尿病など，成人血管病の成因，予防，治療に関する基礎的研究にあたる40歳未満の研究者で，注目すべき優秀な研究業績をあげている研究者に，その将来の発展を期待して贈呈

贈呈数：３名以内

内　容：①賞状
②賞牌（シルバー・メダル）
③副賞（研究助成金50万円）

受付期間：2013年４月１日～５月20日（当日消印有効）

応募規定：
①自薦，他薦とも可．但し自薦の場合は所属責任者の氏名，印を要す
②当財団の規定用紙を請求し，同用紙の指定する内容を記入する
③候補者は，2013年年３月31日現在で40歳未満であること
④過去の受賞者を除く

授与式：2013年９月６日，東京で開催の第49回高血圧関連疾患モデル学会学術総会会場で行われる予定

問合先：〒606-8413 京都市左京区浄土寺下馬場町86
国際健寿ビル１階
公益財団法人成人血管病研究振興財団
Tel. 075-761-2381　Fax. 075-761-2382

ACLS 講習会情報

循環器救急医療委員会

AHA ACLS プロバイダーコース受講のためには AHA BLS ヘルスケアプロバイダーコースの修了が必要です．未受講の方は，まずはこのコースを受講してください．詳しくはホームページ（http://www.j-circ.or.jp/）の「BLS・ACLS 講習会情報」をご参照ください．

日本循環器学会は2007年３月に，AHA と契約して国際トレーニングセンター（ITC）となり，循環器救急医療委員会（旧称：心肺蘇生法委員会）の中の教育部門として ECC（緊急心血管治療）プログラムを独自に推進させていく事になり，JCS-ITC コースとして各支部において開催致します．

私たちは日本での心臓突然死の予防と心停止の救命率の改善およびそれによる後遺症を減らすことを目標に掲げます．それには地域での「救命の連鎖」の確立が重要となります．そのためには，会員すべてが心肺蘇生法トレーニングを受け，医師・コメディカル・一般市民への指導者になること，そして特に循環器専門医は標準的な二次救命処置（Advanced Cardiovascular Life Support, ACLS）を習得し，循環器救急医療におけるチームリーダーになることが必要です．また，循環器専門医の受験資格に AHA-ACLS 修了が必須となっています．このトレーニングコースは，アメリカ心臓協会（AHA）がこれまで築き上げてきたトレーニングプログラムを用いて実施されます．下記のコースに積極的に参加いただき，地域での「救命の連鎖」確立を推進していただける方を募集します．各コースの受講者募集の詳細は日本循環器学会ホームページ（http://www.j-circ.or.jp/）の「ACLS 講習会情報」にてご確認ください．

受講料　32,000円
受講対象者：原則として医療従事者（医師・看護師・救急救命士など日本国内での医療国家試験有資格者に限定します）
受講申し込み方法：当会ホームページ「BLS・ACLS 講習会情報」のページからご希望のコースをお選びいただき，オンラインフォームにてお申し込みください．以下のコーススケジュールの募集締め切りは延長される場合がありますので，ホームページにてご確認ください．

JCS-ITC2013/03/02-03九州支部佐賀大学病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年３月２日（土）～３日（日）の２日間
会　場：佐賀大学病院医学部附属病院 卒後臨床研修センター 1F セミナー室
（佐賀県佐賀市鍋島）
受講募集人数：15名
コースディレクター：肥後太基（九州大学病院循環器内科）
２月３日（日）まで募集（延長の場合もあり）
問い合わせ：
九州大学病院循環器内科　肥後太基
E-mail: jcs.kyushu@gmail.com

JCS-ITC2013/03/02-03東海・北陸支部合同市立島田市民病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年３月２日（土）～３日（日）の２日間
会　場：市立島田市民病院（静岡県島田市野田）
受講募集人数：12名
コースディレクター：鈴木秀一（名古屋医療センター）
２月７日（木）まで募集（延長の場合もあり）
問い合わせ：
日本循環器学会東海支部事務局　渡辺裕一
Phone: 052-950-3365
Fax: 052-950-3370
E-mail: jcs-tokai@congre.co.jp

JCS-ITC2013/03/02-03関東甲信越支部相澤病院ヤマサホール AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年３月２日(土)～３日(日)の２日間
会　場：相澤病院ヤマサホール(長野県松本市本庄)
受講募集人数：18名
コースディレクター：宮澤　泉(長野赤十字病院循環器内科)
２月13日(水)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局　佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2013/03/09-10四国支部徳島赤十字病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年３月９日(土)～10日(日)の２日間
会　場：徳島赤十字病院　病院棟401会議室(徳島県小松島市小松島町)
受講募集人数：12名
コースディレクター：吉川　圭(坂出市立病院)
２月19日(水)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ：
坂出市立病院　吉川　圭
Phone: 070-5516-8708
Fax: 0877-46-2377
E-mail: kayy@mac.com

JCS-ITC2013/03/09-10関東甲信越支部レールダル本郷トレーニングセンター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年３月９日(土)～10日(日)の２日間
会　場：レールダル本郷トレーニングセンター(東京都文京区本郷)
受講募集人数：18名
コースディレクター：中山英人(東京都立神経病院麻酔科・ICU)
２月11日(月)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局　佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2013/03/09-10東北支部山形大学附属病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年３月９日(土)～10日(日)の２日間
会　場：山形大学医学部 大学院講義室・大講義室(山形県山形市飯田西)
受講募集人数：12名
コースディレクター：花田裕之(弘前大学医学部)
２月28日(木)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ：
弘前大学医学部大学院医学研究科救急災害医学講座　花田裕之
Phone: 0172-39-5375
Fax: 0172-39-5316
E-mail: hanada68@cc.hirosaki-u.ac.jp

JCS-ITC2013/03/23-24中国支部岡山赤十字病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年３月23日（土）～24日（日）の２日間
会　場：岡山赤十字病院（岡山県岡山市北区青江）
受講募集人数：12名
コースディレクター：齋藤博則（岡山赤十字病院循環器科）
３月５日（火）まで募集（延長の場合もあり）
問い合わせ：
山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学内（第二内科）　岡部英美
Phone: 0836-22-2248
Fax: 0836-22-2246
E-mail: ninai@yamaguchi-u.ac.jp

JCS-ITC2013/03/23-24近畿支部滋賀医科大学 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年３月23日（土）～24日（日）の２日間
会　場：滋賀医科大学 循環器内科学教室（滋賀県大津市瀬田月輪町）
受講募集人数：20名
コースディレクター：横山広行（国立循環器病研究センター）
２月24日（日）まで募集（延長の場合もあり）
問い合わせ：
日本循環器学会近畿支部事務局　山口良彦
Phone: 075-212-2015
Fax: 075-212-0691
E-mail: kyoto@congre.co.jp

JCS-ITC2013/03/23-24関東甲信越支部新潟医療センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年３月23日（土）～24日（日）の２日間
会　場：新潟医療センター（新潟県新潟市西区小針）
受講募集人数：15名
コースディレクター：船崎俊一（済生会川口総合病院）
２月13日（水）まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局　熊谷幸恵・佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2013/03/23-24関東甲信越支部国立病院機構東京医療センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年３月23日（土）～24日（日）の２日間
会　場：国立病院機構東京医療センター（東京都目黒区東が丘）
受講募集人数：15名
コースディレクター：布施　淳（国立病院機構東京医療センター循環器科）
２月27日（水）まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局　佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2013/03/23-24関東甲信越支部自治医科大学 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年３月23日（土）～24日（日）の２日間
会　場：自治医科大学20周年記念棟7F　シュミレーションセンター（栃木県下野市薬師寺）
受講募集人数：12名
コースディレクター：菊地　研（獨協医科大学心臓・血管内科）
２月26日（火）まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局　佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2013/03/23-24北陸支部富山大学付属病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年３月23日（土）～24日（日）の２日間
会　場：富山大学付属病院　南病棟１階スキルスラボ（富山県富山市杉谷）
受講募集人数：６名
コースディレクター：宇野欣秀（芳珠記念病院循環器内科）
２月28日（木）まで募集（延長の場合もあり）
問い合わせ：
芳珠記念病院循環器内科　宇野欣秀
E-mail: yoshihide_uno@hotmail.com

JCS-ITC2013/03/23-24東海・北陸支部合同静岡県立総合病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年３月23日（土）～24日（日）の２日間
会　場：静岡県立総合病院　６階教育研修センター（静岡県静岡市葵区北安東）
受講募集人数：18名
コースディレクター：野々木宏（静岡県立総合病院）
２月25日（月）まで募集（延長の場合もあり）
問い合わせ：
日本循環器学会東海支部事務局　渡辺裕一
Phone: 052-950-3365
Fax: 052-950-3370
E-mail: jcs-tokai@congre.co.jp

JCS-ITC2013/03/30-31近畿支部国立循環器病研究センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年３月30日（土）～31日（日）の２日間
会　場：国立循環器病研究センター　リハビリテーション棟（大阪府吹田市藤白台）
受講募集人数：20名
コースディレクター：横山広行（国立循環器病研究センター）
３月３日（日）まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会近畿支部事務局　山口良彦
Phone: 075-212-2015
Fax: 075-212-0691
E-mail: kyoto@congre.co.jp

JCS-ITC2013/03/30-31東海・北陸支部合同名古屋大学医学部 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年３月30日（土）～31日（日）の２日間
会　場：名古屋大学医学部　基礎研究棟２階（愛知県名古屋市昭和区鶴舞町）
受講募集人数：24名
コースディレクター：都築通孝（名古屋大学医学部附属病院）
2013年３月４日（月）まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会東海支部事務局　渡辺裕一
Phone: 052-950-3365
Fax: 052-950-3370
E-mail: jcs-tokai@congre.co.jp

JCS-ITC2013/04/20-21関東甲信越支部獨協医科大学創立30周年記念館 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年４月20日（土）～21日（日）の２日間
会　場：獨協医科大学　創立30周年記念館（栃木県下都賀郡壬生町）
受講募集人数：12名
コースディレクター：菊地　研（獨協医科大学心臓・血管内科）
３月26日（火）まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局　佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

日本循環器学会 新 禁煙宣言2013のご案内

日本循環器学会新禁煙宣言 2013

喫煙は様々な疾病を引き起こす危険因子の中でも確実に取り除くことが可能なものであり、禁煙が重篤な疾病の発症率および死亡リスクを減少させることは既に確立されている。循環器疾患における喫煙の相対危険度は、冠動脈疾患（1.7～3倍）、脳卒中（1.7～8倍）、突然死（1.4～10倍）と極めて高く、罹患後における継続した喫煙は、日常生活における運動耐用能の低下と共に疾患の再発や予後そのものにも大きく影響する。また、喫煙は喫煙者本人のみならず非喫煙者においても、受動喫煙を介して冠動脈疾患や脳卒中の発症頻度を増加させることが知られている。受動喫煙防止条例（スモーキング・バン）を実施している欧米諸国では、急性冠イベントの発症率が条例施行後速やかに減少している。喫煙による健康被害は循環器疾患領域に留まらず、ほぼ全ての臓器に影響して死亡リスクを増大させる。国民の命と健康を守るため、禁煙および受動喫煙防止のさらなる推進への取り組みが医療に携わる我々一人ひとりに求められている。

日本循環器学会は循環器医療の専門家集団として、自らの足元から禁煙および受動喫煙防止活動を積極的に推進するとともに、その重要性を社会に発信することを目的に2002年に禁煙宣言を行った。今回、10年間の活動内容とその成果を再確認し、我々循環器医療に携わるものの共通する願いである循環器疾患の発症予防とその予後の改善を目的に、再度、禁煙および受動喫煙防止・防煙の重要性を認識し、タバコのない社会を目指して禁煙推進活動に取り組むことを宣言する。

禁煙推進 3 つの基本方針と 10 の目標

I 自らが非喫煙者であり、医療従事者および患者の禁煙を支援する。

1．本学会会員は、全員非喫煙者であることを目指す。
（会員喫煙率2002年14.0％、2005年6.9％、2009年4.4％、2011年2.9％、2012年4.85％〈第76回日本循環器学会学術集会参加医師アンケート結果より〉）

2．本学会専門医は、全員非喫煙者であることを目指す。
（2011年、自ら禁煙し且つ禁煙の啓発に努めることが資格要件に追加）

3．本学会関連学術集会、市民公開講座等では会場施設は敷地内禁煙とする。
（2011年100％）

4．本学会指定病院（循環器研修施設）はすべて敷地内禁煙にする。
（2002年 0％、2005年22.7％、2009年62.0％、2011年70.5％）

5．本学会会員施設のすべてに禁煙外来を設置する。
（指定病院設置率2002年24.2％、2005年35.6％、2009年52.4％、2011年58.9％）

II 医療機関、大学、医療従事者に呼びかける。

6．本学会会員が勤務する施設の敷地内禁煙達成を支援する。

7．医学部、歯学部、薬学部、看護学部の敷地内禁煙を達成するよう呼びかける。

8．学部学生に対する禁煙教育、禁煙支援のカリキュラムを組み入れるよう働きかける。

III 患者や一般市民に呼びかけて喫煙による健康被害についての認識を促し、社会の禁煙化を推進する。

9．患者や一般市民に対して喫煙や受動喫煙による健康被害についての情報を発信し、認識を深めてもらうと共に、あらゆる機会を活用して禁煙を呼びかける。

10．他の禁煙推進グループとも連携し、禁煙推進活動に積極的に参加する。

2013 年　日本循環器学会
URL: http://www.j-circ.or.jp/kinen/　E-mail: nonsmoking@j-circ.or.jp

映像教材販売のご案内

喫煙防止映像教材販売のご案内

禁煙推進委員会

ご承知のように，喫煙は喫煙者のみならず受動喫煙者にとっても，虚血性心疾患をはじめとする循環器疾患，呼吸器疾患，がん，その他の疾患の発症・進展にとって重要な危険因子です．禁煙推進委員会では，医療現場からのメッセージを込めた『今から始める喫煙防止教育２版』という喫煙防止映像教材（DVD）を制作し，その販売をしておりますのでご案内申し上げます．

会員・非会員を問わずご購入いただけます．日本循環器学会禁煙推進委員会の意図と願いをご理解いただき，是非ご活用いただければ幸いです．

なおご購入のお申し込み・お問い合せは，下記の特約代理店までお願い致します．

〈内容〉

Part. 1：たばこ，やめてね
（小学校１，２年生用／６分）
Part. 2：タバコのけむりはあぶないよ!!
（小学校３，４年生用／10分）
Part. 3：タバコって本当はどんなもの？
（小学校５，６年生用／12分）
Part. 4：考えてみよう タバコと健康
（中学生・高校生用　／14分）
Part. 5：タバコか健康か あなたはどちらを選びますか
（一般・大学生用　　／17分）

〈価格〉

1,995 円
（税込，送料別）

〈購入お申し込み・お問い合せ先〉

（特約代理店）
（株）少年写真新聞社　メディア開発部
ＴＥＬ：03-3261-4001
ＦＡＸ：03-5276-7785
ＵＲＬ：http://www.schoolpress.co.jp/home.html

教育研修映像販売のご案内

教育研修委員会

下記の教材１タイトルご購入につき，専門医研修単位が３単位加算されます．本体についている返信はがきに必要事項をご記入の上，50円切手を貼ってご郵送ください．ただし，単位の付加は，ご購入ご本人のみに限ります．単位受付は同じタイトルにつき１回限りの受付となりますのでご了承ください．
※なお，単位申請ハガキの受付には期限があります．詳細は下記の各 DVD 単位申請期間をご確認ください．

ご購入の申し込みは，日循ホームページ（http://www.j-circ.or.jp/）の「**刊行物購入のご案内**」からオンラインでお受けしています．もしくは E-mail（meeting@j-circ.or.jp）かファックス（075-213-1675）で，ご希望のタイトル，VHS か DVD（一部 CD-ROM）か，氏名，会員番号，お届け先住所，電話番号をお書き添えの上，お申込みください．

■循環器研修ビジュアルシリーズ（VHS/CD-ROM 各巻 ￥9,975　日循会員価格 ￥6,300 税込）

2004年度製作分（VHS/CD-ROM）　単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可
Vol. 6 .「循環器 Physical Examination の実際」
監修：吉川　純一（大阪市立大学循環器病態内科学）

2005年度製作分（VHS/DVD）　単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可
Vol. 7 .「循環器病の画像診断―心臓 CT，MRI」
監修：栗林　幸夫（慶應義塾大学放射線診断科）
Vol. 8 .「大動脈・末梢血管疾患の超音波診断」
監修：鄭　　忠和（鹿児島大学循環器呼吸器代謝内科学）

2006年度製作分（VHS/DVD）　単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可
Vol. 9 .「メタボリックシンドロームの診断と基準」
監修：島本　和明（札幌医科大学内科学第二）
Vol.10.「カテーテルアブレーションによる不整脈治療の実際」
監修：相澤　義房（新潟大学医歯学総合研究科循環器学分野）

2007年度製作分（VHS/DVD）　単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可
Vol.11.「弁膜症の内科治療と手術のタイミング」
監修：吉田　　清（川崎医科大学循環器内科）
Vol.12.「急性冠症候群の治療戦略」
監修：木村　　剛（京都大学循環器内科）

2008年度製作分（DVD のみ）　単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可
Vol. 1 .「急性心不全の診断と治療戦略（第２版）」
監修：堀　　正二（大阪府立成人病センター）
Vol.13.「大動脈疾患の診断と治療戦略」
監修：上田　裕一（名古屋大学心臓外科学）
栗林　幸夫（慶應義塾大学放射線診断科）

2009年度製作分（DVD のみ）　単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可
Vol. 4 .「抗不整脈薬の使い方（Ⅱ）（第２版）」
監修：新　　博次（日本医科大学多摩永山病院）
Vol.15.「糖尿病患者のフットケア」
監修：笹嶋　唯博（旭川医科大学第一外科）

2010年度製作分（DVD のみ）　単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可
Vol. 2 .「抗不整脈薬の使い方（Ⅰ）（第２版）」
監修：堀江　　稔（滋賀医科大学呼吸循環器内科）
Vol.14.「心臓リハビリテーションの新たな展開」
監修：後藤　葉一（国立循環器病研究センター心臓血管内科）

New 2011年度製作分(DVDのみ)　単位申請期日：2014年３月31日

Vol.３.「慢性心不全の病態をふまえた診断・治療(第２版)」
監修：筒井　裕之（北海道大学循環病態学）

Vol.16.「冠循環の形態的，機能的評価」
監修：赤阪　隆史（和歌山県立医科大学循環器内科）

Vol.18.「補助循環・心臓移植の臨床」
監修：許　　俊鋭（東京大学重症心不全治療開発講座）

■循環器教育セッション CD-ROM(各回３巻セット ￥9,450 税込)

第33回循環器教育セッション　2005年３月19日(土)～21日(月)
単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可

セッションⅠ　新しい高血圧ガイドライン JSH-Ⅱ
座長：土居　義典（高知大学料年病科・循環器科）
藤田　敏郎（東京大学内科学）

セッションⅡ　心臓弁膜症をいかに診断し，いかに治療するか
座長：吉川　純一（大阪市立大学循環器病態内科学）
川副　浩平（岩手医科大学附属循環器医療センター）

セッションⅢ　冠動脈疾患の治療の進歩―早期及び遠隔成績から―
座長：遠藤　真弘（東京女子医科大学心臓血管外科）
木村　　剛（京都大学循環器内科）

第34回循環器教育セッション　2006年３月24日(金)～26日(日)
単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可

セッションⅠ　心不全の治療―薬物療法から非薬物療法まで―
座長：矢野　捷介（長崎大学循環制御内科学）
高野　照夫（日本医科大学内科学第一）

セッションⅡ　メタボリック・シンドローム―本邦の診断基準―
座長：松澤　佑次（住友病院）
島本　和明（札幌医科大学第二内科）

セッションⅢ　不整脈の治療―薬物療法から非薬物療法まで―
座長：笠貫　　宏（東京女子医科大学循環器内科）
児玉　逸雄（名古屋大学環境医学研究所循環器分野）

第35回循環器教育セッション(DVD)　2007年３月15日(木)～17日(土)
単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可

セッションⅠ　心筋・血管再生医療の展開
座長：小室　一成（千葉大学循環病態医科学）
室原　豊明（名古屋大学循環器内科学）

セッションⅡ　各学会ガイドラインの比較：リスク重積患者に対する治療法
座長：藤田　敏郎（東京大学腎臓内分泌内科）
代田　浩之（順天堂大学循環器内科）

セッションⅢ　ACS のリスク層別化と治療戦略― PCI と CABG を中心に―
単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可
座長：幕内　晴朗（聖マリアンナ医科大学心臓血管外科）
西村　重敬（埼玉医科大学循環器内科）

第36回循環器教育セッション(DVD)　2008年３月28日(金)～30日(日)
単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可

セッションⅠ　心疾患患者の心臓手術・非心臓手術のリスク評価
座長：吉川　純一（大阪掖済会病院）
上田　裕一（名古屋大学心臓外科）

セッションⅡ　日本における心臓突然死
座長：笠貫　　宏（東京女子医科大学循環器内科）
三田村秀雄（東京都済生会中央病院）

セッションⅢ　糖尿病と循環器疾患
座長：島本　和明（札幌医科大学第二内科）
　　犀川　哲典（大分大学循環器病態制御講座）

第37回循環器教育セッション（DVD４巻セット　￥12,600税込）　2009年３月20日（金）～23日（日）
単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可

Vol. 1　ビデオライブで見るリスクとベネフィットを考えた治療戦略(1)
１．「EPS」ビデオライブ
座長：福並　正剛（大阪府立急性期・総合医療センター心臓血管センター）
　　松本　万夫（埼玉医科大学国際医療センター心臓内科）
２．「外科『弁形成術』」ビデオライブ
座長：澤　　芳樹（大阪大学外科学講座心臓血管外科）
　　宮本　裕治（兵庫医科大学心臓血管外科）
Vol. 2　ビデオライブで見るリスクとベネフィットを考えた治療戦略(2)
１．「PCI」ビデオライブ
座長：南都　伸介（関西労災病院循環器科）
　　一色　高明（帝京大学循環器科）
２．「EVT」ビデオライブ
座長：南都　伸介（関西労災病院循環器科）
　　古森　公浩（名古屋大学血管外科）
Vol. 3　JSH-2009による高血圧の管理と心血管病
座長：荻原　俊男（大阪府立急性期・総合医療センター）
　　島本　和明（札幌医科大学第二内科）
Vol. 4　循環器疾患の抗凝固・抗血小板療法
座長：一色　高明（帝京大学循環器科）
　　是恒　之宏（国立病院機構大阪医療センター臨床研究部）

第38回循環器教育セッション（DVD４巻セット　￥12,600税込）　2010年３月５日（金）～７日（日）
単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可

Vol. 1　ビデオライブで見る最新の心血管疾患カテーテル治療・外科治療(1)
１．「不整脈電気生理」ビデオライブ
座長：内藤　滋人（群馬県立心臓血管センター）
　　静田　　聡（京都大学循環器内科）
２．「外科」ビデオライブ
座長：四津　良平（慶應義塾大学心臓血管外科）
　　佐賀　俊彦（近畿大学心臓血管外科）
Vol. 2　ビデオライブで見る最新の心血管疾患カテーテル治療・外科治療(2)
１．「PCI」ビデオライブ
座長：一色　高明（帝京大学循環器内科）
　　木村　　剛（京都大学循環器内科）
２．「末梢血管インターベンション」ビデオライブ
座長：横井　良明（岸和田徳洲会病院循環器内科）
　　木村　　剛（京都大学循環器内科）
Vol. 3　睡眠時無呼吸症候群と循環器疾患
座長：山科　　章（東京医科大学第二内科）
　　安藤　真一（福岡県済生会二日市病院循環器内科）
Vol. 4　炎症と循環器疾患
座長：野出　孝一（佐賀大学循環器・腎臓内科）
　　竹石　恭知（福島県立医科大学内科学第一講座）

第39回循環器教育セッション DVD-ROM　￥5,000（税込）　2011年８月３日（水）～４日（木）
単位申請期日：2014年３月31日

第39回より DVD-ROM に仕様変更し，１枚のディスクにまとめました．DVD-ROM は家庭用 DVD レコーダーでは再生できませんのでご注意ください．

セッションⅠ　ビデオで見る最新の心血管カテーテル治療

1．心房細動に対するカテーテルアブレーション
座長：熊谷浩一郎（国際医療福祉大学循環器内科）
山根　禎一（東京慈恵会医科大学循環器内科）
2．ASD のカテーテル閉鎖術
座長：中西　敏雄（東京女子医科大学循環器小児科）
高山　守正（榊原記念病院）
3．ここまで来た胸部ステントグラフト内挿術
座長：吉川　公彦（奈良県立医科大学放射線医学教室）
加藤　雅明（森之宮病院心臓血管外科）

セッションⅡ　高齢者における循環器疾患の管理と問題点
座長：苅尾　七臣（自治医科大学循環器内科学部門）
江頭　正人（東京大学総合研修センター）
大内　尉義（東京大学加齢医学講座）

セッションⅢ　心臓手術後のリハビリテーション―内科・外科の連携―
座長：野原　隆司（北野病院心臓センター）
佐賀　俊彦（近畿大学心臓血管外科）

New　第40回循環器教育セッション DVD-ROM　￥5,000（税込）　2012年３月16日（金）～18日（日）
単位申請期日：2014年３月31日

セッションⅠ
1．心房細動のアブレーション：CFAE 法
座長：Koonlawee Nademanee（Pacific Rim Electrophysiology Research Institute, Los Angeles, USA）
奥村　　謙（弘前大学循環呼吸腎臓内科学）
2．3D エコーと僧帽弁形成術
座長：尾辻　　豊（産業医科大学第二内科）
川副　浩平（聖路加国際病院心血管センター心臓血管外科）
3．大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル大動脈弁植込み術
座長：友池　仁暢（榊原記念病院）
中谷　　敏（大阪大学保健学専攻）

セッションⅡ　重症心不全治療の新しい展開
座長：和泉　　徹（北里大学循環器内科学）
許　　俊鋭（東京大学重症心不全治療開発講座／東京都健康長寿医療センター心臓外科）

セッションⅢ　肺動脈血栓塞栓症の予防・診断・治療
座長：安藤　太三（藤田保健衛生大学心臓血管外科）
伊藤　正明（三重大学循環器・腎臓内科学）

※座長所属はセッション開催時のもの.

第76回 日本循環器学会学術集会 DVD-ROM発売!!

福岡国際会議場・福岡サンパレス・マリンメッセ福岡・福岡国際センターでの講演記録　　会期：2012年3月16～18日

購入し研修されると専門医研修単位が 3単位 取得できます。

※単位の付加は、ご購入ご本人様のみに限ります、単位受付は同じタイトルにつき一回限りとなりますのでご了承ください。

当DVDのご購入は 会員限定です!

これ一枚で61セッション342延べ座長・演者、74時間収録!

販売中

価格 5,000円（送料、税込）

DVD購入者はWEBでもご視聴いただけます。

＜収録内容＞

美甘レクチャー　1セッション
ML. Aortic Stenosis in the Elderly: Diagnosis and Management

真下記念講演　1セッション
MML. Receiving the Nobel Prize in Chemistry

100歳記念講演　1セッション
MLC. A Message to My Younger Peers - What I Have Learned over a Lifetime -

会長講演　1セッション
CCL. Holistic Medical Care for Patients with Heart Failure

特別講演　1～12　SL5を除く全て　11セッション
SL1. Adventures in Cardiovascular Research
SL2. Regulation of Myocardial Survival and Death by Autophagy during Ischemia and Reperfusion
SL3. Inflammation and Vascular Injury: Basic Discovery to Drug Development
SL4. Innovative Natriuretic Peptide Therapeutics for Cardiovascular Disease
※ SL5. Heart Failure in the 21st Century : Challenges and Progresses
SL6. Current Concepts and Management of Brugada Syndrome; Two Decades of Progress
SL7. Update in Brugada Syndrome
SL8. Endothelial Function from Bench to Clinical Practic
SL9. Principal physiological and medical problems of the long-term space mission. Personal experience.
SL10. Ventriculo-vascular Interaction
SL11. Practical Approach to Using Strain Echocardiography to Evaluate the Left Ventricle
SL12. Constrictive Pericarditis

招待講演　1～3　IL2を除く全て　2セッション
IL1. Sympathetic Hyperactivity Activity. Implications for Cardiovascular and Metabolic Diseases
※ IL2. Tissue Specific Adult Stem Cells
IL3. Integrated Cardiovascular Imaging

16th Asian-Pacific Congress on Doppler and Echocardiography
ポスターセッションを除く全て　会長特別企画（1）10セッション
APCDE-LEC1. Many Faces of SAM: Mechanisms and Management
APCDE-LEC2. Apical Hypertrophic Cardiomyopathy: A Quarter Century Follow-up with Reference to the Eventful as well as Uneventful Natural Courses
APCDE-SY1. Heart Failure 1
APCDE-SY2. Heart Failure 2
APCDE-SY3. Heart Failure 3
APCDE-SY4. Valvular Heart Disease
APCDE-SY5. Ischemic Heart Disease
APCDE-SY6. Topics 1
APCDE-SY7. Topics 2
APCDE-IIC. APCDE International Interesting Cases

久山町研究50周年記念シンポジウム　1,2　全て
会長特別企画（2）2セッション
HS1. Memorial Lecture (Plenary Session on Special Lecture) on HISAYAMA STUDY "Clinico-Epidemiological and Pathological Studies"
HS2. Cardiovascular Epidemiology in the East and the West

プレナリーセッション　1～7　全て　7セッション
PS1. Optimal Antithrombotic Treatment in Patients with Coronary Artery Disease: Racial Considerations
PS2. Molecular Mechanism of Plaque Destabilization and Calcification
PS3. Total Arrhythmic Management for Advanced Heart Failure
PS4. ステージD心不全治療の現状と課題
PS5. 再生医学のトピックス －基礎研究から臨床への展開－
PS6. Current Status and Future Perspective in Echocardiography
PS7. 循環器診療における和温療法の現状と展望

シンポジウム　1,3,5,6,8,14,15,16,17,21　10セッション
SY1. 冠血行再建の最前線
SY3. 動脈硬化のバイオマーカーの臨床的意義
SY5. Heart Failure with Preserved Ejection Fraction に関する最新知見
SY6. Diagnosis of Heart Failure Using Genetic Biomarker
SY8. Progress of Regeneration Research - from iPS to Medical Engineering -
SY14. 循環器疾患における性差医療の現状と展望
SY15. Breaking Up the Vicious Cycle of Cardiorenal Connection! Elucidation of Molecular Mechanism and Development of New Therapeutic Strategy
SY16. Current Status and Future Perspective of Valvular Heart Disease in Aged Patients
SY17. 肺高血圧症治療の最前線
SY21. 循環器疾患の成因における慢性炎症の意義

ラウンドテーブルディスカッション2　1セッション
RD2. 末梢動脈疾患に対する包括的リハビリテーション普及に向けて

トピックス　3,5,7,9,11　5セッション
TP3. 心血管系の Anti-Aging
TP5. 冠動脈疾患における冠攣縮の新知見
TP7. 体内時計と循環器疾患
TP9. 埋込み型人工心臓の現状と展望
TP11. 高齢者と女性の脂質コントロールをどうするか

コントロバーシー　1,4　2セッション
CON1. ARB の 12 年を総括する：降圧を超えた心保護効果はあったのか？
CON4. ワルファリン vs 新規抗凝固薬

ミート・ザ・エキスパート　2,3,7　3セッション
ME2. Treating Mitral Regurgitation
ME3. Future Direction of HDL Targeting Therapy
ME7. 心臓病理と循環器臨床のクロストーク（心筋生検研究会）

スペシャルモーニングレクチャー　1セッション
SML. Clinical Implication of the Developments in Cardiovascular Imaging

Late Breaking Clinical Trials　1,2,3　全て　3セッション
LBCT1. Late Breaking Clinical Trials 1
LBCT2. Late Breaking Clinical Trials 2
LBCT3. Late Breaking Clinical Trials 3

開会式・閉会式

※こちらの演題は収録しておりません。
DVDに収録されている内容はご同意が得られた演題のみになります。
DVD 収録時間の制約のため収録できなかったセッションもございますが、ご了承下さい。

お申込みはインターネットまたは FAX でもお申込み頂けます。
日本循環器学会ホームページから、又は、https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd にアクセスして下さい。
DVDに収録されている座長・演者名（ご所属）及び演題名もご覧いただけます。

■お問い合わせ先　株式会社 メディカルビスタ
TEL：092(451)5120　FAX：092(481)7750　Mail：jcsdvd@medicalvista.jp

企画著作：一般社団法人　日本循環器学会
〒604-8172　京都市中京区烏丸通姉小路下る場之町 599 CUBE OIKE 8F
TEL：075-257-5830　FAX：075-213-1675

制作販売受託：株式会社 メディカルビスタ
〒812-0011　福岡市博多区博多駅前 3-7-35 博多ハイテックビル 5F
TEL：092(451)5120　FAX：092(481)7750

第76回日本循環器学会学術集会 DVD-ROMのお申込

価格　1部 ¥5,000（送料、税込）

お申込方法

お申込み、ご購入は会員限定です。会員番号を必ずご記入下さい。

① インターネットの場合

日本循環器学会ホームページから、又は、次のURLにアクセスしお申込ください

https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd

② FAXの場合

下記お申込書にご記入頂き、**092(481)7750** まで FAX にてお申込ください。

お支払方法

＜お申込者個人名の場合＞

■銀行振込、■郵便振替、又は■クレジットカード払いの何れかでお支払い下さい。

お申込受付後、ご指定いただいたお支払い方法についてのご案内をお送り致します。
ご送付先は、E-Mail アドレスのご記入がある場合 E-mail アドレス宛に、E-mail アドレスのご記入がない場合、FAX 番号宛にお送りいたします。上記の何れかの方法でお支払いください。
DVDの発送はお支払い確認後、随時対応します。

＜団体又は法人名の場合＞

請求書、納品書、領収書等の発行を必要とされる場合、お支払方法ご案内の際お申し出ください。
DVD納品後のお支払いにつきましてもお申し出いただければ可能でございます。

第76回 学術集会DVD-ROMのお申込書

（FAX 番号、又は E-mail アドレスのどちらか必ずご記入下さい。）　　2012年　　月　　日

フリガナ お名前	申込部数	会員番号（必ずご記入下さい）
ご所属		お支払方法 □銀行振込　□郵便振替 □クレジットカード払い
ご住所（ご送付先）〒		□ご所属先　□ご自宅
ご連絡先 TEL：　　FAX：		
E-mail アドレス　　@		

＜ご提供いただきます個人情報は、個人情報保護法に準拠して取扱います＞

企画著作　一般社団法人日本循環器学会　　制作販売受託　株式会社メディカルビスタ　日循 DVD-ROM 事務局
TEL：092-451-5120 (9:30-18:30)　FAX: 092-481-7750
E-mail: jcsdvd@medicalvista.jp

和文論文投稿誌「心臓」2013年(第45巻 第1号～12号)年間購読申し込みのご案内

2012年4月(第44巻 第4号)より,「心臓」は(公財)日本心臓財団と(一社)日本循環器学会の共同発行となりました.

循環器領域の若手研究者を育てる和文投稿を中心に,最新のトピックスや研究会など,充実した内容をお届けしています.ぜひ年間を通してご購読ください.

「心臓」
発行:公益財団法人日本心臓財団,一般社団法人日本循環器学会
制作:株式会社協和企画　心臓編集室
発売:株式会社西村書店

編集委員会
山口　徹(編集委員長),代田浩之(副編集委員長),磯部光章,小野　稔,加藤貴雄,木村一雄,倉林正彦,佐地勉,竹石恭知,百村伸一,山科　章,四津良平

定価　2,100円(本体2,000円+税)
年間予約購読料(12冊分)　25,200円(本体24,000円,送料は負担いたします)

申し込み・問い合わせ
株式会社西村書店　担当:岩永
電話:03-3293-9311　FAX:03-3293-9314

事務局からのお知らせ

学会誌 Circulation Journal の送本について

Circulation Journal は，希望者のみへの送本を実施しております．送本ご不要のお手続きは，以下にて受付けています．

- Fax: 075-213-1675
- E-mail: soumu@j-circ.or.jp
- 日本循環器学会 HP（会員事務手続）

＊対象は CJ 英文誌のみで，会告，ガイドライン誌，循環器専門医誌は，今まで通り全員に送本されます．
＊CJ 送本不要を申し出られた方のみ，送本を停止します．
＊CJ 送本不要でも，年会費に変更はありません．

※なお，CJ では，全掲載論文を Online Journal（J-STAGE）にて無料公開しております．
http://www.j-circ.or.jp/journal/online%20Journal.htm

以上

英文誌 Circulation Journal の送本は，不要です．

氏　　名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

会員番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（封筒の宛名ラベル右下に記載の 6 桁の数字）

年　　月　　日

（注）氏名・会員番号は必ずご記入下さい．

〈住所／勤務先変更の届出について〉

毎月の「CJ」や各地方会の開催案内，プログラムの送本等正確にお手許にお届けできるよう，適時，住所／勤務先変更のお届けをお願いしております．

ホームページ（http://www.j-circ.or.jp/）より，会員限定ページにて変更登録をお願い致します．または，当会告末尾の「登録事項変更届」をご利用ください．

なお，学会活動や医療情報などに関する重要なお知らせをＥメールで発信する機会が増えておりますので，可能な限りＥメールアドレスをお届け下さいますようお願い致します．

〈会員限定 HP へのアクセス等について〉

- UMIN（大学病院医療情報ネットワーク）の ID を利用しての会員のみのアクセス制限をしております．
- 新規ご入会の先生につきましては，当学会にて UMINID の取得申請を代行しております．ご入会手続き後に UMINID が取得次第，順次 ID と仮パスワードを郵送致します．
- UMIN メールアドレスにつきましては，各先生方の ID@umin.ac.jp にてご利用いただけます．電子メールソフトの設定の詳細は UMIN ホームページ（http://www.umin.ac.jp/）をご確認ください．

● 学会に関する問い合わせは下記事務局までご連絡下さい．

（一社）日本循環器学会

○京都事務局（代表・学術集会・専門医・編集・国際交流・BLS / ACLS・禁煙等）

〒604-8172　京都府京都市中京区烏丸通姉小路下る場之町599　CUBE OIKE 8F

TEL：075-257-5830　/　FAX：075-213-1675

○東京事務所（総務・経理・情報広報）

〒100-0011　東京都千代田区内幸町1-1-1　帝国ホテルタワー18F

TEL：03-5501-0861　/　FAX：03-5501-9855

各事務担当のメールアドレスのご案内	
代　　表	admin@j-circ.or.jp
総務（登録事項変更・退会等）	soumu@j-circ.or.jp
経理（各請求書・年会費等）	keiri@j-circ.or.jp
学術集会・ガイドライン関連	meeting@j-circ.or.jp
専 門 医	senmoni@j-circ.or.jp
編集（Circulation Journal 関連）	cj@j-circ.or.jp
情報広報（購読・HP・入会・地方会）	webmaster@j-circ.or.jp
BLS / ACLS 事業関連	itc@j-circ.or.jp
禁　　煙	nonsmoking@j-circ.or.jp
国際交流	international@j-circ.or.jp
国内交流	kokunai@j-circ.or.jp
ホームページ URL	http://www.j-circ.or.jp/

一般社団法人　日本循環器学会

登　録　事　項　変　更　届

[ホームページからもお届けが可能です]

TEL (03) 5501-0861
FAX (03) 5501-9855
E-mail: soumu@j-circc.or.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://www.j-circc.or.jp/

会員番号：　【6ｹﾀ】	生年月日：19　　年　　月　　日（　　歳）
フリガナ：	
会員氏名： （旧姓名：　　）	
勤務先： 名　称 部・科　　役　職 所在地　〒　　－ 代　表　TEL（　　）　　－　　FAX（　　）　　－ 内線 直　通　TEL（　　）　　－　　FAX（　　）　　－	
旧勤務先名称：	
自　宅：〒　　－ TEL（　　）　　－　　FAX（　　）　　－	
旧自宅住所：	
E-mail：	
変更希望日：　　年　　月　　日　変更	送本先(連絡先)：　□ 勤務先　□ 自宅
英文誌 Circulation Journal の送付を：　□　希望する　□　希望しない	
退　会　届【退会希望者のみ記入】 年　　月　　日をもって退会します。　/　退会事由：	
事務局への通信欄：	

＊ご提供いただきました個人情報は、学会サービスの提供その他本会の事業目的に沿って行う活動およびこれに付随する業務を行う目的の範囲内においてのみ利用させていただきます。

＊重要なお知らせを E-mail でお届けする機会が増えております。ぜひメールアドレスをご登録ください。

会員の皆様へ

勤務医師賠償責任保険 通年受付をスタートします

当学会で運営しております「勤務医師賠償責任保険 団体保険制度」につきまして、平成 25 年３月より、１年を通じていつでもご希望の時期にご加入いただけるよう、制度を改定いたしました。
（従来は年に１回の募集時期のみ加入可能でした）

本制度は、当学会の会員専用の団体割引２０％が適用されるなど、一般で加入するよりも有利な内容となっております。是非ともご利用くださいますようお願い申し上げます。

本制度の特長

特長①　支払限度額２億円の高額補償（１億円タイプもご用意しています）
特長②　免責金額（自己負担額）なし
特長③　団体割引２０％を適用

本制度の概要

１．保険の内容　：勤務医師賠償責任保険
２．加入資格　　：①日本循環器学会の会員の皆様に限ります。
　　②勤務医師を対象とする保険です。（開業医の皆様は対象となりません）
３．保険期間　　：平成２４年８月１日午後４時～平成２５年８月１日午後４時
４．引受保険会社：株式会社損害保険ジャパン
５．取扱代理店　：株式会社カイトー

保険金額と保険料

毎月２０日までにお手続きいただきますと、翌月１日から補償が開始します。
ご加入の時期により保険料が異なりますのでご注意ください。

型名		200 型	100 型
補償内容	保険金額 （対人支払限度額）	１事故につき　２億円 保険期間中　　６億円	１事故につき　１億円 保険期間中　　３億円
	自己負担額	なし（０円）	なし（０円）
保険料	３月１日補償開始（５ヶ月間）	２２，０１０円	１６，９４０円
	４月１日補償開始（４ヶ月間）	１７，６１０円	１３，５５０円
	５月１日補償開始（３ヶ月間）	１３，２１０円	１０，１７０円
	６月１日補償開始（２ヶ月間）	８，８００円	６，７８０円
	７月１日補償開始（１ヶ月間）	４，４００円	３，３９０円

※今年度の保険期間は、平成 25 年８月１日午後４時に終了いたします。
※平成 25 年８月１日以降のご契約は、保険料口座振替をご利用いただくことができます。口座を事前にご指定いただくと、更新時に保険料が自動引落しされますので、毎年の手続きが不要です。

お申込み・資料請求

本制度取扱代理店 ㈱カイトーにご連絡ください。詳細な資料とお手続きのご案内を差し上げます。

株式会社カイトー ドクター営業部　　担当：鎌倉 久美子
〒160-0023　東京都新宿区西新宿 7-2-6
TEL：03-3369-8811（受付時間：平日/午前８時 50 分～午後５時 20 分）
FAX：03-3369-3120　e-mail：med.lia-ins@kaito.co.jp　URL：www.kaito.co.jp

本ページは保険の概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店までお問い合わせください。

SJ12-11530(2013/02/04)